

箕面市 子ども・子育て支援に関する アンケート調査 結果報告書

令和6年(2024年)9月
箕面市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 実施要領	1
3 報告書の見方	1
II. 調査結果	3
II-1. 就学前児童調査	3
1 お住まいの地域	3
2 ご家族の状況	4
3 子どもの育ちをめぐる環境	8
4 保護者(父親・母親)の就労状況	11
5 育児休業など、仕事と子育ての両立	21
6 平日に定期的に利用している施設やサービス	33
7 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な幼稚園や保育所などの利用希望	42
8 病気の際の対応	48
9 不定期な幼稚園や保育所などの利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用	53
10 子育て支援センターの利用状況	58
11 小学校就学後の放課後の過ごし方	67
12 子どもの生活習慣	76
13 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保	78
14 子育てに対する意識	81
15 多子・多胎世帯の希望する子育てサービス	88
16 箕面市への要望	89
II-2. 就学児童調査	99
1 お住まいの地域	99
2 ご家族の状況	100
3 子どもの育ちをめぐる環境	102
4 保護者(父親・母親)の就労状況	105
5 仕事と子育ての両立	115
6 学童保育の利用	119
7 病気の際の対応	132
8 一時預かりなどの利用	135
9 子どもの普段の過ごし方	137
10 子どもの生活習慣	139
11 地域での自然体験などへの参加	141
12 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保	145
13 子育てに対する意識	147
14 多子・多胎世帯の希望する子育てサービス	154
15 箕面市への要望	155
調 査 票	165

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、次期箕面市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、市内にお住まいの就学前児童(0～5歳)がいる世帯、就学児童(小学校1年生～6年生)がいる世帯を対象に、保育所や学童保育などの利用希望やご意見等をおうかがいし、教育・保育サービス、地域子育て支援事業の必要量を把握し、今後の市の子育て支援策の充実に活かしていくことを目的として実施したものです。

2 実施要領

調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
市内在住 就学前児童(0～5歳)がいる世帯	2,000 人 (無作為抽出)	1,198 人	59.9%	令和6年 3月15日～ 令和6年 4月15日	郵送配布・ 郵送または WEBによる 回収
市内在住 就学児童 (小学校1年生～6 年生)がいる世帯	2,000 人 (無作為抽出)	1,240 人	62.0%	令和6年 3月15日～ 令和6年 4月15日	郵送配布・ 郵送または WEBによる 回収

3 報告書の見方

- (1) 図表中の「n(number of case)」は、有効標本数(集計対象者総数)を表しています。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (4) 図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
 - ・ MA % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3LA % (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答(回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する)形式の設問です。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- (6) 表中の は一番目に多い割合の項目、 は二番目に多い割合の項目、 は三番目に多い割合の項目を示しています。
- (7) 平成31年実施の前回調査と比較可能な設問においては、前回調査の結果との比較を行っています。

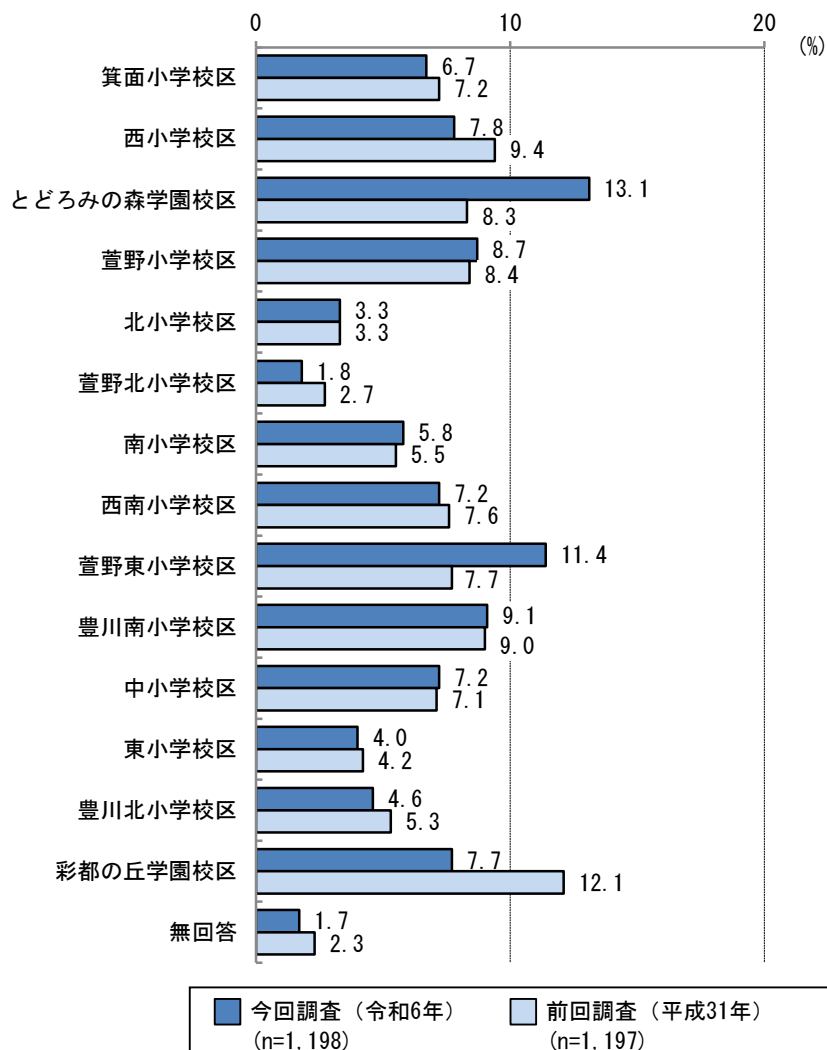
Ⅱ. 調査結果

Ⅱ-1. 就学前児童調査

1 お住まいの地域

〔1〕居住する小学校区

問1 お住まいの地域の小学校区に○をつけてください。
※別紙の小学校区一覧表をご覧ください。

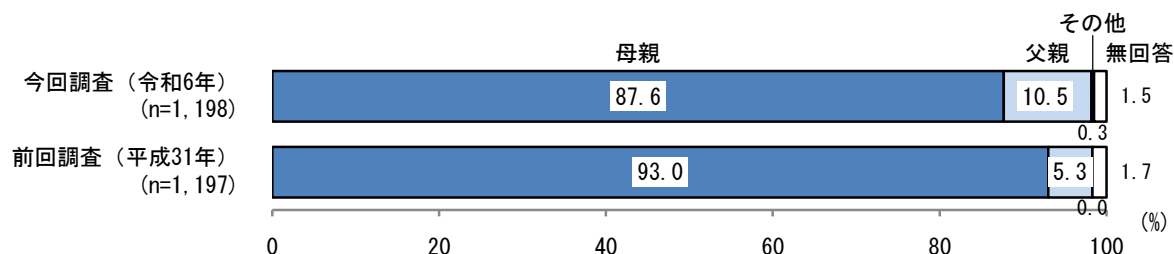


回答者の居住地（小学校区）は、「とどろみの森学園校区」が 13.1%と最も多く、次いで、「萱野東小学校区」が 11.4%、「豊川南小学校区」が 9.1%となっています。

2 ご家族の状況

〔1〕調査の回答者

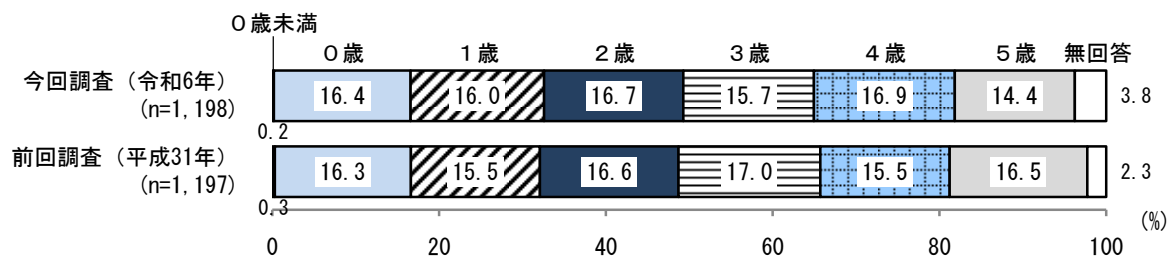
問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
お子さんからみた関係で、お答えください(1つに○)。



調査票の回答者は、「母親」が87.6%、「父親」が10.5%となっています。

〔2〕子どもの年齢

問3 お子さんの生年月はいつですか(「平成」か「令和」か「西暦」に○をつけ、()内に数字を記入)。



※子どもの年齢は令和5年(2023年)4月1日時点の年齢で集計。
各区分の生年月については、以下のとおり。

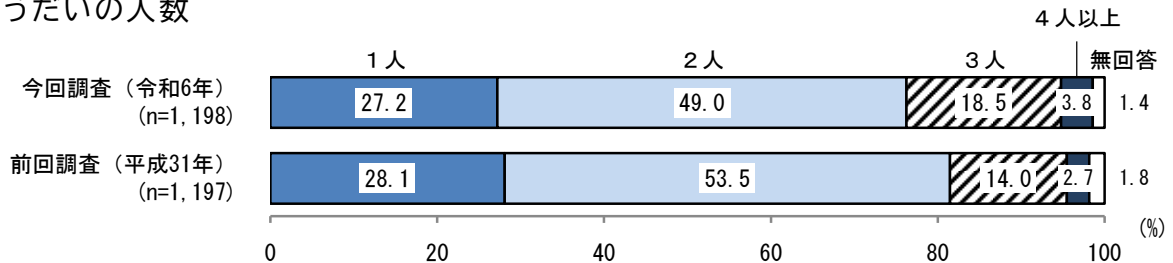
0歳未満(R5/4~R6/3)
0歳(R4/4~R5/3)
1歳(R3/4~R4/3)
2歳(R2/4~R3/3)
3歳(H31(R1)/4~R2/3)
4歳(H30/4~H31(R1)/3)
5歳(H29/4~H30/3)

対象の子どもの年齢(令和5年4月1日時点での年齢)は、「4歳」が16.9%で最も多く、「5歳」が14.4%とやや少ないものの、他はほぼ16%前後となっています。

〔3〕きょうだいの人数と末子の年齢

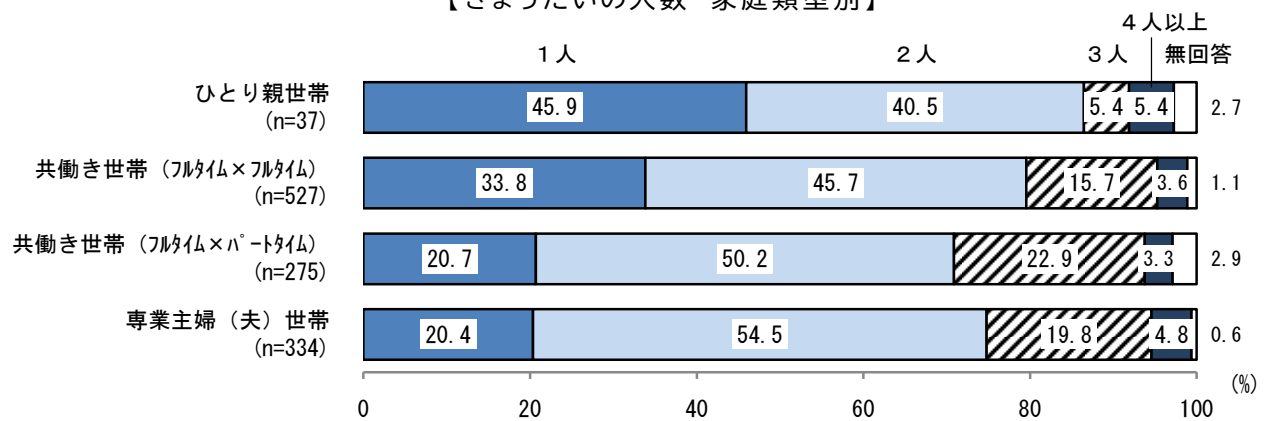
問4 封筒の宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年（2023年）4月1日現在の年齢）を記入してください。

■きょうだいの人数



きょうだいの人数は、「2人」が49.0%と最も多く、次いで、「1人」が27.2%、「3人」が18.5%、「4人以上」が3.8%となっています。

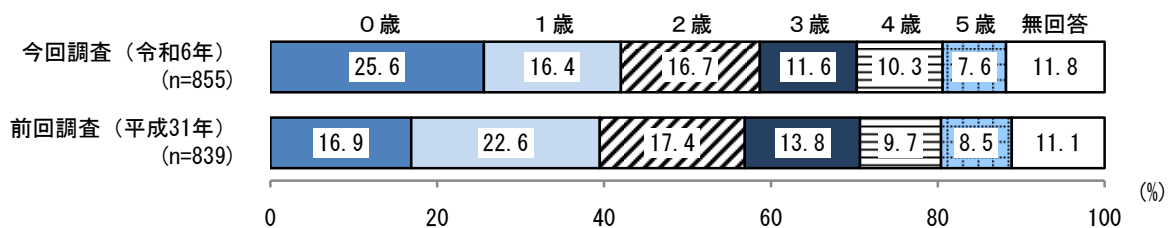
【きょうだいの人数 家庭類型別】



家庭類型別にみると、ひとり親世帯では「1人」が45.9%と最も多く、他の世帯では「2人」が最も多くなっています。また、子どもが2人以上の割合は、ひとり親世帯で51.3%、両親ともにフルタイム勤務の共働き世帯で65.0%、フルタイムとパートタイムの共働き世帯で76.4%、専業主婦（夫）世帯では79.1%となっています。

2人以上の子どもがいる場合のみ

■末子の年齢

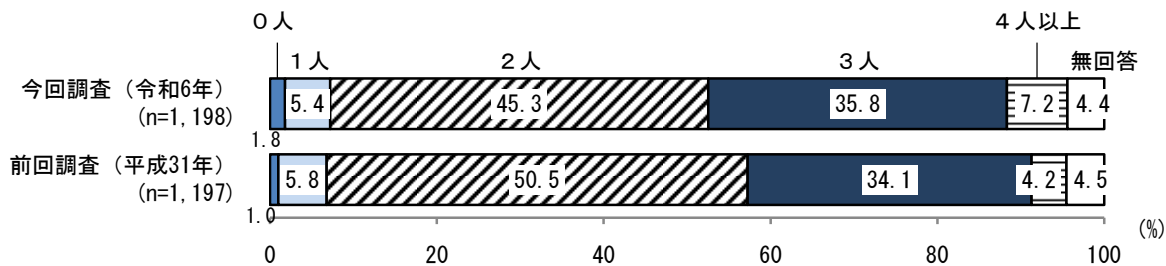


※「0歳未満」は「0歳」を含む

2人以上の子どもがいる場合の末子の年齢は、「0歳」が25.6%と最も多く、次いで、「2歳」が16.7%、「1歳」が16.4%となっています。

〔4〕希望する子どもの人数

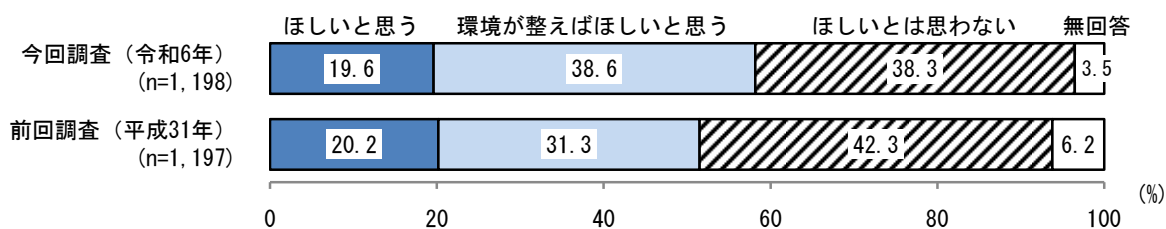
問5 希望として、子どもが何人ほしいですか。



希望する子どもの人数は、「2人」が 45.3%と最も多く、次いで、「3人」が 35.8%となっています。

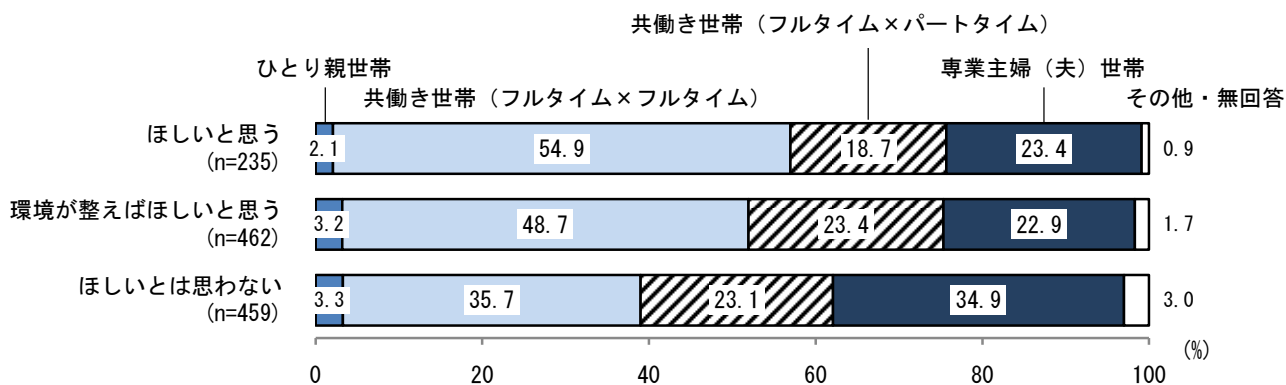
〔5〕もう1人以上の子どもがほしいか

問6 もう1人以上の子どもがほしいと思いますか(1つに○)。



もう1人以上の子どもがほしいと思うかについては、「環境を整えればほしいと思う」が 38.6%と最も多く、「ほしいと思う」の 19.6%と合わせてほしいと思う人は合計 58.2%と、前回調査に比べて 6.7 ポイント増加しています。

【もう1人以上の子どもの希望別 家庭類型】

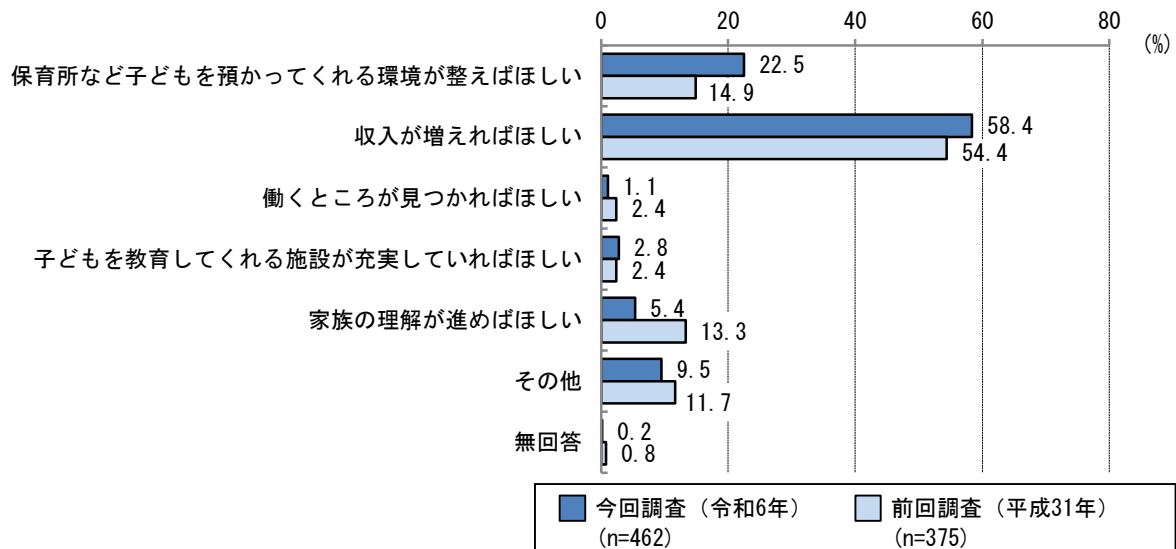


もう1人以上の子どもの希望別に家庭類型をみると、「ほしいと思う」「環境を整えればほしいと思う」と回答している人の約半数が、両親ともにフルタイム勤務の世帯となっています。

〔6〕もう1人以上の子どもがほしいと思う条件

問6で「環境を整えればほしいと思う」とお答えの方のみ

問6-1 どのような環境を整えればもう1人以上の子どもがほしいと思いますか
(1つに○)。



◆「その他」内訳

- ・親の年齢が若ければ ・職場の理解、環境を整えば ・学費など経済的な不安がなければ
- ・児童手当の所得制限撤廃、年少扶養控除の復活、多子支援、保育料無償化など金銭的な支援
- ・きょうだいの年齢が離れたら ・子育ての協力者がいれば ・ベビーシッター、病児保育の充実
- ・不妊や体調面の不安が解消すれば ・家を購入できれば など

「環境を整えればほしいと思う」とお答えの方が、もう1人以上の子どもがほしいと思う条件は、「収入が増えればほしい」が 58.4%と最も多く、次いで、「保育所など子どもを預かってくれる環境を整えればほしい」が 22.5%となっています。

前回調査に比べて、「保育所など子どもを預かってくれる環境を整えればほしい」は7.6ポイント、「収入が増えればほしい」は 4.0ポイント増加しています。

【もう1人以上の子どもがほしいと思う条件 家庭類型別】

	n	環境を整えればほしい	収入が増えればほしい	働くところが見つかる環境を整えればほしい	子どもを教育してくれる施設が充実していればほしい	家族の理解が進めばほしい	その他	無回答
全体	462	104	270	5	13	25	44	1
	100	22.5	58.4	1.1	2.8	5.4	9.5	0.2
ひとり親世帯	15	3	4	1	1	1	4	1
	100	20.0	26.7	6.7	6.7	6.7	26.7	6.7
共働き世帯 (フルタイム×フルタイム)	225	53	127	1	8	14	22	0
	100	23.6	56.4	0.4	3.6	6.2	9.8	0
共働き世帯 (フルタイム×パートタイム)	108	21	68	2	2	5	10	0
	100	19.4	63.0	1.9	1.9	4.6	9.3	0
専業主婦 (夫) 世帯	106	26	66	1	2	5	6	0
	100	24.5	62.3	0.9	1.9	4.7	5.7	0

家庭類型別にみると、いずれの世帯でも、「収入が増えればほしい」が最も多くなっています。

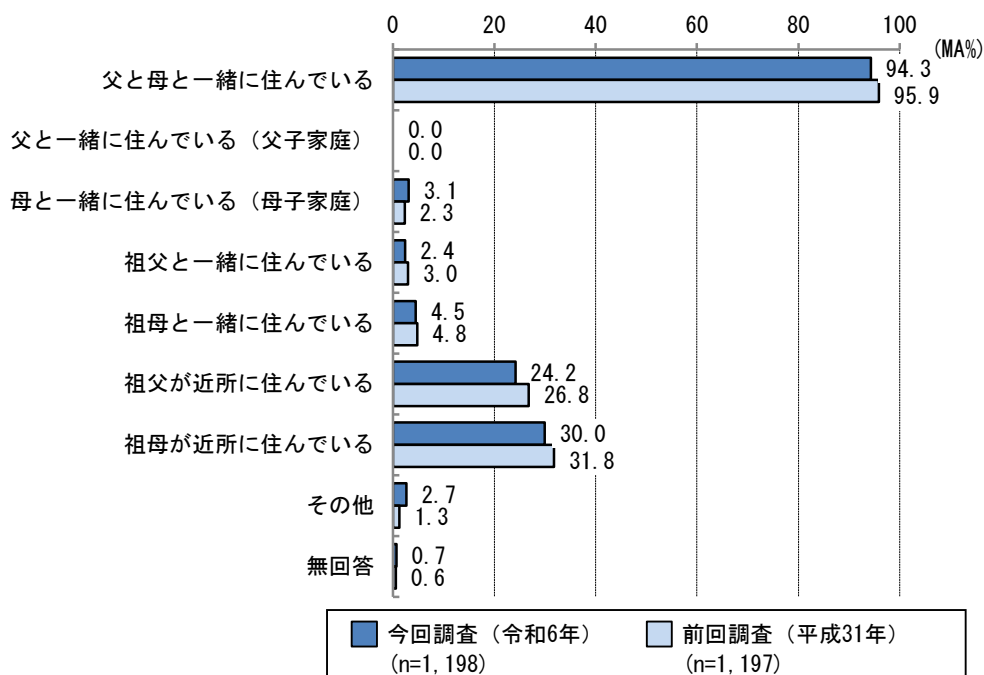
3 子どもの育ちをめぐる環境

〔1〕同居・近居の状況

問7 お子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。選択肢はお子さんからみた関係です(当てはまるものすべてに○)。

※近所…30分以内程度で行き来できる範囲

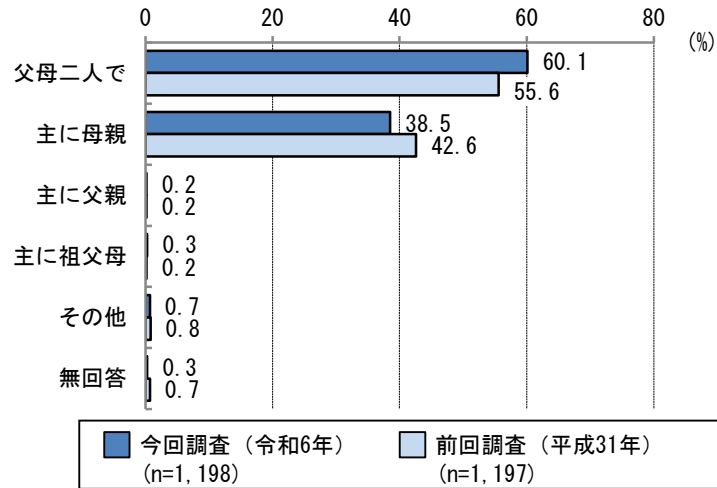
※単身赴任や長期出張等で別居されている父母については「同居」としてください。



同居・近居の状況については、「父と母と一緒に住んでいる」が 94.3%と最も多く、次いで、「祖母が近所に住んでいる」が 30.0%、「祖父が近所に住んでいる」が 24.2%となっています。

〔2〕子育てや教育の主体

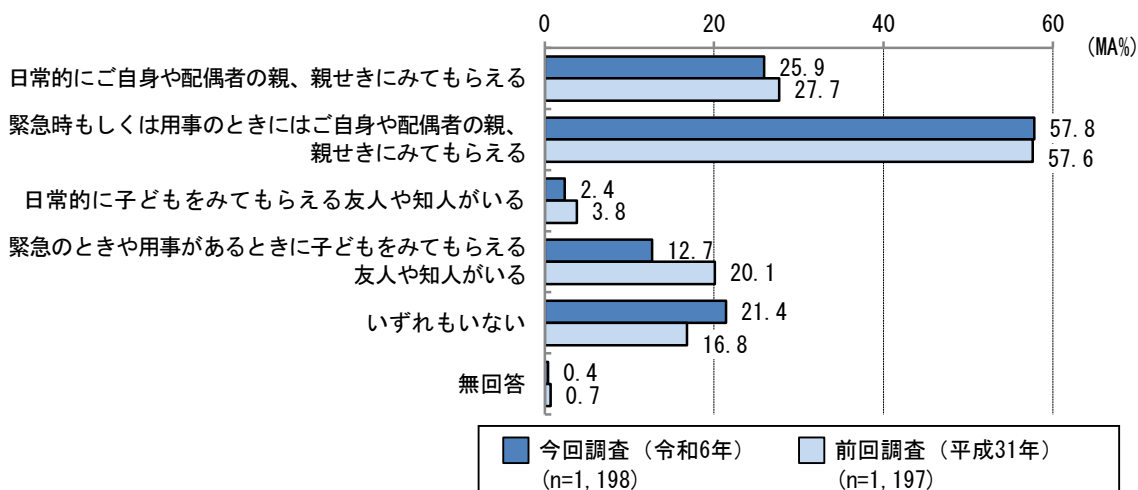
問8 お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。
選択肢はお子さんからみた関係です(1つに○)。



子育てや教育の主体は、「父母二人で」が60.1%と最も多く、次いで、「主に母親」が38.5%となっています。前回調査に比べて、「父母二人で」が4.5ポイント増加し、「主に母親」が4.1ポイント減少しています。

〔3〕子どもの世話をしてくれる人

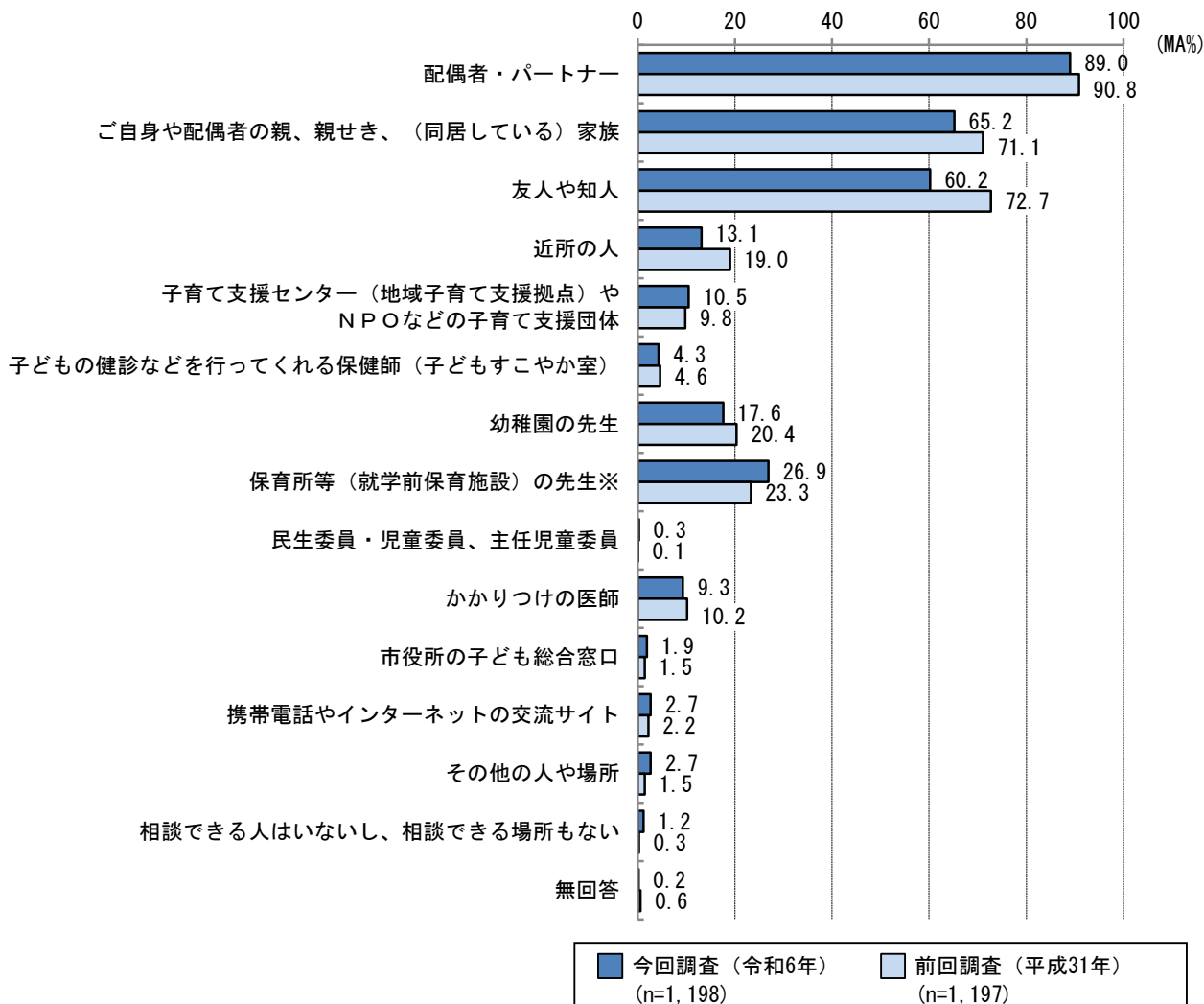
問9 日頃、お子さんの世話をしてくれる人はいますか(当てはまるものすべてに○)。



日頃、子どもの世話をしてくれる人は、「緊急時もしくは用事のあるときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が57.8%と最も多く、次いで、「日常にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が25.9%、「いずれもない」が21.4%となっています。前回調査に比べて、「緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」が7.4ポイント減少しています。

〔4〕気軽に相談できる人や場所

問10 お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や相談できる場所をお答えください(当てはまるものすべてに○)。



※前回調査では、「保育所の先生」

◆「その他の人や場所」内訳

- ・療育施設やそのスタッフ ・職場の同僚 ・発達相談、児童相談支援センター
- ・訪問看護師 ・習い事の先生 ・産院の先生 ・つどいの広場 ・ママ友 など

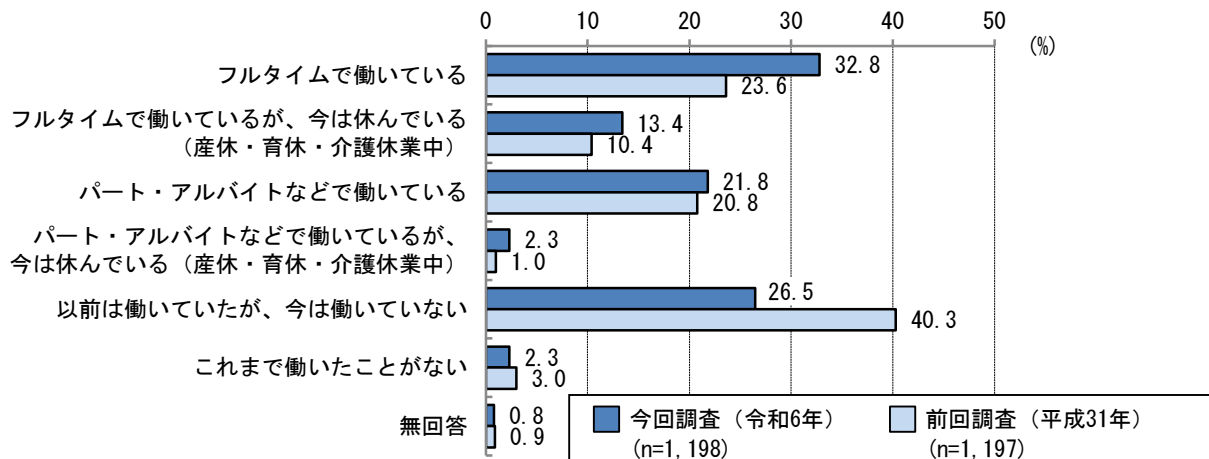
子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所は、「配偶者・パートナー」が 89.0%と最も多く、次いで、「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」が 65.2%、「友人や知人」が 60.2%となっています。前回調査に比べて、「友人や知人」が 12.5 ポイント減少しています。

4 保護者(父親・母親)の就労状況

〔1〕母親の就労状況

問11 お子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。
 自営業や自営業を手伝っている場合も含みます(1つに○)。
 【父子家庭の場合は記入不要です。】

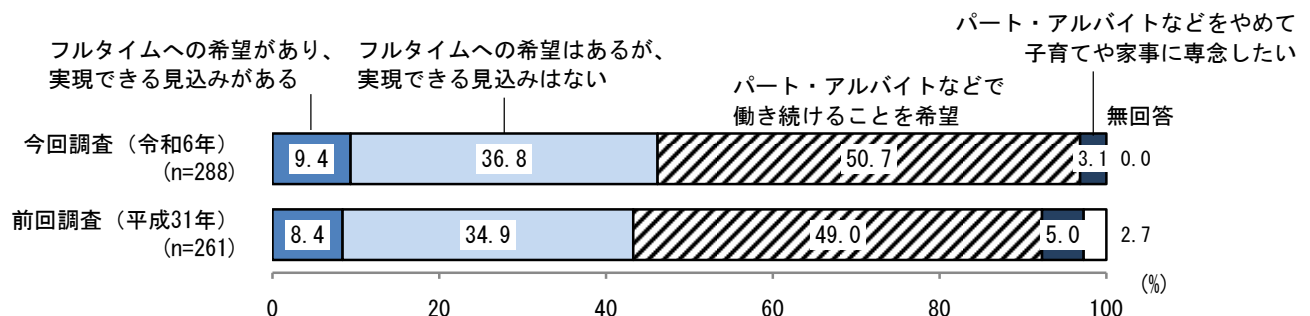
※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労



母親の就労状況は、「フルタイムで働いている」が32.8%と最も多く、次いで、「以前は働いていたが、今は働いていない」が26.5%、「パート・アルバイトなどで働いている」が21.8%となっています。フルタイムまたはパートタイムで、休業中の方も含めると、就労している母親は全体の7割(70.3%)となっており、また、フルタイム勤務は、休業中の方も含めて合計46.2%と、前回調査の34.0%に比べて12.2ポイント増加しています。

〔2〕母親のフルタイムへの転換希望

問11で「パート・アルバイトなどで働いている」とお答えの方のみ
 問11-1 フルタイムへの希望はありますか(1つに○)。



「パート・アルバイトなどで働いている」母親に、フルタイムへの転換希望をたずねたところ、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が50.7%と最も多く、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」は9.4%、「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」は36.8%で、フルタイムへの転換希望のある人は合計46.2%となっています。

〔3〕母親の就労日数・就労時間、家を出る時間・帰宅時間

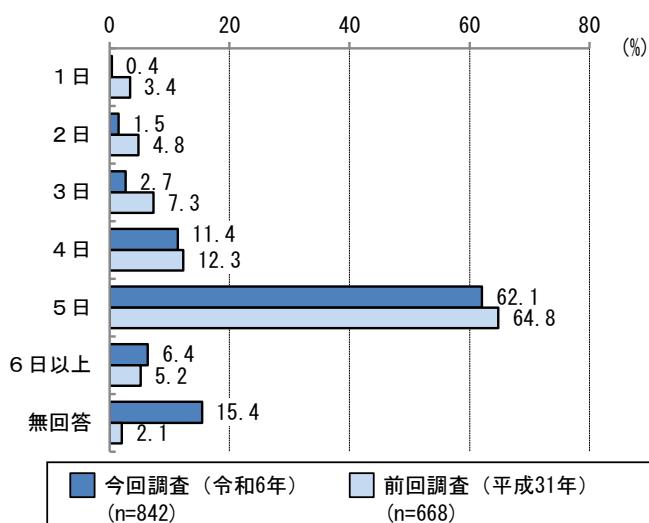
問11で「働いている」とお答えの方のみ

問11-2 1週間にどのくらいの日数働きますか。そして1日当たりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

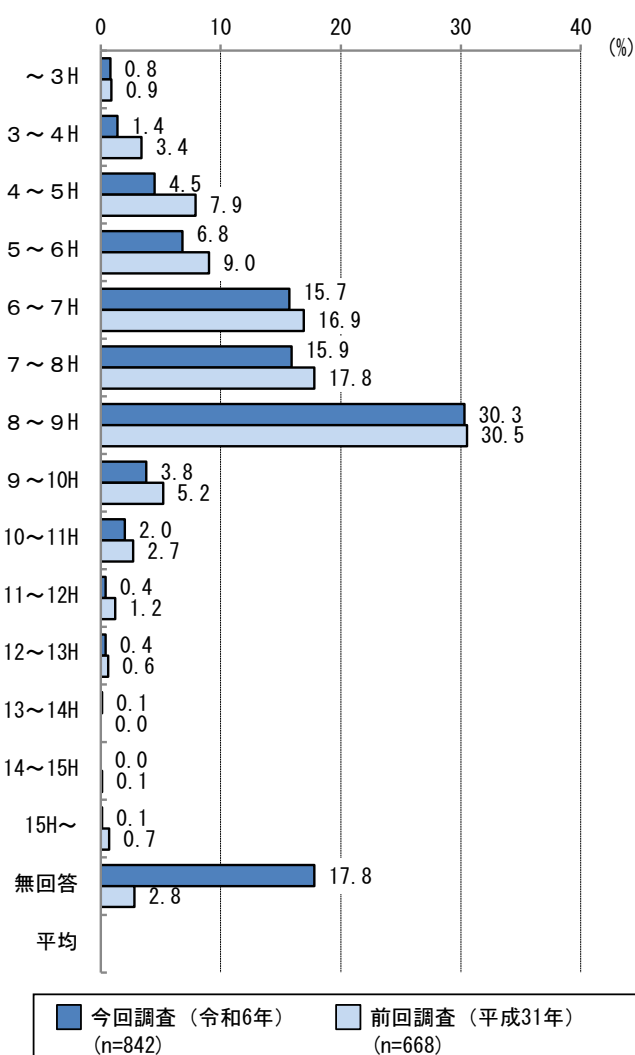
今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

(()内に数字を記入、24時間で表記)。

■ 母親の1週あたりの就労日数

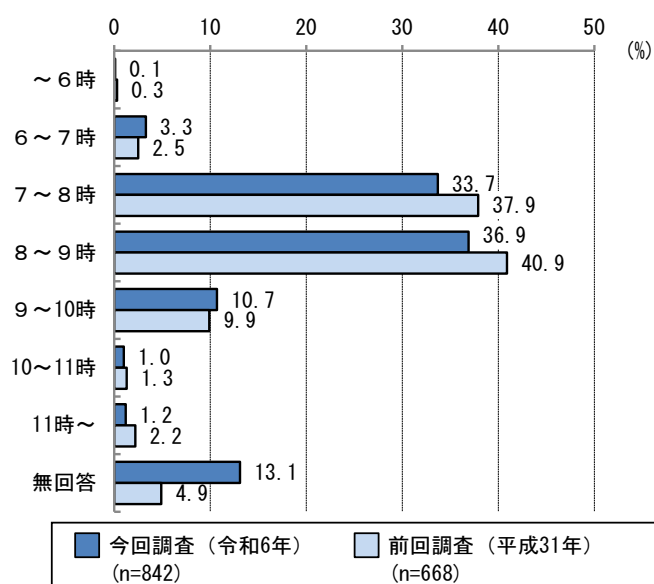


■ 母親の1日あたりの就労時間

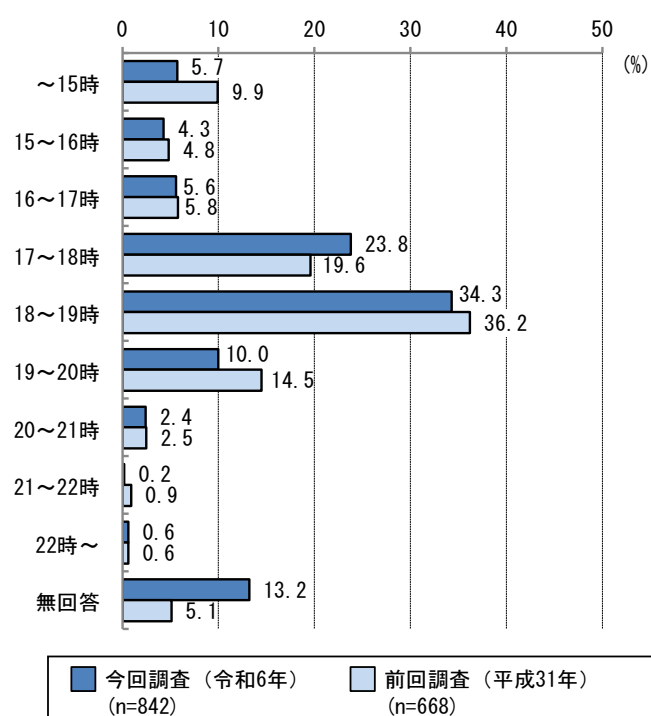


「働いている」母親の、1週あたりの就労日数は、「5日」が 62.1%と最も多くなっています。1日あたりの就労時間は、「8～9時間」が 30.3%と最も多くなっています。

■母親の家を出る時間



■母親の帰宅時間



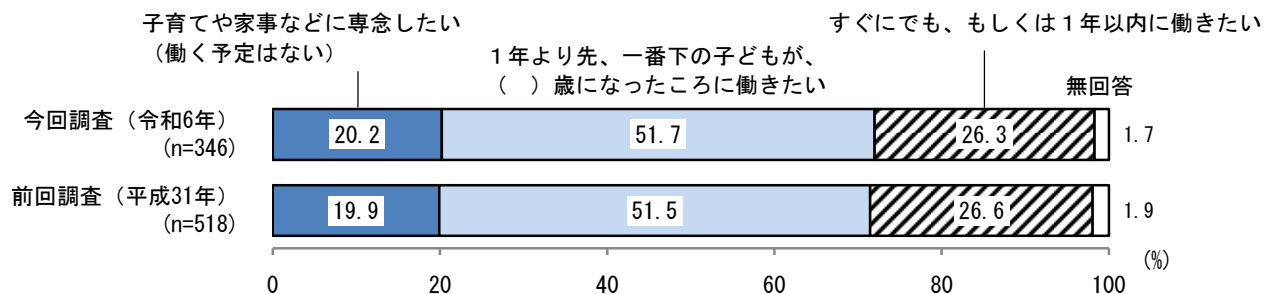
「働いている」母親の、家を出る時間は、「8～9時」が 36.9%と最も多く、次いで、「7～8時」が 33.7%となっています。帰宅時間は、「18～19 時」が 34.3%と最も多く、次いで、「17～18 時」が 23.8%となっています。

〔4〕母親の就労希望

問11で「働いていない」、「働いたことがない」とお答えの方のみ

問11-3 働きたいという希望はありますか(1つに○、()内に数字を記入)。

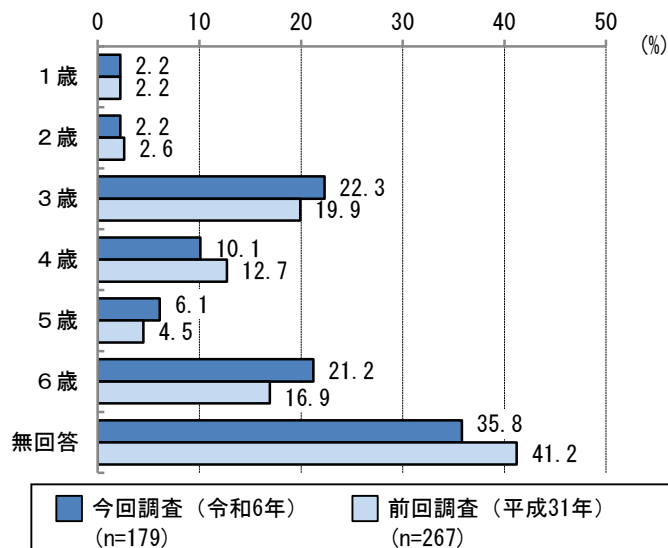
■就労の希望



「以前は働いていたが、今は働いていない」、「これまで働いたことがない」母親の就労の希望は、「1年より先、一番下の子どもが、()歳になったところに働きたい」が 51.7%と最も多く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が 26.3%で、就労希望のある母親は合計 78.0%となっています。

「1年より先、一番下の子どもが、()歳になったところに働きたい」とお答えの方のみ

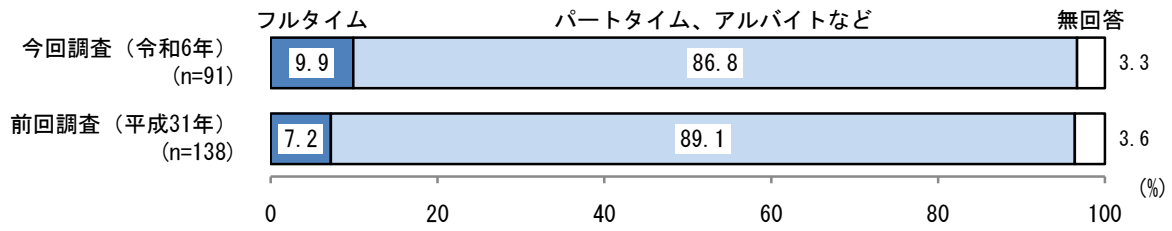
■就労を考える子どもの年齢



「1年より先に働きたい」母親が、就労を考える子どもの年齢は、「3歳」が 22.3%と最も多く、次いで、「6歳」が 21.2%となっています。

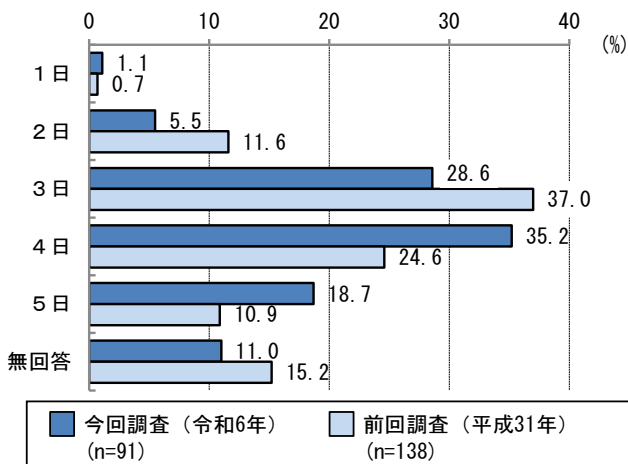
「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」とお答えの方のみ

■希望する就労形態

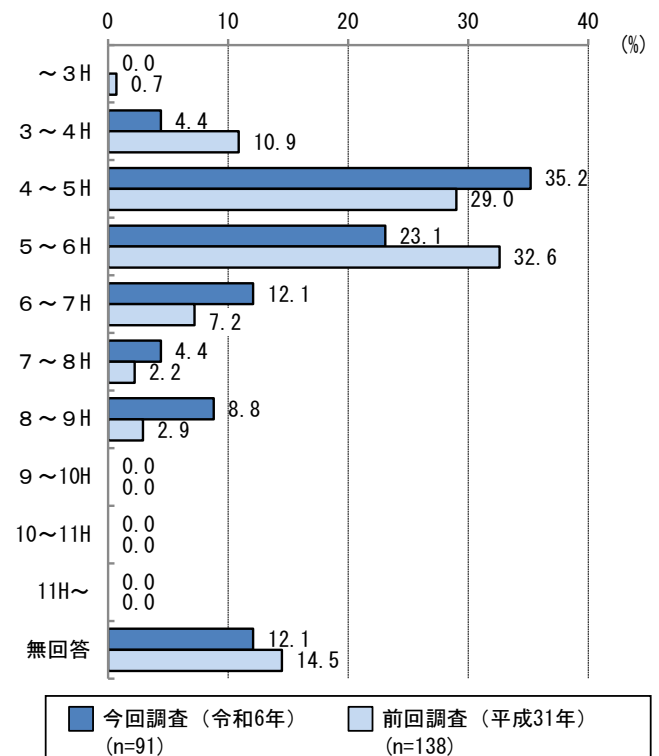


「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」母親の、希望の就労形態は、「パートタイム、アルバイトなど」が 86.8%となっています。

■1週あたりの希望就労日数



■1日あたりの希望就労時間

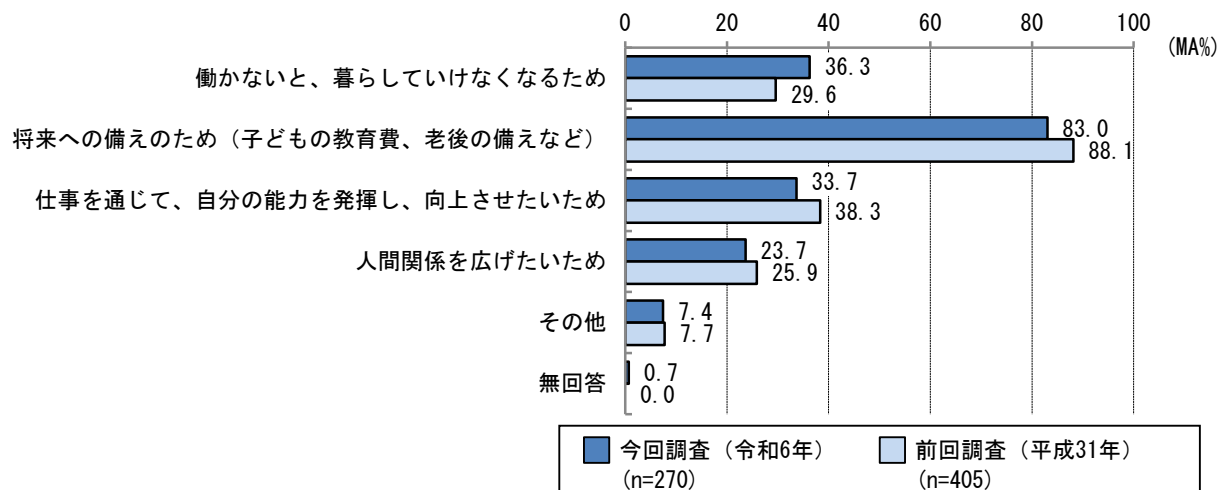


「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」母親の、1週あたりの希望就労日数は、「4日」が 35.2%と最も多く、次いで、「3日」が 28.6%となっています。1日あたりの希望就労時間は、「4~5時間」が 35.2%と最も多く、次いで、「5~6時間」が 23.1%となっています。

〔5〕母親の就労を希望する理由

問11-3で「働きたい」とお答えの方のみ

問11-4 働きたい理由は何ですか(当てはまるものすべてに○)。

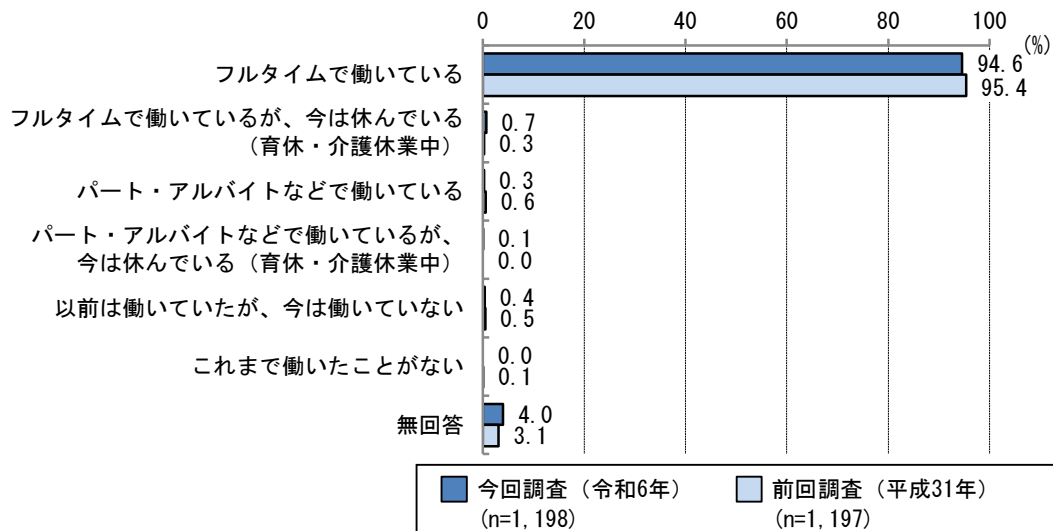


「働きたい」とお答えの母親の、働きたい理由は、「将来への備えのため(子どもの教育費、老後の備えなど)」が83.0%と最も多くなっています。

〔6〕父親の就労状況

問12 お子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。
 自営業や自営業を手伝っている場合も含みます(1つに○)。
 【母子家庭の場合は記入不要です。】

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労



父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」が 94.6%と最も多くなっています。

〔7〕父親のフルタイムへの転換希望

問12で「パート・アルバイトなどで働いている」とお答えの方のみ
 問12-1 フルタイムへの希望はありますか(1つに○)。

→ 該当者は4名で、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が3件(75.0%)、「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」が1件(25.0%)となっています。

〔8〕父親の就労日数・就労時間、家を出る時間・帰宅時間

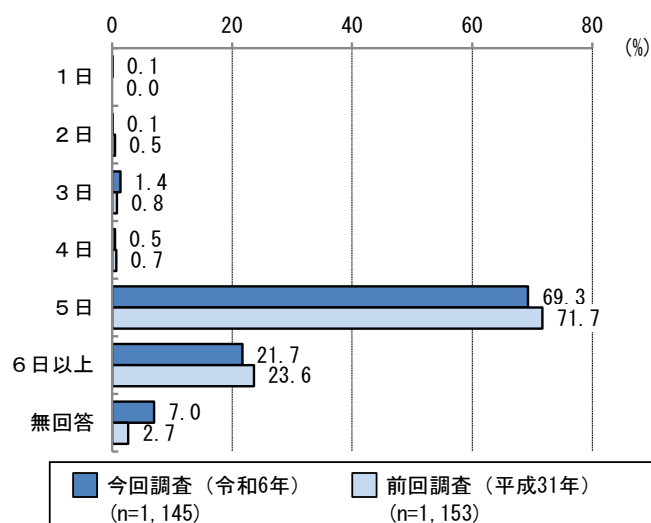
問12で「働いている」とお答えの方のみ

問12-2 1週間にどのくらいの日数働きますか。そして1日当たりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

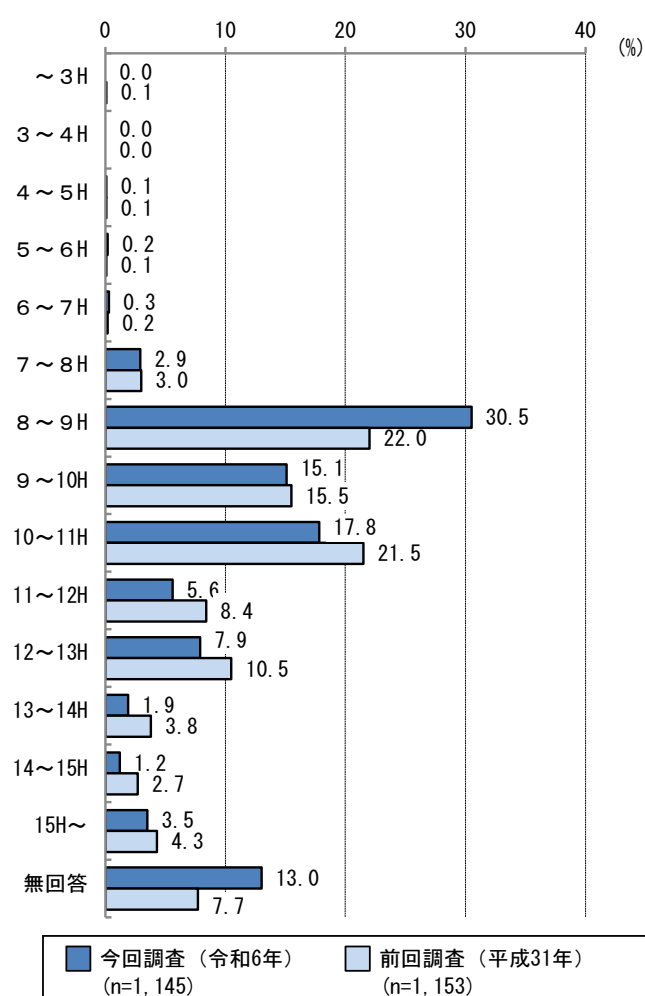
今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

(()内に数字を記入、24時間で表記)。

■1週あたりの就労日数

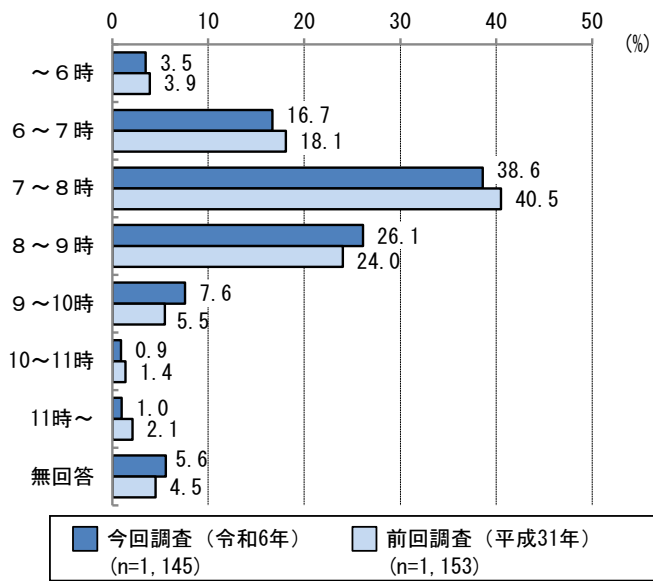


■1日あたりの就労時間

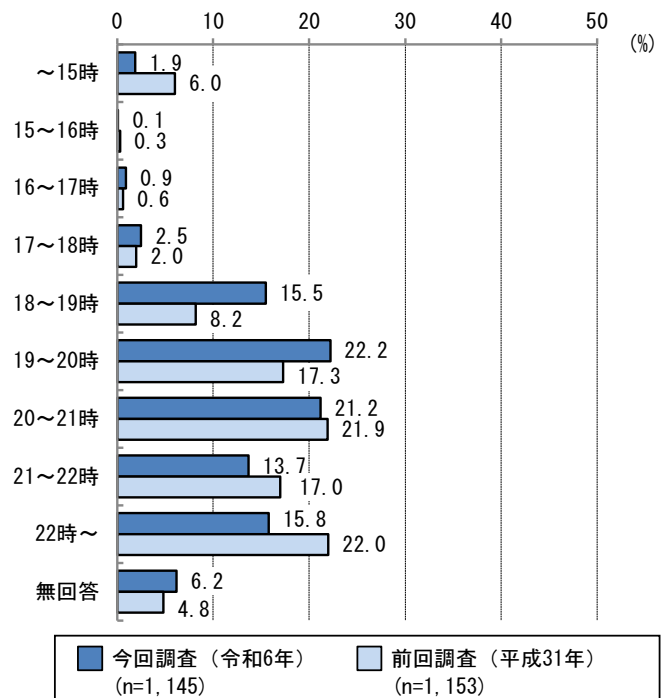


「働いている」父親の、1週あたりの就労日数は、「5日」が 69.3%と最も多く、次いで、「6日以上」が 21.7%となっています。1日当たりの就労時間は、「8～9時間」が 30.5%と最も多く、次いで、「10～11 時間」が 17.8%となっています。

■家を出る時間



■帰宅時間



「働いている」父親の、家を出る時間は、「7～8時」が 38.6%と最も多く、次いで、「8～9時」が 26.1%となっています。帰宅時間は、「19～20時」が 22.2%と最も多く、次いで、「20～21時」が 21.2%、「22時～」が 15.8%、「18～19時」が 15.5%となっています。前回調査に比べて、父親の帰宅時間はやや早くなっている傾向がうかがえます。

〔9〕父親の就労希望

問12で「働いていない」、「働いたことがない」とお答えの方のみ

問12-3 働きたいという希望はありますか(1つに○、()内に数字を記入)

■就労の希望

→ 該当者は5名で、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」が2件(40.0%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が2件(40.0%)、無回答1件(20.0%)となっています。

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに働きたい」とお答えの方のみ

■就労を考える子どもの年齢

→ 該当者なし

「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」とお答えの方のみ

■希望する就労形態

→ 該当者は2名で、「フルタイム」が1件(50.0%)、無回答1件(50.0%)となっています。

■1週あたりの希望就労日数

→ 該当者は2名で、「5日」が2件(100.0%)となっています。

■1日あたりの希望就労時間

→ 該当者は2名で、「8～9時間」「9～10 時間」がそれぞれ1件ずつ(50.0%)となっています。

〔10〕父親の就労を希望する理由

問12-3で「働きたい」とお答えの方のみ

問12-4 働きたい理由は何ですか(当てはまるものすべてに○)。

→ 該当者は2名で、「働かないと、暮らしていけなくなるため」が2件(100.0%)、「将来への備えのため(子どもの教育費、老後の備えなど)」、「仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため」がそれぞれ1件ずつ(50.0%)となっています。

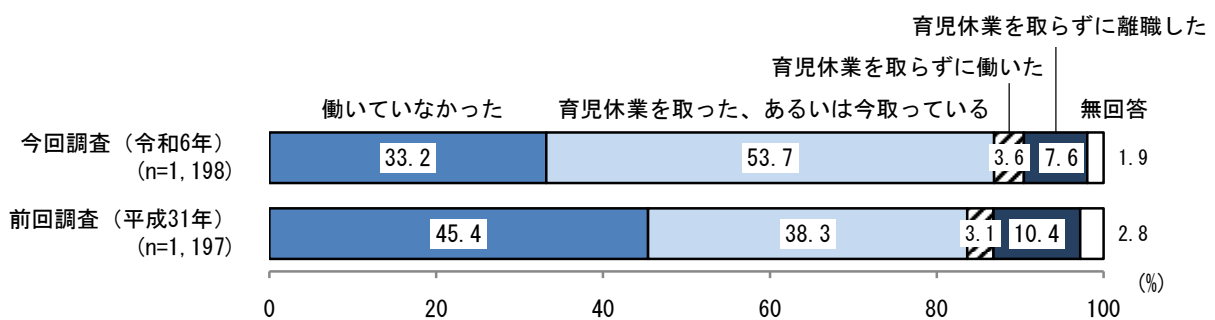
5 育児休業など、仕事と子育ての両立

〔1〕育児休業の取得状況

問13 お子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか(それぞれ1つに○)。父親について、「育児休業を取った、あるいは今取っている」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について()内に数字を入れてください。

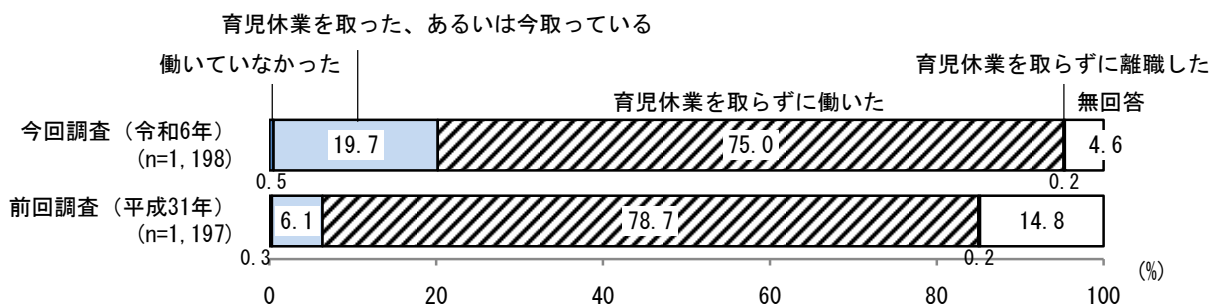
また、「育児休業を取らずに働いた」、「育児休業を取らずに離職した」を選ばれた方は、その理由を下記枠内(育児休業を取らなかった理由)の選択肢の中からお答えください(当てはまる番号すべてを記入)。

■母親の育児休業の取得状況



母親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取った、あるいは今取っている」が 53.7%と最も多く、「育児休業を取らずに働いた」が 3.6%、「育児休業を取らずに離職した」が 7.6%となっています。前回調査に比べて、「育児休業を取った、あるいは今取っている」が 15.4 ポイント増加しています。

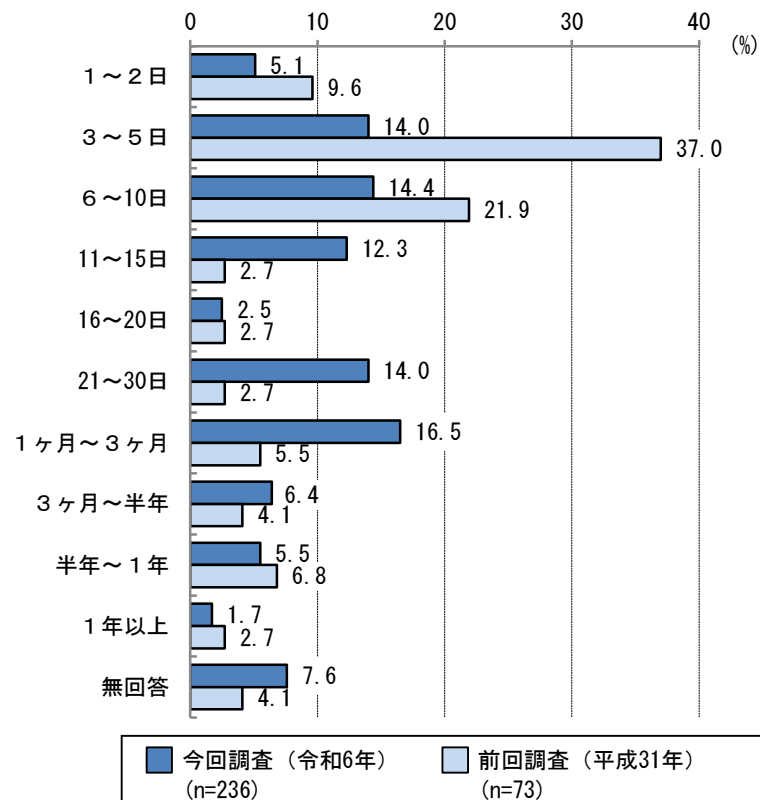
■父親の育児休業の取得状況



父親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取らずに働いた」が 75.0%と多くなっていますが、「育児休業を取った、あるいは今取っている」も 19.7%みられ、前回調査に比べて 13.6 ポイント増加しています。

父親で「育児休業を取った、あるいは今取っている」とお答えの方のみ

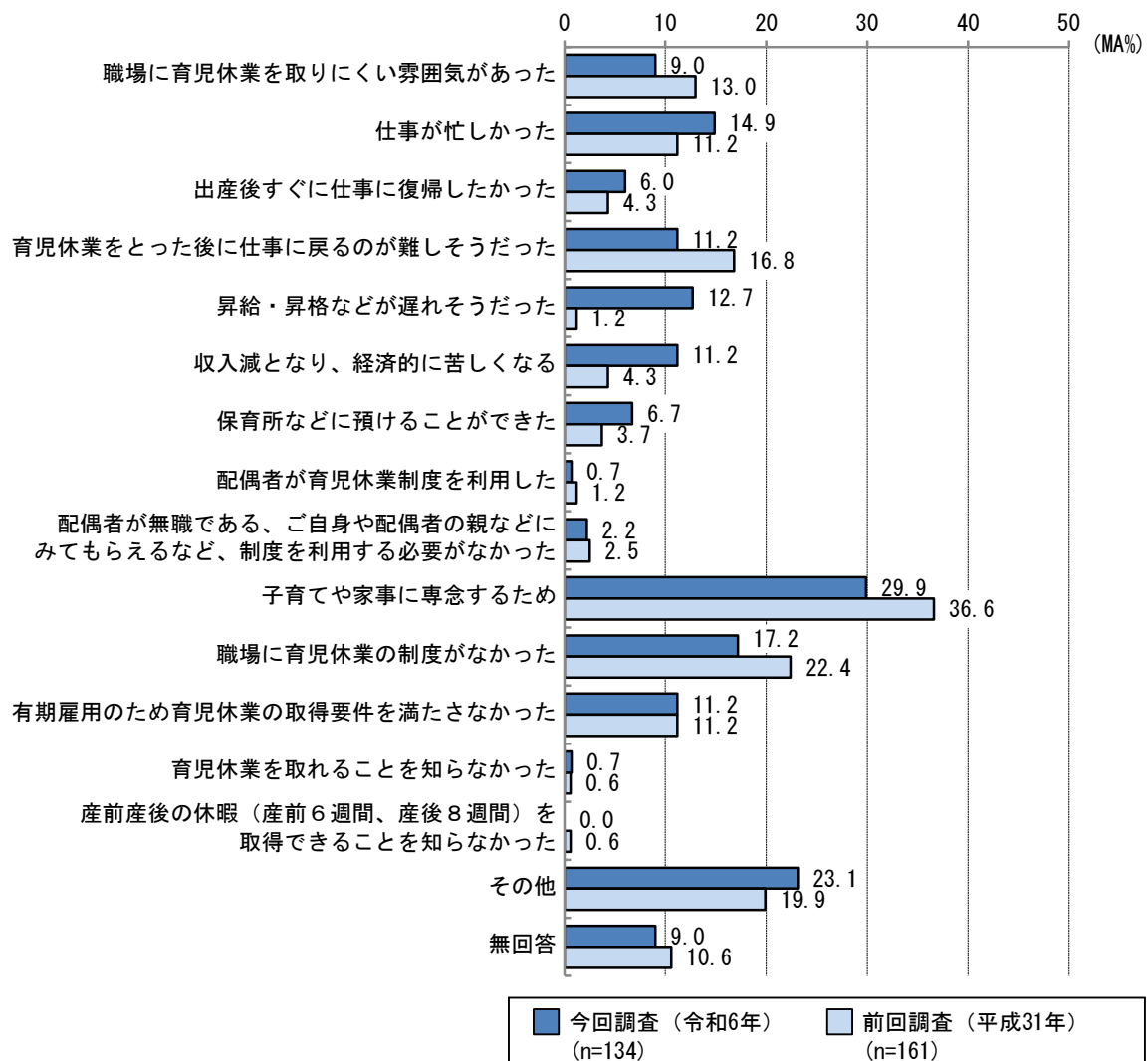
■父親の育児休業の取得日数



「育児休業を取った、あるいは今取っている」父親の、育児休業取得日数は、「1ヶ月～3ヶ月」が16.5%と最も多く、次いで、「6～10日」が14.4%、「3～5日」と「21～30日」が14.0%となっています。前回調査に比べて、「21～30日」が11.3ポイント、「1ヶ月～3ヶ月」が11ポイント、「11～15日」が9.6ポイント増加しています。

「育児休業を取らずに働いた」、「育児休業を取らずに離職した」方のみ

■母親の育児休業を取らなかった理由



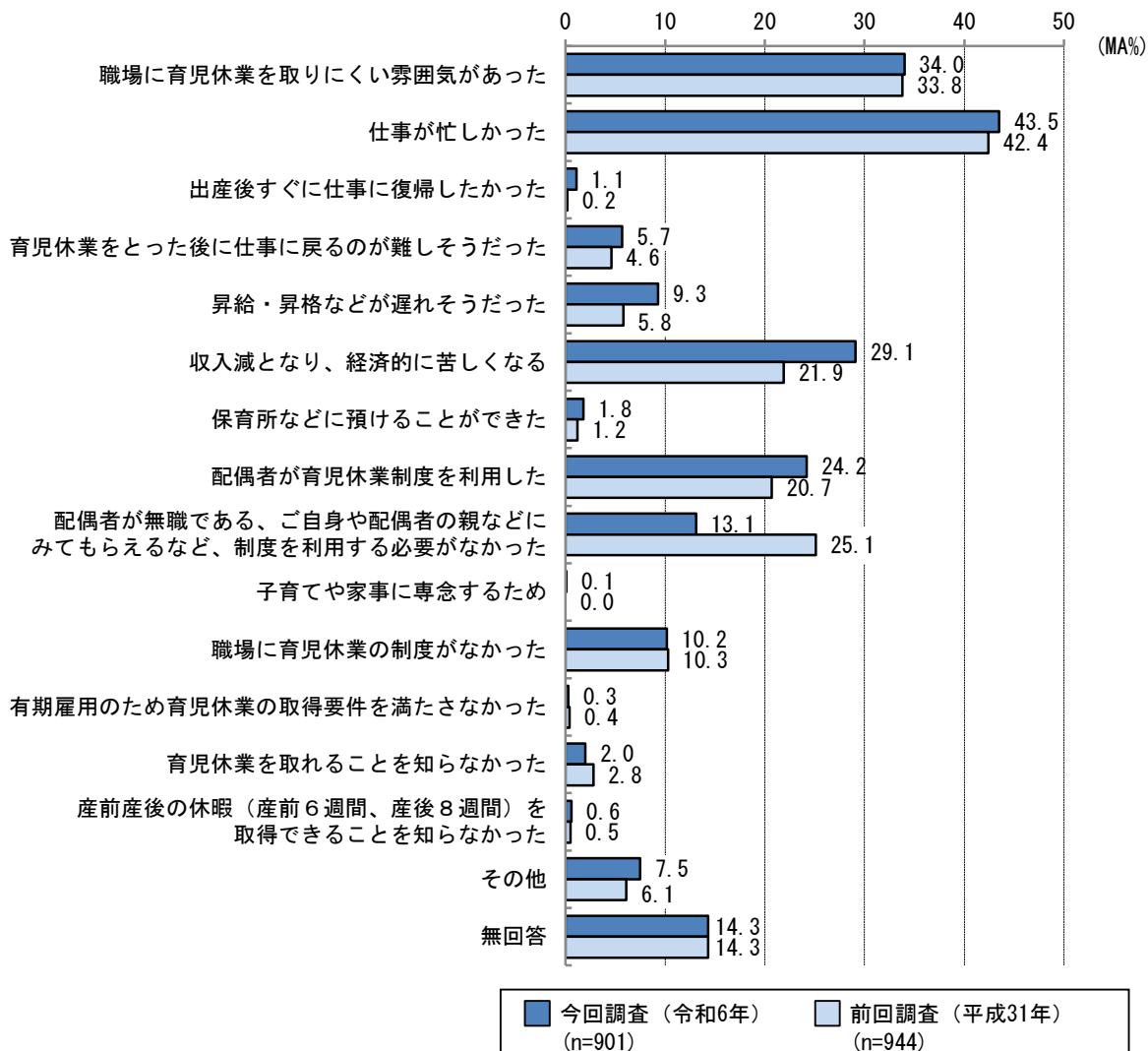
◆「その他」内訳

- ・自営業、在宅ワーカーのため ・転居、夫の転勤 ・仕事の都合で休めなかった
- ・切迫早産、産後うつなど産前産後の体調 ・医師や職場から言われて離職した など

「育児休業を取らずに働いた」、「育児休業を取らずに離職した」母親の、育児休業を取らなかった理由は、「子育てや家事に専念するため」が 29.9%と最も多く、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった」が 17.2%、「仕事が忙しかった」が 14.9%となっています。前回調査に比べて、「昇給・昇格などが遅れそうだった」が 11.5 ポイント、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 6.9 ポイント増加し、「子育てや家事に専念するため」が 6.7 ポイント減少しています。

「育児休業を取らずに働いた」、「育児休業を取らずに離職した」方のみ

■父親の育児休業を取らなかった理由



◆「その他」内訳

- ・自営業、個人事業主
- ・役員、管理職のため
- ・転職したばかり、海外赴任のため
- ・年休、有給、時短で対応
- ・在宅勤務で家にいた
- ・学生だった
- ・職場の状況で休めない
- ・職場に制度がない、浸透していない
- ・妻が専業主婦または育休を取った、里帰り出産、祖父母のサポートがある
- ・母親が希望しなかった
- ・必要を感じなかった
- など

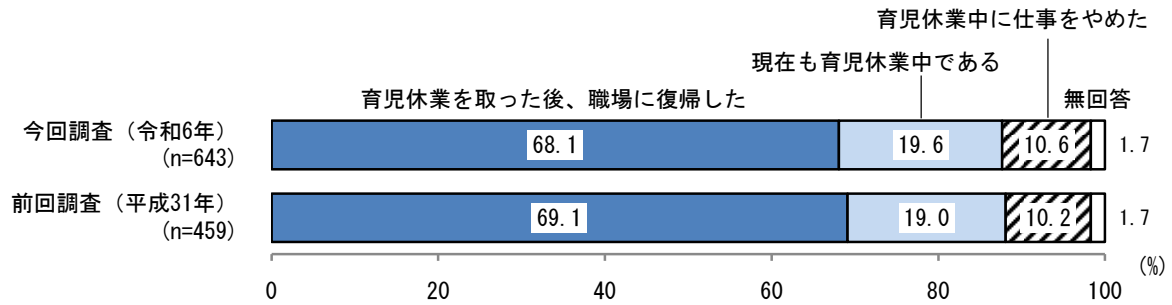
「育児休業を取らずに働いた」、「育児休業を取らずに離職した」父親の、育児休業を取らなかった理由は「仕事が忙しかった」が 43.5%と最も多く、次いで、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 34.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 29.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 24.2%となっています。前回調査に比べて、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 7.2 ポイント増加し、「配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 12.0 ポイント減少しています。

〔2〕育児休業後の職場復帰

問13で「育児休業を取った、あるいは今取っている」とお答えの方のみ

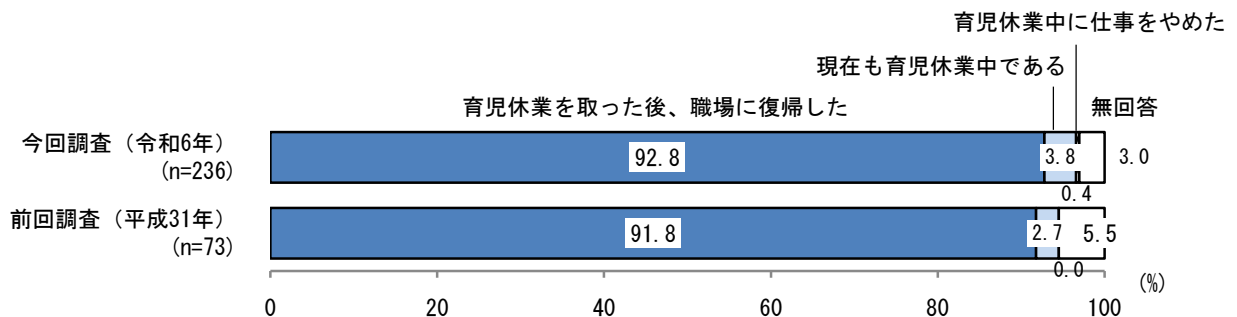
問13-1 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか(それぞれ1つに○)。

■母親の職場復帰の状況



「育児休業を取った、あるいは今取っている」母親の、育児休業後の職場復帰の状況は、「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が 68.1%と最も多く、次いで、「現在も育児休業中である」が 19.6%、「育児休業中に仕事をやめた」が 10.6%となっています。

■父親の職場復帰の状況



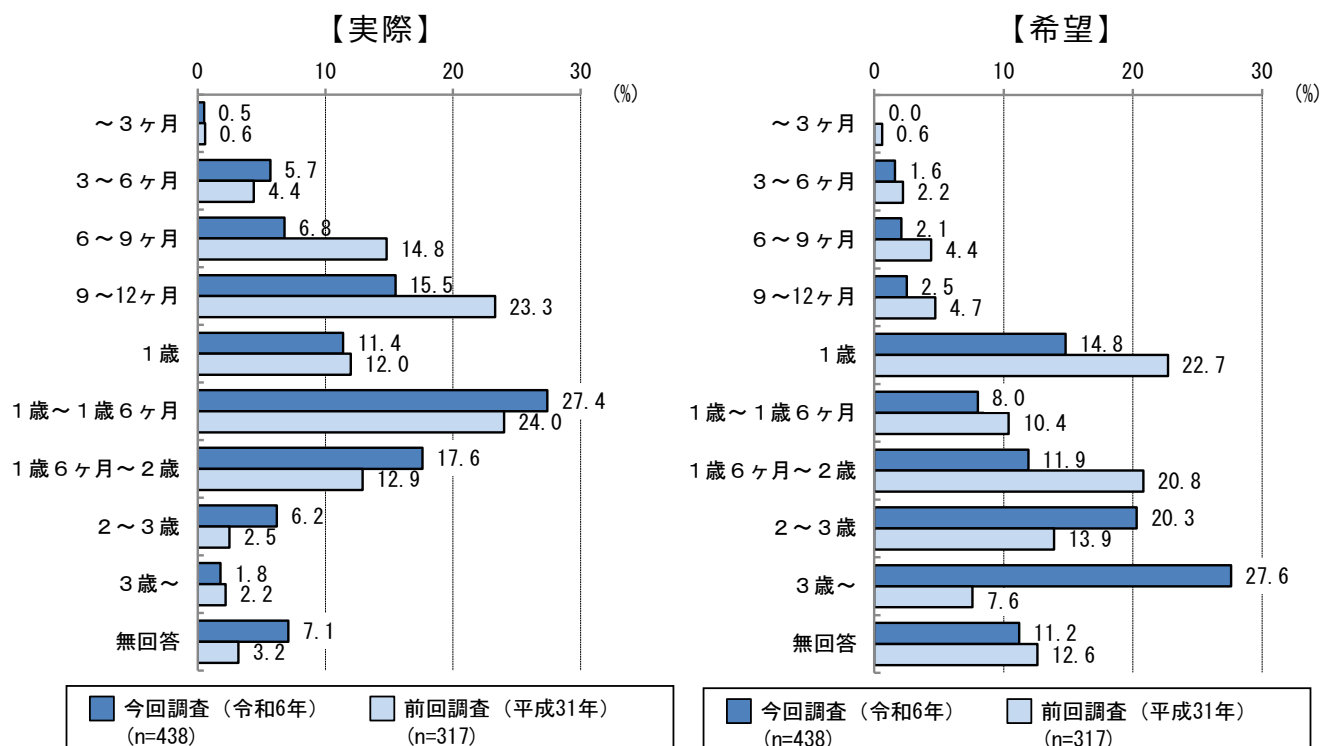
「育児休業を取った、あるいは今取っている」父親の、育児休業後の職場復帰については、「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が 92.8%と最も多く、次いで、「現在も育児休業中である」が 3.8%となっています。

〔3〕職場復帰の時期

問13-1で「育児休業を取った後、職場に復帰した」とお答えの方のみ

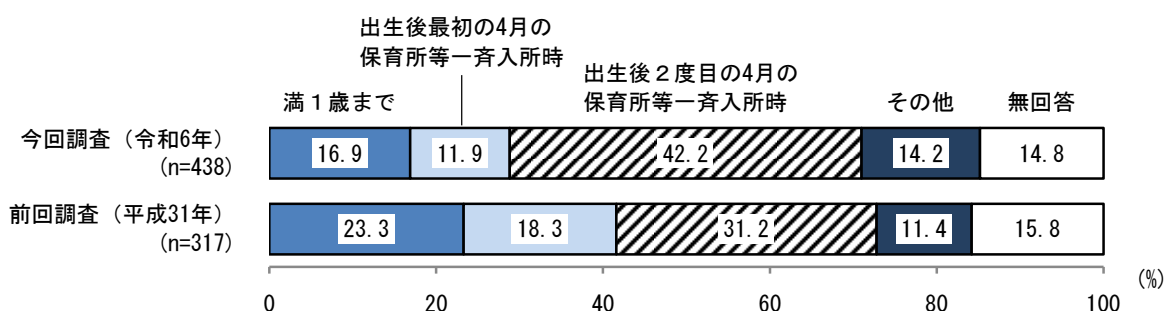
問13-2 育児休業を取った後、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったですか()内に数字を記入)。
それはどのようなタイミングかも合わせてお答えください(1つに○)。

■母親の職場復帰の時期



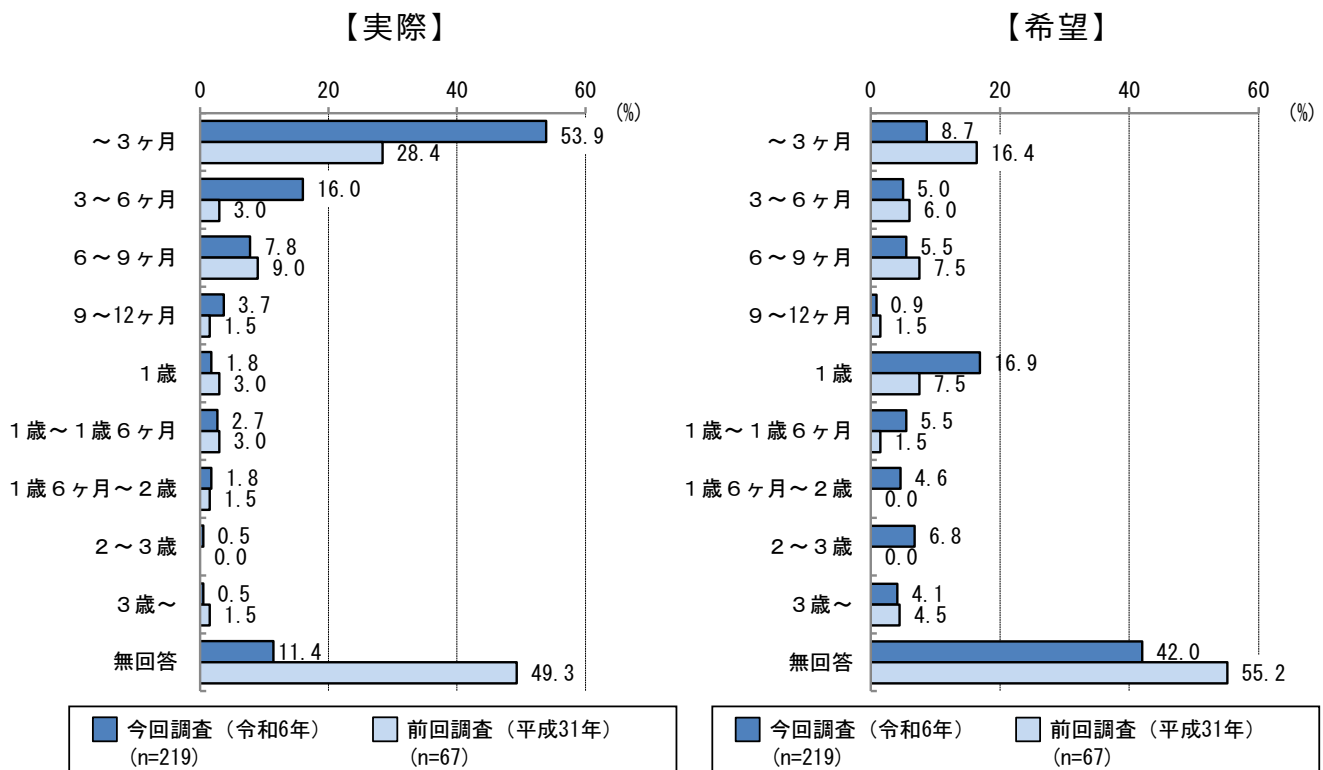
「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」母親の、実際の職場復帰の時期は、「1歳～1歳6ヶ月」が27.4%と最も多く、次いで、「1歳6ヶ月～2歳」が17.6%となっています。希望の職場復帰の時期は、「3歳～」が27.6%と最も多く、次いで、「2～3歳」が20.3%となっています。育児休業の取得期間は、前回調査に比べて、実際、希望ともに長くなっている傾向がうかがえます。

■母親の希望の職場復帰のタイミング



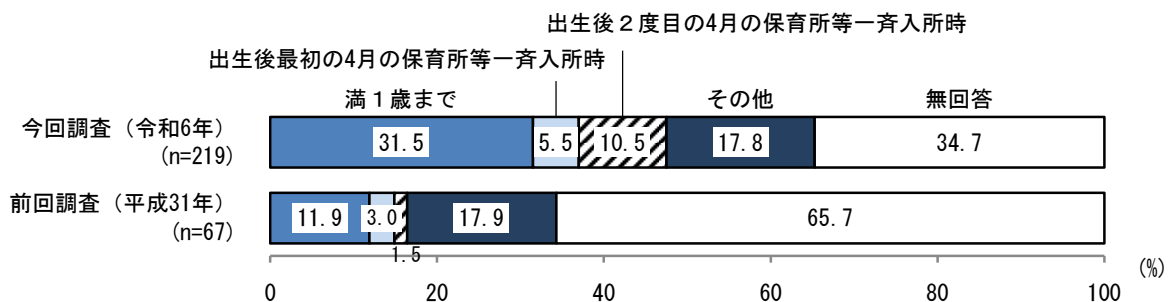
また、母親の希望の職場復帰のタイミングは、「出生後2度目の4月の保育所一斉入所時」が42.2%と最も多く、次いで、「満1歳まで」が16.9%となっています。

■父親の職場復帰の時期



「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」父親の、実際の職場復帰の時期は、「～3ヶ月」が53.9%と最も多く、希望の職場復帰の時期は、「1歳」が16.9%と最も多くなっています。前回調査に比べて、1歳以降での復帰を希望する父親が増えています。

■父親の希望の職場復帰のタイミング

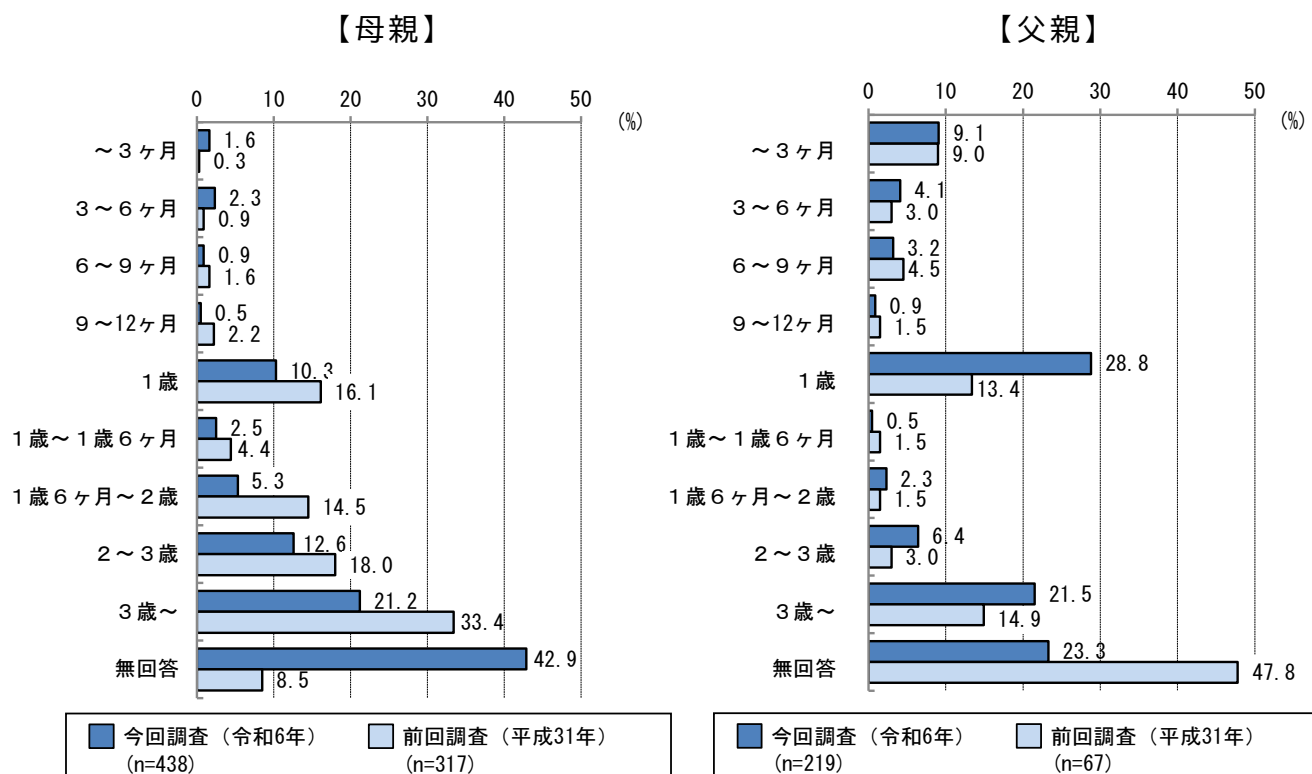


また、父親の希望の職場復帰のタイミングは、「満1歳まで」が31.5%と最も多くなっています。

〔4〕3歳まで休暇を取得できた場合の職場復帰時期の希望

問13-1で「育児休業を取った後、職場に復帰した」とお答えの方のみ

問13-3 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか()内に数字を記入)。



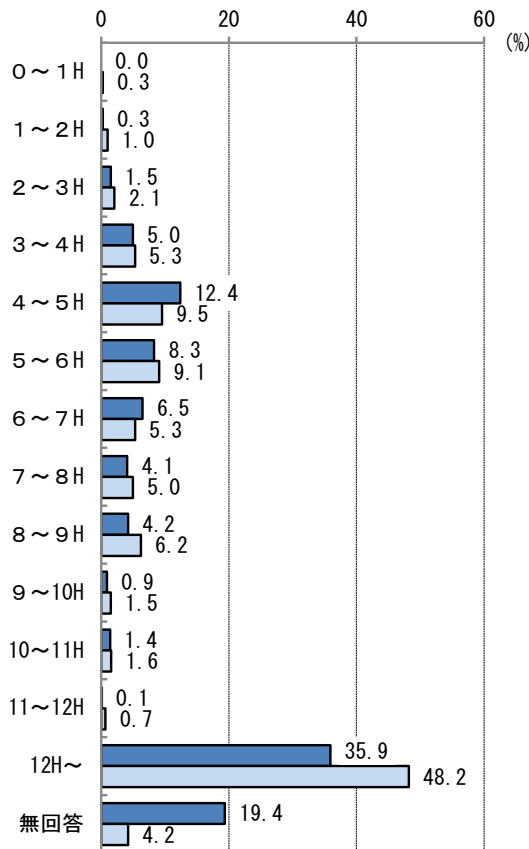
育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の、母親の希望の取得期間は、「3歳～」が21.2%と最も多く、次いで、「2～3歳」が12.6%となっています。父親の希望の取得期間は、「1歳」が28.8%と最も多く、次いで、「3歳～」が21.5%となっています。

〔5〕子どもと一緒に過ごす時間

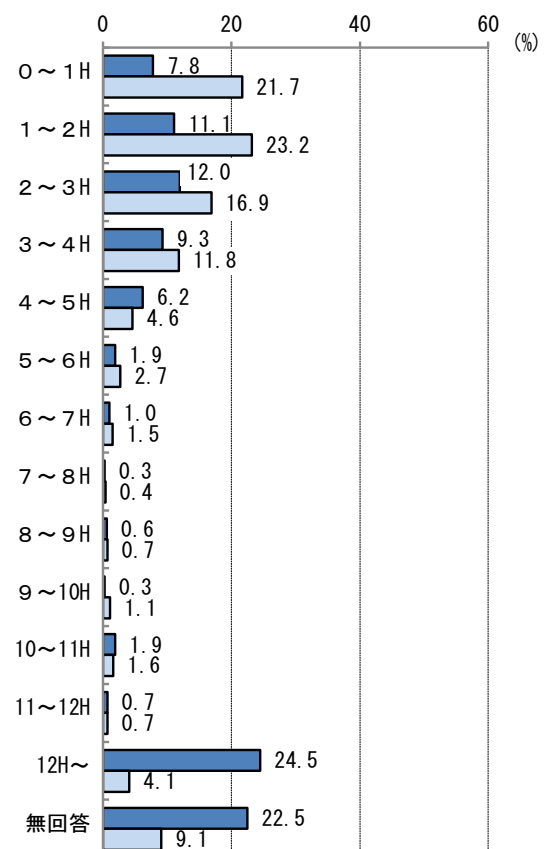
問14 1日当たり子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。
それぞれ1週間の平均的な時間をお答えください(()内に数字を記入)。また、
その時間は十分だと思いますか。下記枠内の選択肢の中からお答えください
(番号を1つ記入)。

■平日に子どもと一緒に過ごす時間

【母親】

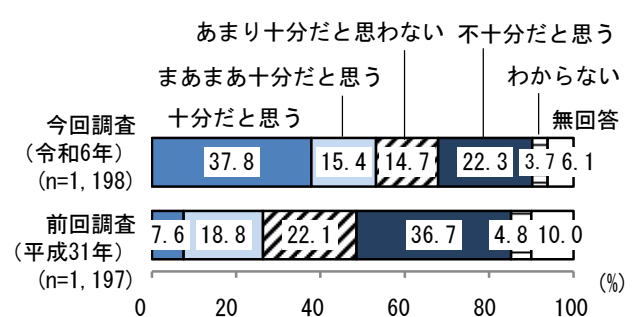
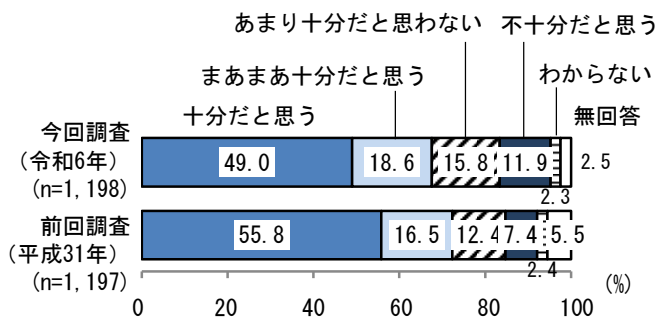


【父親】



■ 今回調査 (令和6年) (n=1, 198) ■ 前回調査 (平成31年) (n=1, 197)

■ 今回調査 (令和6年) (n=1, 198) ■ 前回調査 (平成31年) (n=1, 197)

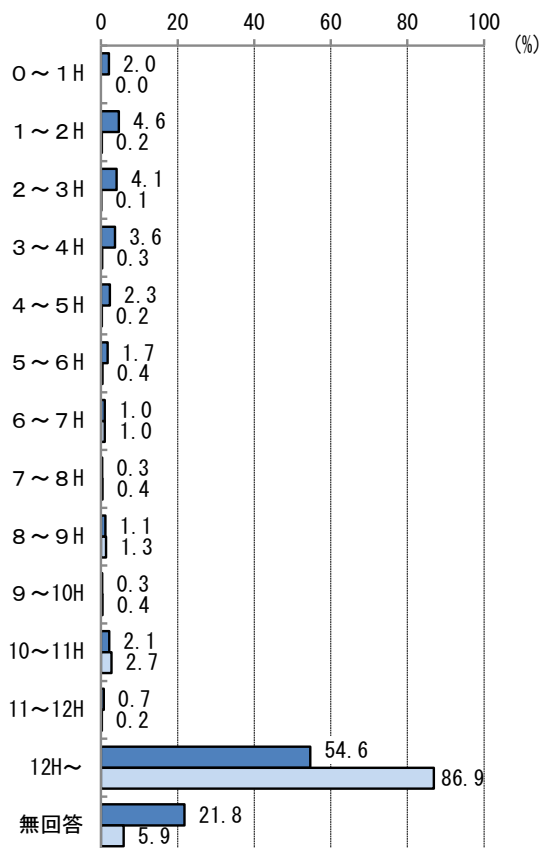


平日に子どもと一緒に過ごす時間について、母親は「12 時間～」が 35.9%と最も多く、父親も「12 時間～」が 24.5%と最も多くなっています。またその時間については、『十分』(「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計)が、母親 67.6%、父親 53.2%と多く、前回調査に比べて、父親の充足感が大きく上がっています。

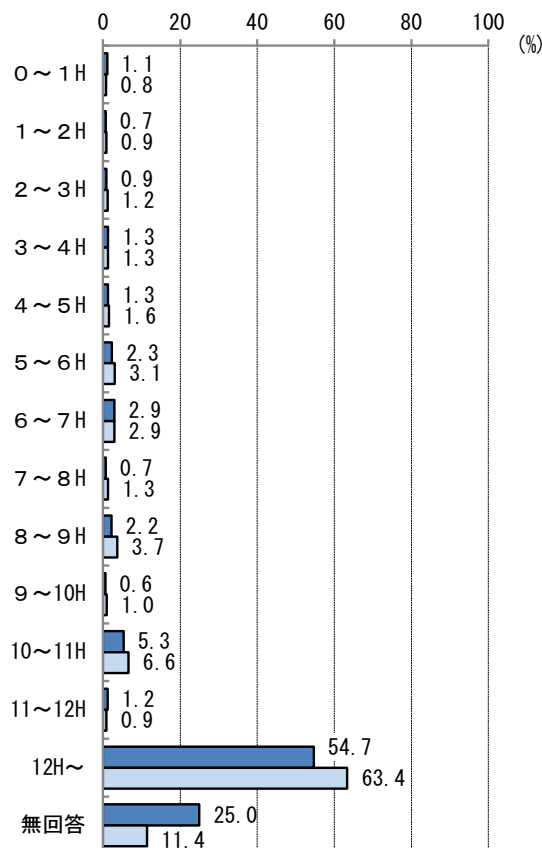
Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

■休日に子どもと一緒に過ごす時間

【母親】

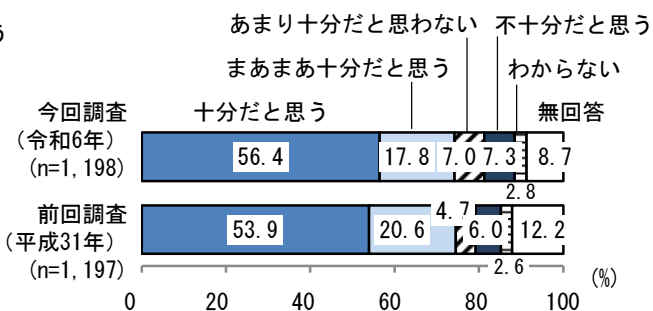
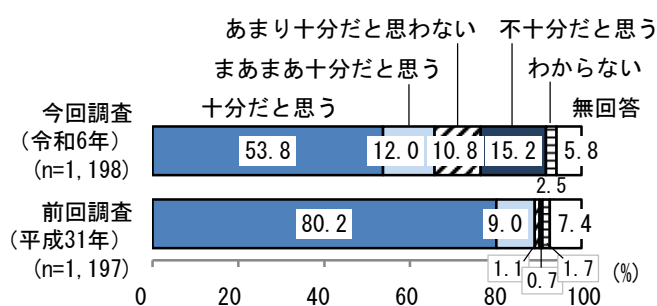


【父親】



■ 今回調査 (令和6年) (n=1, 198)
■ 前回調査 (平成31年) (n=1, 197)

■ 今回調査 (令和6年) (n=1, 198)
■ 前回調査 (平成31年) (n=1, 197)

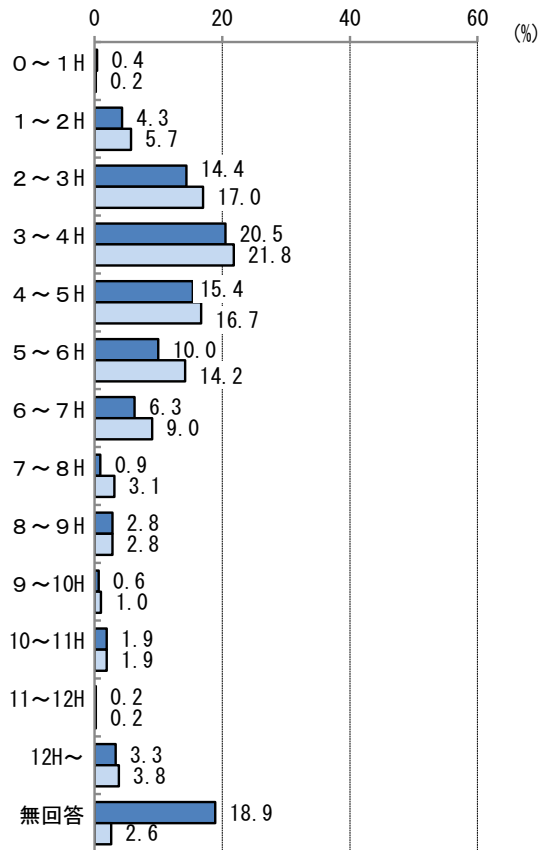


休日に子どもと一緒に過ごす時間について、母親は「12 時間～」が 54.6%と最も多く、父親も「12 時間～」が 54.7%と最も多くなっています。またその時間については、『十分』（「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計）が、母親 65.8%、父親 74.2%と多くなっています。

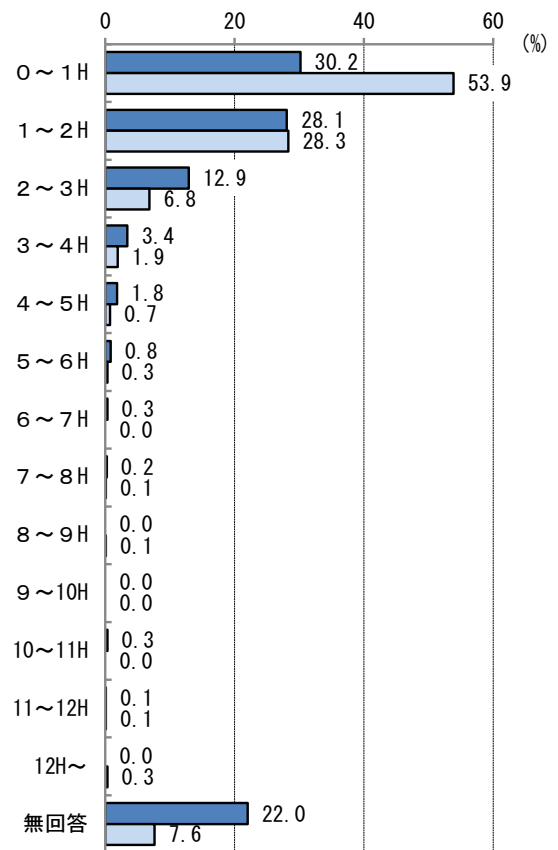
〔6〕1日の家事時間

問15 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。
それぞれ1週間の平均的な時間を記入してください。

【母親】



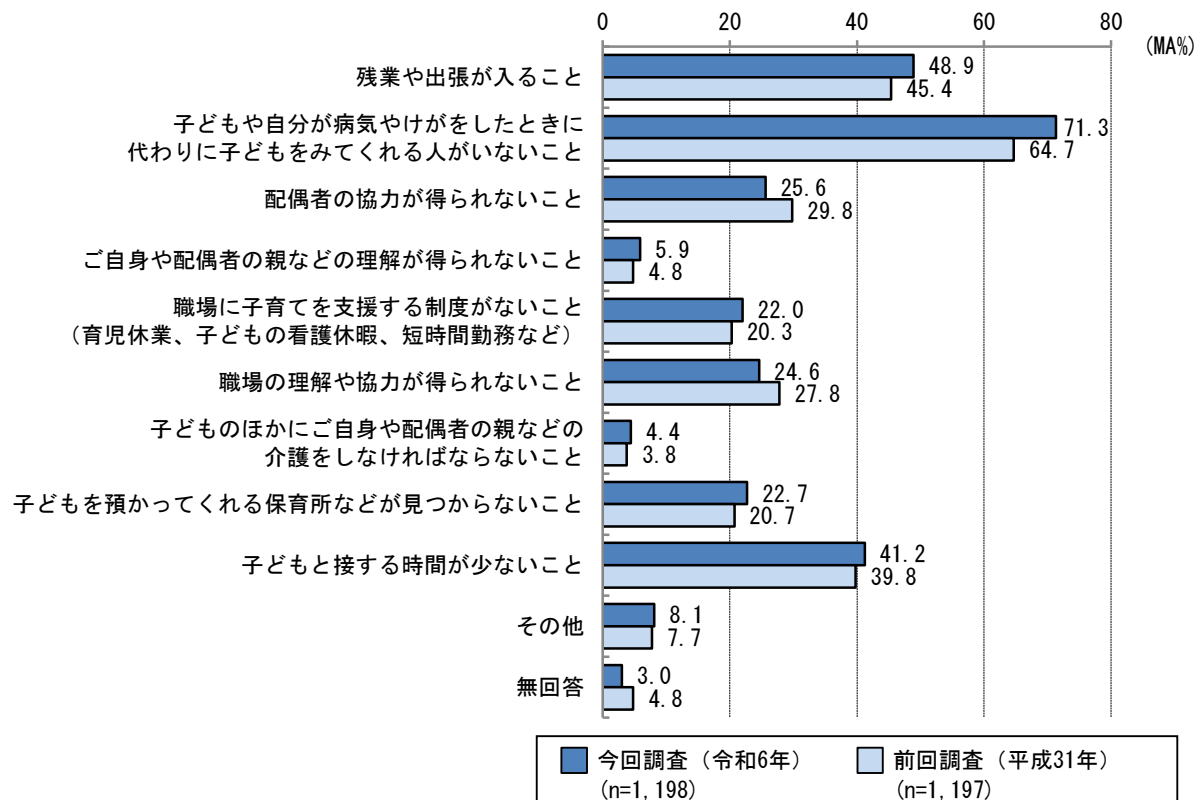
【父親】



母親の1日あたりの家事時間は、「3～4時間」が 20.5%と最も多く、次いで、「4～5時間」が 15.4%、「2～3時間」が 14.4%となっています。父親は、「0～1時間」が 30.2%と最も多く、次いで、「1～2時間」が 28.1%、「2～3時間」が 12.9%となっています。

〔7〕仕事と子育てを両立させる上での課題

問16 仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか
(当てはまるものすべてに○)。



◆「その他」内訳

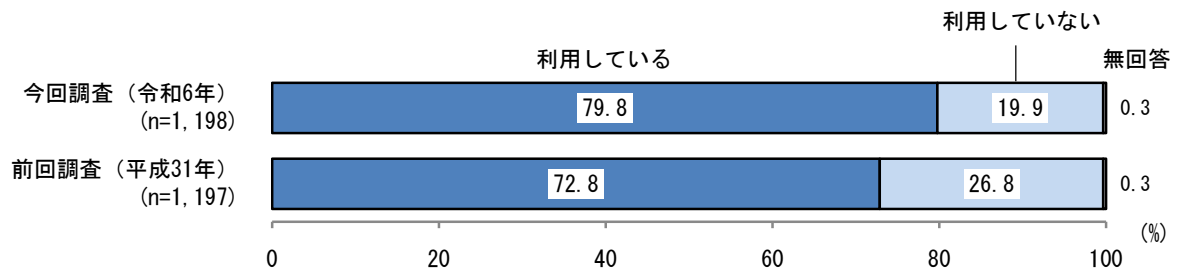
- ・気軽に預けられる人がいない
- ・親や配偶者の協力が得られない
- ・病児保育利用の難しさ
- ・土日祝日、早朝や夜間の保育が利用できない
- ・在宅勤務、短時間勤務、休暇の取りやすさなど職場の環境が整っていない
- ・職場への気がね
- ・金銭面で余裕がない、公的な補助の充実、育児時間と収入のバランス
- ・家事の効率化
- ・家事や子どもに向き合う時間が足りない
- ・自分の時間、リフレッシュの時間がない、心の余裕がない
- ・体力的負担
- ・母親の負担の多さ
- ・発達障害のある子どもへの対応
- など

仕事と子育てを両立させる上で課題と思うことは、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が 71.3%と最も多く、次いで、「残業や出張が入ること」が 48.9%、「子どもと接する時間が少ないこと」が 41.2%となっています。前回調査に比べて、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が 6.6 ポイント増加しています。

6 平日に定期的に利用している施設やサービス

〔1〕幼稚園・保育所などの施設やサービスの平日の定期的な利用

問17 平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所、認定こども園などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。

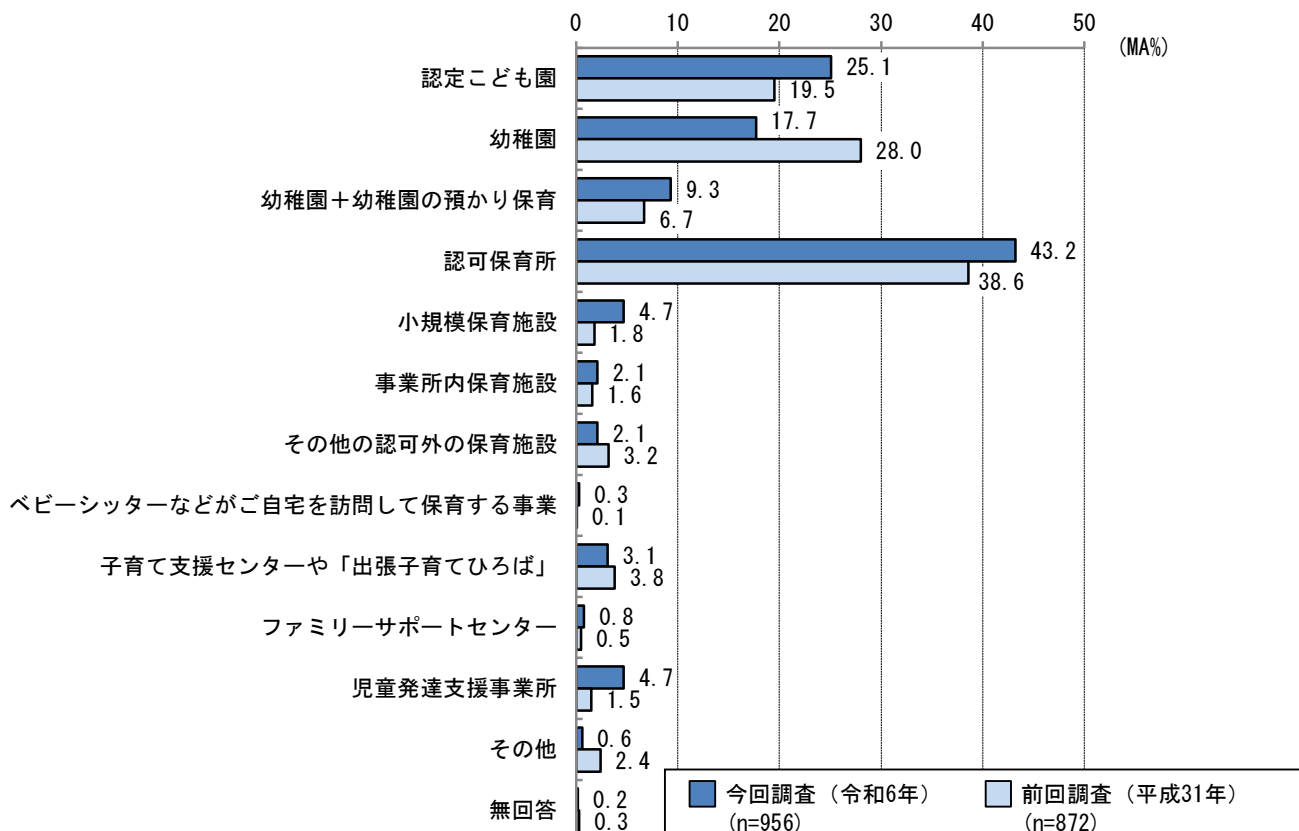


平日に、幼稚園や保育所などの施設やサービスを定期的に「利用している」人は 79.8%となっています。

〔2〕平日に定期的に利用している施設やサービス

問17で「利用している」とお答えの方のみ

問17-1 お子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されているサービスについてお答えください（当てはまるものすべてに○）。
また「その他の認可外の保育施設」を選ばれた方は施設名もご記入ください。



Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

※各施設やサービスの内容については以下のとおり

「認定こども園」…施設の中に幼稚園と保育所がある施設

「幼稚園」…通常の就園時間だけ利用している

「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」…通常の就園時間に加え、いつも時間を延長して預けている

「認可保育所」…公立保育所や民間保育園

「小規模保育施設」…かいせいプチ保育園、のいちご保育園、ひじりとよかわ保育園、フェアリーキッズ
桜井、れもんのこ彩都保育園、どんぐり保育園など主に3歳未満の子どもをお
おむね6～19人預かる施設

「事業所内保育施設」…企業が主に従業員の子どもの預かる施設

「ファミリーサポートセンター」…市が設置したファミリーサポートセンターに登録している子育て経験者
等が時間単位で子どもを預かるサービス

「児童発達支援事業所」…就学前の子どもが療育のために通う施設

◆「その他の認可外の保育施設」内訳 ※()内は同様意見の件数

aiwin インターナショナルスクール、kid`s duo international 豊中(2)

ココアスキッズインターナショナルスクール、大阪インターナショナルスクール付属園

キンダーキッズ(2)、Global Village 千里山田校、English School CLOVER 保育園、

川西フレッサ保育園、星児園七夕、紅葉夢保育園(院内保育)

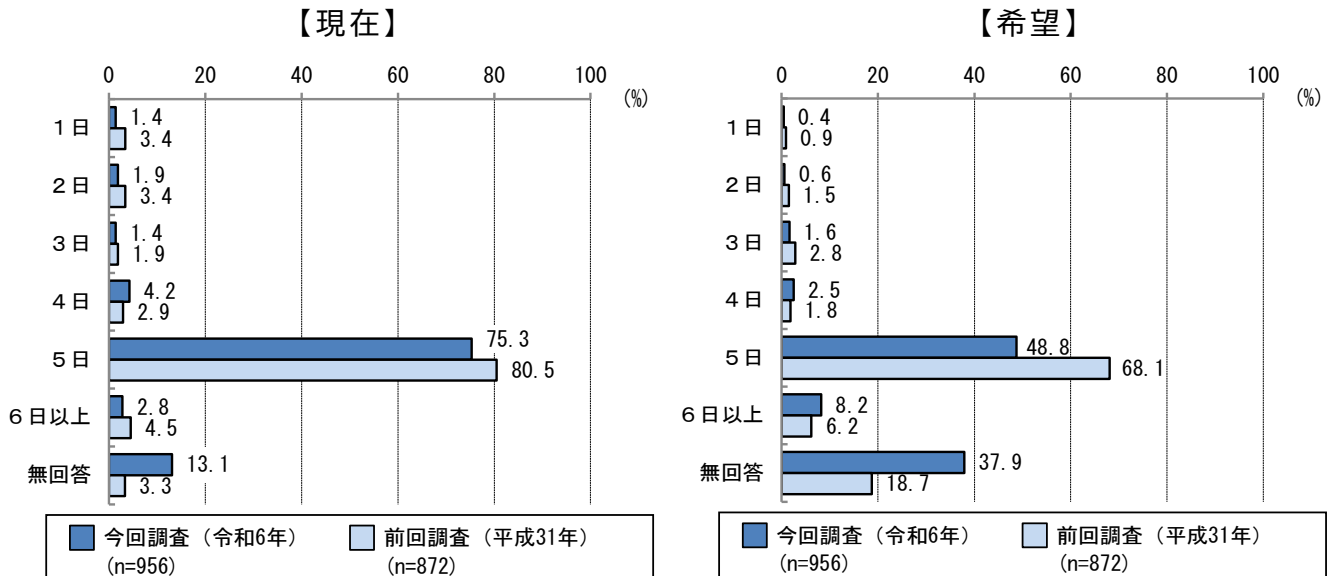
平日に定期的に利用している幼稚園や保育所などの施設やサービスでは、「認可保育所」が43.2%と最も多く、次いで、「認定こども園」が25.1%、「幼稚園」が17.7%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が9.3%となっています。前回調査に比べて、「認定こども園」が5.6ポイント、「認可保育所」が4.6ポイント増加し、「幼稚園」が10.3ポイント減少しています。

〔3〕平日に定期的に利用している施設やサービスの利用状況

問17で「利用している」とお答えの方のみ

問17-2 現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日当たり何時間(何時から何時まで)利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか()内に数字を記入、24時間で表記)。

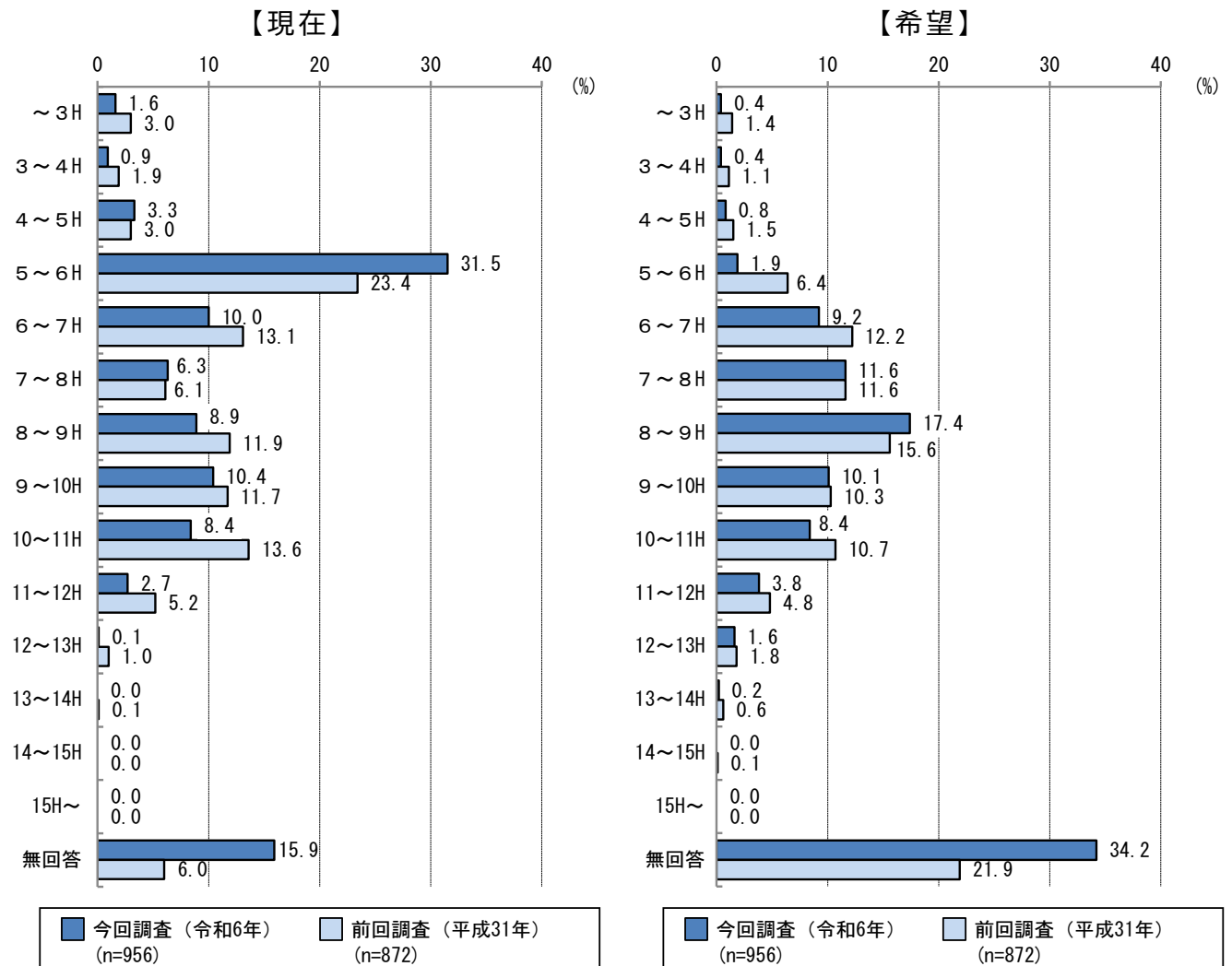
■1週あたりの利用日数



平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを「利用している」方の、1週あたりの利用日数は、現在では「5日」が 75.3%と最も多く、希望も「5日」が 48.8%と最も多くなっています。

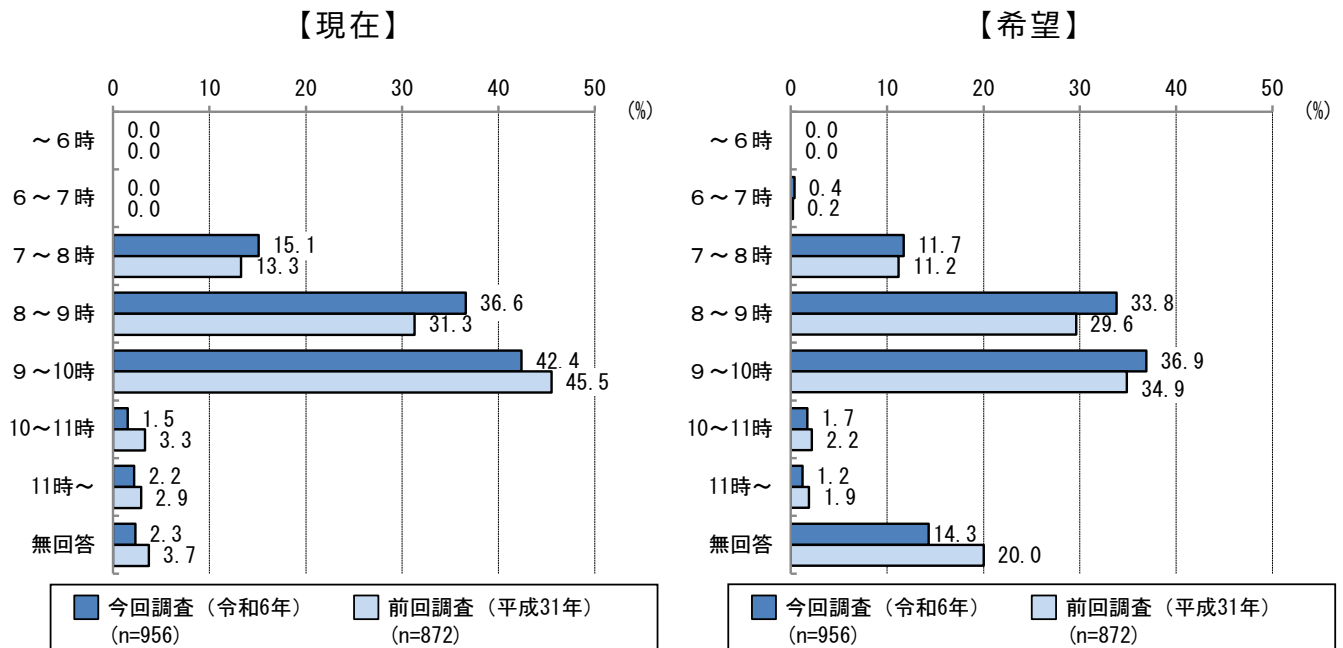
Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

■1日あたりの利用時間



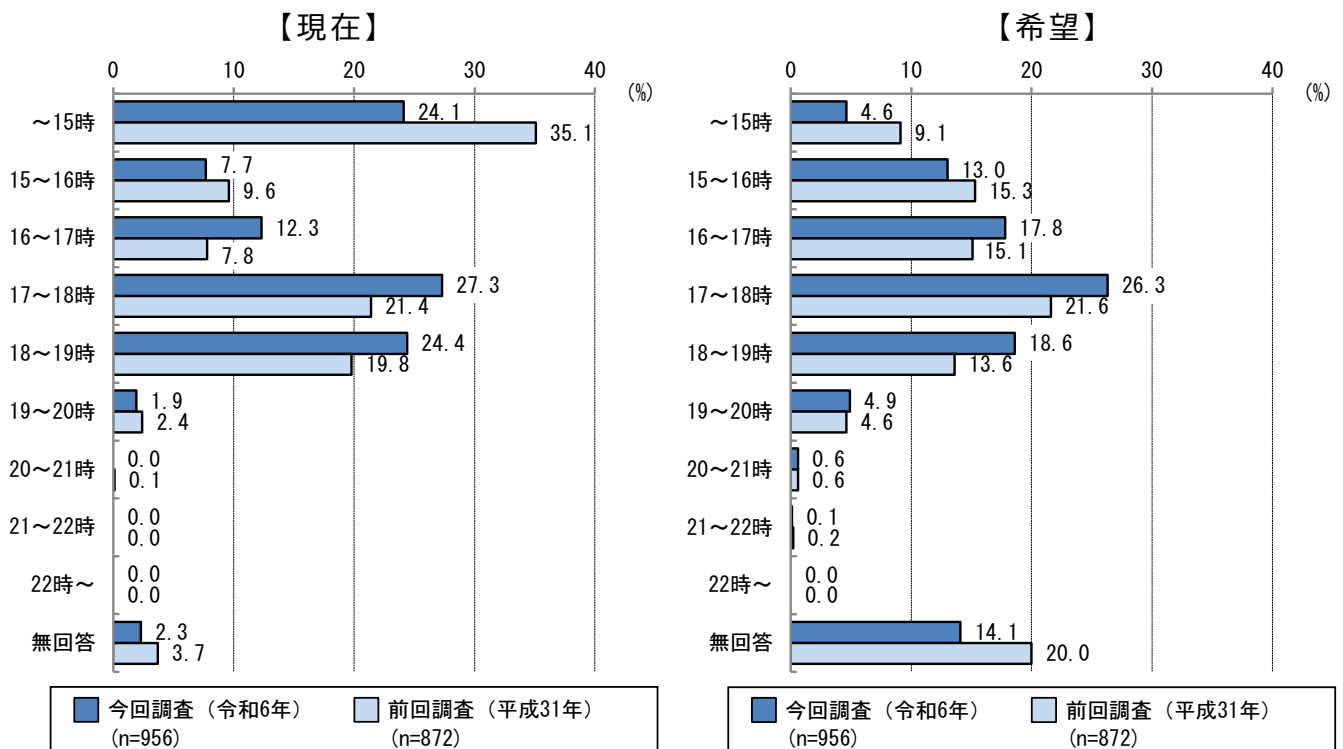
1日あたりの利用時間は、現在では「5～6時間」が 31.5%と最も多く、希望は「8～9時間」が 17.4%と最も多くなっています。

■利用開始時間



現在の利用開始時間は、「9～10 時」が 42.4%と最も多く、次いで、「8～9時」が 36.6%となっています。希望の開始時間も、「9～10 時」が 36.9%と最も多く、次いで、「8～9時」が 33.8%となっています。

■利用終了時間

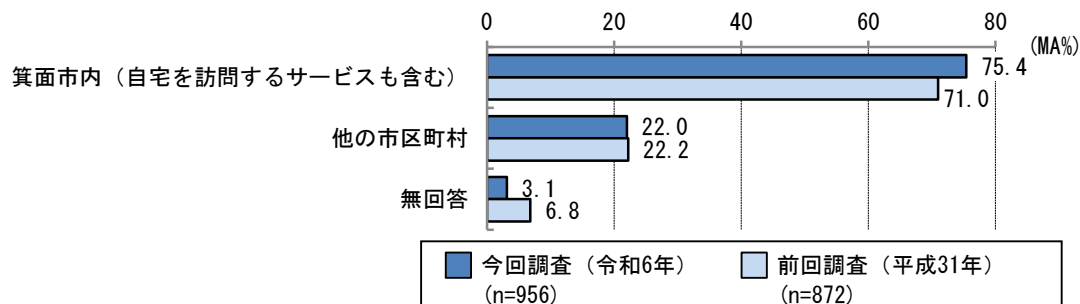


現在の利用終了時間は、「17～18 時」が 27.3%と最も多く、次いで、「18～19 時」が 24.4%、「～15 時」が 24.1%となっています。希望の終了時間は、「17～18 時」が 26.3%と最も多く、次いで、「18～19 時」が 18.6%、「16～17 時」が 17.8%となっています。

〔4〕利用している施設やサービスの場所

問17で「利用している」とお答えの方のみ

問17-3 現在、利用されている施設などはどこにありますか。「他の市区町村」を選択された方は、その市区町村名についても()内に記入してください。



◆「他の市区町村」内訳 ※()内は同様意見の件数

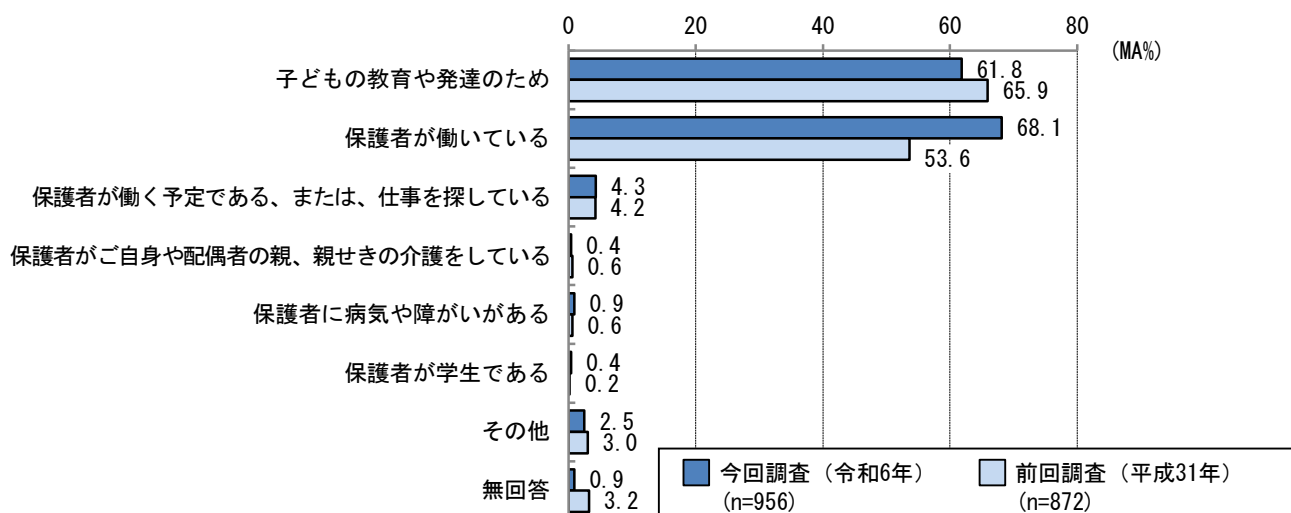
池田市(44)、吹田市(42)、豊中市(34)、能勢町(27)、茨木市(19)、猪名川町(4)、川西市(3)
豊能町(2)、宝塚市(1)、大阪市(1)、守口市(1)、八尾市(1)

平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを「利用している」方の、利用している施設やサービスの場所は、「箕面市内（自宅を訪問するサービスも含む）」が75.4%、「他の市区町村」が22.0%となっています。

〔5〕施設やサービスを利用している理由

問17で「利用している」とお答えの方のみ

問17-4 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用されている理由は何ですか(当てはまるものすべてに○)。



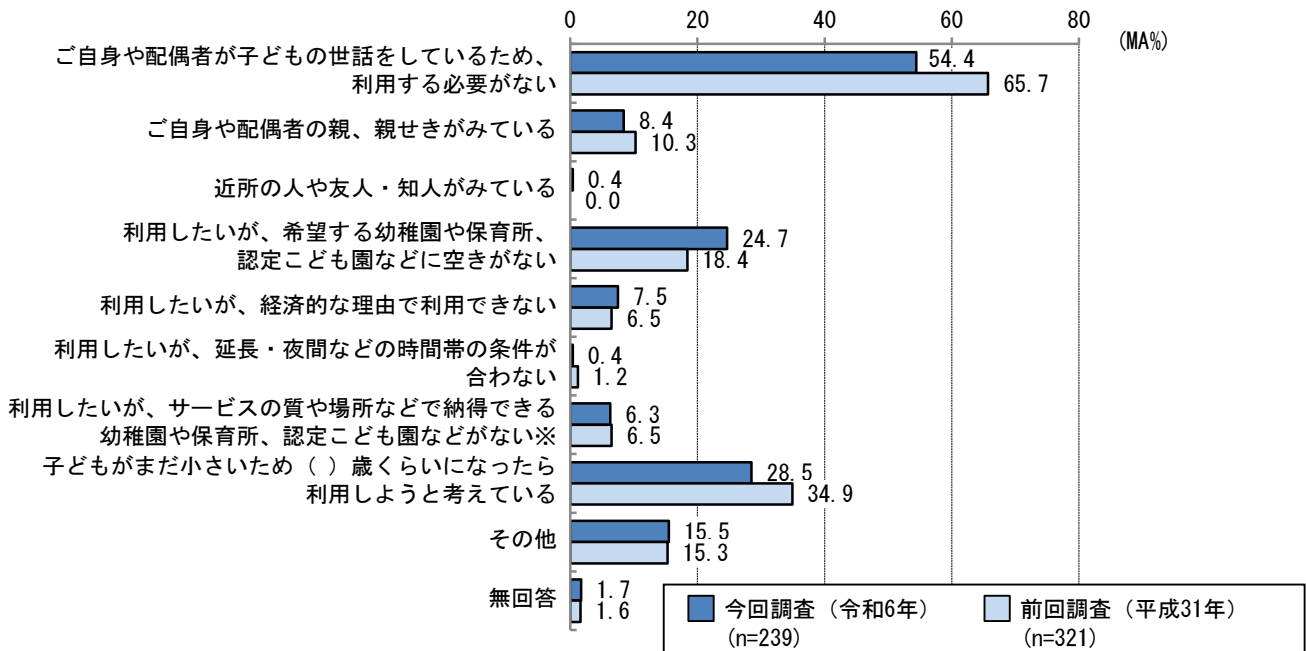
平日に幼稚園や保育所などの施設やサービスを「利用している」理由は、「保護者が働いている」が68.1%と最も多く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が61.8%となっています。前回調査に比べて、「保護者が働いている」が14.5ポイント増加しています。

〔6〕施設やサービスを利用していない理由

問17で「利用していない」とお答えの方のみ

問17-5 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか(当てはまるものすべてに○)。

また、「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」を選ばれた方は年齢もご記入ください。

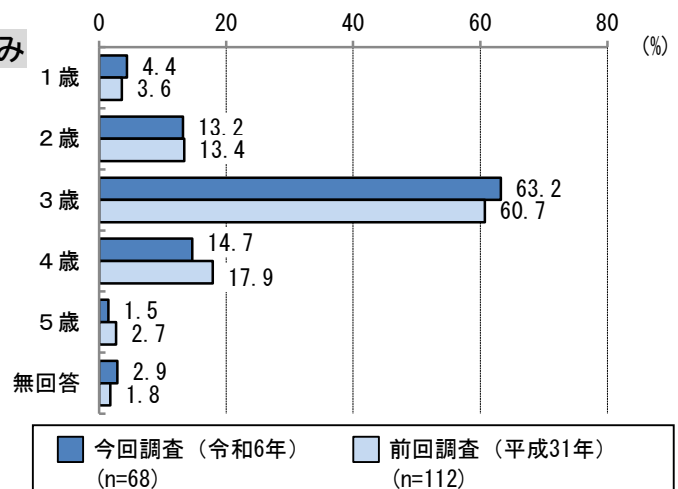


※前回調査では、「利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所がない」

幼稚園や保育所などの施設やサービスを「利用していない」理由は、「ご自身や配偶者が子どもの世話をしているため、利用する必要がない」が 54.4%と最も多く、次いで、「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」が 28.5%、「利用したいが、希望する幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない」が 24.7%となっています。

「子どもがまだ小さいため」とお答えの方のみ

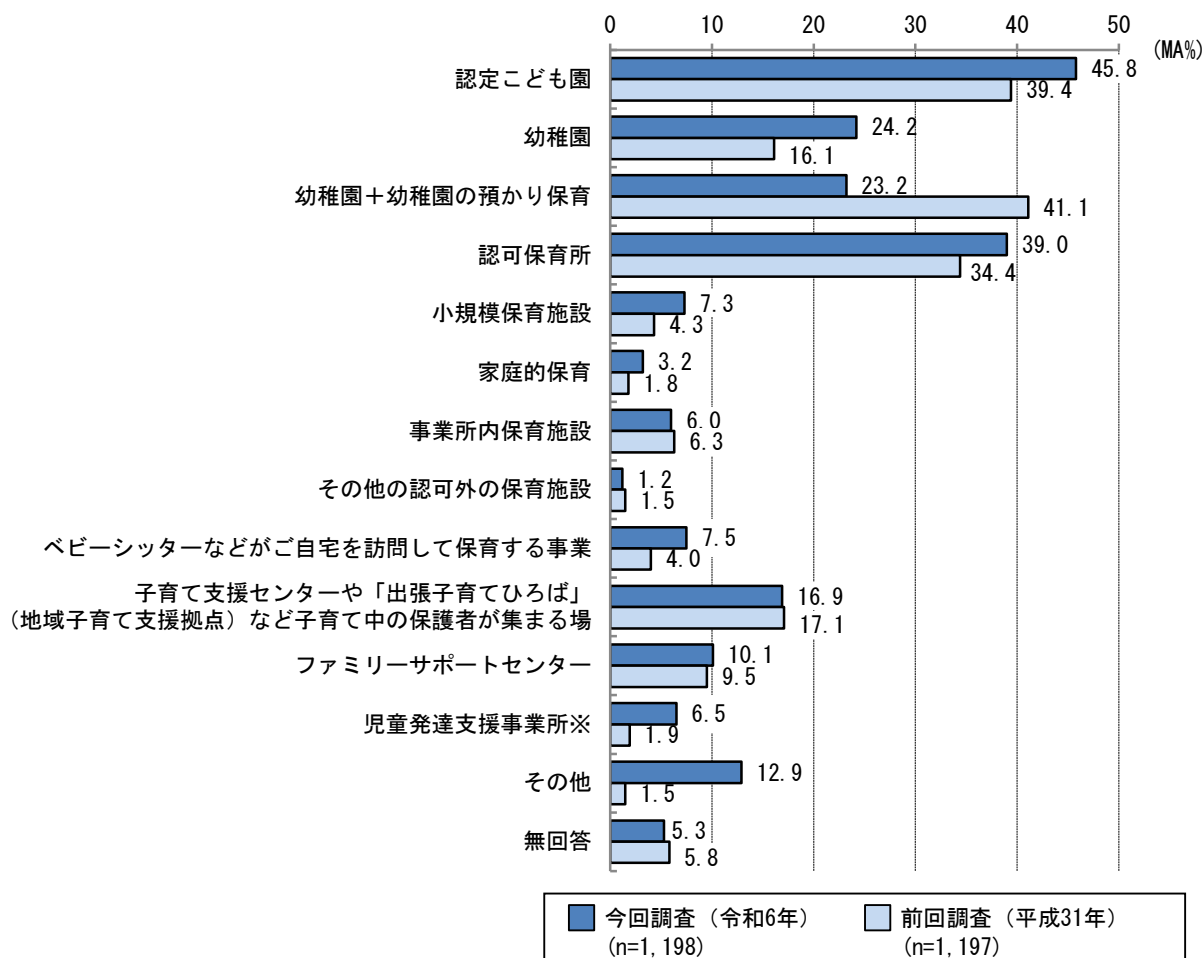
■幼稚園や保育所などの施設やサービスの利用を考える子どもの年齢



平日に幼稚園や保育所などの施設やサービスの定期的な利用を考える子どもの年齢は、「3歳」が 63.2%と最も多くなっています。

〔7〕平日に定期的に利用したい施設やサービス

問18 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないに関わらず、平日（月曜日から金曜日）にお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスは何ですか（当てはまるものすべてに○）。
また、「その他の認可外の保育施設」を選択された方は施設名もご記入ください。なお、これらの施設やサービスを利用するには、一定の利用料が発生します。



※前回調査では、「児童発達支援事業所〔あいあい園〕（保護者同伴の通園で療育を行う施設）」

※各施設やサービスの内容については以下のとおり（問 17-1 と重複するものは省略）
「家庭的保育」…保育者の自宅やマンションなどの一室で子どもを預かるサービス

◆「その他の認可外の保育施設」内訳 ※（ ）内は同様意見の件数
キンダーキッズ（2）、キッズデュオインターナショナルスクール、
ココアスキッズ、Global Village、KDI 豊中、インターナショナルスクール（地区問わず）
ブルードルフィンズ千里中央校、スマイルキッズ、にこにこキッズ

今後、平日に定期的に利用したい施設やサービスは、「認定こども園」が 45.8%と最も多く、次いで、「認可保育所」が 39.0%、「幼稚園」が 24.2%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 23.2%となっています。前回調査に比べて、「幼稚園」が 8.1 ポイント、「認定こども園」が 6.4 ポイント増加し、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が 17.9 ポイント減少しています。

【平日に定期的に利用したい施設やサービス 現在の利用施設別】

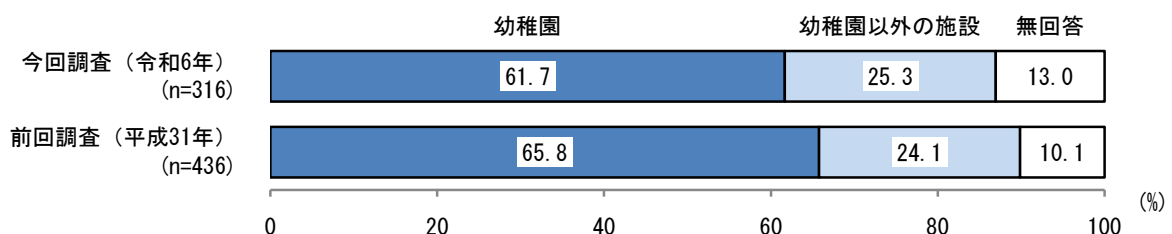
(MA%)

		n	今後利用したい施設やサービス													
			認定こども園	幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	問いて保育する事業	ベビーシッターなどがご自宅を訪	子育て支援センターや「出張子育てひろば」（地域子育て支援拠点）など子育て中の保護者が集まる場	ファミリーサポートセンター	児童発達支援事業所	その他
現在利用している施設やサービス	認定こども園	240	203	38	53	34	11	4	9	2	13	26	20	21	18	11
		100	84.6	15.8	22.1	14.2	4.6	1.7	3.8	0.8	5.4	10.8	8.3	8.8	7.5	4.6
	幼稚園	169	41	109	56	9	4	6	17	0	9	18	13	14	24	3
		100	24.3	64.5	33.1	5.3	2.4	3.6	10.1	0	5.3	10.7	7.7	8.3	14.2	1.8
	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	89	35	19	45	21	5	4	5	0	6	10	10	4	26	5
		100	39.3	21.3	50.6	23.6	5.6	4.5	5.6	0	6.7	11.2	11.2	4.5	29.2	5.6
	認可保育所	413	128	33	53	300	15	9	16	1	27	56	39	23	40	30
		100	31.0	8.0	12.8	72.6	3.6	2.2	3.9	0.2	6.5	13.6	9.4	5.6	9.7	7.3
	小規模保育施設	45	23	4	12	21	21	3	2	0	4	8	3	0	7	4
		100	51.1	8.9	26.7	46.7	46.7	6.7	4.4	0	8.9	17.8	6.7	0	15.6	8.9
事業所内保育施設	20	9	4	9	9	2	3	10	0	2	6	4	3	3	0	
	100	45.0	20.0	45.0	45.0	10.0	15.0	50.0	0	10.0	30.0	20.0	15.0	15.0	0	
その他の認可外の保育施設	20	6	2	3	5	1	1	2	7	6	5	4	1	3	1	
	100	30.0	10.0	15.0	25.0	5.0	5.0	10.0	35.0	30.0	25.0	20.0	5.0	15.0	5.0	

現在利用している施設やサービス別に、利用したい施設やサービスをみると、「幼稚園」利用者では「幼稚園」または「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」の利用希望が多くなっています。また、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」利用者の 39.3%、「認可保育所」利用者の 31.0%、「小規模保育施設」利用者の 51.1%は、「認定こども園」の利用を希望しています。

〔8〕幼稚園の優先度

問18で、幼稚園(「幼稚園」または「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」)に○をつけ、かつ幼稚園以外(1及び4～13)にも○をつけた方のみ
問18-1 どちらでも入れるとしたら、どちらを優先して希望しますか(どちらかに○)。



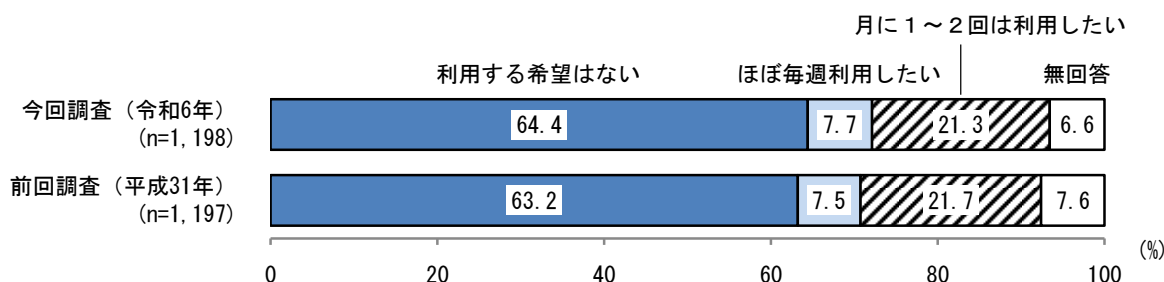
問18で幼稚園を希望し、かつ幼稚園以外にも○をつけた方に、どちらを優先して希望するかをたずねたところ、「幼稚園」が 61.7%、「幼稚園以外の施設」が 25.3%となっています。

7 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な幼稚園や保育所などの利用希望

〔1〕土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問19 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望がありますか。仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます(それぞれ1つに○)。
 「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方は、利用したい時間帯もお答えください()内に24時間で表記)。
 なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

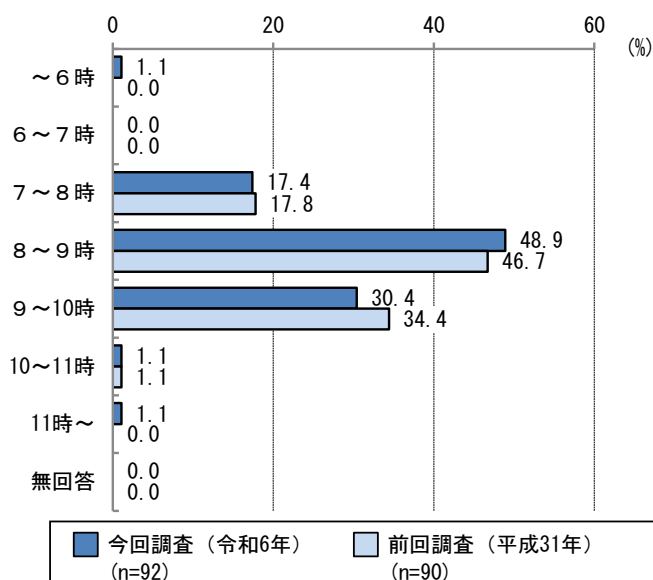
■土曜日の利用希望



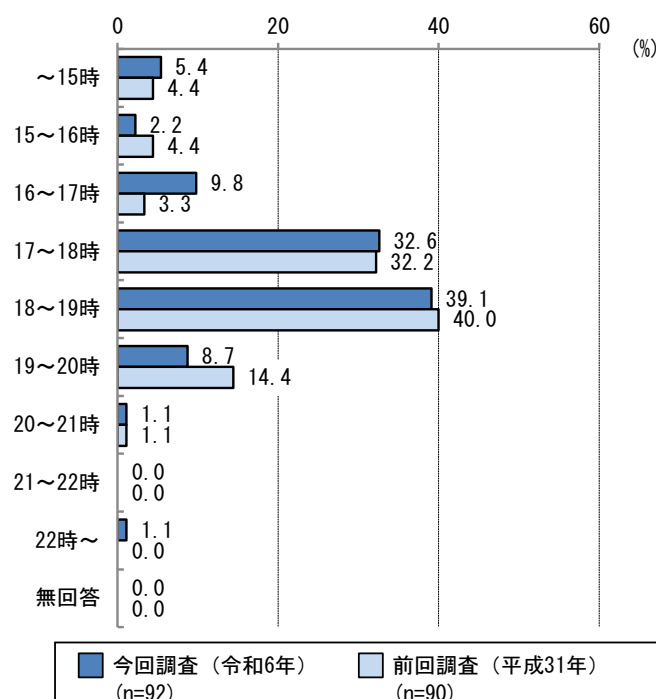
幼稚園や保育所などの土曜日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が 7.7%、「月に1～2回は利用したい」が 21.3%で、利用希望者は合計 29.0%となっています。

■土曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望利用時間

【開始時間】



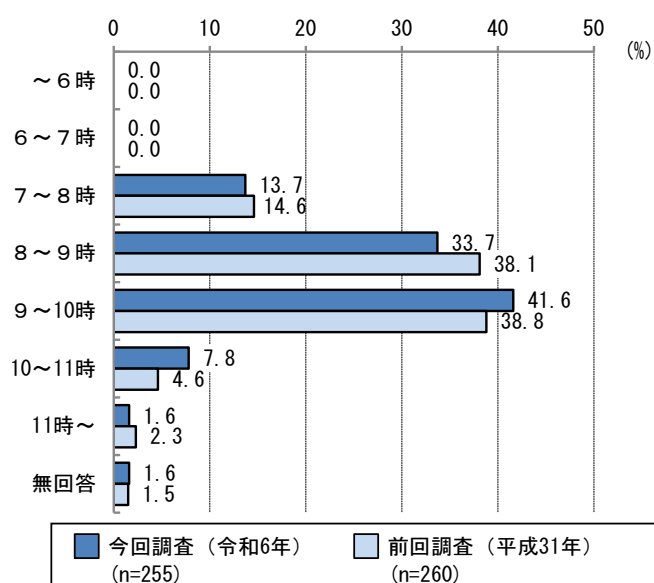
【終了時間】



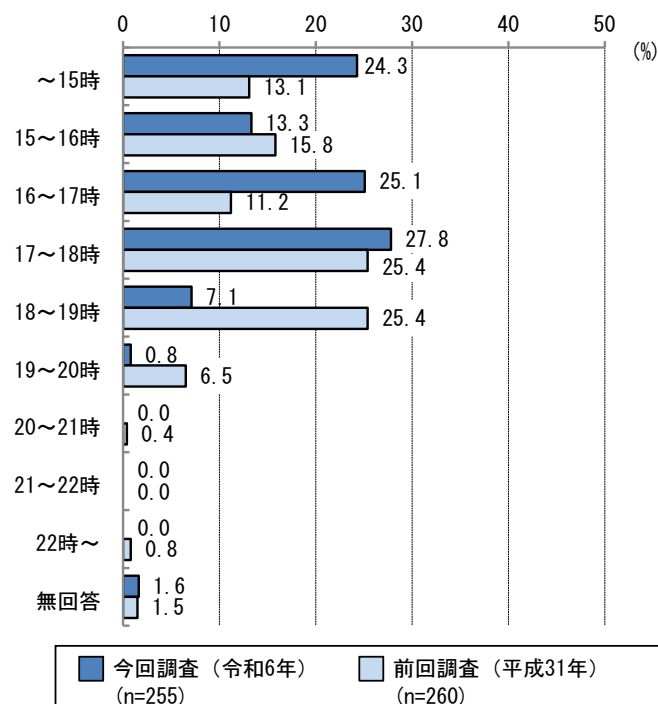
土曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望開始時間は、「8～9時」が 48.9%と最も多く、次いで、「9～10時」が 30.4%となっています。希望終了時間は、「18～19時」が 39.1%と最も多く、次いで、「17～18時」が 32.6%となっています。

■土曜日に「月に1～2回は利用したい」人の希望利用時間

【開始時間】



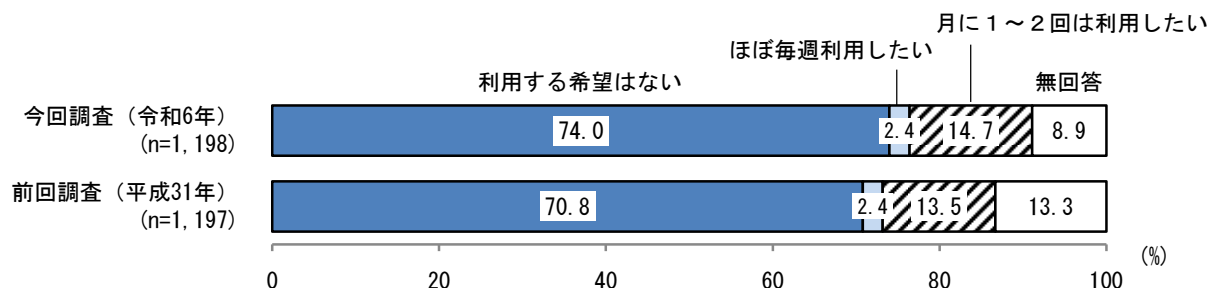
【終了時間】



土曜日に「月に1～2回は利用したい」人の希望開始時間は、「9～10 時」が 41.6%と最も多く、次いで、「8～9時」が 33.7%となっています。希望終了時間は「17～18 時」が 27.8%と最も多く、次いで、「16～17 時」が 25.1%、「～15 時」が 24.3%となっています。

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

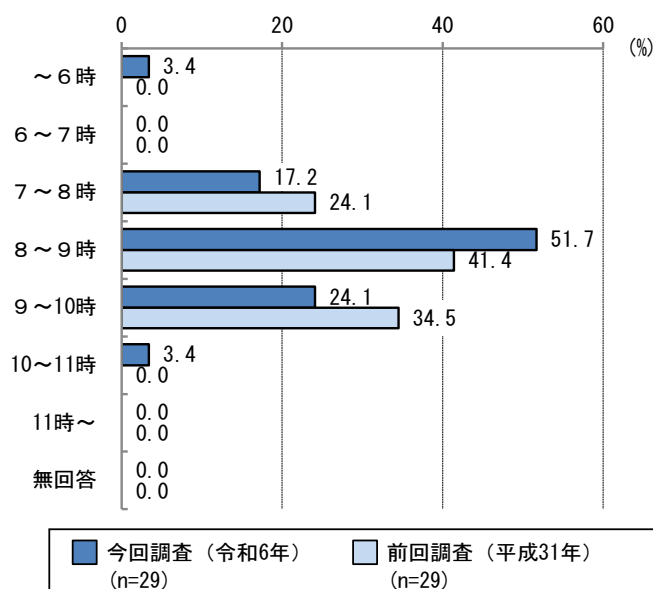
■日曜日・祝日の利用希望



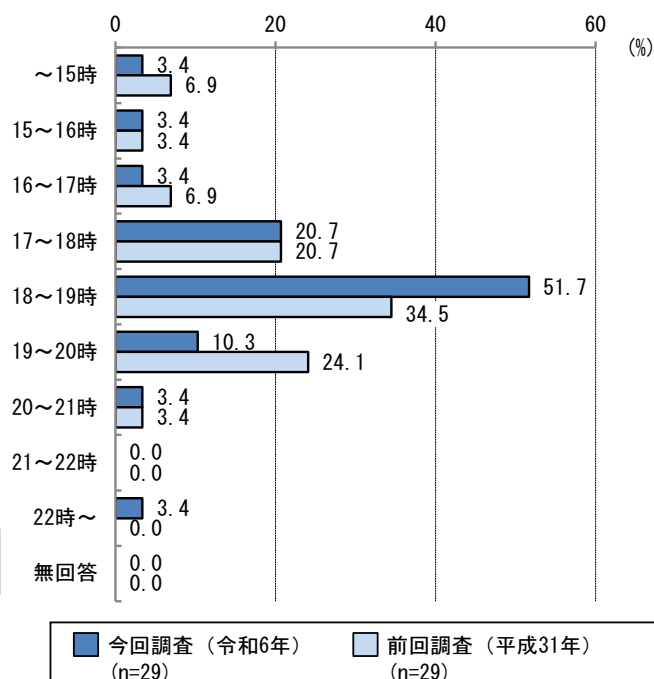
幼稚園や保育所などの日曜日・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が2.4%、「月に1～2回は利用したい」が14.7%で、利用希望者は合計17.1%となっています。

■日曜日・祝日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望利用時間

【開始時間】



【終了時間】

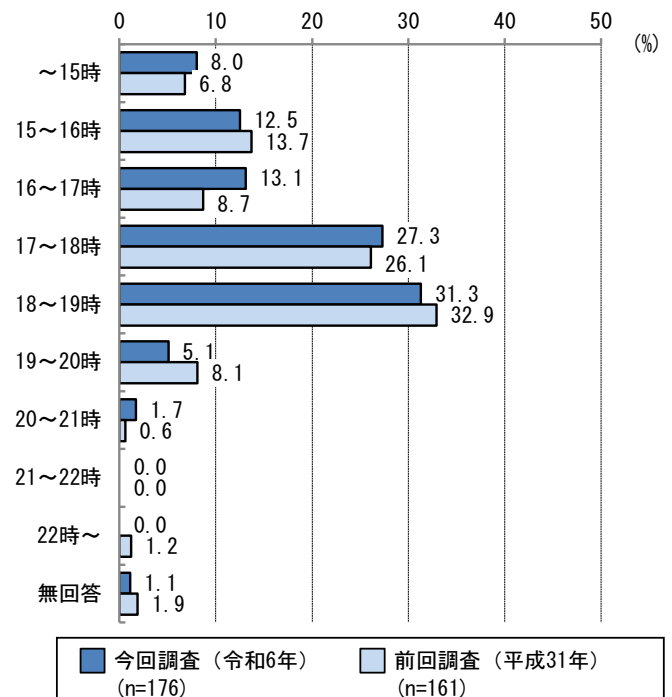
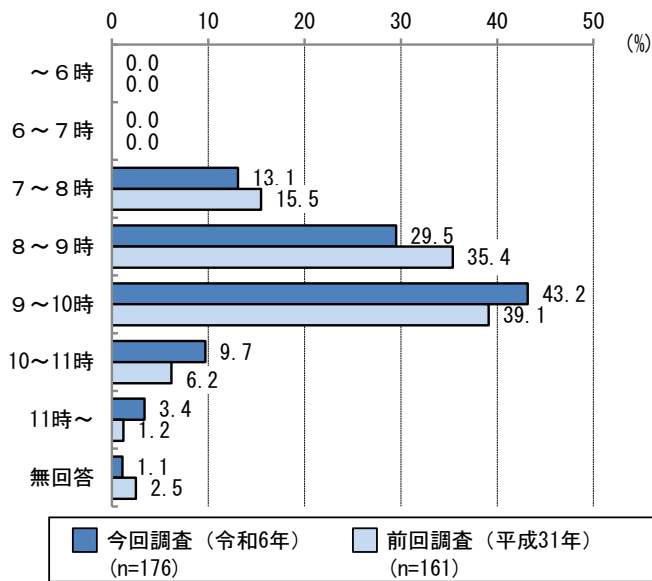


日曜日・祝日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望開始時間は、「8～9時」が51.7%と最も多く、次いで、「9～10時」が24.1%となっています。希望終了時間は、「18～19時」が51.7%と最も多く、次いで、「17～18時」が20.7%となっています。

■日曜日・祝日に「月に1～2回は利用したい」人の希望利用時間

【開始時間】

【終了時間】

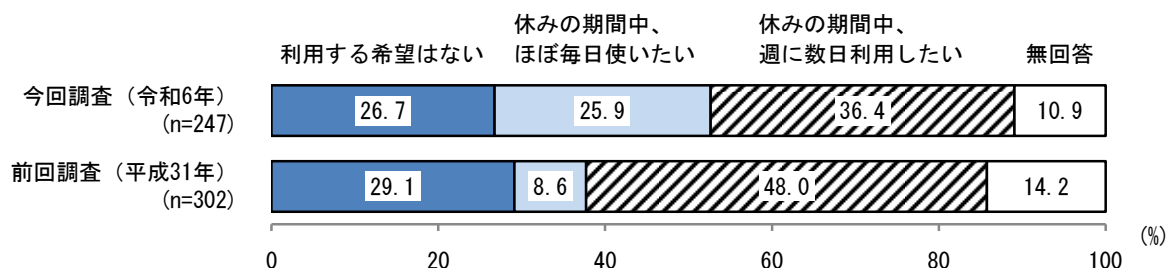


日曜日・祝日に「月に1～2回は利用したい」人の希望開始時間は、「9～10時」が43.2%と最も多く、次いで、「8～9時」が29.5%となっています。希望終了時間は、「18～19時」が31.3%と最も多く、次いで、「17～18時」が27.3%となっています。

〔2〕長期休暇中の幼稚園の利用希望

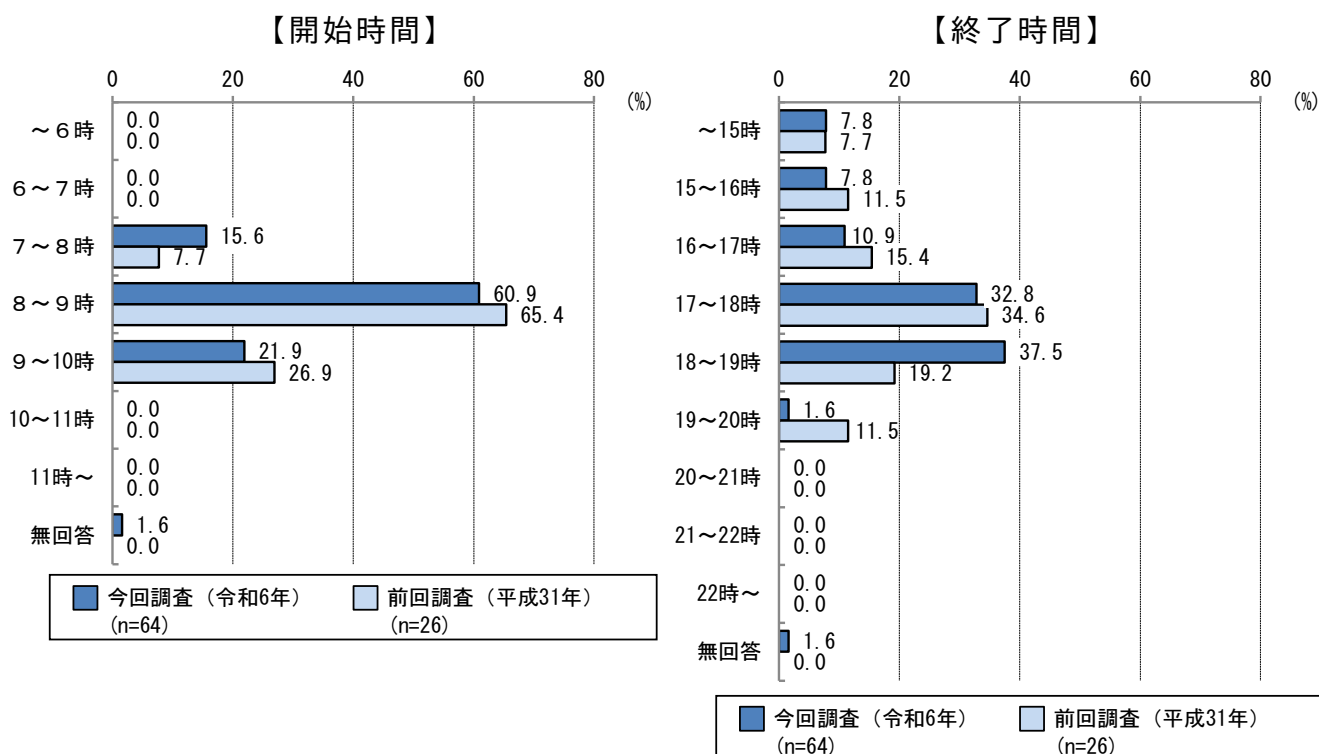
「幼稚園」を利用されている方のみ

問20 夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか(1つに○)。
希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください(()内に24時間で表記)。
なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。



「幼稚園」を利用されている方に、夏休み・冬休みなど長期休暇中の幼稚園の利用希望をたずねたところ、「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」が25.9%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が36.4%で、利用希望者は合計62.3%となっています。

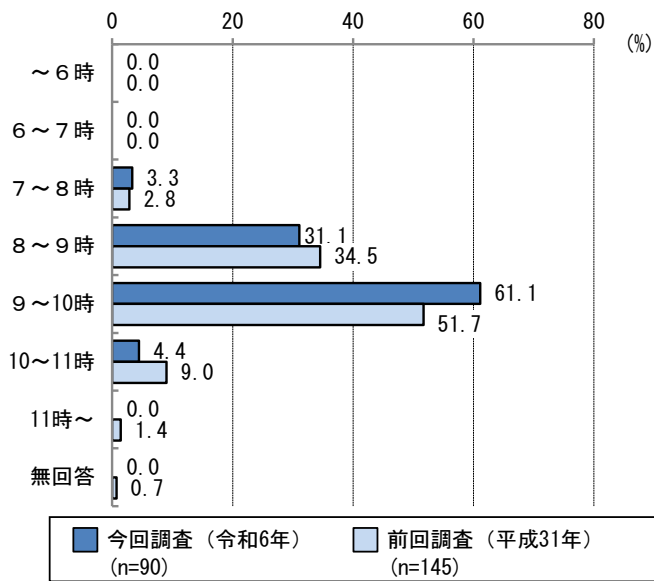
■「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」人の希望利用時間



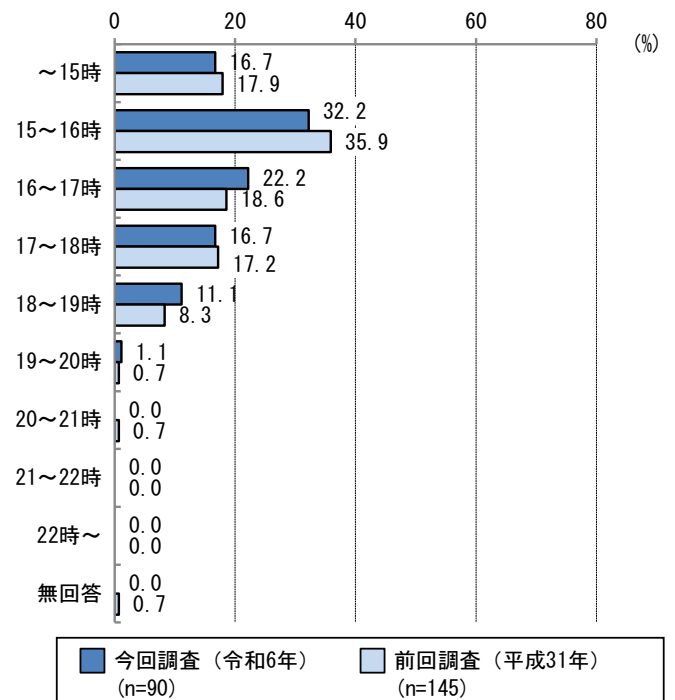
「休みの期間中、ほぼ毎日使いたい」人の希望開始時間は、「8～9時」が60.9%と最も多くなっています。希望終了時間は、「18～19時」が37.5%と最も多く、次いで、「17～18時」が32.8%となっています。

■「休みの期間中、週に数日利用したい」人の希望利用時間

【開始時間】



【終了時間】



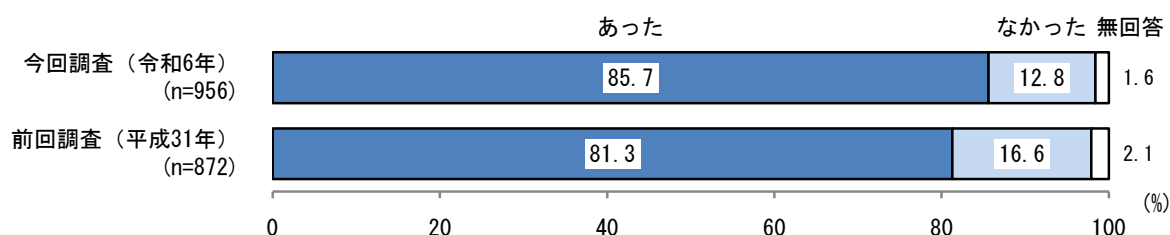
「休みの期間中、週に数日利用したい」人の希望開始時間は、「9～10 時」が 61.1%と最も多く、次いで、「8～9時」が 31.1%となっています。希望終了時間は、「15～16 時」が 32.2%と最も多くなっています。

8 病気の際の対応

〔1〕子どもが病気やけがで幼稚園や保育所などを利用できなかったこと

平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用している方のみ
問21 この1年間に、お子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。

※病気回復期（病後児）ではなく、病気急性期（病中）の対応です。



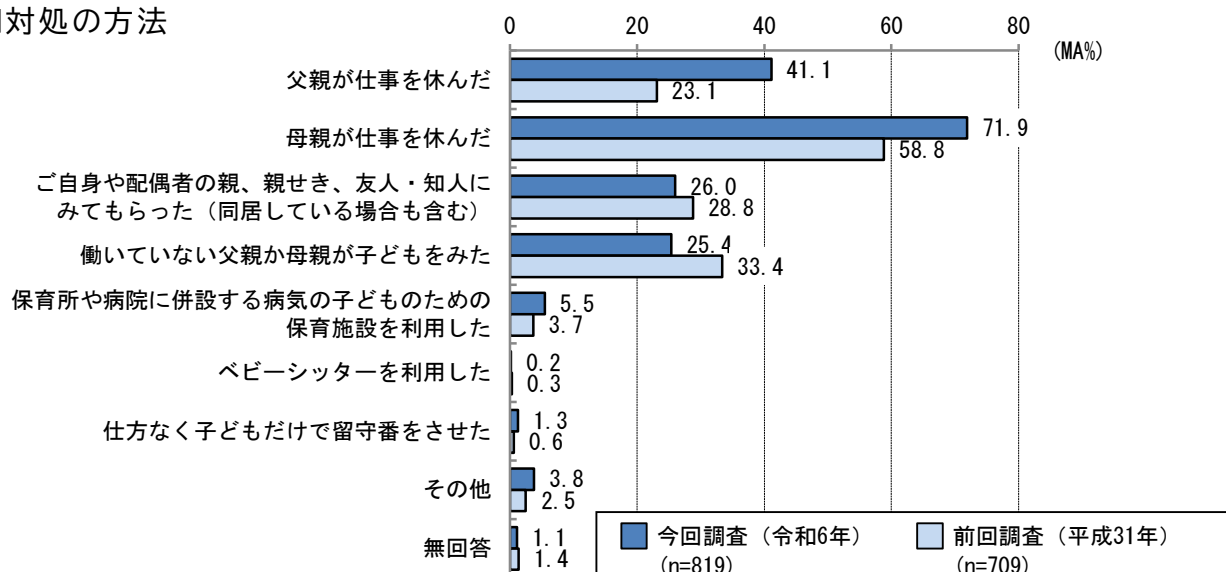
平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを「利用している」方で、この1年間に子どもが病気やけがで幼稚園や保育所などを利用できなかったことが「あった」人は 85.7%となっています。

〔2〕病気やけがの際の対処の方法

問21で「あった」とお答えの方のみ

問21-1 この1年間に、お子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかったときの対処方法（当てはまるものすべてに○）と、その日数をお答えください（（ ）内に数字を記入）。
※半日程度についても1日としてカウントしてください。

■ 対処の方法



子どもが病気やけがの際の対処の方法は、「母親が仕事を休んだ」が 71.9%と最も多く、次いで、「父親が仕事を休んだ」が 41.1%となっています。前回調査に比べて、「父親が仕事を休んだ」が 18.0 ポイント、「母親が仕事を休んだ」が 13.1 ポイント増加しています。

■この1年間に対処した日数

		(%)											平均(日)
	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日 ～ 10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 ～ 50日	51日 以上	無回答	
1. 父親が仕事を休んだ日数	337	31	59	48	9	80	58	18	2	0	0	32	5.23
	100	9.2	17.5	14.2	2.7	23.7	17.2	5.3	0.6	0	0	9.5	
2. 母親が仕事を休んだ日数	589	19	25	54	19	78	174	110	28	12	8	62	11.47
	100	3.2	4.2	9.2	3.2	13.2	29.5	18.7	4.8	2.0	1.4	10.5	
3. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった日数	213	20	28	26	6	45	35	18	6	1	1	27	7.23
	100	9.4	13.1	12.2	2.8	21.1	16.4	8.5	2.8	0.5	0.5	12.7	
4. 働いていない父親か母親が子どもをみた日数	208	3	6	15	4	19	46	49	26	1	2	37	13.71
	100	1.4	2.9	7.2	1.9	9.1	22.1	23.6	12.5	0.5	1.0	17.8	
5. 保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した日数	45	11	9	5	2	7	7	0	0	0	0	4	3.63
	100	24.4	20.0	11.1	4.4	15.6	15.6	0	0	0	0	8.9	
6. ベビーシッターを利用した日数	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6.00
	100	0	50.0	0	0	0	50.0	0	0	0	0	0	
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数	11	3	3	2	0	3	0	0	0	0	0	0	2.73
	100	27.3	27.3	18.2	0	27.3	0	0	0	0	0	0	
8. その他の日数	31	3	3	5	0	3	7	5	3	0	1	1	11.07
	100	9.7	9.7	16.1	0	9.7	22.6	16.1	9.7	0	3.2	3.2	

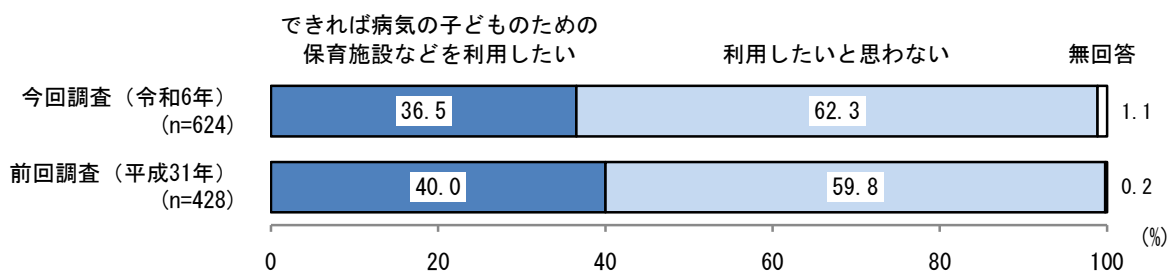
またその日数については、「働いていない父親か母親が子どもをみた」で「11～20 日」、「母親が仕事を休んだ」で「6～10 日」、「父親が仕事を休んだ」と「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」で「5日」が最も多く、「働いていない父親か母親が子どもをみた」は平均 13.71 日、「母親が仕事を休んだ」は平均 11.47 日となっています。

〔3〕病気の子どものための保育施設などの利用希望

問21-1で「父親または母親が仕事を休んだ」方のみ

問21-2 そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか(1つに○)。利用したい方は()内に日数もお答えください。
 なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

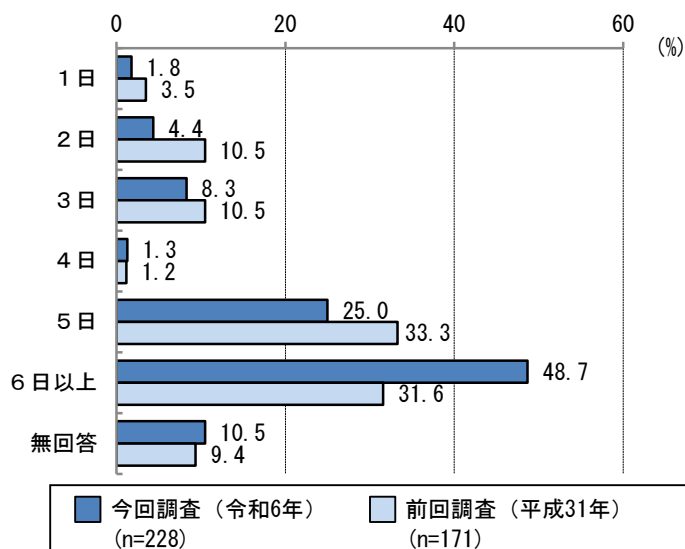
■利用希望



子どもが病気やけがの際に「父親が仕事を休んだ」または「母親が仕事を休んだ」方で、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は 36.5%となっています。

「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」とお答えの方のみ

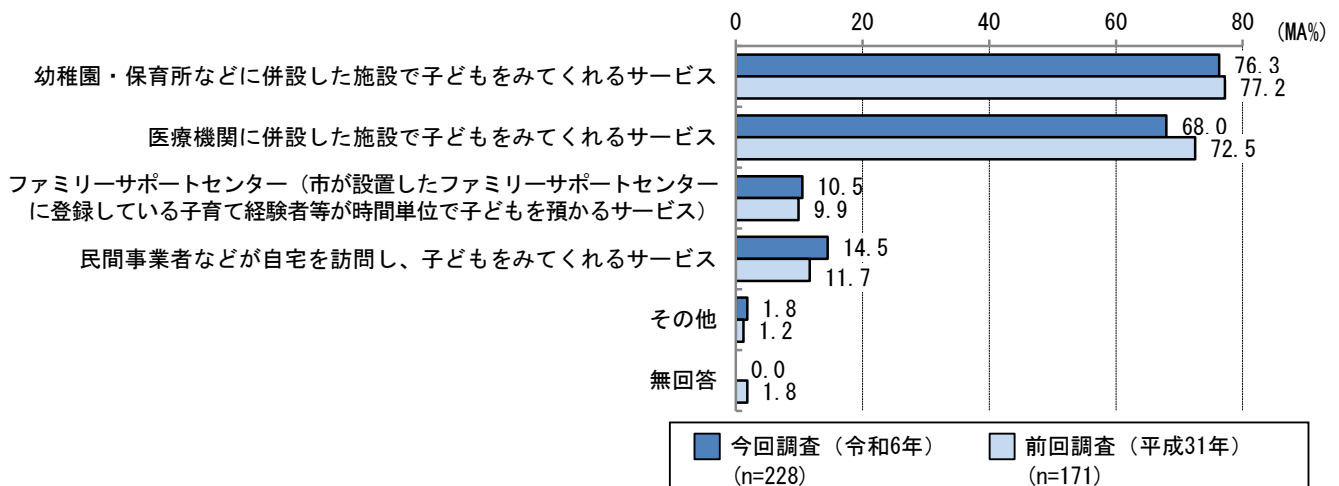
■希望利用日数



「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」方の希望利用日数は、「6日以上」が 48.7%と最も多く、次いで、「5日」が 25.0%となっています。

〔4〕病気の子どものための保育施設などに望ましいサービス

問21-2で「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」とお答えの方のみ
問21-3 利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか
(当てはまるものすべてに○)。

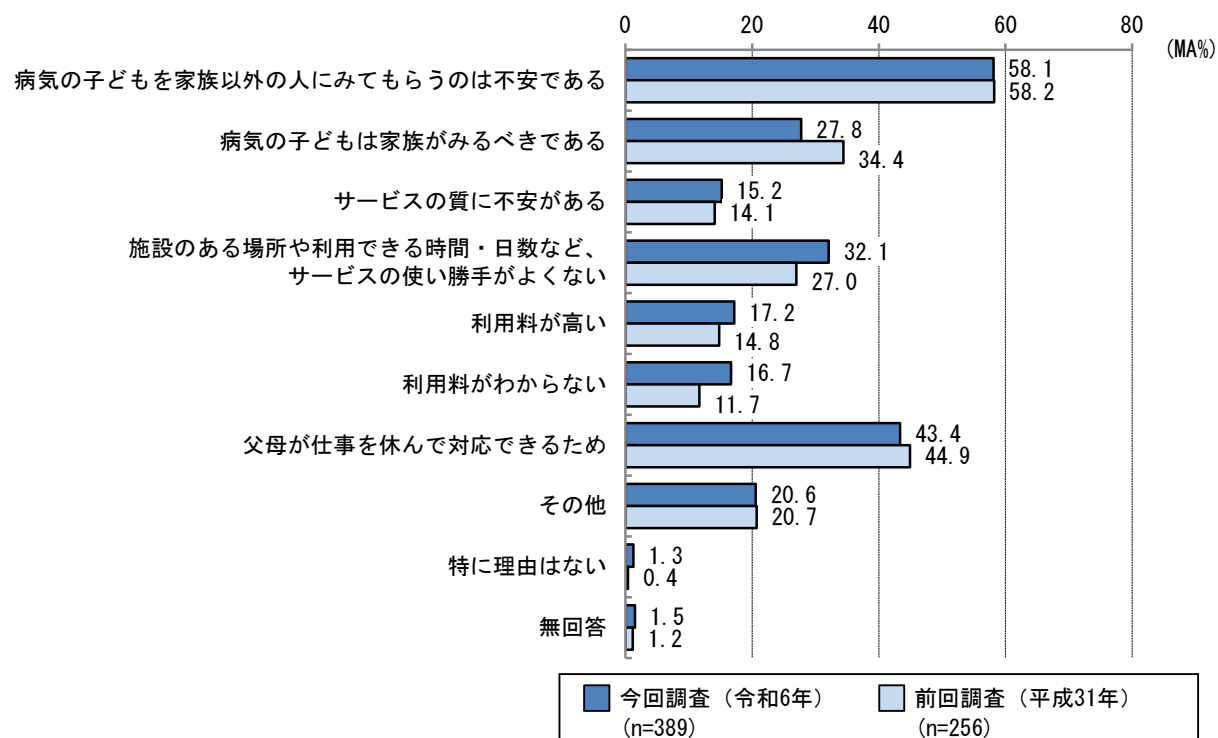


子どもが病気やけがの際に、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」とお答えの方が、子どもを預ける場合に望ましいと思うサービスは、「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてるサービス」が 76.3%と最も多く、次いで、「医療機関に併設した施設で子どもをみてるサービス」が 68.0%となっています。

〔5〕病気の子どものための保育施設などを利用したくない理由

問21-2で「利用したいとは思わない」とお答えの方のみ

問21-4 「病気の子どものための保育施設などを利用したい」ととは思わない理由は何ですか(当てはまるものすべてに○)。



◆「その他」内訳

- ・診断書が必要だったり、利用するまでの手続きが面倒、受診に時間がかかる、急には利用できない
- ・子どもがしんどいときはそばにいてあげたい ・子どもが嫌がる、不安に思う
- ・慣れない場所に預けるのは不安 ・病気の子を預けてまで働きたいと思わない
- ・病児保育が近くにない、保育室の環境が悪い ・他の病気をもらう可能性がある
- ・自分や家族が対応できる ・休める環境であるべき、家で休ませたい など

子どもが病気やけがの際に、病気の子どものための保育施設などを「利用したくない」方に、その理由をたずねたところ、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が58.1%と最も多く、次いで、「父母が仕事を休んで対応できるため」が43.4%となっています。

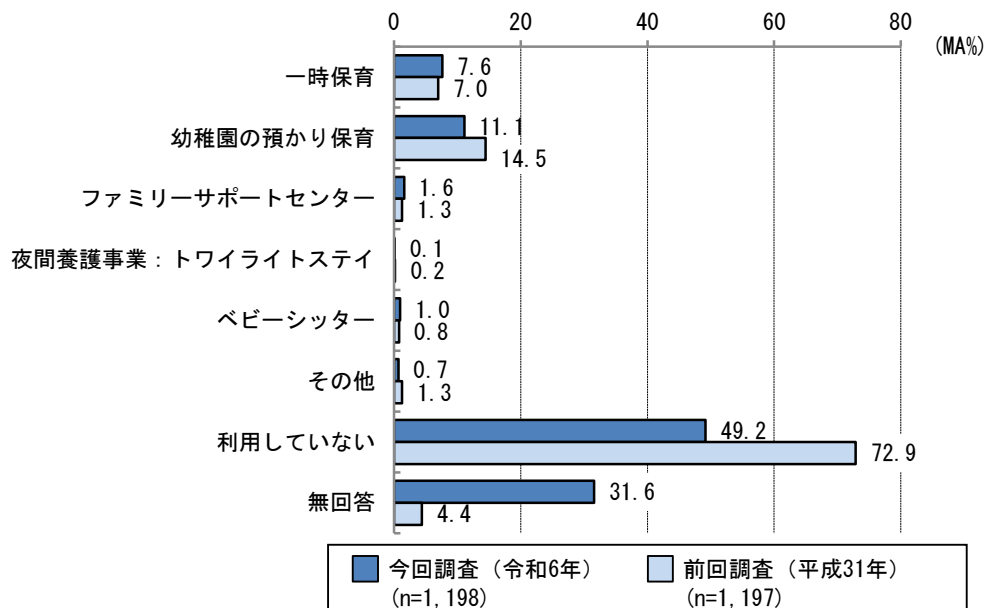
前回調査に比べて、「施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない」が5.1ポイント増加し、「病気の子どもは家族がみるべきである」が6.6ポイント減少しています。

9 不定期な幼稚園や保育所などの利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用

〔1〕子どもを預かるサービスの「不定期な」利用

問22 この1年間に、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期的に」利用しましたか。幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用や、子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます(当てはまるものすべてに○、()に数字を記入)。

■利用状況



※各施設やサービスの内容については以下のとおり

「一時保育」…私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス

「幼稚園の預かり保育」…幼稚園に通う子どもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期的に利用している場合

「夜間養護事業：トワイライトステイ」…仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの

私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由に「不定期的に」利用したサービスは、「幼稚園の預かり保育」で 11.1%、「一時保育」で 7.6%みられますが、「利用していない」が 49.2%と多くなっています。

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

■1年間の利用日数

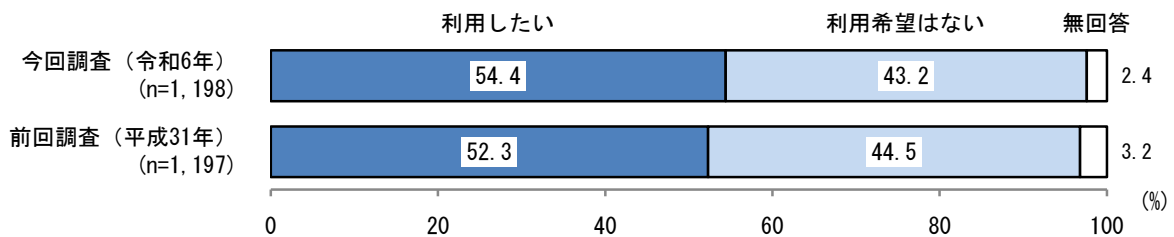
		(%)							
	n	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 ～ 2 0 日	2 1 ～ 3 0 日	3 1 日 以 上	無 回 答	平 均 (日)
1. 一時保育	91 100	19 20.9	21 23.1	18 19.8	6 6.6	5 5.5	14 15.4	8 8.8	16.42
2. 幼稚園の預かり保育	133 100	12 9.0	29 21.8	22 16.5	11 8.3	12 9.0	24 18.0	23 17.3	37.58
3. ファミリーサポートセンター	19 100	5 26.3	4 21.1	5 26.3	2 10.5	0 0	2 10.5	1 5.3	11.11
4. 夜間養護事業:トワイライトステイ	1 100	0 0	1 100.0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4.00
5. ベビーシッター	12 100	5 41.7	4 33.3	1 8.3	2 16.7	0 0	0 0	0 0	4.33
6. その他	8 100	0 0	2 25.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	0 0	1 12.5	10.71

また、その利用日数は、「一時保育」、「幼稚園の預かり保育」とともに「3～5日」が最も多く、「一時保育」は平均 16.42 日、「幼稚園の預かり保育」は平均 37.58 日となっています。

〔2〕一時預かりの利用希望

問23 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、保育所などで実施されている「一時預かり」を、1年間に何日くらい利用したいと思いますか(1つに○)。
また、利用したい場合、利用したい目的ごとの日数と合計の日数もお答えください(()内に数字を記入)。
なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

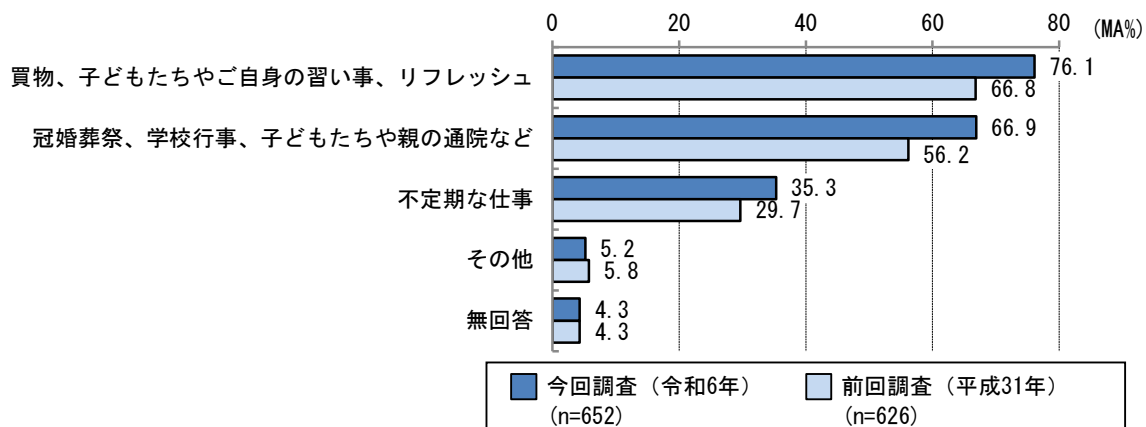
■利用希望



私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、保育所などで実施されている「一時預かり」を「利用したい」は 54.4%となっています。

「利用したい」と回答した方のみ

■利用目的



◆「その他」内訳

- ・家事 ・子連れで行きにくい用事 ・資格取得、自己研鑽、勉強時間の確保
- ・自身の体調不良、通院、入院治療 ・出産時の入院の間 など

「一時預かり」を利用する際の利用目的は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が 76.1%と最も多く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が 66.9%、「不規則な仕事」が 35.3%となっています。

■1年間の希望利用日数

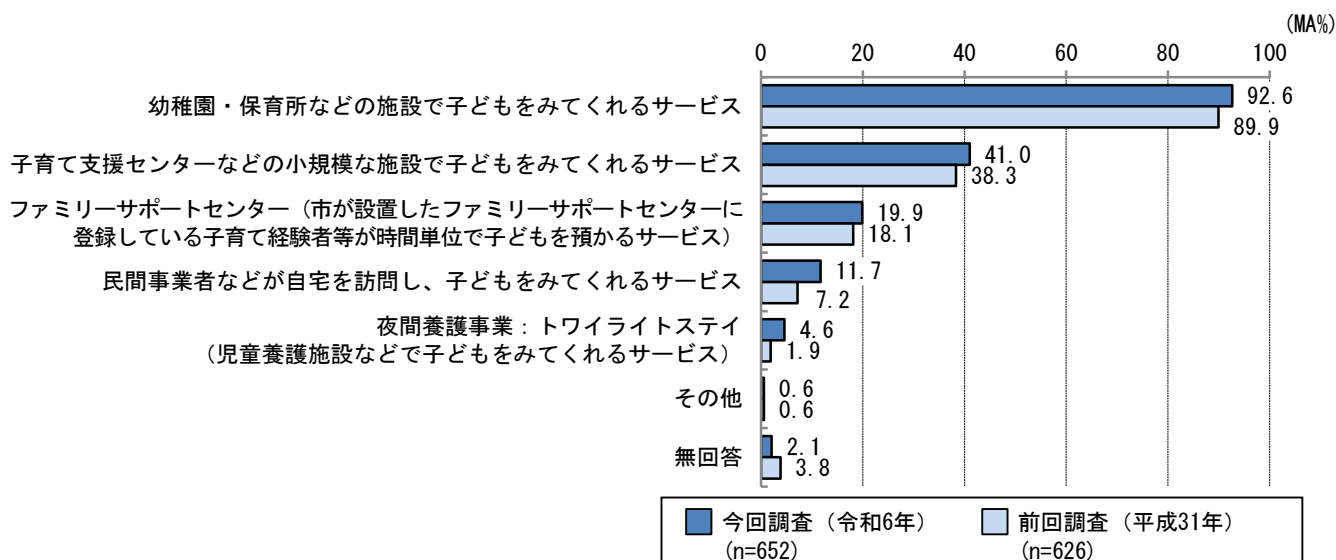
		(%)							
	n	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 10 日	11 ～ 20 日	21 ～ 30 日	31 日 以上	無 回 答	平 均 (日)
合計	652	12	86	101	149	95	117	92	25.48
	100	1.8	13.2	15.5	22.9	14.6	17.9	14.1	
ア. 買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	496	29	91	93	136	43	41	63	15.27
	100	5.8	18.3	18.8	27.4	8.7	8.3	12.7	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	436	103	119	74	54	13	6	67	7.78
	100	23.6	27.3	17.0	12.4	3.0	1.4	15.4	
ウ. 不定期的な仕事	230	30	38	44	38	12	27	41	18.58
	100	13.0	16.5	19.1	16.5	5.2	11.7	17.8	
エ. その他	34	5	9	8	5	1	2	4	13.67
	100	14.7	26.5	23.5	14.7	2.9	5.9	11.8	

また、「一時預かり」の希望利用日数は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」で「11～20日」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」で「3～5日」、「不定期的な仕事」で「6～10日」が最も多く、希望利用日数の合計は、年平均25.48日となっています。

〔3〕「一時預かり」に望ましい子育て支援サービス

問23で「利用したい」とお答えの方のみ

問23-1 問23の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか(当てはまるものすべてに○)。
なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

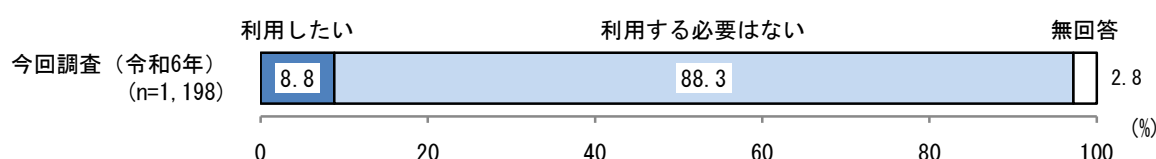


「一時預かり」を「利用したい」とお答えの方に、子どもを預ける場合に望ましい子育て支援サービスをたずねたところ、「幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてるサービス」が92.6%と最も多くなっています。

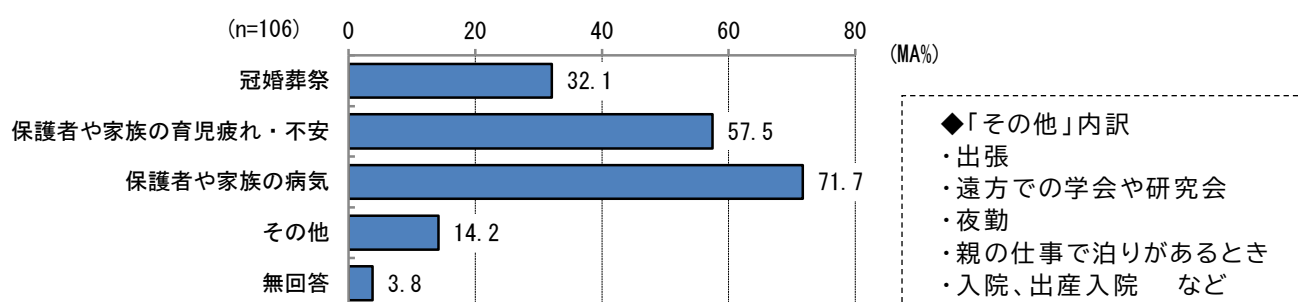
〔4〕短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望【新規設問】

問23-2 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけ」で、年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

■短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望



■短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用目的



■1年間の利用希望泊数

		1 2 日	3 5 日	6 1 0 日	1 1 2 0 日	2 1 3 0 日	3 1 日 以 上	無 回 答	平 均 (泊)
	n								
合計	106	11	27	34	13	1	2	18	8.59
	100	10.4	25.5	32.1	12.3	0.9	1.9	17.0	
ア. 冠婚葬祭	34	29	1	1	0	0	0	3	2.13
	100	85.3	2.9	2.9	0	0	0	8.8	
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	61	29	11	9	3	0	2	7	6.09
	100	47.5	18.0	14.8	4.9	0	3.3	11.5	
ウ. 保護者や家族の病気	76	31	13	14	1	0	2	15	5.69
	100	40.8	17.1	18.4	1.3	0	2.6	19.7	
エ. その他	15	4	3	3	1	0	1	3	8.42
	100	26.7	20.0	20.0	6.7	0	6.7	20.0	

保護者の用事により、子どもを「泊りがけ」で、家族以外に預ける必要がある場合に、短期入所生活援助事業(ショートステイ)を「利用したい」は8.8%となっています。

また、「利用したい」場合の利用目的は、「保護者や家族の病気」が71.7%と最も多く、次いで、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が57.5%、「冠婚葬祭」が32.1%となっており、1年間の利用希望泊数の合計は、平均8.59日となっています。

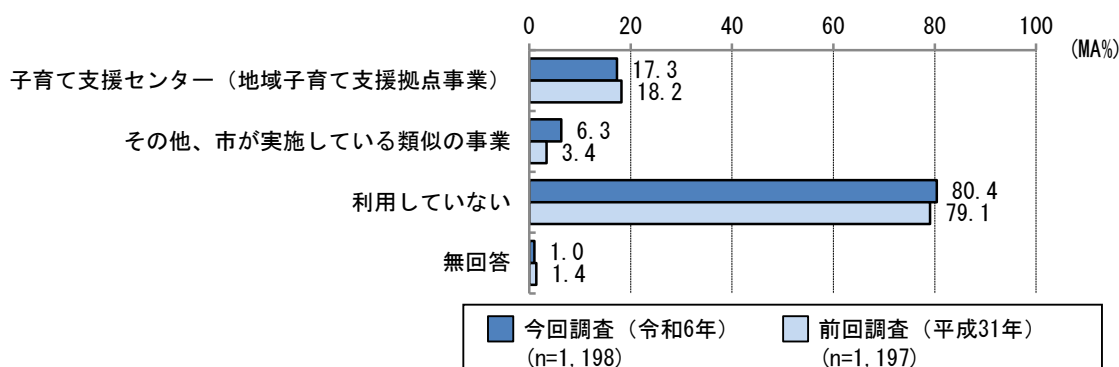
10 子育て支援センターの利用状況

〔1〕子育て支援センターの利用状況

問24 現在、子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）を利用していますか（当てはまるものすべてに○）。
 おおよその利用回数もお答えください（（ ）内に数字を記入）。
 また、「利用していない」を選ばれた方は利用していない理由もご記入ください。

※子育て支援センター：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「出張子育てひろば」も含まれます。

■利用状況



◆「その他、市が実施している類似の事業」内訳 ※（ ）内は同様意見の件数

子育てサロン(3)、森の子ひろば、キューズモールのつどいの広場
 はんもっくのおうち(4)、ままはる、あおママ部、みのまま、
 ちょこっと保育、まみーず、ひじり
 あいあい園(2)、わくわく親子教室、児童相談支援センター、ぐんぐん、リアンプラス
 訪問看護ステーションメイプル、本の読み聞かせの会、図書館のお話し会

◆「利用していない」理由

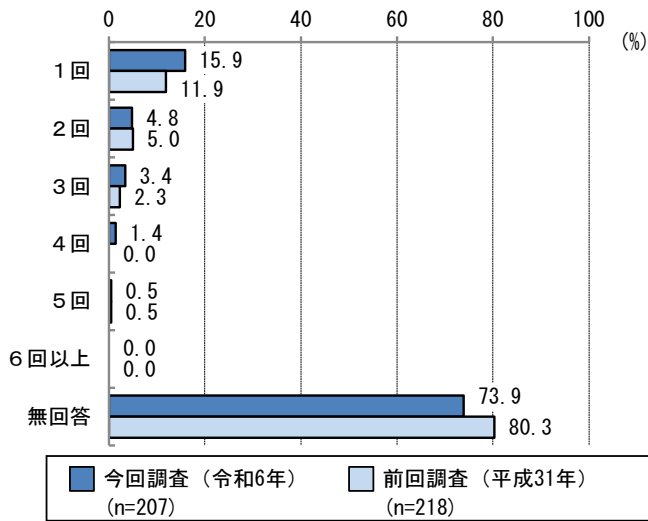
- ・保育園、幼稚園、こども園に通っている ・未就園児向けなので対象年齢ではない
- ・未就園児はいない、困っていることや相談事はない、子どもをみてくれる人がいる等で必要がない
- ・家事や仕事、上の子どもの対応で時間がない ・きょうだいを連れていけない
- ・開催日が少なくタイミングが合わない、平日中心で行けない ・予約したり調べるのがめんどろ
- ・家の近くにない、場所が遠くて行きづらい ・交通手段がない、子どもを連れて行くのが大変
- ・駐車場が少ない、駐車料金や交通費がかかる ・行く機会、きっかけがなかった
- ・知らなかったから、よくわからないから、興味がない
- ・開催日や利用の仕方、何をするのがわからない、情報がない、どこにあるのかわからない
- ・行って見たが印象がよくなかった、トラブルや嫌なことがあった
- ・行きたいと思わない、魅力を感じない ・衛生面に不安、感染が気になる
- ・人付き合いが苦手 ・子どもが行きたがらない ・おひさまルームがなくなったから など

「子育て支援センター」を利用している人は17.3%、「その他、市が実施している類似の事業」を利用している人は6.3%、いずれも「利用していない」人が80.4%となっています。

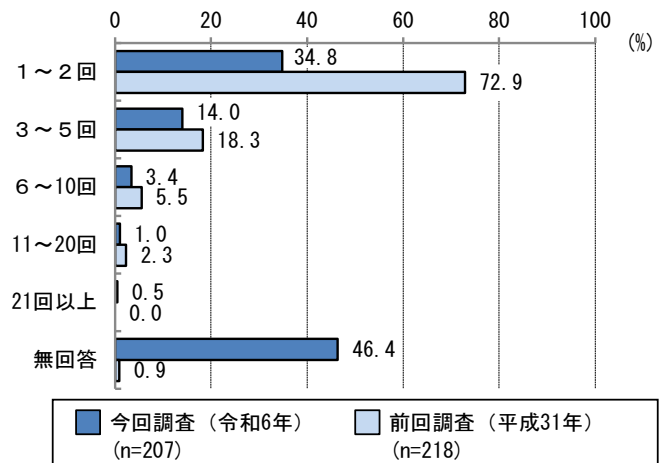
子育て支援センター利用者のみ

■子育て支援センターの利用頻度

【1週間あたりの利用回数】



【1ヶ月あたりの利用回数】

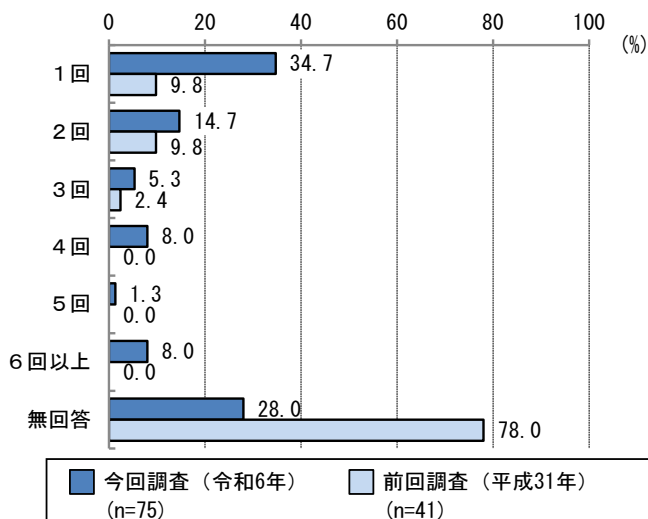


子育て支援センターを利用している人の1週間あたりの利用回数は、「1回」が 15.9%と最も多く、1ヶ月当たりの利用回数は、「1～2回」が 34.8%と最も多くなっています。

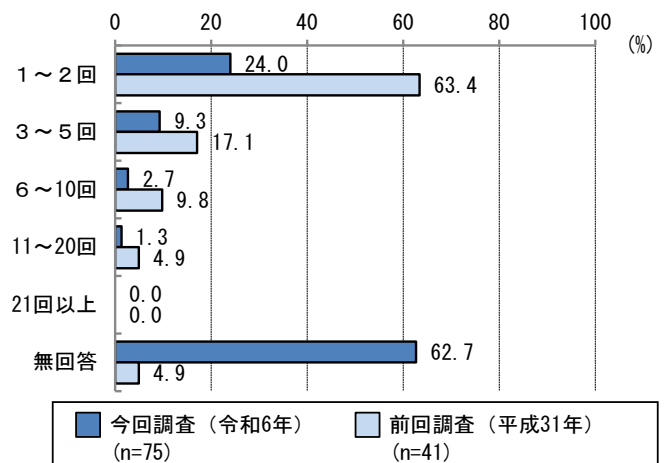
その他、市が実施している類似の事業の利用者のみ

■その他、市が実施している類似の事業の利用頻度

【1週間あたりの利用回数】



【1ヶ月あたりの利用回数】

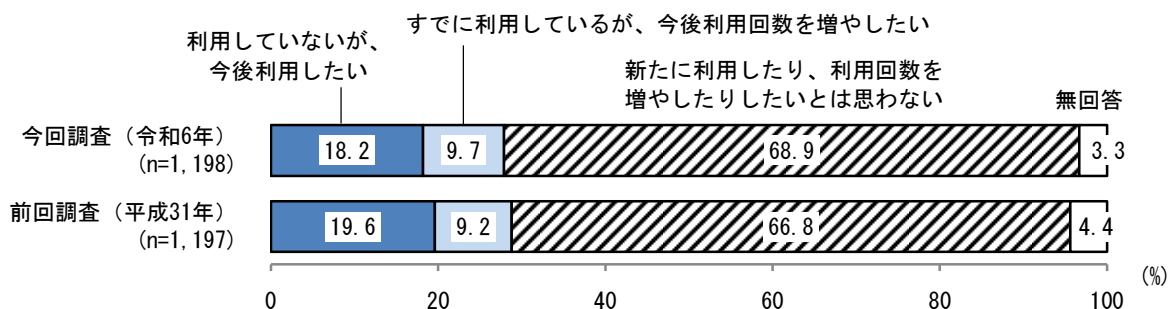


その他、市が実施している類似の事業を利用している人の1週間あたりの利用回数は、「1回」が 34.7%と最も多く、1ヶ月当たりの利用回数は、「1～2回」が 24.0%と最も多くなっています。

〔2〕子育て支援センターの今後の利用意向

問25 子育て支援センター(地域子育て支援拠点事業)について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いますか(1つに○)。
また、おおよその利用回数もお答えください(()内に数字を記入)。
なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

■利用意向

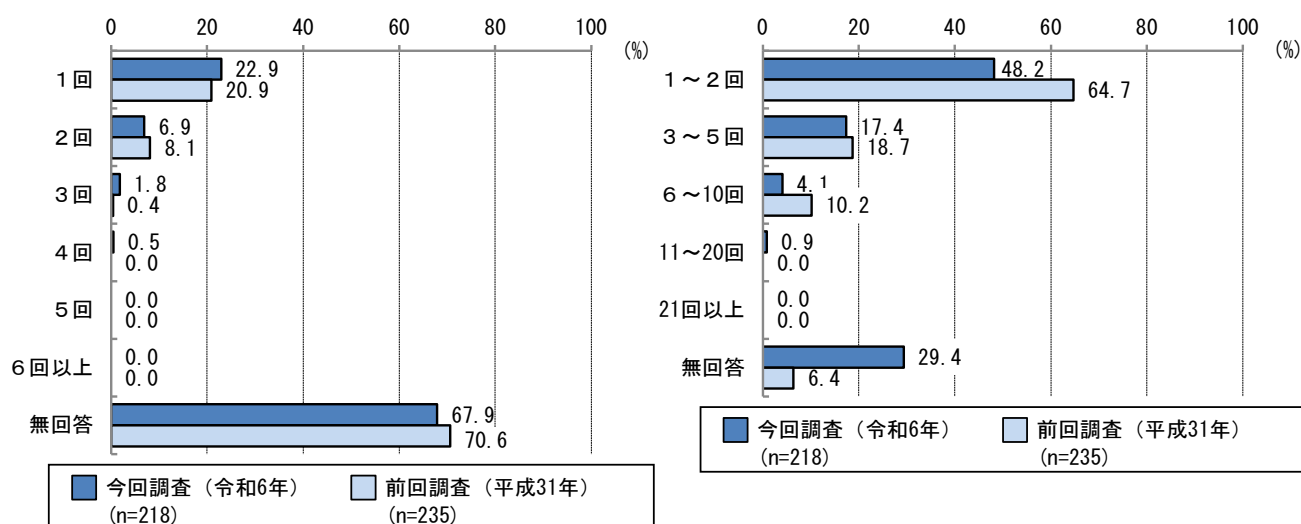


子育て支援センターの今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用回数を増やしたりしたいとは思わない」が68.9%と最も多く、「利用していないが、今後利用したい」が18.2%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」が9.7%で、利用意向のある人は合計27.9%となっています。

「利用していないが、今後利用したい」とお答えの方のみ

■子育て支援センターの希望利用頻度

【1週間あたりの希望利用回数】 【1ヶ月あたりの希望利用回数】

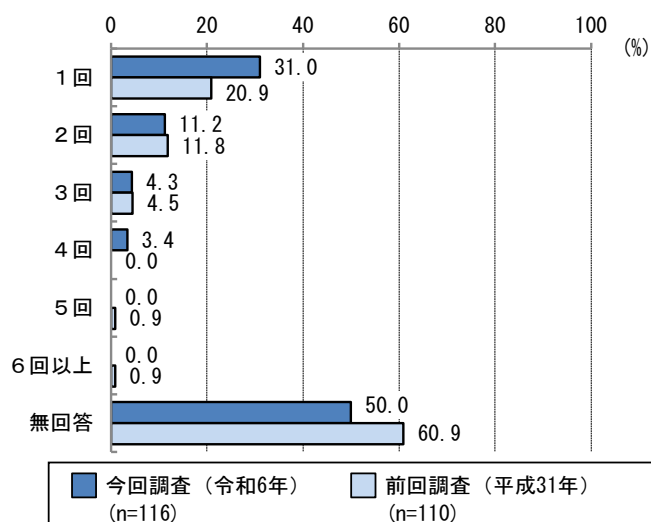


子育て支援センターを、「利用していないが、今後利用したい」とお答えの方の、1週あたりの希望利用回数は、「1回」が22.9%と最も多く、1ヶ月当たりの希望利用回数は、「1～2回」が48.2%と最も多くなっています。

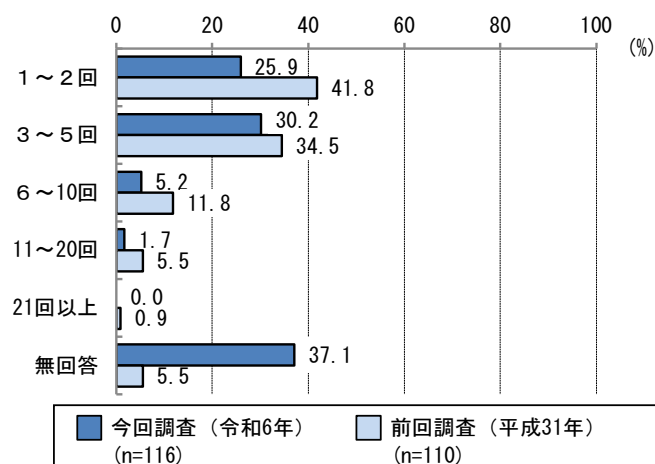
「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」とお答えの方のみ

■子育て支援センターの希望利用頻度

【1週間あたりの希望追加回数】



【1ヶ月あたりの希望追加回数】



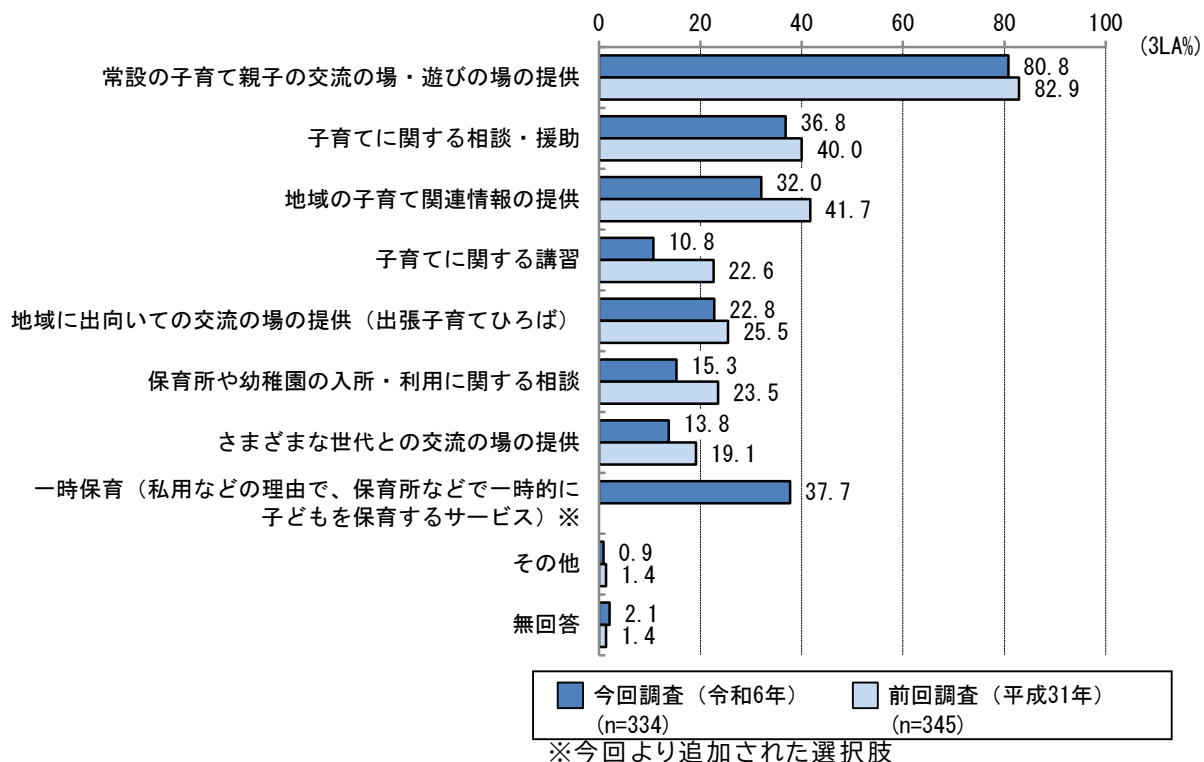
子育て支援センターを、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」とお答えの方の、1週あたりの希望追加回数は、「1回」が 31.0%と最も多く、1ヶ月当たりの希望追加回数は、「3～5回」が 30.2%と最も多く、次いで、「1～2回」が 25.9%となっています。

〔3〕子育て支援センターで利用したいサービス

問25で「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」とお答えの方のみ

問25-1 子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。下記枠内の選択肢の中からお答えください（当てはまる番号を3つまで記入）。

なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

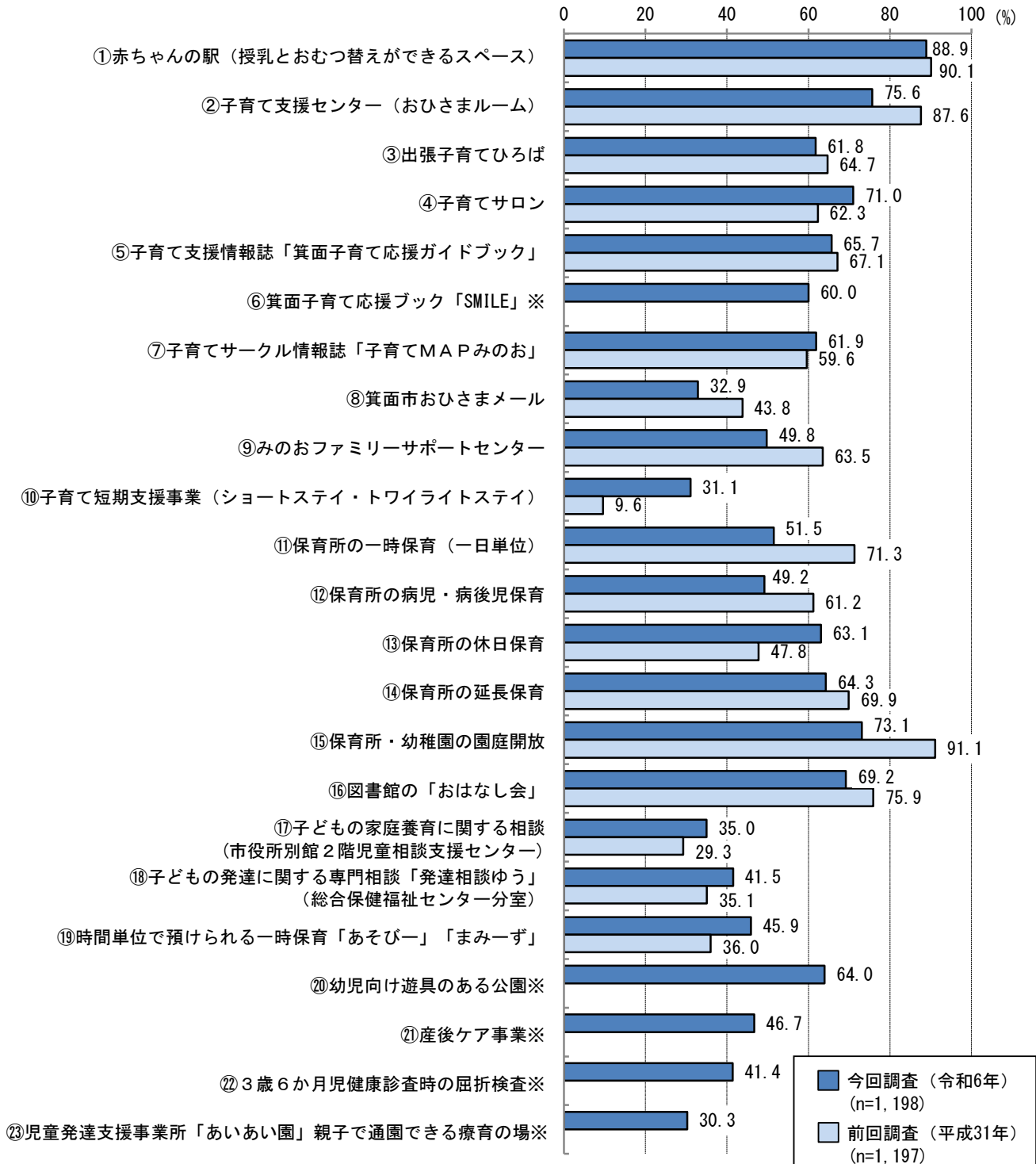


子育て支援センターで利用したいサービスは、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が 80.8%と最も多く、次いで、「一時保育（私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス）」が 37.7%、「子育てに関する相談・援助」が 36.8%、「地域の子育て関連情報の提供」が 32.0%となっています。

〔4〕市の子育て支援サービスの認知度・利用経験・今後の利用意向

問26 箕面市の子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。
下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものがありますか。また、今後、利用したいと思うものがありますか(サービスごとに「はい」、「いいえ」のどちらかそれぞれに○)。

■認知度(「知っている」で「はい」と回答した人の割合)

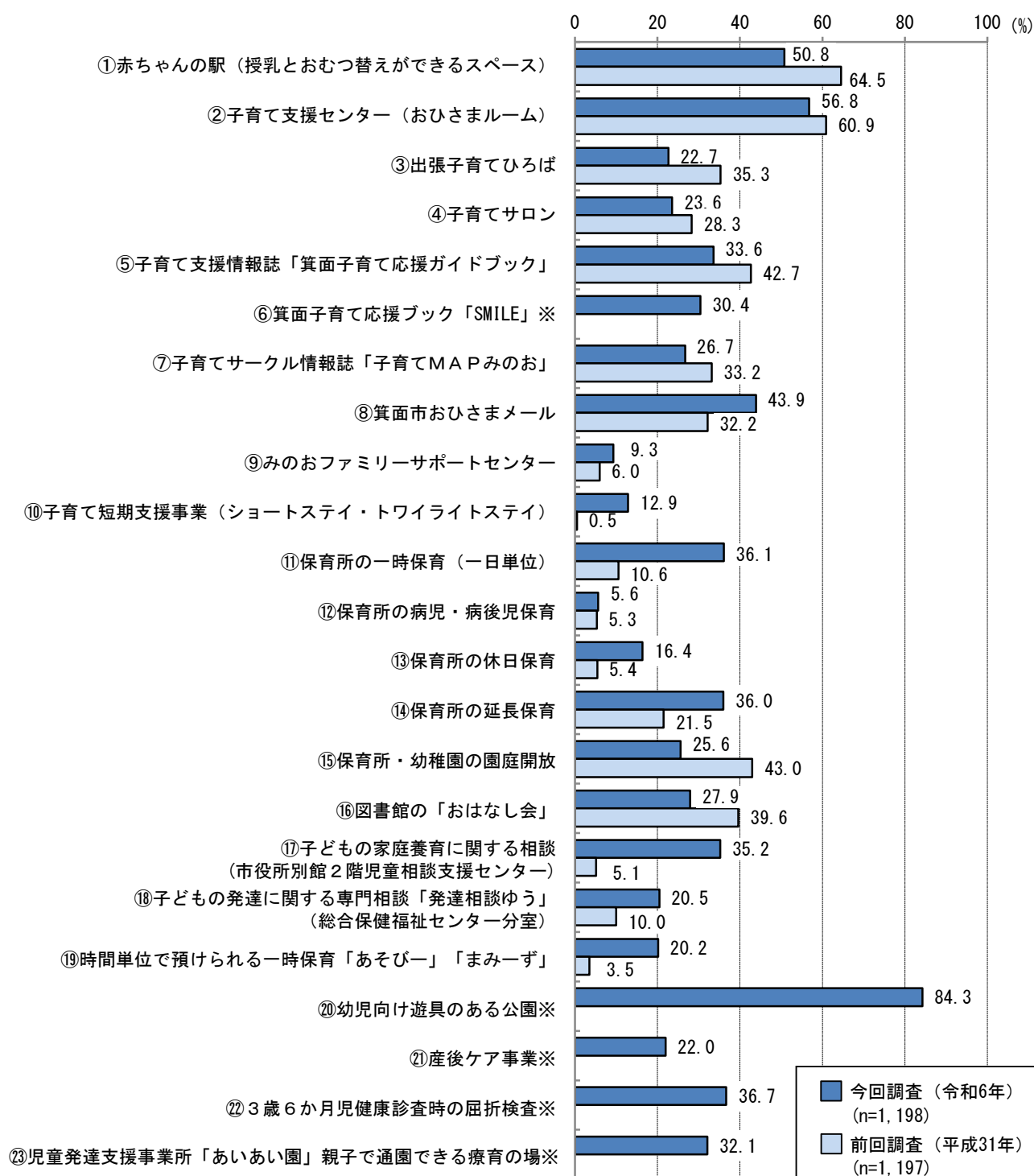


Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

箕面市が行っている各子育て支援サービスの認知度は、「赤ちゃんの駅」(88.9%)、「子育て支援センター(おひさまルーム)」(75.6%)、「保育所・幼稚園の園庭開放」(73.1%)、「子育てサロン」(71.0%)などで高くなっています。一方、「児童発達支援事業所「あいあい園」親子で通園できる療育の場」(30.3%)、「子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)」(31.1%)、「箕面市おひさまメール」(32.9%)などでは低くなっています。

また、前回調査に比べて、「子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)」(21.5 ポイント増)、「保育所の休日保育」(15.3 ポイント増)の認知度が上がっています。

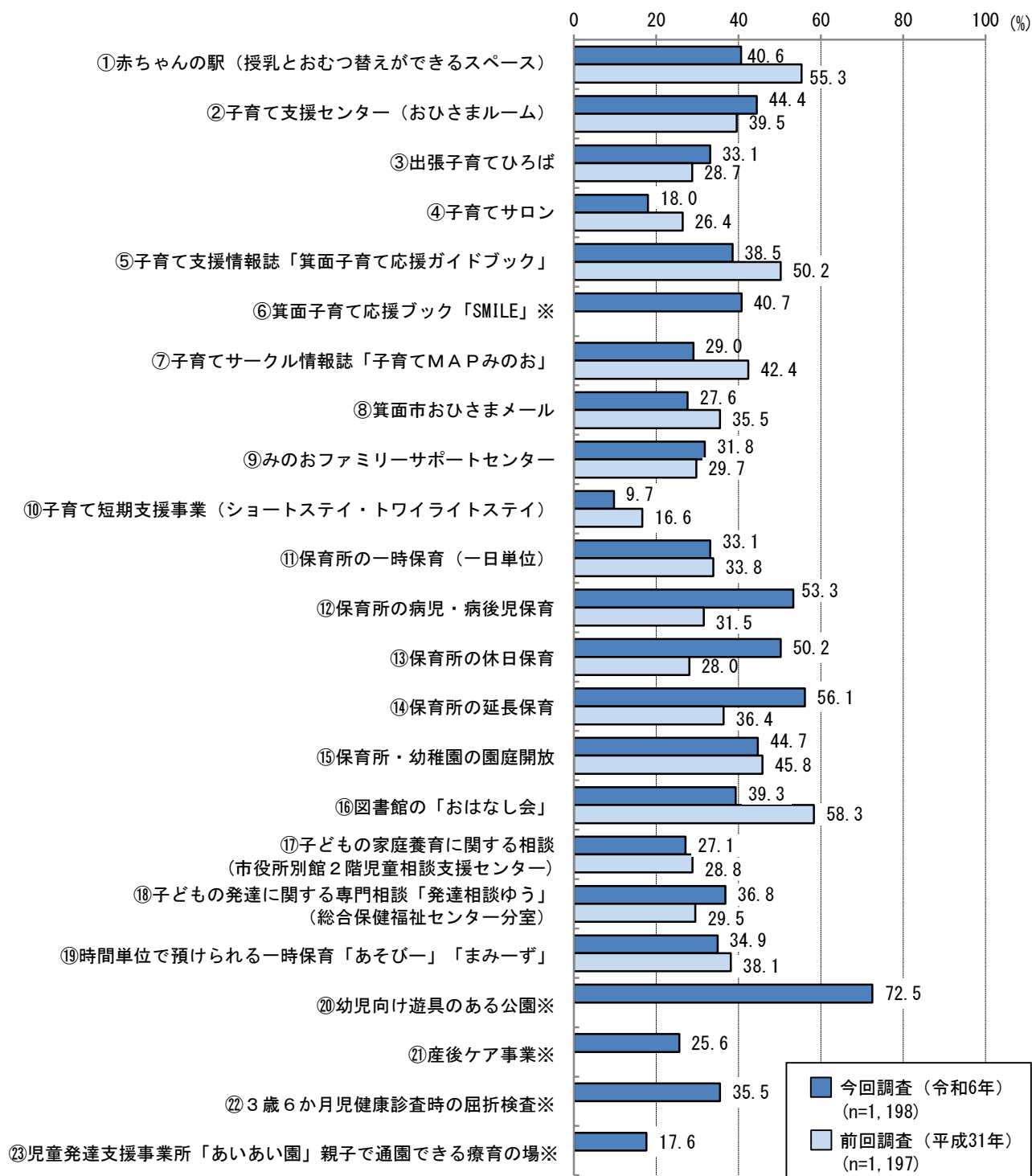
■利用経験（「利用したことがある」で「はい」と回答した人の割合）



利用経験は、「幼児向け遊具のある公園」（84.3%）、「子育て支援センター（おひさまルーム）」（56.8%）、「赤ちゃんの駅」（50.8%）などで多く、「保育所の病児・病後児保育」（5.6%）、「みのおファミリーサポートセンター」（9.3%）などで少なくなっています。

また、前回調査に比べて、「子どもの家庭養育に関する相談（市役所別館2階児童相談支援センター）」（30.1 ポイント増）、「保育所の一時保育（一日単位）」（25.5 ポイント増）などの利用が増加しています。

■今後の利用意向（「今後利用したい」で「はい」と回答した人の割合）



今後の利用意向は、「幼児向け遊具のある公園」（72.5%）、「保育所の延長保育」（56.1%）、「保育所の病児・病後児保育」（53.3%）などで高く、「子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）」（9.7%）、「児童発達支援事業所「あいあい園」親子で通園できる療育の場」（17.6%）、「子育てサロン」（18.0%）などでは低くなっています。

また、前回調査に比べて、「保育所の休日保育」（22.2 ポイント増）、「保育所の病児・病後児保育」（21.8 ポイント増）、「保育所の延長保育」（19.7 ポイント増）などの利用意向が上がっています。

11 小学校就学後の放課後の過ごし方

〔1〕小学校就学後の放課後の過ごし方

令和6年度入学予定の児童(5歳児)のみを集計

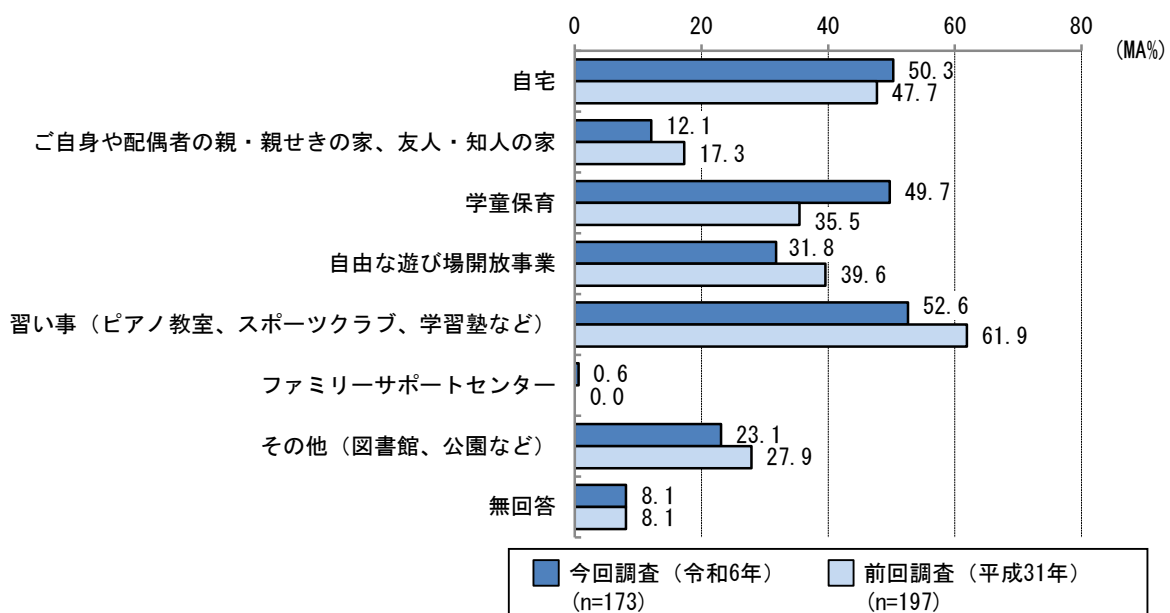
問27 お子さんが小学校になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年(1～3年)、高学年(4～6年)の、それぞれ希望する1週間の利用日数についてお答えください(当てはまる項目の()内に数字を記入)。

「学童保育」を選択された場合には、利用を希望する時間についてもお答えください(()内に24時間で表記)。

※「学童保育」…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

※「自由な遊び場開放事業」…放課後に市立小学校施設の一部(プレイルーム、運動場、体育館)を自由な遊び場として開放するものです。

■小学校低学年時(1～3年生)に希望する放課後の過ごし方

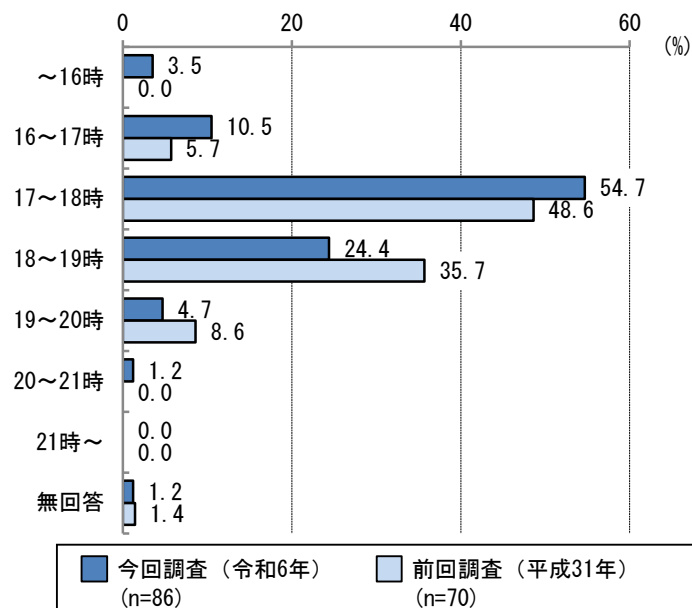


小学校低学年時(1～3年生)に希望する放課後の過ごし方は、「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)」が 52.6%と最も多く、次いで、「自宅」が 50.3%、「学童保育」が 49.7%となっています。前回調査に比べて、「学童保育」が 14.2 ポイント増加し、「習い事」が 9.3 ポイント、「自由な遊び場開放事業」が 7.8 ポイント減少しています。

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

「学童保育」とお答えの方のみ

■希望終了時間



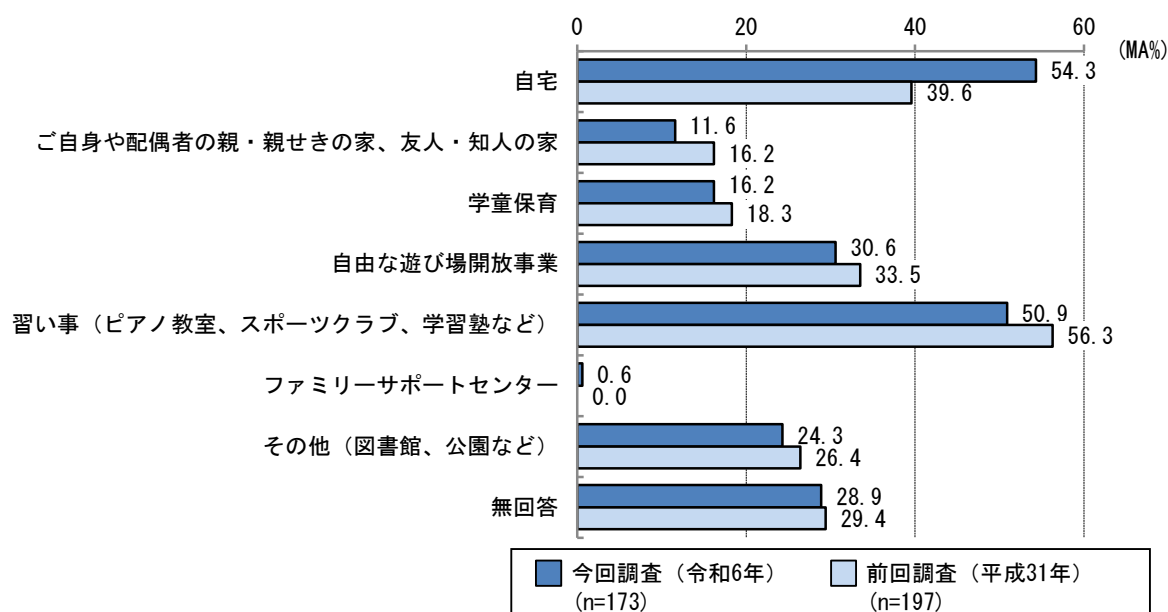
小学校低学年時（1～3年生）の「学童保育」の希望終了時間は、「17～18 時」が 54.7%と最も多く、次いで、「18～19 時」が 24.4%となっています。

■1週間あたりの希望利用日数

		(%)								
	n	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 以上	無 回 答		平均 (日)
1. 自宅	87	12	24	10	5	33	3	0		3.39
	100	13.8	27.6	11.5	5.7	37.9	3.4	0		
2. ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	21	9	8	0	0	4	0	0		2.14
	100	42.9	38.1	0	0	19.0	0	0		
3. 学童保育	86	3	3	11	9	48	2	10		4.34
	100	3.5	3.5	12.8	10.5	55.8	2.3	11.6		
4. 自由な遊び場開放事業	55	14	15	10	4	12	0	0		2.73
	100	25.5	27.3	18.2	7.3	21.8	0	0		
5. 習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	91	26	28	24	9	4	0	0		2.31
	100	28.6	30.8	26.4	9.9	4.4	0	0		
6. ファミリーサポートセンター	1	0	1	0	0	0	0	0		2.00
	100	0	100.0	0	0	0	0	0		
7. その他(図書館、公園など)	40	16	12	7	1	4	0	0		2.13
	100	40.0	30.0	17.5	2.5	10.0	0	0		

また、1週間あたりの希望利用日数は、「自宅」、「学童保育」で「5日」、「自由な遊び場開放事業」「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)」で「2日」、「ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」で「1日」が最も多くなっています。

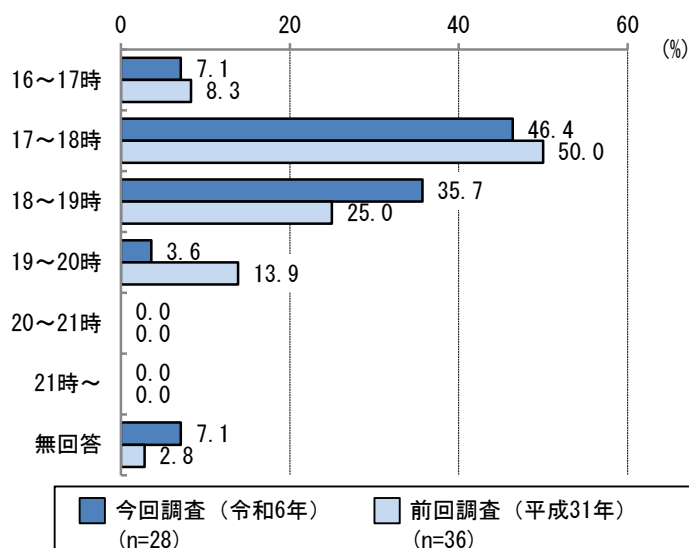
■小学校高学年時(4～6年生)に希望する放課後の過ごし方



小学校高学年時(4～6年生)に希望する放課後の過ごし方は、「自宅」が 54.3%と最も多く、次いで、「習い事」が 50.9%、「自由な遊び場開放事業」が 30.6%となっています。前回調査に比べて、「自宅」が 14.7 ポイント増加し、「習い事」が 5.4 ポイント、「ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」が 4.6 ポイント減少しています。

「学童保育」とお答えの方のみ

■希望終了時間



小学校高学年時(4～6年生)の「学童保育」の希望終了時間は、「17～18 時」が 46.4%と最も多く、次いで、「18～19 時」が 35.7%となっています。

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

■1週間あたりの希望利用日数

		(%)							
	n	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 以上	無 回 答	平 均 (日)
1. 自宅	94	14	17	11	2	46	4	0	3.68
	100	14.9	18.1	11.7	2.1	48.9	4.3	0	
2. ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	20	9	7	2	0	2	0	0	1.95
	100	45.0	35.0	10.0	0	10.0	0	0	
3. 学童保育	28	1	4	4	4	11	2	2	4.00
	100	3.6	14.3	14.3	14.3	39.3	7.1	7.1	
4. 自由な遊び場開放事業	53	7	12	13	5	16	0	0	3.21
	100	13.2	22.6	24.5	9.4	30.2	0	0	
5. 習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	88	17	27	24	14	6	0	0	2.60
	100	19.3	30.7	27.3	15.9	6.8	0	0	
6. ファミリーサポートセンター	1	0	0	0	0	1	0	0	5.00
	100	0	0	0	0	100.0	0	0	
7. その他(図書館、公園など)	42	13	14	8	2	5	0	0	2.33
	100	31.0	33.3	19.0	4.8	11.9	0	0	

また、1週間あたりの希望利用日数は、「自宅」、「学童保育」、「自由な遊び場開放事業」で「5日」、「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)」で「2日」、「ご自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家」で「1日」が最も多くなっています。

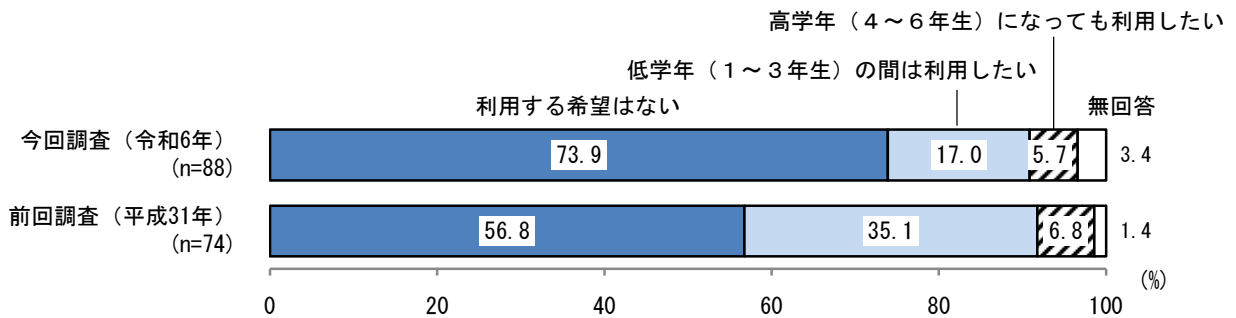
〔2〕土曜日、日曜日・祝日の学童保育の利用希望

問27で「学童保育」とお答えの方のみ

問28 土曜日、日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか(それぞれ1つに○)。また、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」に○をつけた方は、利用したい時間帯もお答えください(()内に24時間で表記)。

なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

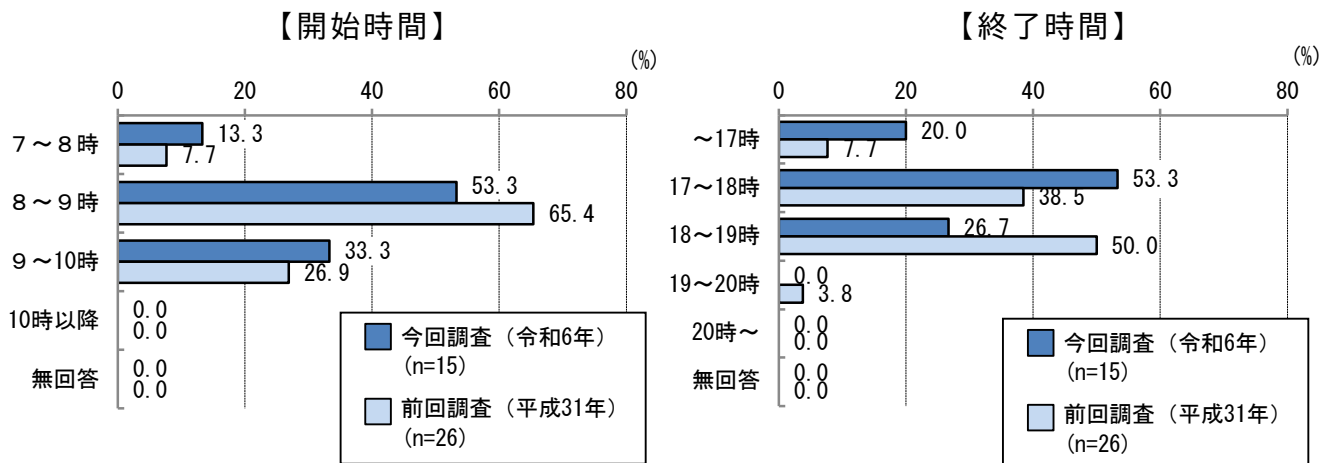
■土曜日の利用希望



放課後の過ごし方で「学童保育」とお答えの方の、土曜日の学童保育の利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が17.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が5.7%で、利用希望者は合計22.7%となっています。前回調査に比べて、利用希望者は19.2ポイント減少しています。

「低学年(1～3年生)の間は利用したい」とお答えの方のみ

■小学校低学年時(1～3年生)の希望利用時間帯



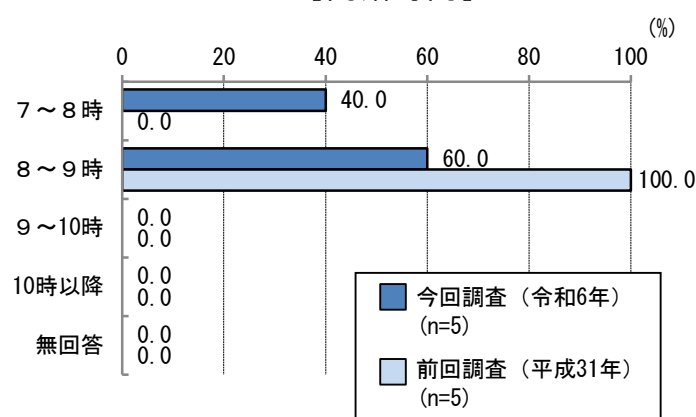
「低学年(1～3年生)の間は利用したい」方の土曜日の学童保育の希望開始時間は、「8～9時」が53.3%と最も多く、希望終了時間は、「17～18時」が53.3%と最も多くなっています。

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

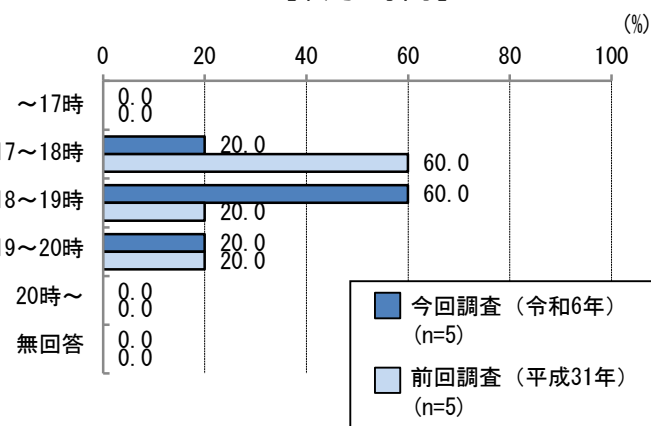
「高学年(4～6年生)になっても利用したい」とお答えの方のみ

■小学校高学年時(4～6年生)の希望利用時間帯

【開始時間】

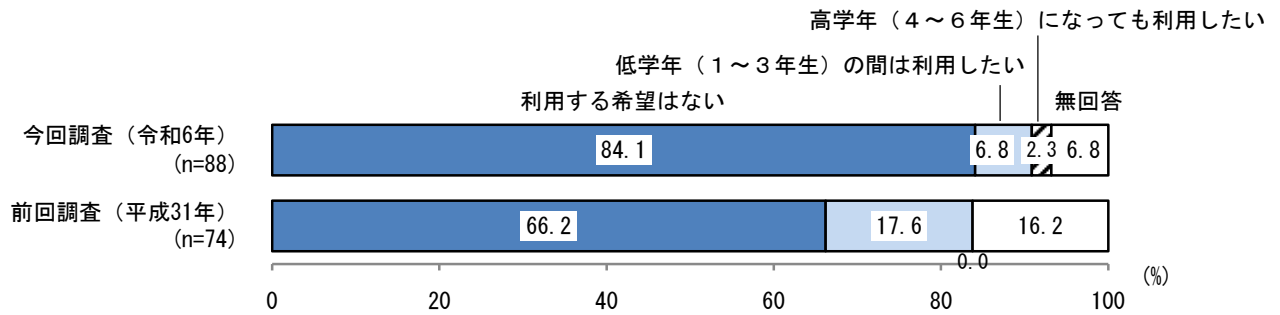


【終了時間】



「高学年(4～6年生)になっても利用したい」方の土曜日の学童保育の希望開始時間は、「8～9時」が 60.0%、「7～8時」が 40.0%となっています。希望終了時間は、「18～19 時」が 60.0%と多くなっています。

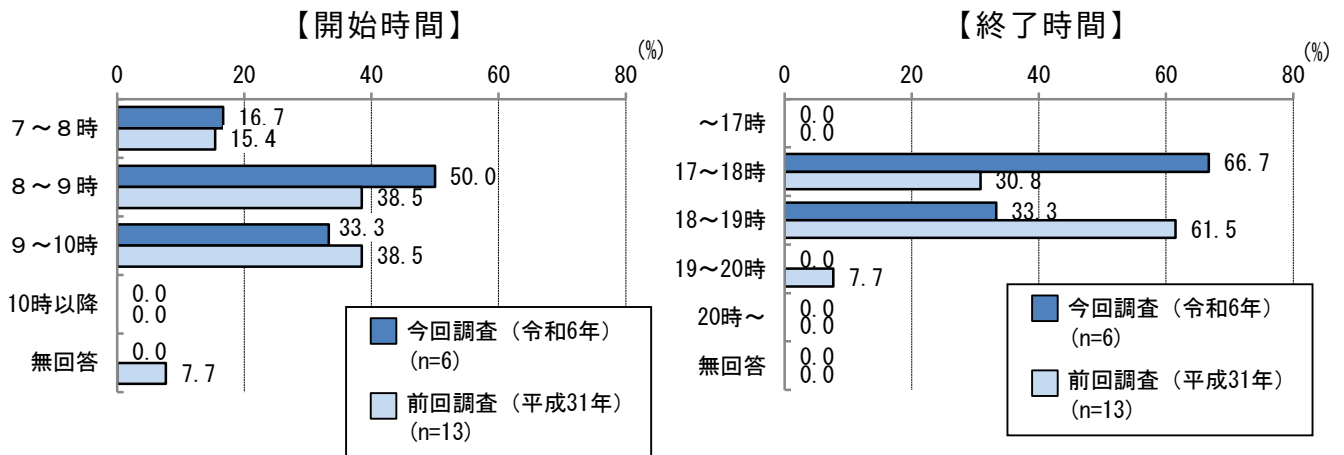
■日曜・祝日の利用希望



放課後の過ごし方で「学童保育」とお答えの方の、日曜・祝日の学童保育の利用希望は、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 6.8%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 2.3%で、利用希望者は合計 9.1%となっています。前回調査に比べて、利用希望者は 8.5 ポイント減少しています。

「低学年（１～３年生）の間は利用したい」とお答えの方のみ

■小学校低学年時（１～３年生）の希望利用時間帯



「低学年（１～３年生）の間は利用したい」方の日曜・祝日の学童保育の希望開始時間は、「８～９時」が 50.0%と最も多く、次いで、「９～１０時」が 33.3%となっています。希望終了時間は、「１７～１８時」が 66.7%と最も多く、次いで、「１８～１９時」が 33.3%となっています。

「高学年（４～６年生）になっても利用したい」とお答えの方のみ

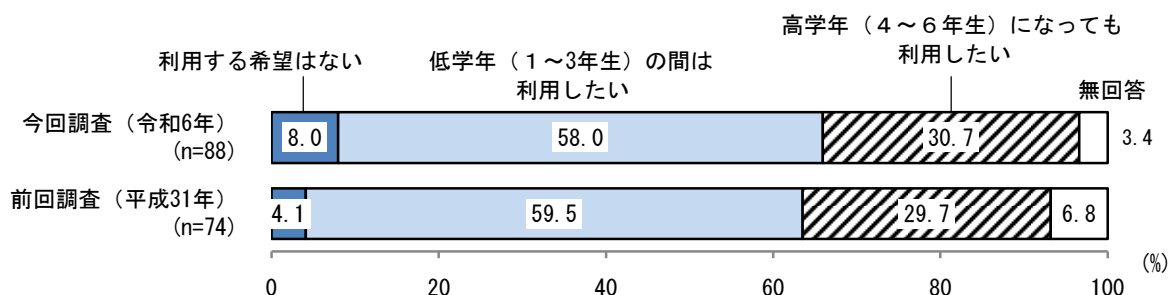
■小学校高学年時（４～６年生）の希望利用時間帯

→ 該当者は２名で、開始時間は「７～８時」が２件（100.0%）となっています。終了時間は「１８～１９時」、「１９～２０時」がそれぞれ１件ずつ（各 50.0%）となっています。

〔3〕長期休暇中の学童保育の利用希望

問29 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望はありますか（1つに○）。希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください（ ）内に24時間で表記）。
 なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

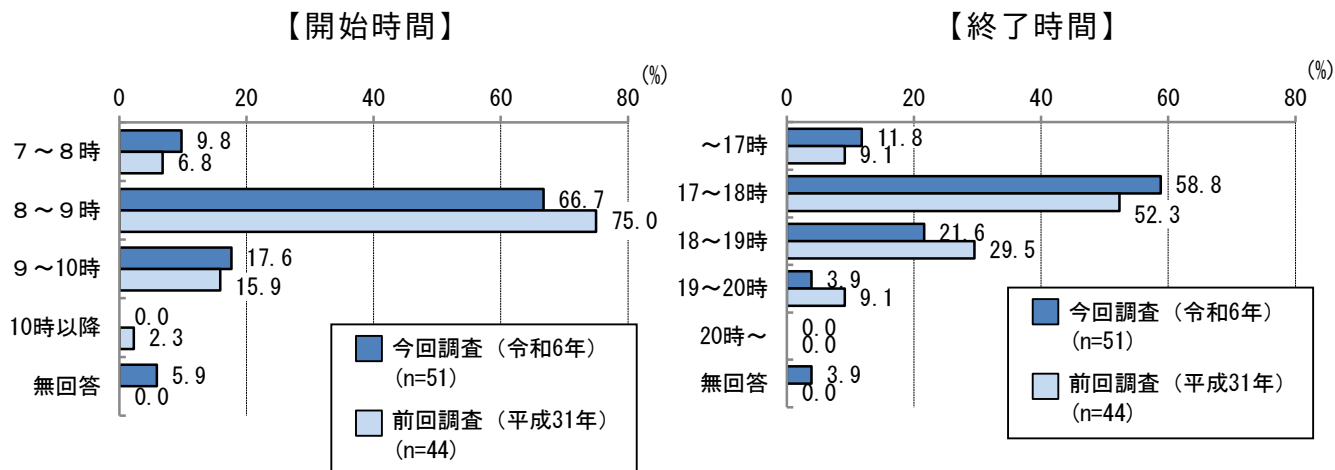
■長期休暇中の利用希望



長期休暇中の学童保育の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 58.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 30.7%で、利用希望者は合計 88.7%となっています。

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」とお答えの方のみ

■小学校低学年時（1～3年生）の希望利用時間帯

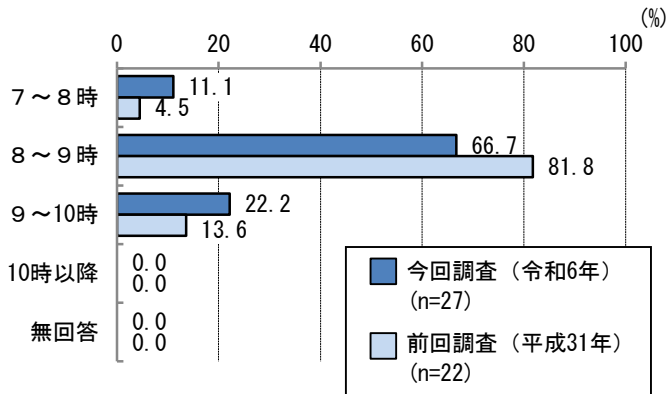


「低学年（1～3年生）の間は利用したい」方の長期休暇中の学童保育の希望開始時間は、「8～9時」が 66.7%と最も多く、希望終了時間は、「17～18 時」が 58.8%と最も多くなっています。

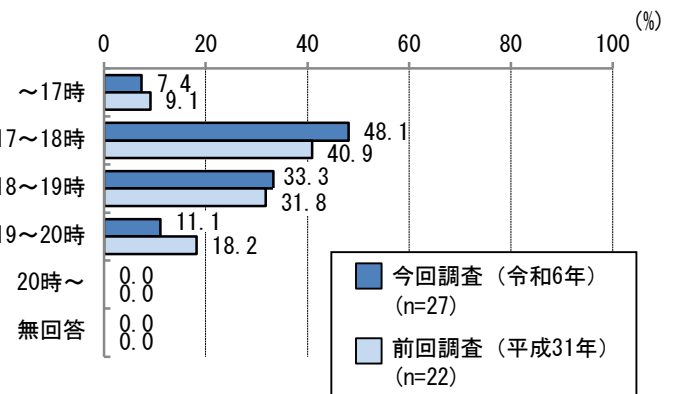
「高学年(4～6年生)になっても利用したい」とお答えの方のみ

■ 小学校高学年時(4～6年生)の希望利用時間帯

【開始時間】



【終了時間】



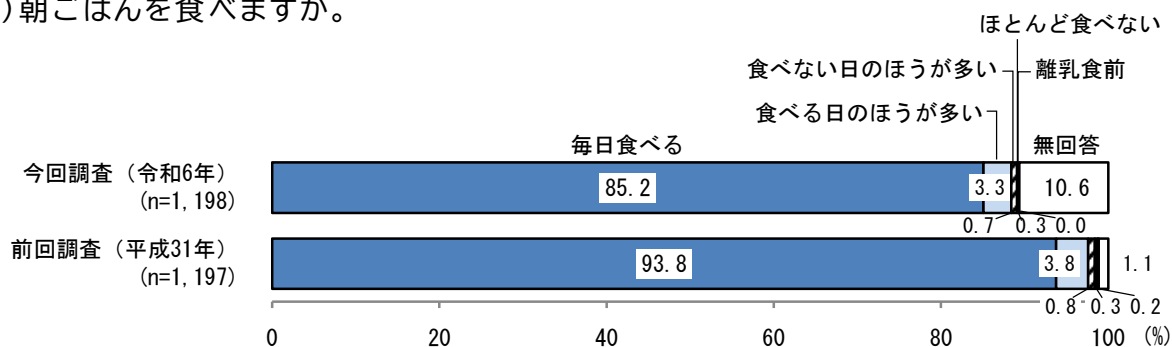
「高学年(4～6年生)になっても利用したい」方の長期休暇中の学童保育の希望開始時間は、「8～9時」が66.7%と最も多く、希望終了時間は、「17～18時」が48.1%と最も多く、次いで、「18～19時」が33.3%となっています。

12 子どもの生活習慣

〔1〕子どもの生活習慣

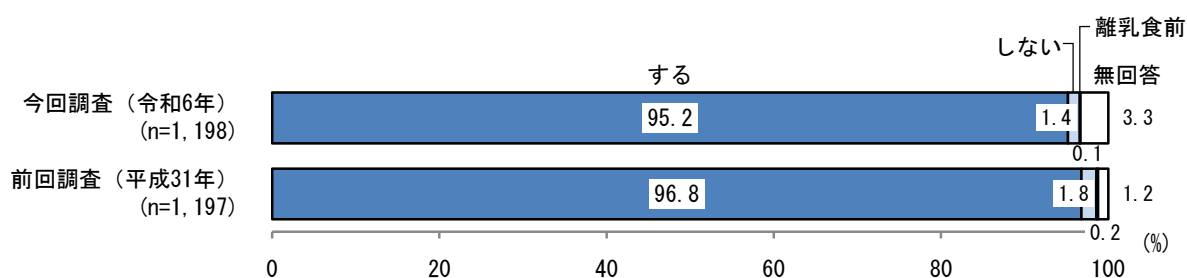
問30 お子さんの生活習慣について、お答えください。(それぞれ1つに○)

(1) 朝ごはんを食べますか。



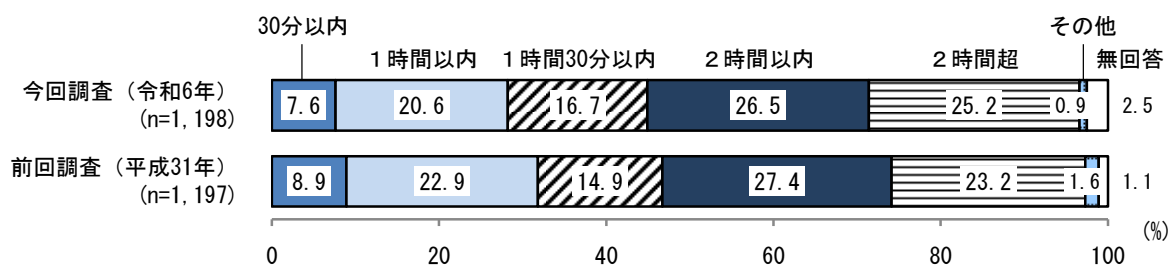
朝ごはんは、「毎日食べる」が 85.2%となっています。

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。



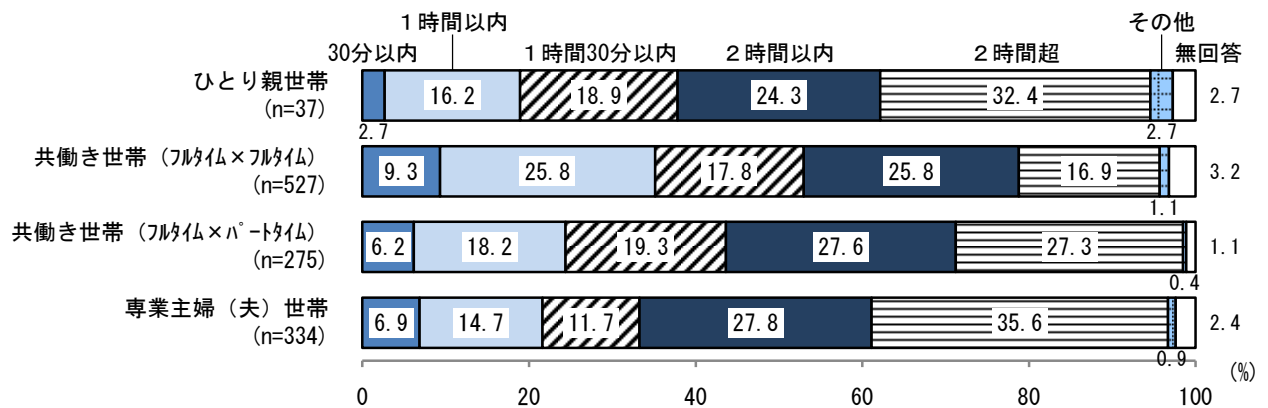
1日1回は家族と一緒に食事を「する」が 95.2%となっています。

(3) 平日のテレビ・ビデオ(動画・ゲームも含む)の1日当たり平均視聴時間は何時間ぐらいですか。



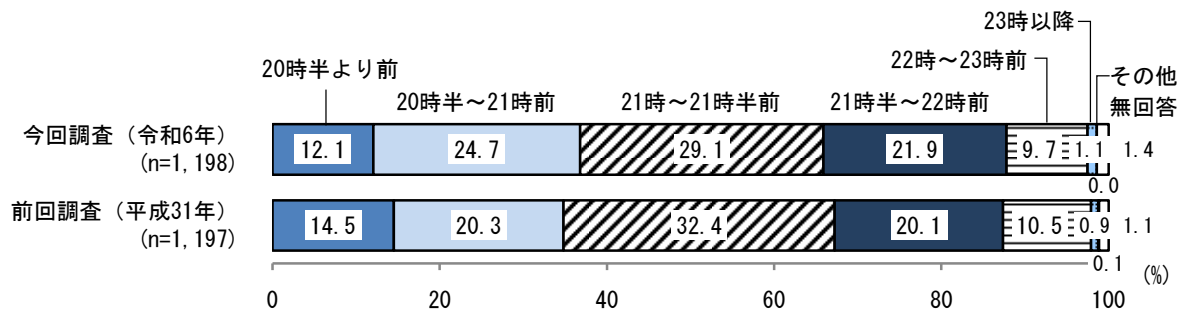
平日のテレビ・ビデオ(動画・ゲームを含む)の平均視聴時間は、「2時間以内」が 26.5%と最も多く、次いで、「2時間超」が 25.2%、「1時間以内」が 20.6%となっています。

【平日のテレビ・ビデオの平均視聴時間 家庭類型別】



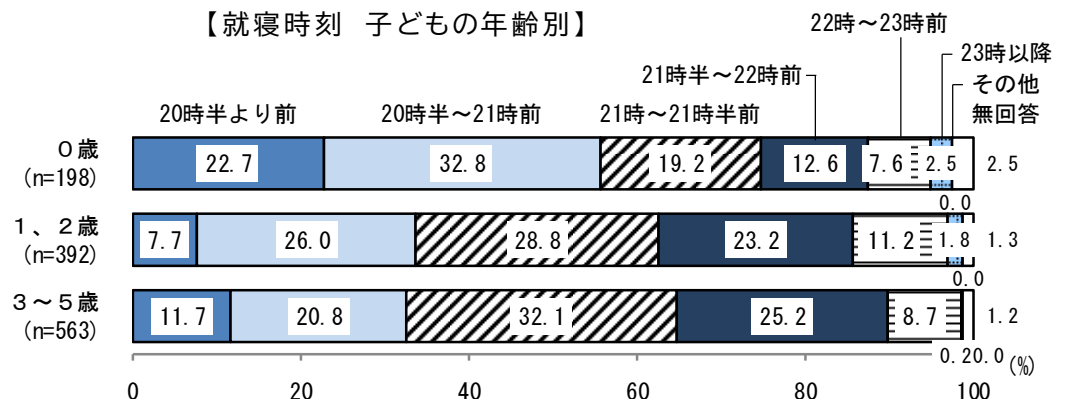
家庭類型別にみると、ひとり親世帯と専業主婦(夫)世帯で「2時間超」が3割以上と多くなっています。

(4) 就寝時刻は平均何時頃ですか。



就寝時刻は、「21 時～21 時半前」が 29.1%と最も多く、次いで、「20 時半～21 時前」が 24.7%、「21 時半～22 時前」が 21.9%となっています。

【就寝時刻 子どもの年齢別】

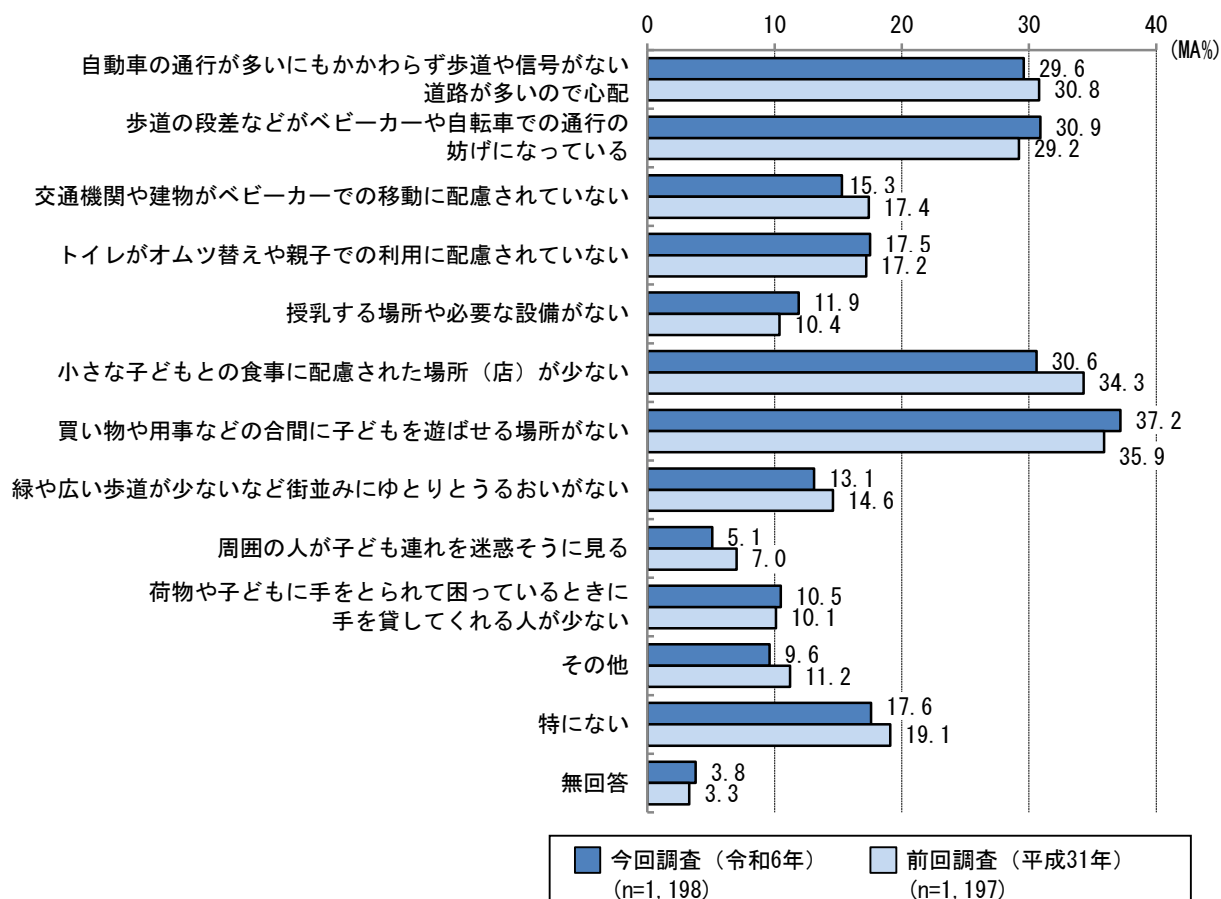


子どもの年齢別にみると、0歳では「20 時半～21 時前」が、1、2歳、3～5歳では「21 時半～22 時前」が最も多くなっています。

13 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保

〔1〕外出時に困ること、困ったこと

問31 お住まいの地域をお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか(当てはまるものすべてに○)。



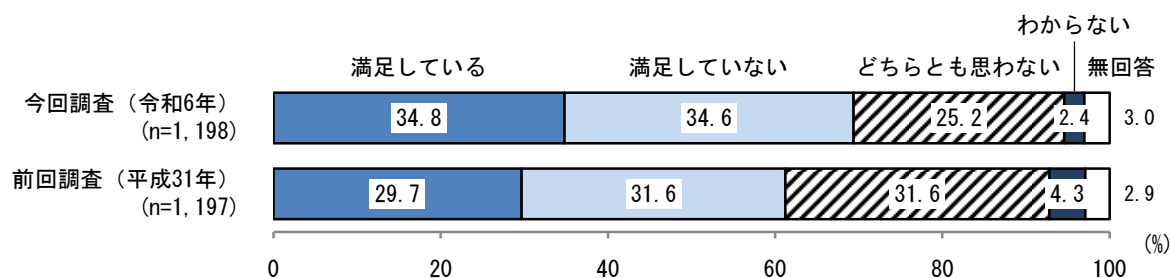
◆「その他」内訳

- ・道路が危険(歩道が狭い、側溝に蓋がない、ミラーがない、交差点の見通しの悪い所が多い など)
- ・交通マナーが悪い(住宅街でスピードを出す、横断歩道で一時停止しない、路上駐車、自転車のマナーが悪い など) ・坂道がきつい ・街灯が少ない ・草が生い茂って視界が悪い
- ・公園が少ない ・公園の遊具が少ない、面白くない ・公園にトイレがない、汚い
- ・公園で小中学生が走っていて危ない ・公道で子どもだけで遊んでいて危ない
- ・公共交通機関が不便、バスの本数が少ない ・駐車場が少ない、料金が高い
- ・ベビーカー移動が大変(バスやトイレにベビーカースペースがほしい)
- ・キューズモールに子どもを一時預かりできる場所があれば嬉しい ・アレルギー対応の飲食店が少ない
- ・エレベーターを探すことによく困る ・買い物するときにキッズカートがほしい
- ・子ども用トイレが増えてほしい ・男性用トイレにもおむつ替えスペースがほしい
- ・動き回る子どもの対応が大変 ・迷子ひろめへの理解がほしい など

子どもと外出するときに、困ること、困ったことは、「買い物や用事などの合間に子どもを遊ばせる場所がない」が37.2%と最も多く、次いで、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」が30.9%、「小さな子どもとの食事に配慮された場所(店)が少ない」が30.6%、「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」が29.6%となっています。

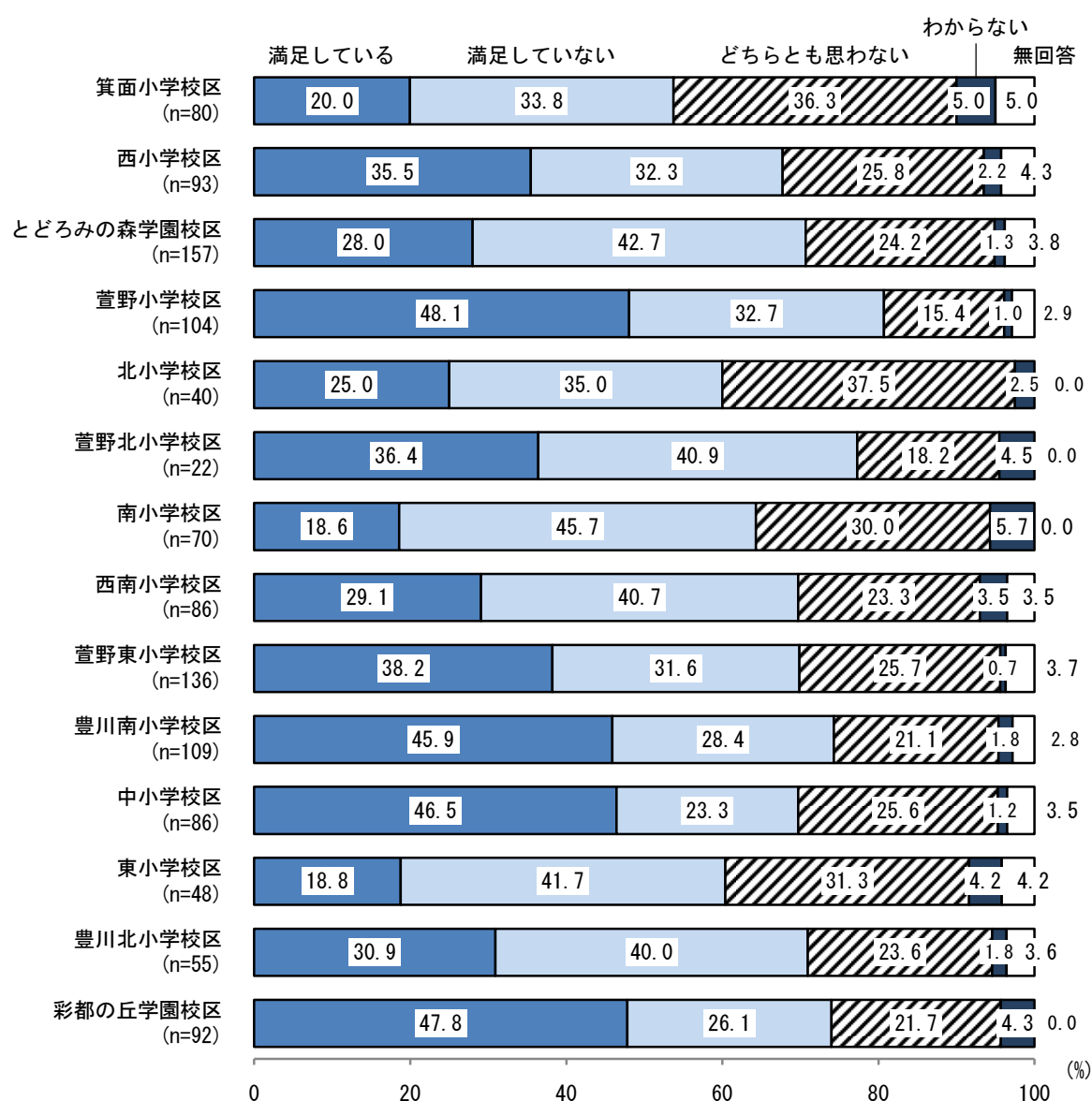
〔2〕遊び場の満足度

問32 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか(1つに○)。



地域における子どもの遊び場に、「満足している」は 34.8%、「満足していない」は 34.6%となっています。

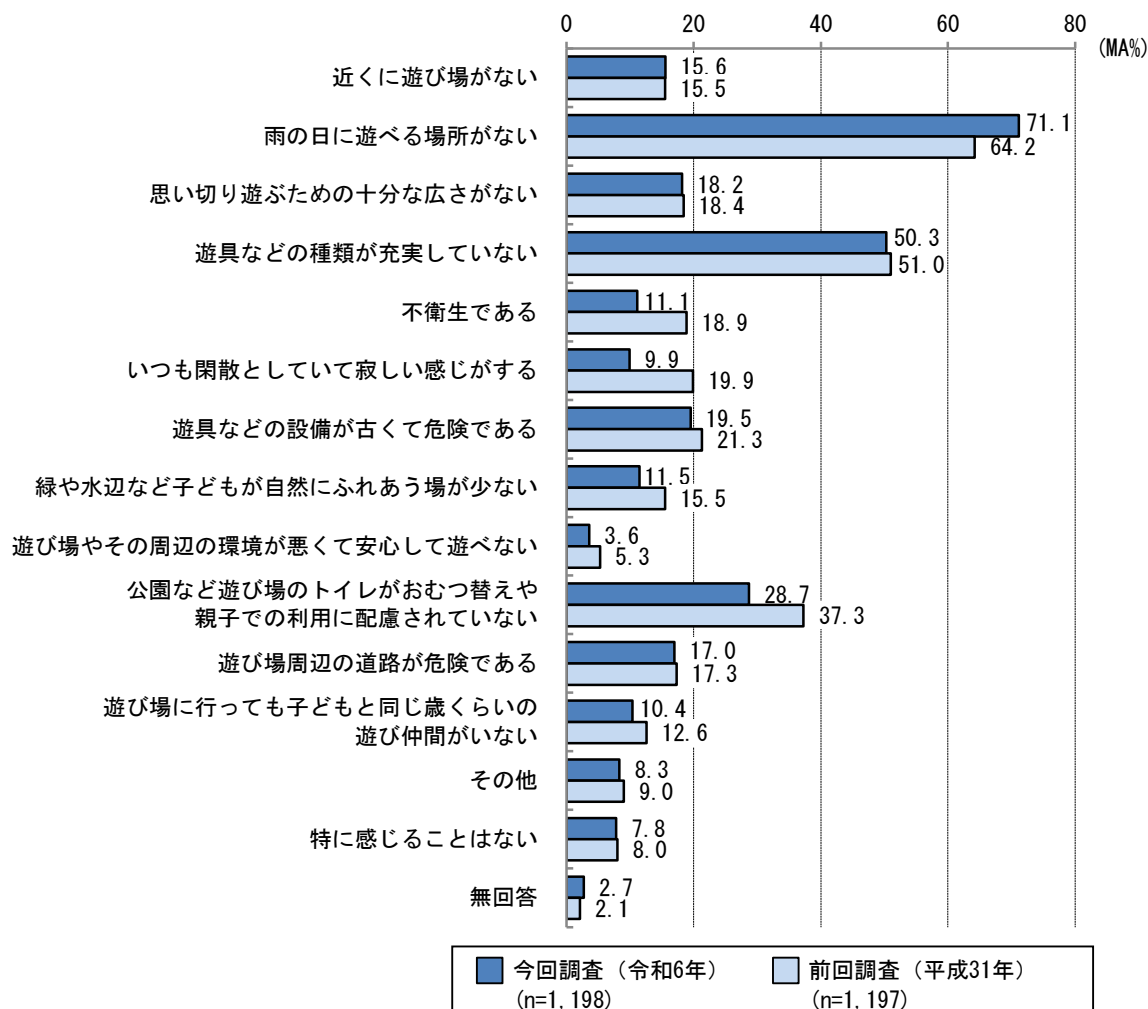
【遊び場の満足度 小学校区別】



小学校区別にみると、「満足している」は萱野小学校区、彩都の丘学園校区、中小小学校区、豊川南小学校区で5割弱と多く、「満足していない」は南小学校区、とどろみの森学園校区、東小学校区で4割強と多くなっています。

〔3〕遊び場に関して感じること

問33 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか
(当てはまるものすべてに○)。



◆「その他」内訳

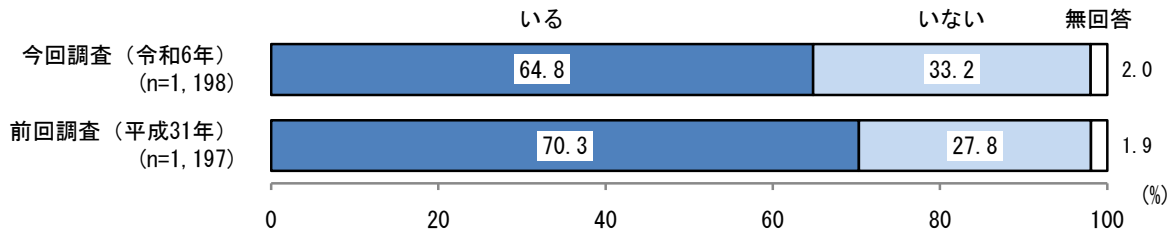
- ・公園の環境が悪い(ごみの散乱、タバコのポイ捨て、鹿のふんが多い、雑草がのびている、枝や切りっぱなしの木、大きな石がある、地面がガタガタ、トイレがない・汚い、日陰がない など)
- ・小中学生が鬼ごっこ、ボール遊び、遊具を占領していて小さい子が危ない
- ・遊具が少ない、古い、どこも同じでつまらない、幼児向けがない ・遊んでいるとクレームがくる
- ・自転車練習できる場所がほしい ・虫取りできる場所がない
- ・室内遊び場が少ない ・土日祝に遊べる場所が少ない ・温水プールがほしい
- ・おひさまルームがなくなって不便、出張子育てひろばの回数が少ない など

地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは、「雨の日に遊べる場所がない」が71.1%と最も多く、次いで、「遊具などの種類が充実していない」が50.3%、「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」が28.7%となっています。

14 子育てに対する意識

〔1〕日常的に子どもの話や世間話をする人の有無

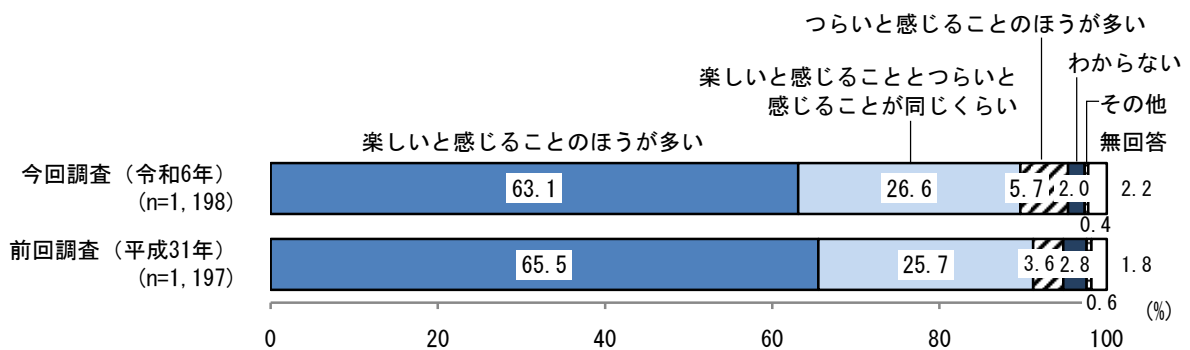
問34 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。



近所で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人が「いる」は 64.8%で、前回調査に比べて、5.5 ポイント減少しています。

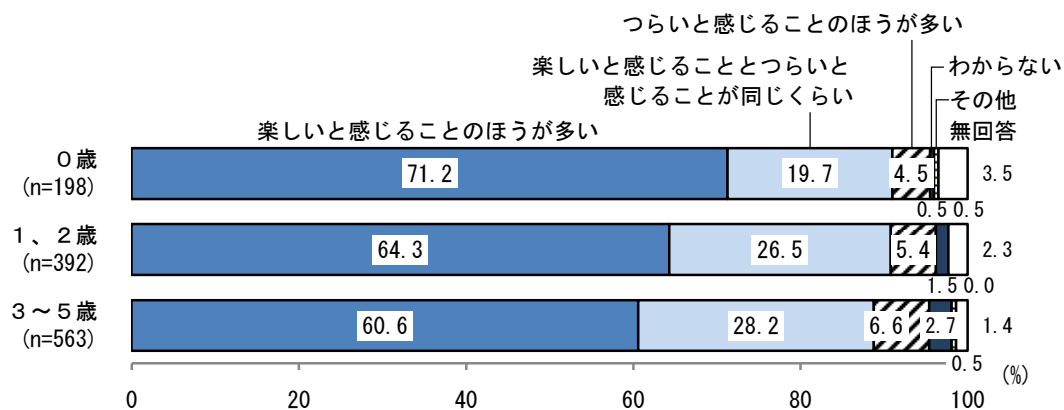
〔2〕子育てをどのように感じるか

問35 ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。（1つに○）。

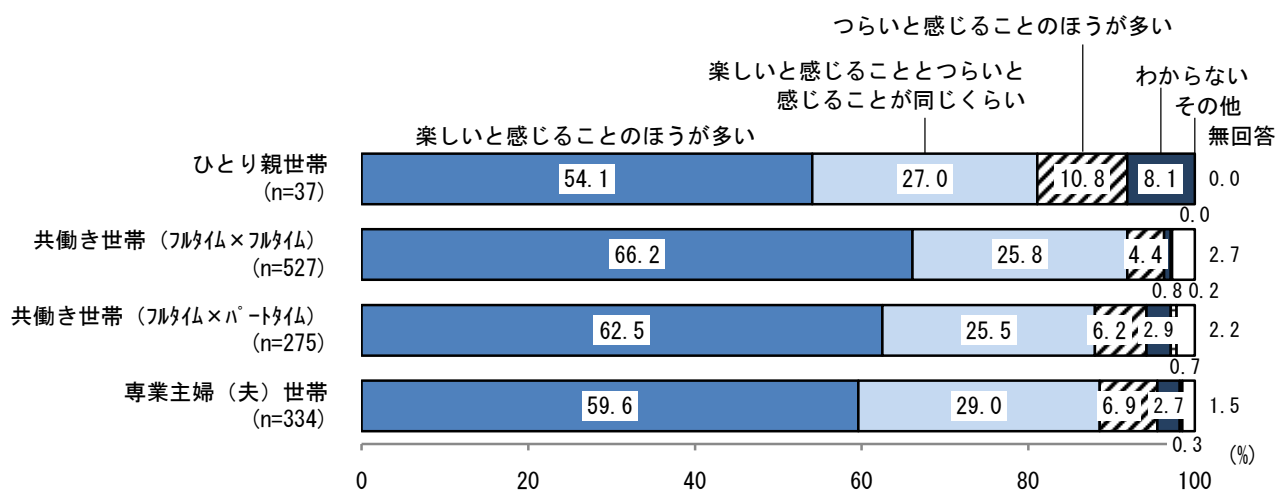


子育てをどのように感じるかについては、「楽しいと感じることが多い」が 63.1%と最も多く、次いで、「楽しいと感じることが多いと感じることが同じくらい」が 26.6%となっています。

【子育てをどのように感じるか 子どもの年齢別】



【子育てをどのように感じるか 家庭類型別】



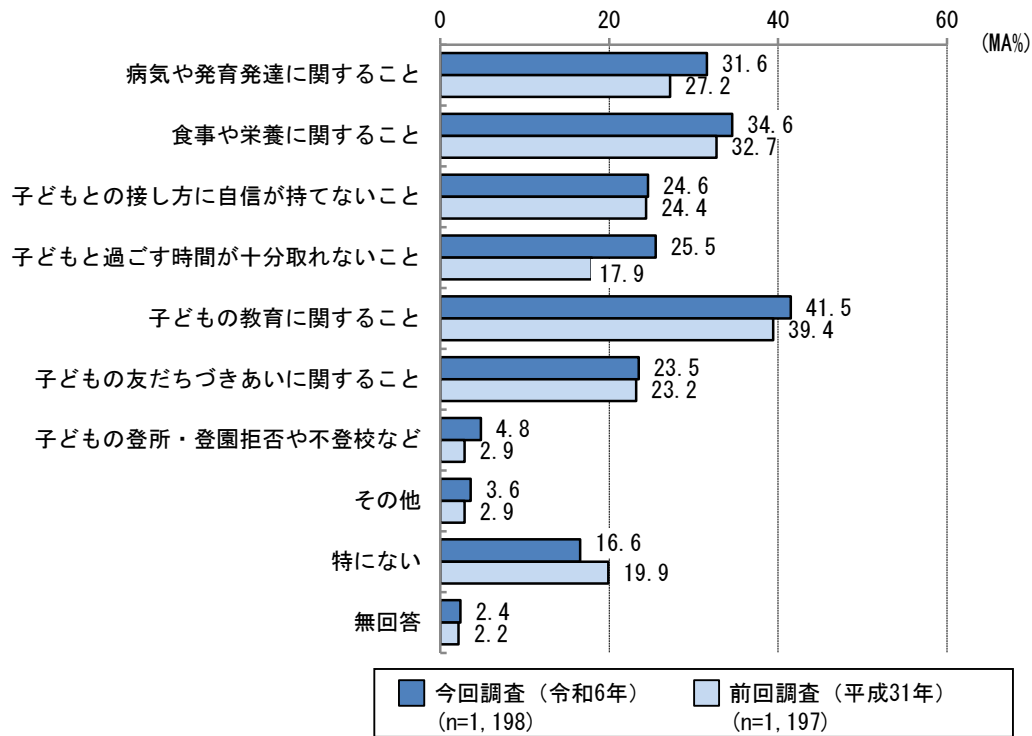
子どもの年齢別にみると、0歳では「楽しいと感じることのほうが多い」が71.2%と多く、年齢があがっていくにつれて、つらいと感じることが増えていく傾向がみられます。

家庭類型別にみると、ひとり親世帯では、「つらいと感じることのほうが多い」が10.8%と、他の世帯より多くなっています。また、共働き世帯のほうが、専業主婦(夫)世帯よりも「楽しいと感じることのほうが多い」の割合が多くなっています。

〔3〕子育てに関して悩んでいること、気になること

問36 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。
(それぞれ当てはまるものすべてに○)

■子どもに関すること

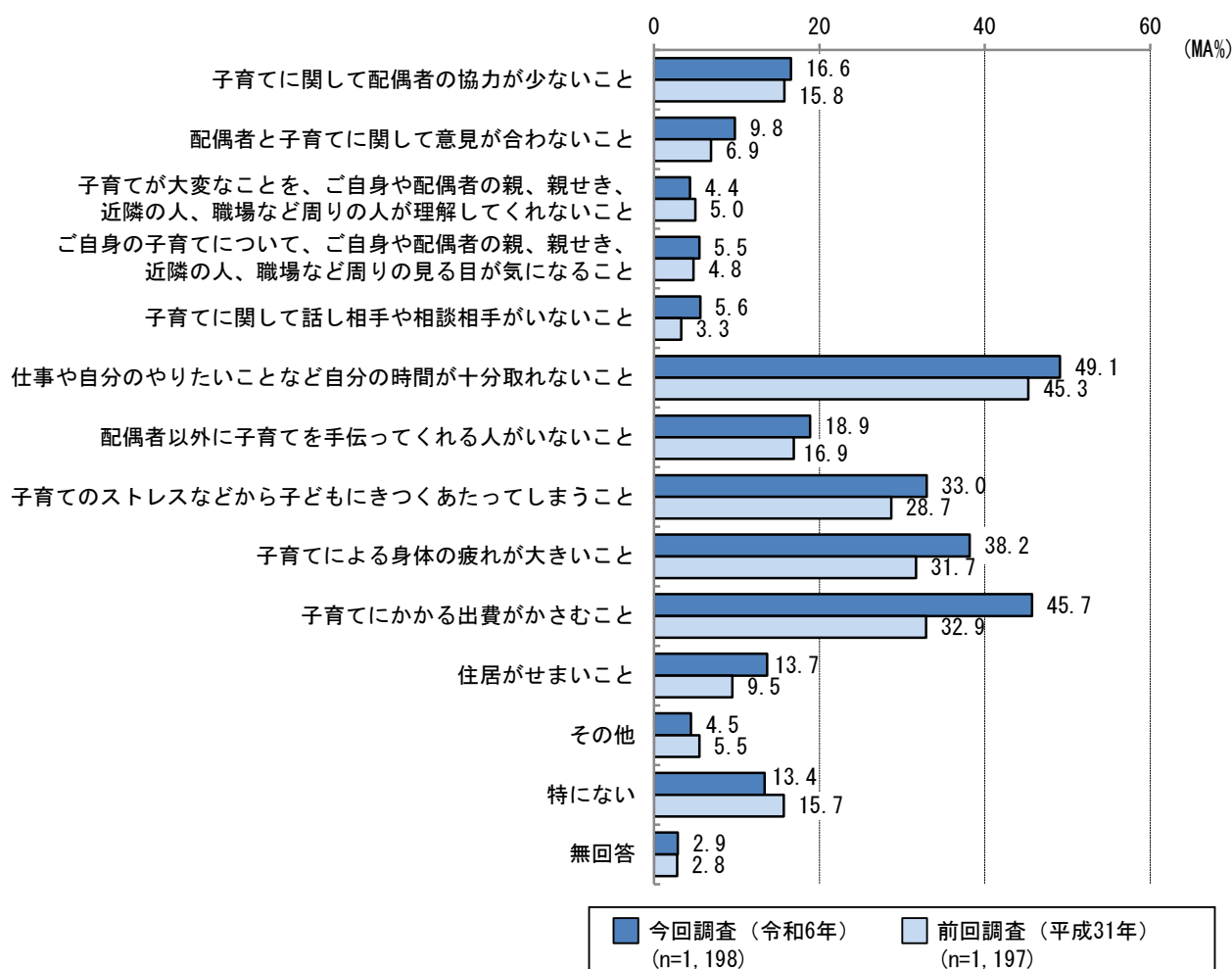


◆「その他」内訳

- ・子どもへの接し方、関わり方
- ・経済的なこと
- ・病気のときの対応（小児科が少ないなど）
- ・幼稚園、保育園への入園
- ・イヤイヤ期の対応
- ・いじめにあわないか
- ・家庭の問題の子どもへの影響
- ・その他（食事やおやつのこと、睡眠、ゲームのしすぎ、お友達、通学の安全） など

子どもに関することで、日常悩んでいることや気になることは、「子どもの教育に関すること」が41.5%と最も多く、次いで、「食事や栄養に関すること」が34.6%、「病気や発育発達に関すること」が31.6%となっています。前回調査に比べて、「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」が7.6ポイント、「病気や発育発達に関すること」が4.4ポイント増加しています。

■ご自身に関すること



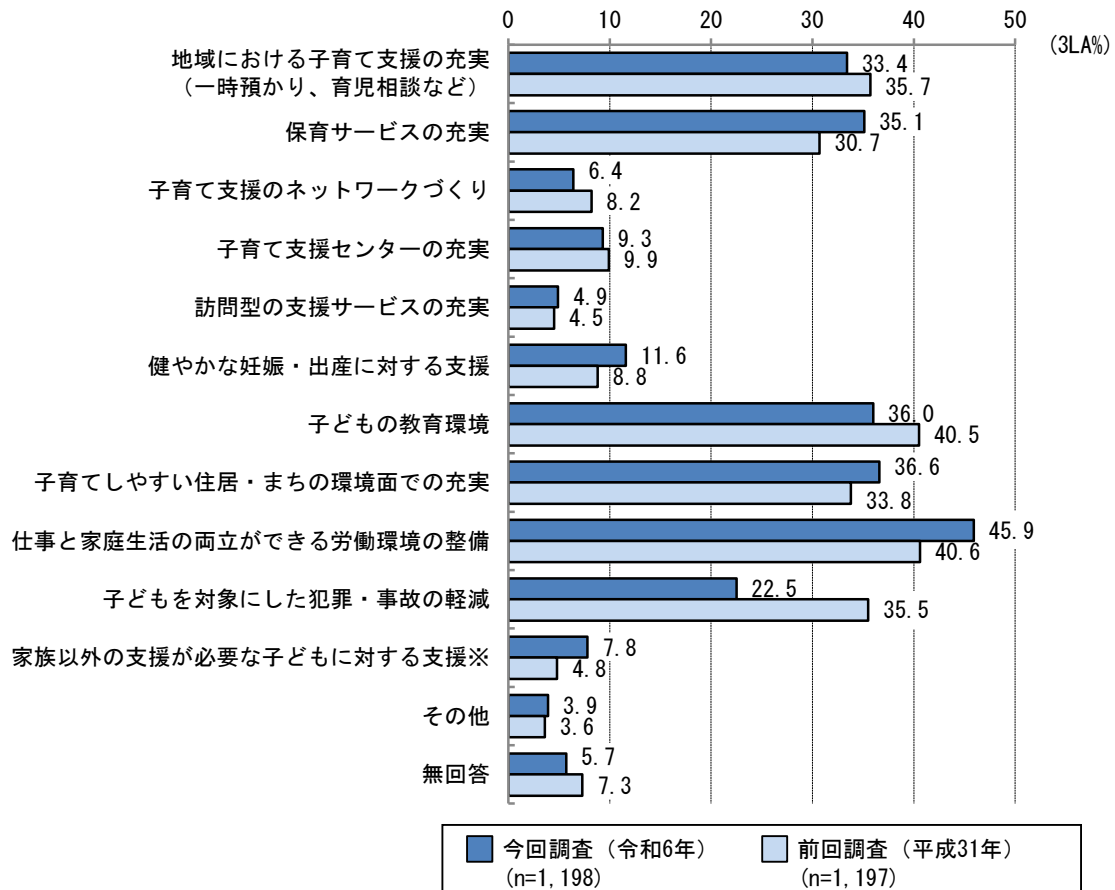
◆「その他」内訳

- ・子どもとの関わりが少ない、ゆったり接してやれない、いろいろな経験をさせてやれない、ストレスで子どもにあたってしまう
- ・仕事と育児のバランス
- ・自身の体調
- ・ママ友づきあい
- ・配偶者の理解がない、協力が得られない
- ・住宅が古い、子どもの音に対する苦情を言われる
- ・息抜き、リフレッシュしたい
- ・時間が足りない、習い事をさせたいが時間の都合がつかない
- ・頼れるところがない
- ・ワンオペでしんどい
- ・子どもと1対1の使命感、責任感がプレッシャー
- ・子育てと介護の両立
- ・同居や義父母とのストレス
- ・近所に子育て世代への理解がない
- など

ご自身に関することで、日常悩んでいることや気になることは、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が49.1%と最も多く、次いで、「子育てにかかる出費がかさむこと」が45.7%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が38.2%となっています。前回調査に比べて、「子育てにかかる出費がかさむこと」が12.8ポイント、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が6.5ポイント、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」が4.3ポイント増加しています。

〔4〕子育てに有効だと思う支援・対策

問37 ご自身にとって、子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。
下記枠内の選択肢の中からお答えください(当てはまる番号を3つまで記入)。



◆「その他」内訳

- ・経済的支援(補助金、給付金、費用負担の軽減、保育料、教育費、医療費無償化、米やクーポン配布)
- ・保育園入園基準の緩和 ・病児保育の充実、ベビーシッターとの連携 ・学童保育の充実
- ・子ども向け施設の拡充 ・医療機関の充実、質の向上 ・ひとり親支援、こども食堂
- ・配偶者の理解、協力 ・家事代行、ワンオペ支援 ・母親のケア ・地域で子育てするしくみ

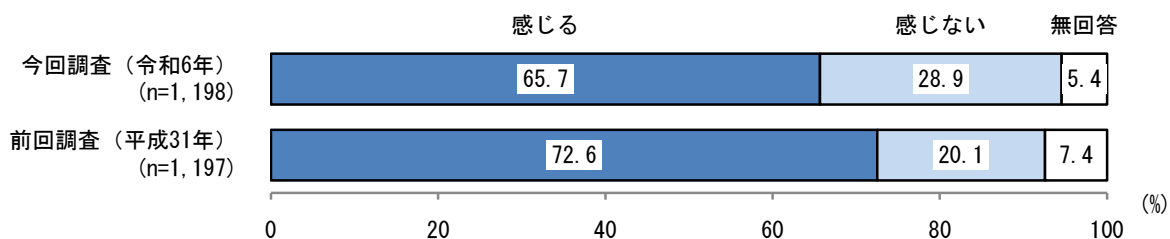
など

子育てをする中で有効だと思う支援・対策については、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 45.9%と最も多く、次いで、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 36.6%、「子どもの教育環境」が 36.0%となっています。前回調査に比べて、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 5.3 ポイント、「保育サービスの充実」が 4.4 ポイント増加し、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が 13.0 ポイント、「子どもの教育環境」が 4.5 ポイント減少しています。

〔5〕地域の人に支えられていると感じるか

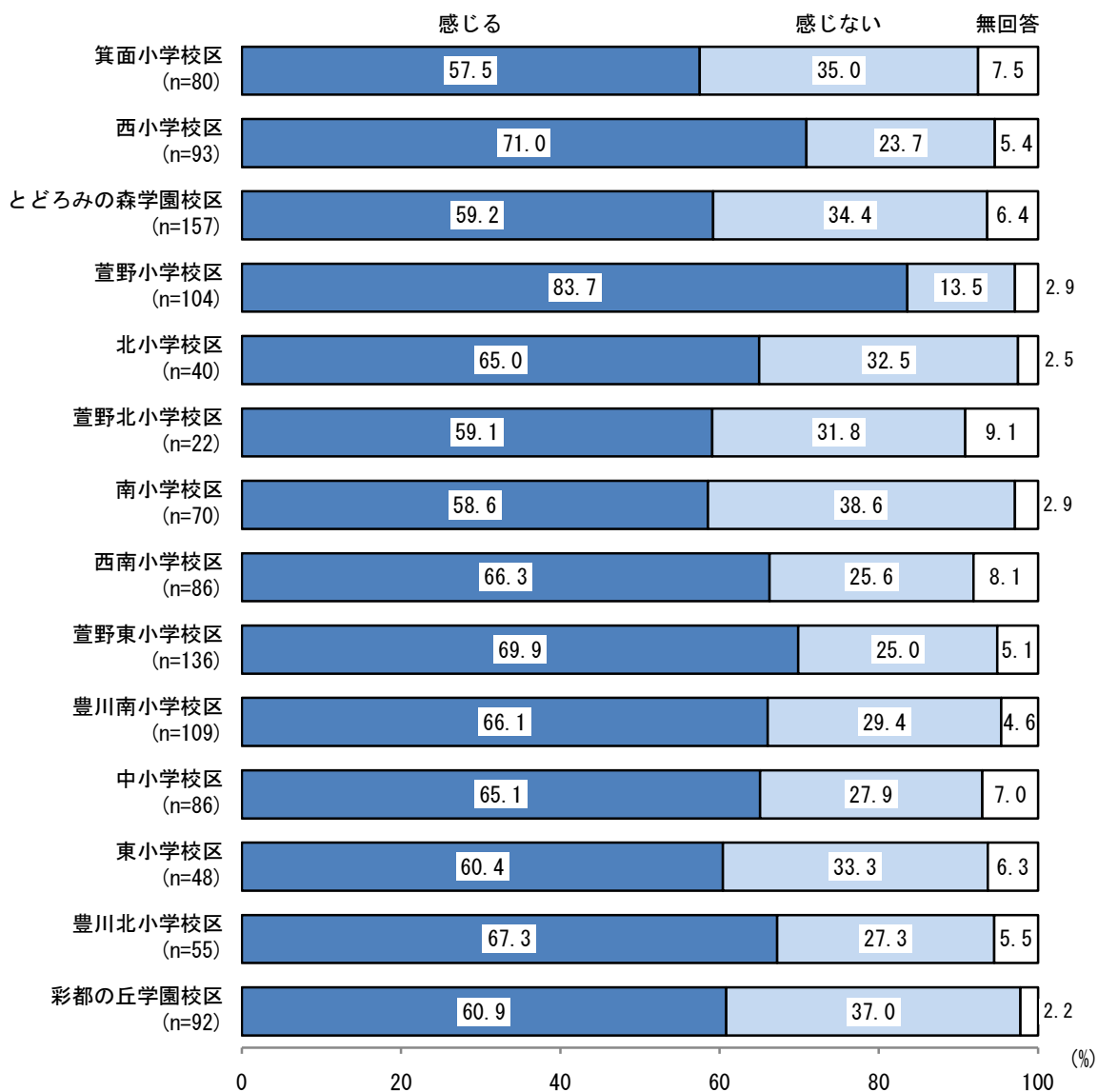
問38 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか(1つに○)。
また、感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。
感じない場合は、誰から支えてほしいと思いますか。
下記枠内の選択肢の中からお答えください(当てはまる番号すべてを記入)。

■支えられていると感じるか



自身の子育てが、地域の人に支えられていると「感じる」は65.7%、「感じない」は28.9%となっています。前回調査に比べて、「感じない」が8.8ポイント増加しています。

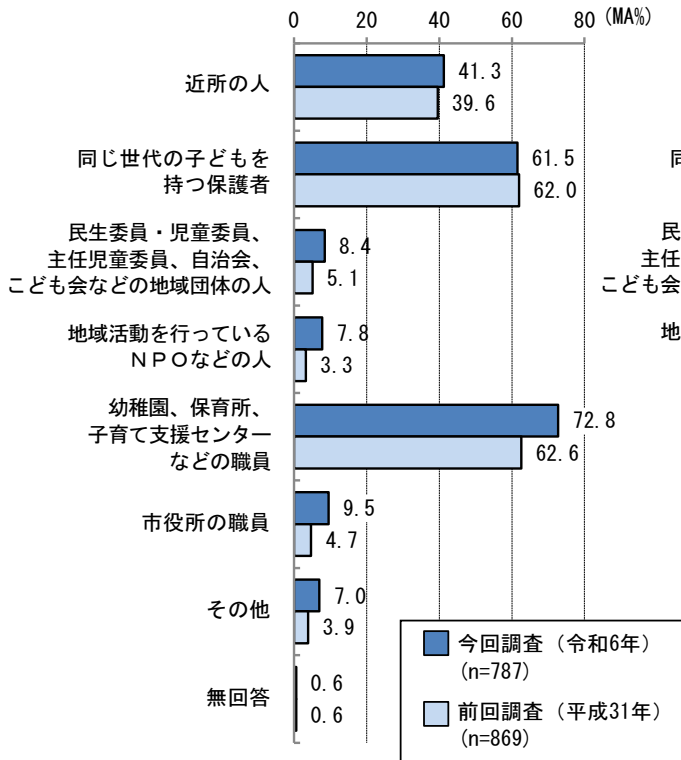
【地域の人に支えられていると感じるか 小学校区別】



小学校区別にみると、支えられていると「感じる」は萱野小学校区で83.7%、西小学校区で71.0%と多くなっています。

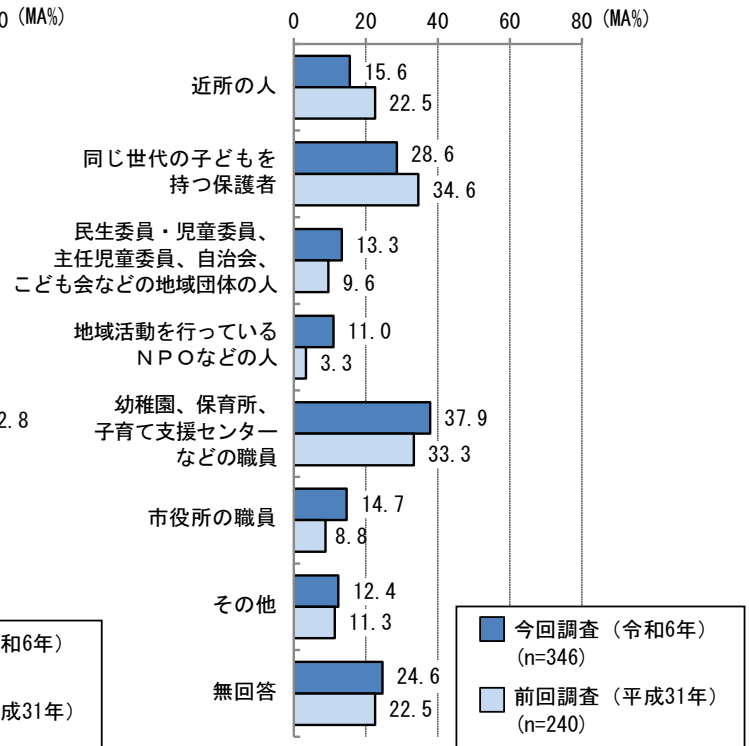
「感じる」とお答えの方のみ

■支えている人



「感じない」とお答えの方のみ

■支えてほしい人



◆「その他」内訳

- ・祖父母などの家族
- ・スーパーなどのお店の人
- ・かかりつけ医、看護師、訪問看護師
- ・産院のスタッフ
- ・福祉サービスの相談員
- ・児童発達支援センター、療育の先生
- ・近所の人
- ・ファミリーサポートセンター
- ・職場の仲間
- ・おひさまルームの人、まみーずの人
- ・つどいのひろばの助産師
- ・図書館の読み聞かせの先生
- ・ママ友、友人
- ・習い事の先生や保護者
- ・通りすがりの人 など

◆「その他」内訳

- ・箕面市、行政
- ・職場
- ・家族
- ・シルバー世代
- ・お店の人
- ・相談窓口
- ・社会全体
- ・独身の人
- ・誰でもいいので協力してほしい
- ・文句をつけたり、干渉しないでほしい
- ・責任を持ってアドバイスや支援をしてくれる人
- ・いない、必要ない
- ・支えてもらえると思わない など

自身の子育てが、地域の人に支えられていると「感じる」人が、支えられていると思う人は、「幼稚園、保育所、子育て支援センターなどの職員」が72.8%と最も多く、次いで、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が61.5%、「近所の人」が41.3%となっており、前回調査に比べて、「幼稚園、保育所、子育て支援センターなどの職員」が10.2ポイント増加しています。

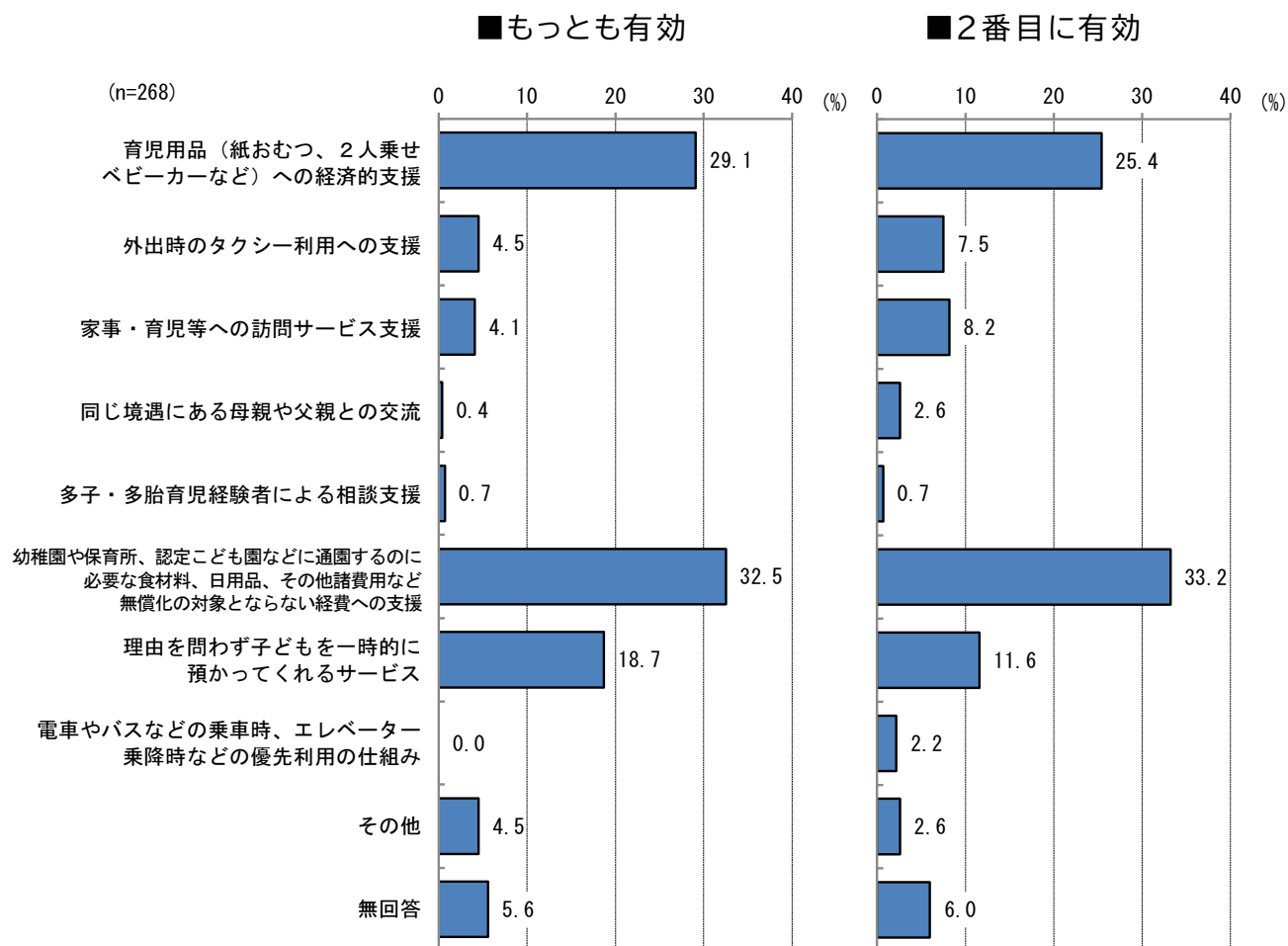
「感じない」人が支えてほしいと思う人は、「幼稚園、保育所、子育て支援センターなどの職員」が37.9%と最も多く、次いで、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が28.6%となっており、前回調査に比べて、「地域活動を行っているNPOなどの人」が7.7ポイント増加し、「近所の人」が6.9ポイント、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が6.0ポイント減少しています。

15 多子・多胎世帯の希望する子育てサービス

〔1〕有効だと思う子育て支援サービス【新規設問】

問39 どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思いますか。もっとも有効だと思われる番号に○をつけてください。

問39-1 2番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。



◆「その他」内訳

- ・経済的支援（補助金、支援金、教育費の減免など）
- ・保育料第3子無料の条件の緩和
- ・保育園入園時の多胎や3児以上の優遇
- ・上の子を妊娠発覚後すぐ～産後半年まで保育園で預かる
- ・病児保育の充実
- ・学校開放を毎日実施
- ・検診時や通院時のサポート
- ・身体のケア（疲労、整体）
- ・在宅ワーク就職支援 など

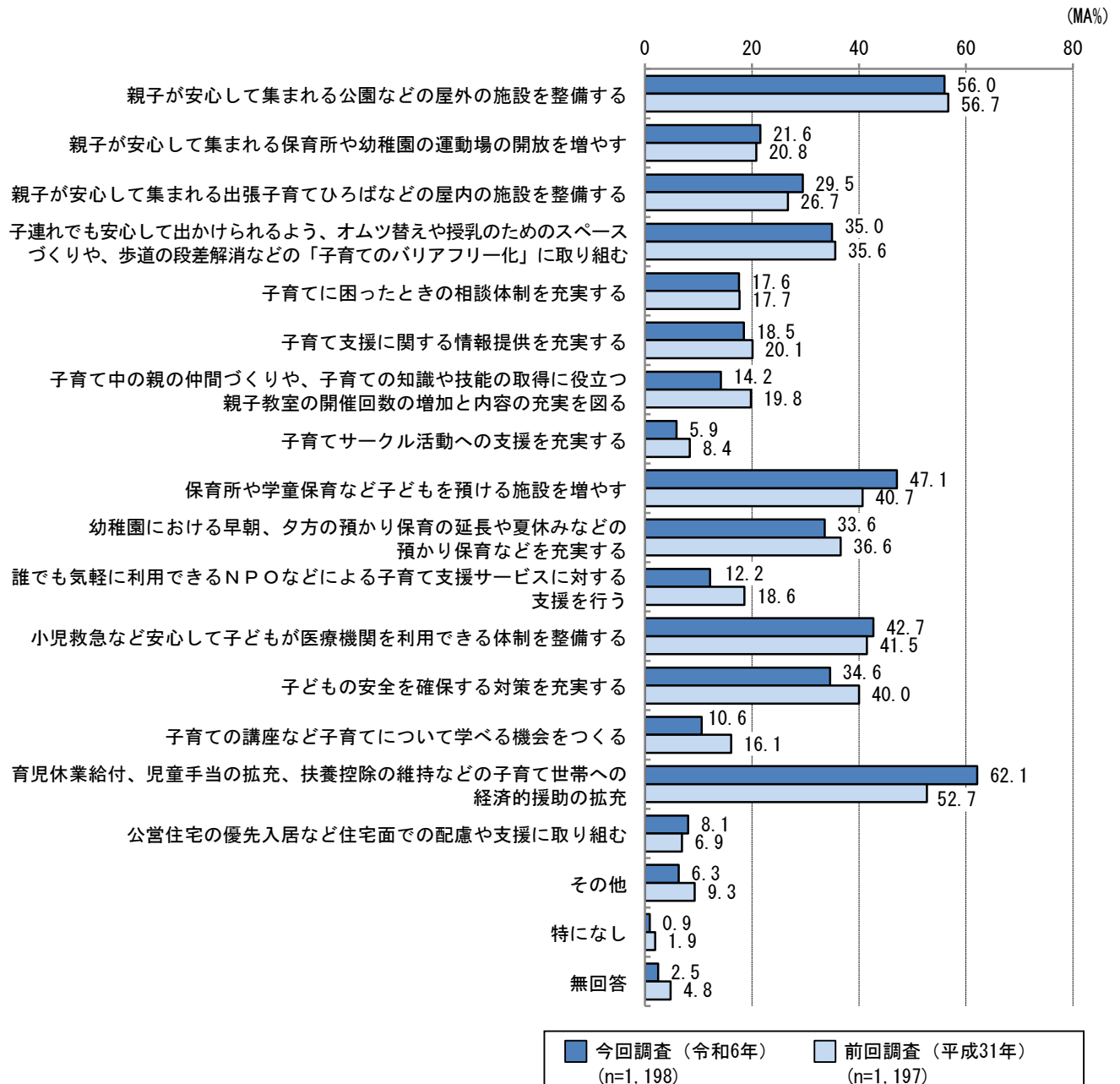
多子・多胎の世帯が、子育ての負担を軽減するのに最も有効だと思う支援やサービスは、「幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援」が32.5%と最も多く、次いで、「育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援」が29.1%、「理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス」が18.7%となっています。

2番目に有効だと思う支援やサービスも、「幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援」が33.2%と最も多く、次いで、「育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援」が25.4%、「理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス」が11.6%となっています。

16 箕面市への要望

〔1〕充実してほしい子育て支援サービス

問40 箕面市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか(当てはまるものすべてに○)。



◆「その他」内訳

- ・遊び場や子どもとお出かけできる場所(公園、屋内施設、プール、飲食店など)の充実
- ・医療費、教育費、公共料金など経済的な援助、保育料無償化 ・おむつや日用品、クーポンの支給
- ・保育園、幼稚園に入園しやすく(施設の拡充、入園基準の見直し)
- ・一時預かり、休日保育、病児保育の充実 ・支援センターや子育てひろばの充実
- ・通学路、登下校の安全確保、学童保育の充実、小学校開門時間の繰り上げ ・送迎時の駐車場開放
- ・不妊治療、産後ケアなど妊娠・出産に関わる支援 ・就労の支援 ・家事代行サービス
- ・保育士、教員など子どもにかかわる人のスキルアップや待遇改善 ・ネットで手続き完結
- ・発達障害、医療的ケア児、ひとり親家庭の支援 ・住宅購入補助、空き家利用 など

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

市に充実してほしい子育て支援サービスは、「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が 62.1%と最も多く、次いで、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が 56.0%、「保育所や学童保育など子どもを預ける施設を増やす」が 47.1%となっています。前回調査に比べて、「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が 9.4 ポイント、「保育所や学童保育など子どもを預ける施設を増やす」が 6.4 ポイント増加しています。

〔2〕自由意見

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

543 人の方から、のべ 960 件のご意見をいただきました。主な内容は下記のとおりです（主なご意見について抜粋・編集して掲載）。

ご意見内容	件数
保育・教育について	286 件
＜保育・教育全般＞	89 件
■ 保育料などに関すること ・ 0 ～ 2 歳の保育料を無料に、第 2 子以降の保育料無償化、または無条件で半額に ・ 第 3 子の支援制度は年齢差に関わらず適用してほしい ・ 保育料の負担額が年々上がっている、保育料が無料でもそれ以外が値上げされ前と変わらない ・ 預かり保育の利用補助金の一律化を廃止し、自己負担額が変わらないようにしてほしい ・ 所得によって保育料の差が大きすぎる、親の収入による格差是正 ・ 園によって保育料の支払いがバラバラ、3 か月に 1 度の助成金還付もやめてほしい ・ 箕面市以外の幼稚園に行くは無償の恩恵を受けられない、補助の検討を	51 件
■ 保育士、教師に関すること ・ 子どもの人数に対して保育士が少なすぎる、保育士の配置基準の改善を ・ 保育士不足の解消、保育の質の向上のため保育士の待遇改善や給与アップを ・ 子どもたちの未来のために保育園の「量」ではなく「質」の向上が不可欠 ・ 先生の対応に不信感、教育方針なども市のほうできちんと見てほしい ・ 保育園に看護師を配置してほしい	22 件
■ 統廃合や民営化について ・ 公立保育の縮小や民営化は保育の質の低下につながる ・ 保育園の空きがなく、幼稚園も閉園するところもあるにも関わらず、市立保育所を縮小する等の施策を行なっていることに理解ができない	8 件
■ その他 ・ 保育園、幼稚園、学校などの安全管理の為に門施錠の徹底 ・ 学校行事と保育園行事、預かりなどの連携、書類の統一や提出時期の統一 ・ 幼稚園や保育園の選び方がわからない。通園している保護者の声がわかる資料がほしい	8 件
＜保育園、保育所に関すること＞	133 件
■ 募集・選考、入園条件について ・ 新 2 号認定の基準が 4 時間以上、週 4 回以上というのが厳しい、週 2 ～ 3 回でも使いたい ・ 保育園選考の加点方法に理解し難い点が多い ・ 兄弟姉妹が同じ保育園に入園できるような施策（兄弟加点を設けるなど）があったらいい ・ 園が決まる時期やお知らせなどがギリギリ、2 次・転園の結果が遅すぎる ・ 保育園募集の倍率を出してほしい、点数の詳細を開示してほしい ・ 保活するのに全て自分で情報を得たりしないといけない、説明会みたいなものがあればよい ・ 保育園の選考を web 化してほしい、手続きなど支所やオンラインで受け付けてほしい ・ 入園の審査にあたり、特殊な事情を考慮してほしい、希望園と自宅との距離を考慮してほしい ・ 年度の途中からでも保育所に入れる環境を整えてほしい	51 件

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

ご意見内容	件数
■ 保育園、定員が少ない ・保育所の定員増 or 増設、入園率アップ ・保育園が少ない（箕面森町、西南校区、北小校区、西部地区、止々呂美地区など）	33 件
■ 仕事が休みのときや、親のリフレッシュ目的でも利用したい ・有給休暇時の預りを認めてほしい ・親のリフレッシュが理由であろうと預ってくれる制度になれば ・産後 2 週間で送り迎えをしなければならず、さらに時短保育と言われ、とても辛かった	14 件
■ 休日保育の充実 ・日曜、祝日であっても、「いつもの」保育園に通える環境を希望 ・休日保育の乳児枠が少なすぎるので増やしてほしい	11 件
■ 育休明けの入所時期について ・育休明け、15 日までに勤務しなければいけないのは早すぎる。月末までにしてほしかった ・復職の時期を当月の 15 日までではなく自由に選択させてほしい	7 件
■ 園の運営、保育環境など ・保育所の質に差があり、保育所の待機状況にムラがある ・保育士さんが同時に何人も退職したり、長期休養をしている保育施設には不安がある	6 件
■ 保育時間を延ばしてほしい ・預かり時間がもう少し伸びればよい（8:00～など）9 時からだと就労できる場所が限られる ・フルタイムで管理職をしていると、保育開始と終了時間に間に合わない	4 件
■ 保育園その他 ・保育所の待機します制度のおかげで、夫婦二人で 2 年育休をとり子育てに向かいあうことができた ・体操服やねんど、のりなど市内認可保育所共通のものにして安く購入できるしくみがあればいい ・保育園や幼稚園にはパーキングを増やすなり駐車場を設けるべき	7 件
＜幼稚園に関すること＞	15 件
■ 預かり保育について ・当日申し込み OK、何かしらのシステムでの予約にしてほしい ・長期休み中の預かり保育を充実させてほしい ・無職でも預かってもらいたい	10 件
■ 年少からの入園について ・公立幼稚園の年少クラスがないため近所に同年代の友達ができない、小学校入学も不安	3 件
■ 幼稚園その他 ・こども園などで有料の課外授業（体操、英語、サッカー、書道 etc）があれば魅力的	2 件
＜小中学校に関すること＞	54 件
■ 早朝預かり、開門時間について ・朝 8 時開門のルールが厳しいと感じる ・先に両親と弟が家を出ることになり、1 人で鍵を閉めて家を出て行かせるのが心配 ・豊中市で開始された小学校の 7 時からの学校開放を取り入れてほしい	12 件
■ 教育・学習内容について ・小中学校各教科で実力別にわけて、学力に寄り添った教育をしてほしい ・お金の勉強、プログラミング、性教育	6 件
■ 学校区について ・学校選択制を導入してほしい、親がある程度責任をもった上で、通う小学校を選べればよい ・学校区は改めて考えてほしい、通学時間が長くなることで犯罪、事故に巻き込まれる	6 件

ご意見内容	件数
■ 登下校について ・小学校入学～1ヵ月位、登下校を付き添ってくれるボランティアさんなどがあれば助かる ・6才からの子どもたちが長距離を安全に通うために集団登校の体制に戻してほしい	6 件
■ 学校行事、PTA について ・PTA を廃止してほしい、共働きには負担、今の時代 PTA は特に必要ない	4 件
■ 給食について ・低アレルギー献立の給食はありがたい ・オーガニック給食を推進していただきたい	4 件
■ 制服、ランドセルについて ・着ていくものを買ったりすることも大変なので制服にしてほしい ・制服が高い ・ランドセル非推奨であればモンベル等のリュックを配布、もしくは公式推奨してほしい	4 件
■ 放課後の学校開放について ・放課後の学校開放を毎日実施してほしい、トラブルや事故を考えると校庭開放が一番よい ・放課後の校庭や空き教室で習い事を行っている例を取り入れてほしい	4 件
■ 学校施設について ・公立の小中高校の施設の充実を ・設備増築や IoT の導入など環境整備も進めてほしい	3 件
■ その他 ・tomoLinks は時々見落としもあるので大事な学年だよりや学園だよりはプリントで配布してほしい ・入学までに小学校へ行く機会がない、就学前検診や学校説明会などを小学校で行い、もっと小学校を身近な状態にした方がよいと思う ・入学時の学校説明会を全校オンライン化してほしい	5 件
まちづくりや環境整備について	250 件
■ 公園に関すること (整備について) ・公園の整備を急いでほしい ・草やベンチの手入れをしてほしい ・ゴミが落ちていたり、タバコを吸う人がいるので遊ばせにくい、ゴミや犬のフンが落ちていて汚い ・地域の公園を充実させてほしい、公園によって格差を感じる ・管理できない公園は危ない、使う人がいない公園は広場にしたり企業に売却してもいいのでは (遊具について) ・遊具の充実した公園を作してほしい ・森町の公園は広いのに遊具が少なくてもったいない ・どの公園に行っても同じような遊具ばかり、公園の個性がなくなりつまらない ・公園の遊具が古く危ない ・すべり台はやけどするほど熱くて危険 ・大きな遊具のある公園が少ない、遊具がコンパクトになりすぎて面白味がない ・体を使ってよじ登ったりできる大きめの遊具がある公園が増えると助かる ・引き続き公園の遊具のリニューアルをもらいたい ・小さい子（乳児など）向きの遊具を充実してほしい、3 歳以下には難しいものが多い ・小学生以上の子どもが楽しいと思う遊具がある公園が少ない (設備その他) ・トイレをきれいで広くしてほしい、薄暗く中の様子がわからないので大人でも利用をためらう ・転んでも痛くない柔らかい地面にしてほしい ・自転車の練習ができる公園や道があると嬉しい ・陰が少なく日差しが強く、夏など利用できないので対策考えてもらいたい、スズメバチもいる ・車が止められる駐車場付きの公園を増やしてほしい ・様々な年代の子どもが楽しめる公園を増やしてほしい ・公園でしてはいけない遊びのしぼりが多すぎる、自由に遊べるようにしてあげたい ・ボールが道路に出ない工夫や、小さい子どもがすぐに外に出れない工夫のある公園があると良い	115 件

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

ご意見内容	件数
■ その他の子どもの遊び場、お出かけについて (屋内の遊び場がほしい) ・雨の日や暑い日に、思い切り走り回れるような屋内施設があれば助かる ・雨の日に友達と一緒に遊べるところ ・屋内の遊び場で土日でも利用できるところ (子どもが遊べる施設を) ・屋内の遊び場(有料でも)を民間の協力も得ながらもっと増やしてほしい 具体例…茨木市おにクル、亀岡市 kirinoko、かめまるランド、神戸市こうべっこひろば、桜井市ひみつこばーく、ウェルビー、Bb、キドキド など (その他) ・子連れに優しい飲食店の拡充、及びその情報発信 ・親子で気軽に入れる飲食店 ・箕面駅周辺に子どもが遊べる屋内施設、イオンモールのようなショッピングセンター ・外出時に図書館に寄りたくてもいつも駐車場の空気がない ・図書館にハイハイ時期の子どもが座って本を読めるキッズスペースを作してほしい ・夏に水遊びできる場所が少ない ・室内プールを作ってもらいたい ・体育館で自由にあそびたい、トランポリンとかしたい、運動ができる施設を開放してほしい ・児童館のような幼児から小・中学生くらいまで利用できる遊び・活動の場がほしい ・小学生も行ける児童館(大人の目がある遊び場)があったらいい	64 件
■ 道路の整備について ・側溝や道路と農地の境界線などグレーチングや柵がなく、子どもが安心して歩ける状況にない ・道幅がせまい歩道や使いにくい歩道橋があってベビーカー移動が大変 ・道路がデコボコ、ガタガタな道が多く感じる ・道路にペイントが多くてすべりそうで怖い ・車道と歩道の区別がない道が多い ・車が頻繁に通る所でも歩道がなかったりする ・箕面線の踏切が歩道部分がない踏切が多い ・点滅信号と横断歩道を設置してほしい	23 件
■ 公共交通、移動手段の充実 ・車がないと行けないところが多い ・バスなどの公共交通機関をもっと充実させてほしい ・彩都地域には豊川支所、箕面駅へ向かうバスのルートがなく大変不便 ・ゆずるバスも乗るバス停によっては時間がかかることもあって利用しづらい ・ゆずるバスが狭くベビーカーでの利用がしづらい、ベビーカーでもバスに乗りたい	12 件
■ 医療機関の充実 ・小児科が少ない ・発熱外来など対応できる病院が少ない ・子どもの急病でみてもらえる所が豊能急病センターしかない、外科受診もできるようにしてほしい ・日曜や夜中など子どもを見てくれる救急外科があってほしい	9 件
■ 環境の整備について ・ごみやタバコがポイ捨てされている所が多く、子どもたちも「箕面はごみが多い」と言っている ・道路沿いの草刈りをしてほしい ・通りを渡る時、桜の木で車が来ているか見えなくて危ない ・古い家の壁が倒れてきそう、雑木林やあまり管理されていない木が茂っていてあぶない	7 件
■ 防犯対策について ・公園や屋外施設の防犯カメラ設置 ・公園、広場に外灯を増やし、もう少し明るくしてほしい ・幼児・児童用の公園や遊具で大人が夜中に遊べないようにしてほしい	7 件
■ その他地域ごとの課題など ・箕面森町に住んでいるとトンネル代がかかり、通院や、市の施設を利用したくても気軽に使えない ・彩都地区は子どもの数が多いにも関わらず、図書館、子育て支援センター、屋内遊び場がない	13 件

ご意見内容	件数
地域子ども・子育て支援事業やその他の子育て支援について	223 件
■ 子育て支援センターや集いの場について ・支援センターが少ない、設置してほしい（箕面森町、彩都・粟生地域、東部など） ・いつでも気軽に行ける支援センターが徒歩圏内であつたらよい ・施設の整備も重要だとは思いますが、駐車場(できれば無料)も増やしたほうがいい ・おひさまルームが閉室して不便、閉まっている間も臨時の場所で常設してほしい ・おひさまルームは午前中に利用できる日をもっと増やしてほしい、15 時以降も遊べたら ・おひさまルームなどの広場を増やしたり、土日祝にも行けるようにしてほしい ・おひさまルームで同じ立場のママ友達と不安や悩みを共有できた、BabyProgram は継続すべき ・子育てひろばは少し大きい子どもも動けるスペースや、年齢で部屋を分けていただけるとありがたい ・「出張子育てひろば」は大変有難かったが月 2、3 回は少ない、せめて週 1 回出張してほしい ・豊川支所のキッズコーナーは遊具や絵本もあり、市役所の方もとても親切で利用しやすかった ・東図書館の幼児向けのおはなし会は、手遊びもしてくださり、とても楽しめた ・キューズモールの「みのマママルシェ」、フードコートの助産師さんのサポートは本当に助かる ・室内の遊べる施設（多世代）を利用するが、おもちゃや遊具がとても汚れていて残念	49 件
■ 一時保育など不特定の保育について ・一時保育を希望したいが、空きがなかったり、預ける施設が少なかったりで気軽に利用できない ・箕面市には 1 時間単位で子どもを預かってくれる施設が少ない ・一時保育をリフレッシュ利用したい ・普段保育園、子ども園等に通園している人も利用できるようにしてほしい ・料金を安くしてほしい ・急な用事(学校でのケガや呼び出し、お葬式など)の際に事前予約しなくても利用できると助かる ・「あそびー」「まみーず」の利用できる日を増やしてほしい、長時間保育できるようにしてほしい ・ちょこっと保育まみーずなど何で一歳半からなのか、一歳半までにも大変なときが多い	38 件
■ 妊娠～出産、育児のサポートについて ・市の両親学級がとても古くさく、昭和の価値観なのでアップデートしてほしい ・パパママ教室では SIDS や産後うつ、産後の母親の体についてなどの内容を多く含めてほしかった ・事前にもっと先輩ママパパの話を聞ける場がほしかった ・産後すぐは不自由なことが多く、こんなに赤ちゃん訪問がすごく嬉しかった ・産後ケアは誰もが利用できるようにしてほしい、料金の支払いはオンラインなどでできるといい ・産後ケアの利用可能な時期が終わると、どこにも子どもを見てもらえるところがない ・離乳食教室は完全に主婦層が対象、いろいろな人がいるという設定でお話してほしい ・子どもの検診の回数が少ない ・予防接種、健診など保健センターまで行かず近くで受けてほしい ・不育症の人への支援も考えてほしい ・妊婦健康診査補助券が茨木市のほうが多いため見直ししてほしい	22 件
■ 医療的ケア、支援の必要な子どもへの対応について ・発達障害を持つ子どもの親の不安に寄り添いながら相談に乗って頂けるような専門体制の充実 ・療育の必要な子どもの学童保育環境、職員の子ども理解、対応の充実 ・箕面市に転入して、悩んでいるのだったら支援しますという姿勢がすごくありがたかった ・現在とよかわみなみ幼稚園に在籍し、支援内容がとても先進的で驚いた ・箕面市は診断書がなくても加配をしてもらえ助かっている ・医療的ケア児も利用できる施設が増えればいい、小学校に行ってから対応なども知りたい	20 件
■ 病児保育について ・「ここちい」のような病児保育を増やしてほしい、各保育園にも病児保育の対応、設置を希望	17 件

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

ご意見内容	件数
・当日の早朝受診し、病児保育に預けていつもの出勤時間に間に合うように体制を整えてほしい	
■ 学童保育について ・学童保育の質の向上（職員人員をふやしてほしい） ・学童保育の中で、希望者に対して習い事ができる環境を作してほしい ・長期休暇などは民間事業と協力して運動や学習など取り入れてもいいのでは ・パート勤務の親でも気軽に利用できるようになると嬉しい ・時間帯なども変えてほしい、保育園との利用時間の差が大きすぎる ・日曜・祝日の学童保育の開設を希望 ・6年生まであってありがたい、ランチシステムは継続してほしい ・民間の学童保育が少ない ・学童保育は不透明で情報も少なく、不安が多い	15 件
■ イベント、教室など ・もっと子連れで楽しめるイベントなどが増えてほしい ・親の仲間づくりや親子教室等のイベントを平日だけでなく土、日にも開催してもらいたい ・「もしも」の時に備えた緊急時の対処方法(心肺蘇生など)を教えてもらえたら ・市が主催で農業をやったり、森や山で遊ぶような取り組みをやってほしい ・1人目の母親のためのプログラムが多く、参加できるプログラムが少なかった	9 件
■ 多子・多胎世帯への支援 ・多子世帯への支援の拡充を強化してほしい ・多胎世帯への経済的支援の充実(おむつの支給や割引券など) ・多胎児（未就園児）がいる家庭への訪問育児・家事支援サービスの導入があったら嬉しい ・多胎等のハイリスク妊娠への理解がほしい、検診チケット枚数は医師の診断に応じて増やすべき	8 件
■ ひとり親、貧困世帯への支援 ・夜の子ども食堂やお惣菜サービスなどがあると嬉しい ・市内の各地に気軽に平日の夕食や休日の昼食が低額で食べられる場所を作してほしい ・母子家庭への支援をもっと拡充してほしい（公正証書作成の補助金など） ・単身赴任世帯へもサポートしてほしい	7 件
■ 就園、就学後も継続した支援を ・おひさまルームやおひさま広場など、幼稚園への入園後は利用できなくなり、寂しく思う ・おひさまルームも乳幼児がメイン、幼稚園から小学校までの子どもが遊べる場がほしい ・小学校1年生になると学童が19時までで他に使えるサービスがファミサポしかない ・小学生になると就労していない親の子どもは放課後の遊び場開放以外に預けられる場所がない	7 件
■ ファミリーサポートセンターについて ・利用料が安すぎる、今の時間単価のままではサポート会員不足が加速しシステムが破綻する ・森町にファミサポが少ない、金額が高い ・利用したかったが送迎時間に合致するスタッフなし	4 件
■ 送迎、見守りの充実 ・園や学校から習い事の間まで送ってくれる人がいてくれたら助かる ・下の子が1カ月頃は上の子の保育園送迎が大変だった（ファミサポは条件に合う方おらず） ・小学校の休み時間や開放事業の場に大人（職員やボランティアの方など）の見守りの充実	4 件
■ 学習のサポート、習い事など ・教育に関して、低額でサポートしてくれるようなところがあれば利用したい ・土、日にしか動けない親のために市主導の体操サークルや英語教室等やってほしい	3 件
■ 長期休暇中のサポート、イベントなど ・子どもの長期休暇中の一日の過ごし方がものすごく大変 ・ずっと子どもと一緒になので公園で炊き出しをしてくれたり、おにぎりサービスがあればよかった	3 件

ご意見内容	件数
■ 家事のサポート ・気軽に助けてもらえるサービスがあると嬉しい ・家事支援もサポートがほしい	3 件
■ おむつ替えスペースなどについて ・おむつ交換や授乳スペースはショッピングセンターも十分充実している ・他市に比べおむつ替えは不便しない、調乳機がもっと増えるとよりお出かけしやすい	3 件
■ サークル活動などへの助成 ・子育てサークルの代表は、無報酬で子育てしながらやらなくてはならず、何かサポートしてほしい ・NPO 法人に市からの助成金があれば休日の一時預かりなどにもっと力が入られる	2 件
■ 物品提供など ・子ども対象の映画、スポーツ鑑賞券があれば嬉しい ・毎月〇〇円まで育児用品プレゼントなど	2 件
■ その他 ・様々な支援・サービス・施設イベントが市内中心部に集まっていて、非常に利用しにくい ・子育て支援センター、保育所、幼稚園、相談センター、保健師、病院が連携した街にしてほしい ・リモートワークや夜勤など多様な働き方が多数いることをイメージして、政策やルールに反映を	7 件
経済的支援について	82 件
■ お金がかかる、金銭的支援を ・子どもを育てるのはお金がかかる、もう少し補助してもらえたら嬉しい ・金銭的支援が一番 ・物価高で働かないと厳しく、子を預けると料金が高い、何のために働いているのか	19 件
■ 物品やサービスの補助 ・施設利用やスポーツ用品の購入、習い事タクシー利用、ウーバーイーツに使える支援 ・家事代行、ベビーシッターのチケットなどの助成 ・お米の支給や市内で使えるクーポンの支給 ・おむつクーポンなどの消耗品に対するサービス ・おむつ、ミルクの支援 ・ゴミ袋の補助は助かった ・ゴミ袋の支給が 5 人以上の家庭が一律なのが納得できない	13 件
■ 医療費助成 ・医療費を無料にしてほしい ・予防接種も任意の分の助成金を充実させてほしい	10 件
■ 児童手当や子育て給付金 ・児童手当を増やす、あとは一時金などをしてもらいたい ・子ども手当の額を上げてほしい ・低所得世帯だけでなく子育て世帯に臨時給付金やクーポンがほしい	9 件
■ 交通費などの割引 ・バス乗車時の割引があったらいい ・タクシーチケットを配付 ・ゆずるトンネルの無償化	6 件
■ 所得制限をなくしてほしい ・夫が自営業で、一時的に収入が増えただけで児童手当の所得制限に引っかかってしまう ・中高所得者への児童手当削減が家計にはきつい ・子ども手当の所得制限は不公平	6 件
■ 教育費、習い事への支援 ・教育費用の減免を実現してほしい ・習いごと・塾代への支援がほしい ・保育園や小学校での購入品なども全て無料に	6 件
■ 育休、時短勤務の補填 ・子どもを預ける必要がないくらい、時短勤務や育休中の手当が増えてほしい ・もっと子どもとの時間を増やすためにも就労時間への軽減につながるよう経済的援助の充実を	5 件
■ 給食費の無償化 ・給食費を無料にしてほしい ・いつになったら箕面市は給食費の無償化になりますか	4 件
■ 住宅補助など ・住宅手当など、住居面での支援がほしい ・子育て世帯が優先的に入れる住居がほしい	2 件

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-1. 就学前児童調査

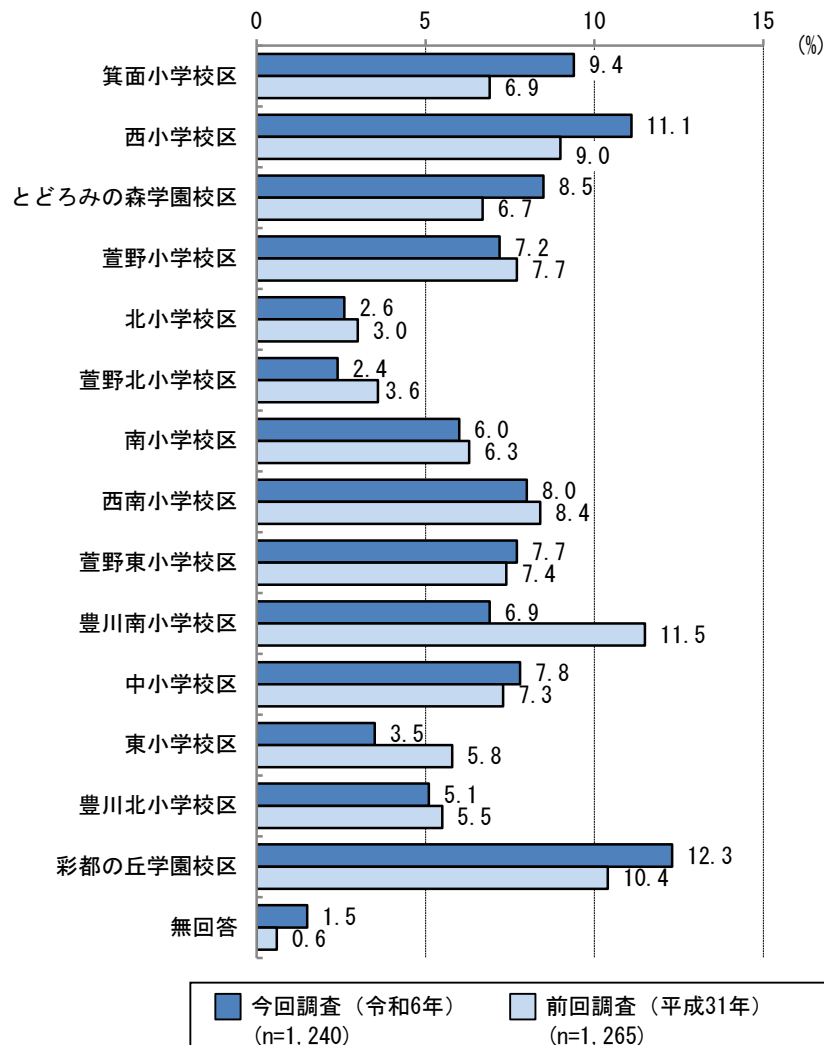
ご意見内容	件数
■その他 ・子育て支援に最も効果的なのは減税だと思う、税金が高いのに給付金が少ないのは不合理	2 件
親のサポートについて	39 件
■子育てしながら安心して働ける環境づくり ・職場の理解と有休、子どもの看護休暇の充実が必要、時短勤務が小 6 までに延長されること ・収入のため働きたいが時間の両立が難しい、働く時間の選択肢は多い方がいい ・「育児により離職した人への再就職支援」があれば良い ・小さい子どもを預けながら短時間気軽に働ける求人が増えると嬉しい ・短時間の働き手を探している企業と、短時間だけ働きたい人のマッチングをしてくれる支援 ・正社員先をさがしているが、忙しくなると子どもとのリラックスタイムが減ると思うときみしい ・「小 1 の壁」と言われる就学での子育てと仕事の両立について不安がある	16 件
■相談支援について ・共に考えて下さる姿勢でいてほしい ・一緒に対策や、どうしたらうまくまとまるかを考えてほしい ・一般的ではなく、各々の子どもに合ったアドバイス ・親が楽になれるアドバイスがほしかった ・子育てに限らず、もっと小さなことでも相談できる体制が必要 ・いつでも気軽に相談に行ける場所があると嬉しい ・メール、ラインなど手軽に相談できれば ・母親のメンタルケア（医療的な）、相談できる場の周知がほしい ・相談窓口を市のスタッフにおくのではなく、議員に直接届けられるような取り組みもほしい	12 件
■情報の提供や発信について ・出張所に行っても思うような情報が集められず、アプリなど使って必要な情報がすぐわかればよい ・一時預かりやプレについての情報が集めづらい ・市のホームページはわかりづらい ・もみじだよりはリニューアル後、子育て情報が減ったような気がする	8 件
■子育てのつらさや不安 ・環境は整備されているが、子育てに共感してくれる人がいないためモヤモヤすることはある	3 件
その他	75 件
■市の環境や施策、市役所の対応について ・箕面市の子育てするにあたっての環境が良くなっているところ数年で感じている ・子連れで出掛けていると周りの方からとてもあたたかい目で見守ってもらっているなど感じる ・子育て世代が多く相談相手も困らないためありがたい ・給付金等他市に比べてスピードが早い ・教育・子育てで圧倒的に日本一になれるような、みんなが嬉しい支援やサービスを期待している ・「教育・子育て日本一」を目指すのなら、他自治体より突出した素晴らしい計画が必須 ・子どものことだけを考えるのではなく、高齢者、福祉局との連携も必要 ・同性パートナーとその子たちも「家族」として認めてもらえる制度や仕組みを ・市役所にて保育園を探す際、もっと優しく丁寧に接してもらえたらうれしかった ・申請処理、窓口対応をする上で、仕組みや法制理解の誤りをなくし、スムーズにできるように検討を	53 件
■アンケートについて ・このようなアンケートがあることがとても良い ・子育てしやすい環境になるようもっと調査してください ・アンケートが長い、回答項目が多すぎる、質問が分かりにくい ・すべてオンラインにしたらいと思う、紙ではなくアプリなどで回収することで効率化できる ・課題がある子を想定していない、通常の子育てを対象としたアンケートなら送ってこないでほしい	15 件
■その他 ・祖父母に現代の子育てを認識してほしい、しつけ＝しかるといった昭和な考えをなくしてほしい	7 件

Ⅱ-2. 就学児童調査

1 お住まいの地域

〔1〕居住する小学校区

問1 お住まいの地域の小学校区に○をつけてください。
※別紙の小学校区一覧表をご覧ください。

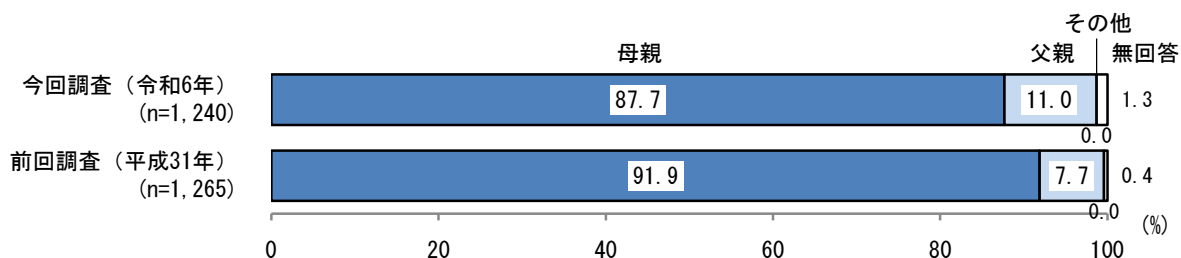


回答者の居住地（小学校区）は、「彩都の丘学園校区」が 12.3%と最も多く、次いで、「西小学校区」が 11.1%、「箕面小学校区」が 9.4%となっています。

2 ご家族の状況

〔1〕調査の回答者

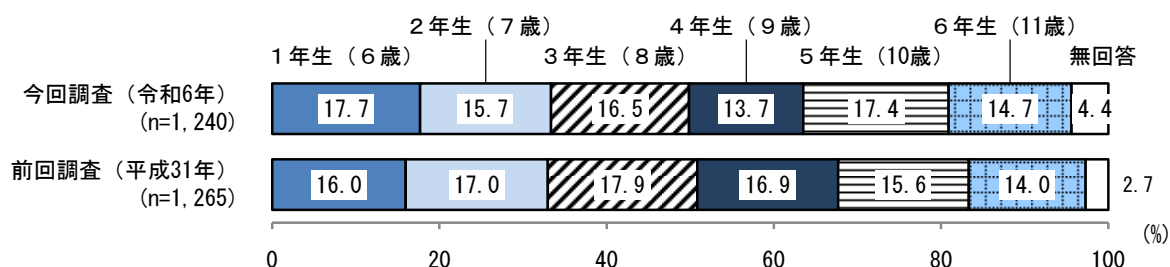
問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
お子さんからみた関係で、お答えください(1つに○)。



調査票の回答者は、「母親」が87.7%、「父親」が11.0%となっています。

〔2〕子どもの年齢(学年)

問3 お子さんの生年月はいつですか(「平成」か「西暦」に○をつけ()内に数字を記入)。



※子どもの年齢(学年)は令和5年(2023年)4月1日時点の年齢(学年)で集計。
各区分の生年月については、以下のとおり。

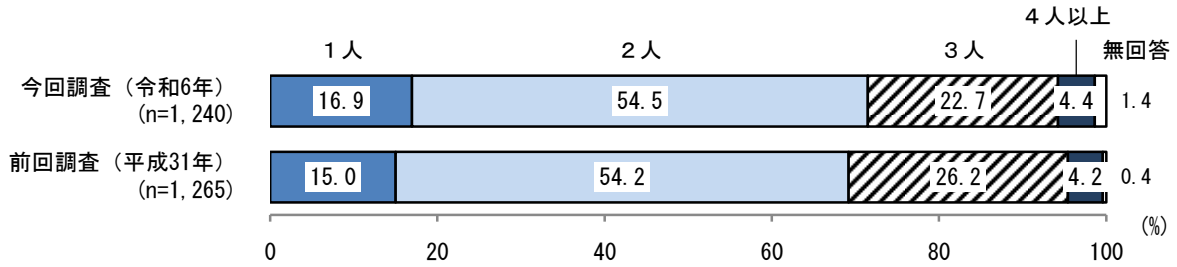
1年生(H28/4~H29/3)
2年生(H27/4~H28/3)
3年生(H26/4~H27/3)
4年生(H25/4~H26/3)
5年生(H24/4~H25/3)
6年生(H23/4~H24/3)

対象の子どもの年齢(学年、令和5年4月1日時点での年齢)は、「1年生(6歳)」が17.7%と最も多く、次いで、「5年生(10歳)」が17.4%、「3年生(8歳)」が16.5%となっています。

〔3〕きょうだいの人数と末子の年齢

問4 封筒の宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。
また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年（2023年）4月1日現在の年齢）を記入してください。

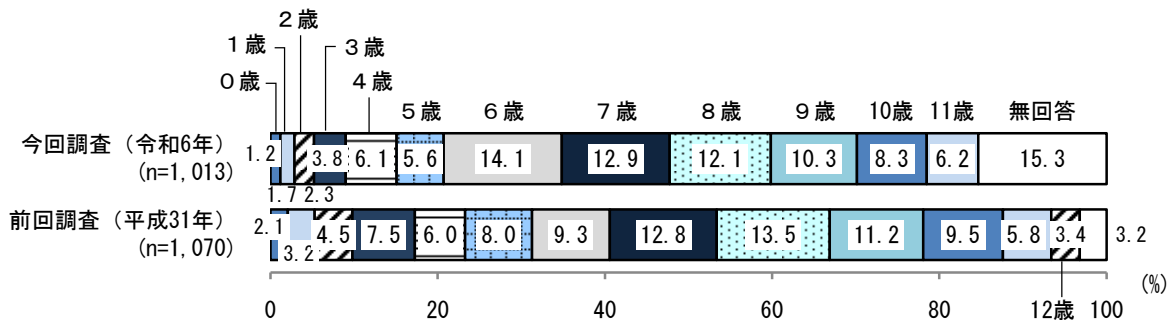
■きょうだいの人数



きょうだいの人数は、「2人」が 54.5%と最も多く、次いで、「3人」が 22.7%、「1人」が 16.9%、「4人以上」が 4.4%となっています。

2人以上の子どもがいる場合のみ

■末子の年齢



2人以上の子どもがいる場合の末子の年齢は、「6歳」が 14.1%と最も多く、次いで、「7歳」が 12.9%、「8歳」が 12.1%となっています。

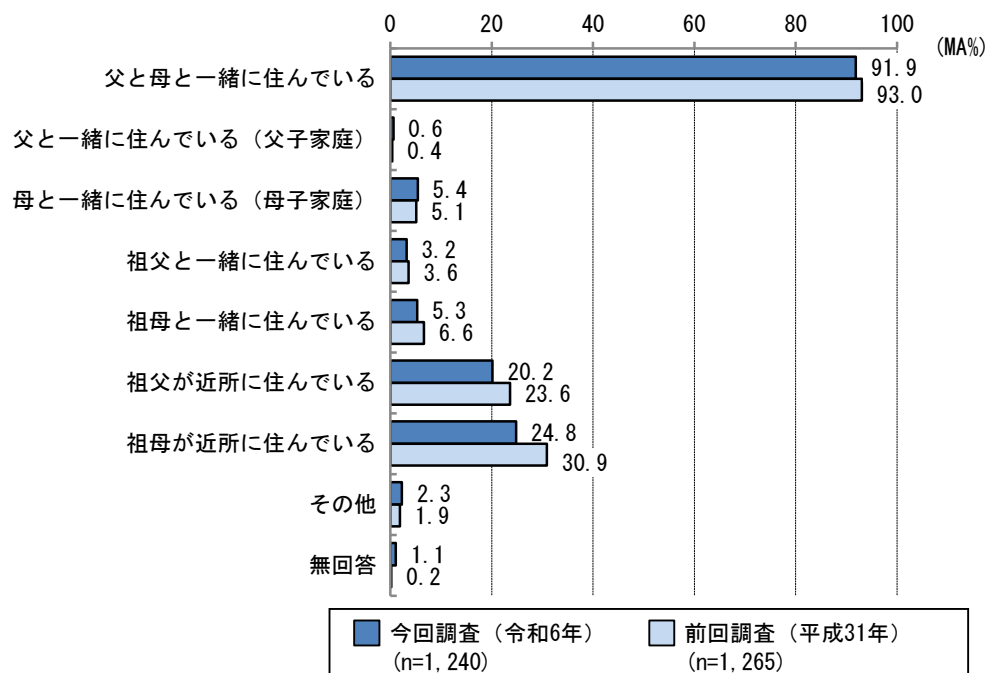
3 子どもの育ちをめぐる環境

〔1〕同居・近居の状況

問5 お子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。選択肢はお子さんからみた関係です(当てはまるものすべてに○)。

※近所…30分以内程度で行き来できる範囲

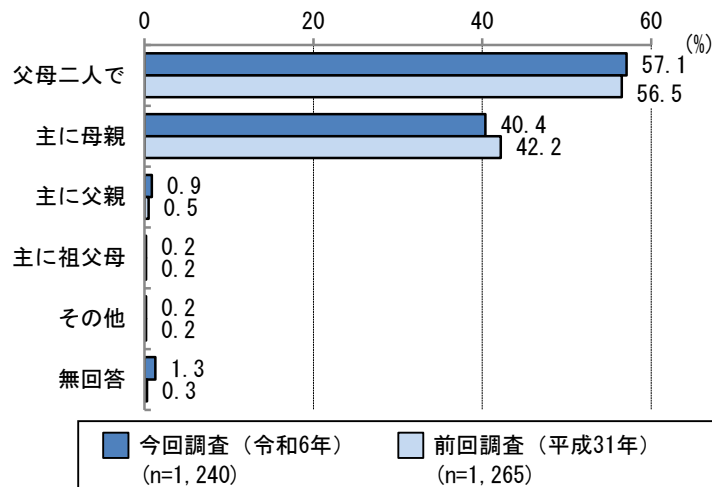
※単身赴任や長期出張等で別居されている父母については「同居」としてください。



同居・近居の状況については、「父と母と一緒に住んでいる」が 91.9%と最も多く、次いで、「祖母が近所に住んでいる」が 24.8%、「祖父が近所に住んでいる」が 20.2%となっています。

〔2〕子育てや教育の主体

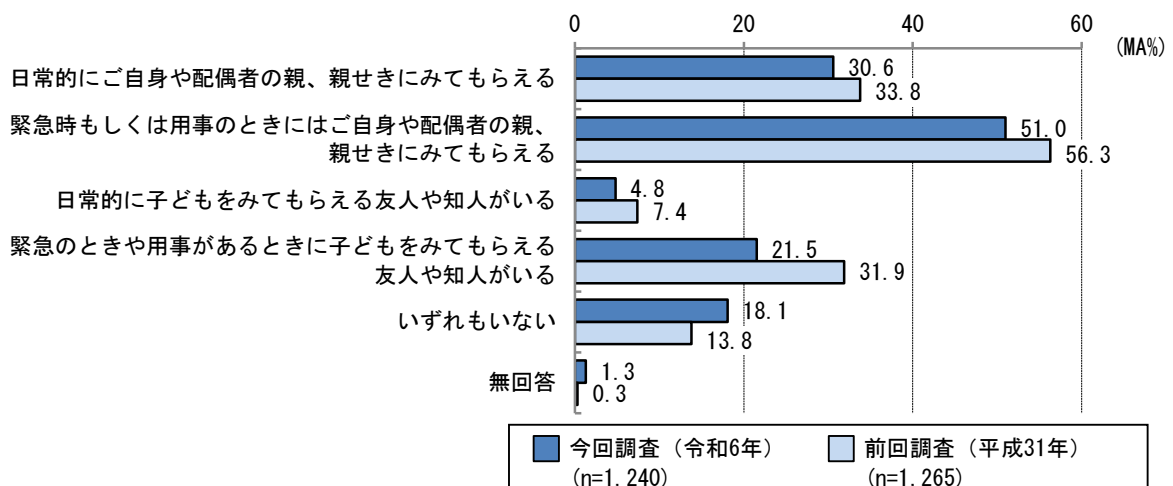
問6 お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。
選択肢はお子さんからみた関係です(1つに○)。



子育てや教育の主体は、「父母二人で」が57.1%と最も多く、次いで、「主に母親」が40.4%となっています。

〔3〕子どもの世話をしてくれる人

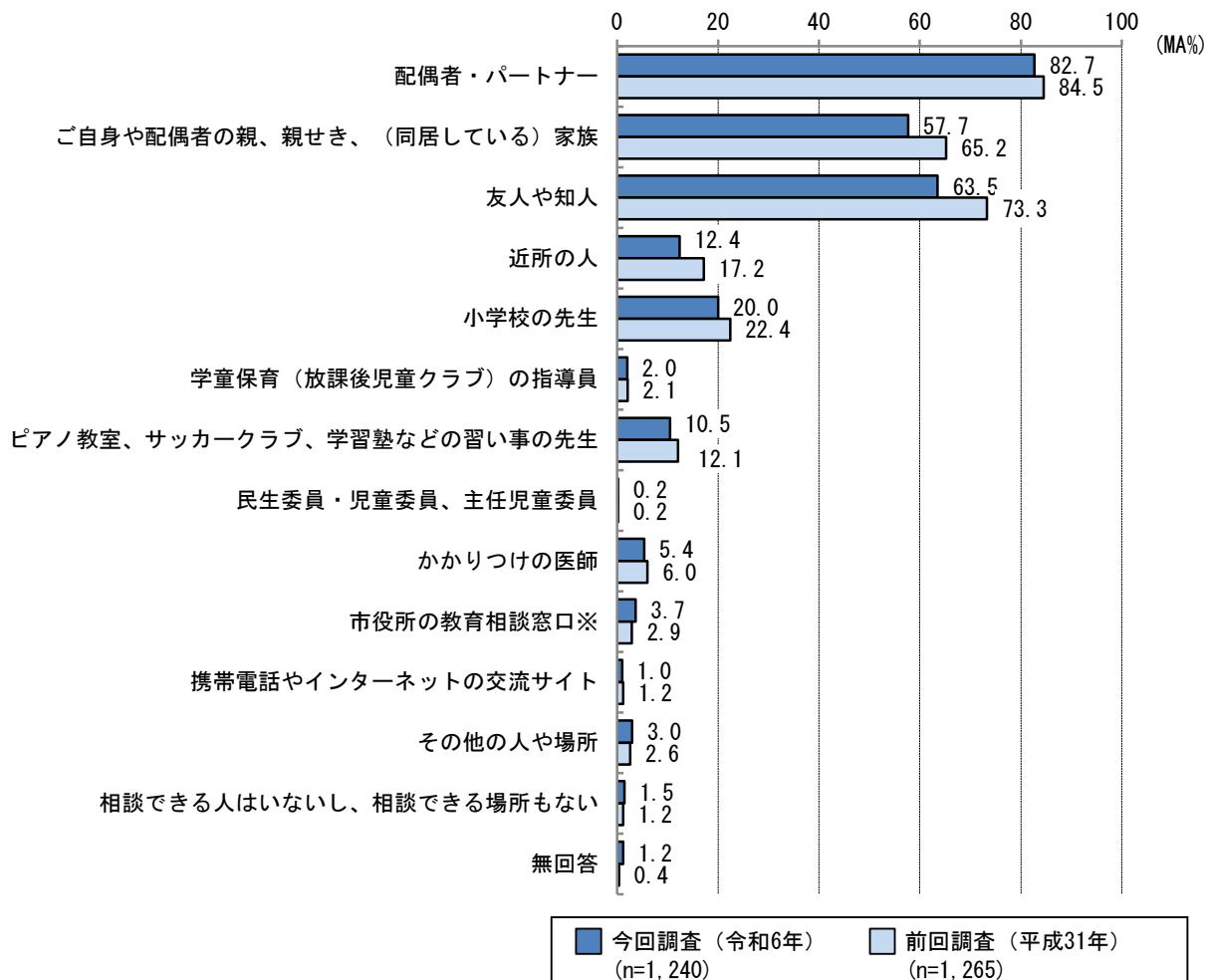
問7 日頃、お子さんの世話をしてくれる人はいますか(当てはまるものすべてに○)。



日頃、子どもの世話をしてくれる人は、「緊急時もしくは用事のあるときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が51.0%と最も多く、次いで、「日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が30.6%、「いずれもない」が18.1%となっています。前回調査に比べて、「緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」が10.4ポイント減少しています。

〔4〕気軽に相談できる人や場所

問8 お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や相談できる場所をお答えください(当てはまるものすべてに○)。



※前回調査では、「教育センターの教育相談窓口」

◆「その他」内訳

・職場の人 ・放課後等デイサービス ・療育の先生 ・スクールカウンセラー・家族、親族
 ・らいとぴあ21 ・Mafga(箕面市国際交流協会) ・子育てサークル ・保育園
 ・教育センター ・大学の心理相談センター ・地域活動支援センター ・訪問看護師 など

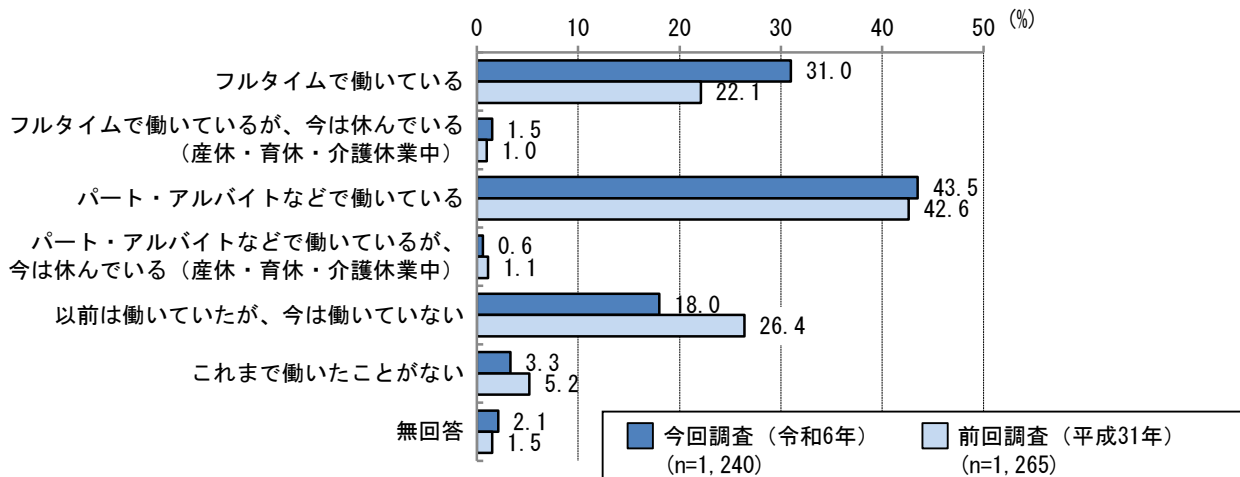
子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所は、「配偶者・パートナー」が 82.7%と最も多く、次いで、「友人や知人」が 63.5%、「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」が 57.7%となっています。前回調査に比べて、「友人や知人」が 9.8 ポイント、「ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」が 7.5 ポイント減少しています。

4 保護者(父親・母親)の就労状況

〔1〕母親の就労状況

問9 お子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。
 自営業や自営業を手伝っている場合も含みます(1つに○)。
 【父子家庭の場合は記入不要です。】

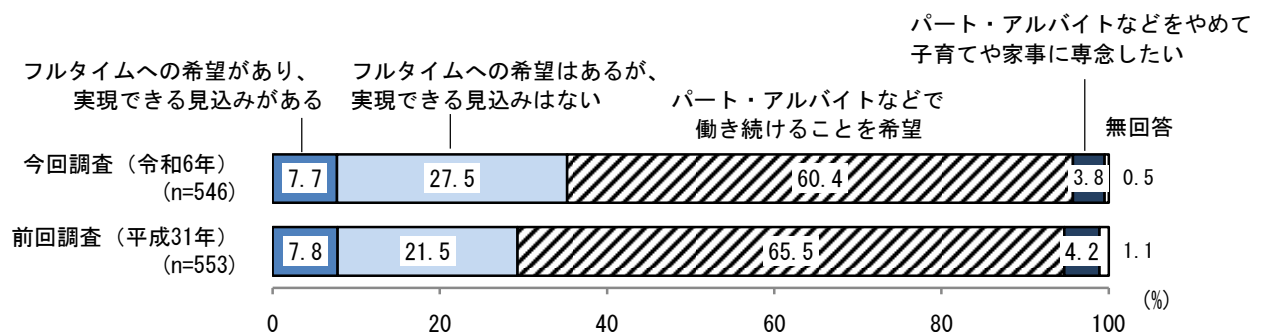
※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労



母親の就労状況は、「パート・アルバイトなどで働いている」が43.5%と最も多く、次いで、「フルタイムで働いている」が31.0%、「以前は働いていたが、今は働いていない」が18.0%となっています。フルタイムまたはパートタイムで、休業中の方も含めると、就労している母親は全体の76.6%となっており、また、フルタイム勤務は、休業中の方も含めて合計32.5%と、前回調査の23.1%に比べて9.4ポイント増加しています。

〔2〕母親のフルタイムへの転換希望

問9で「パート・アルバイトなどで働いている」とお答えの方のみ
 問9-1 フルタイムへの希望はありますか(1つに○)。



「パート・アルバイトなどで働いている」母親に、フルタイムへの転換希望をたずねたところ、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が60.4%と最も多く、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」は7.7%、「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」は27.5%で、フルタイムへの転換希望のある人は合計35.2%となっています。

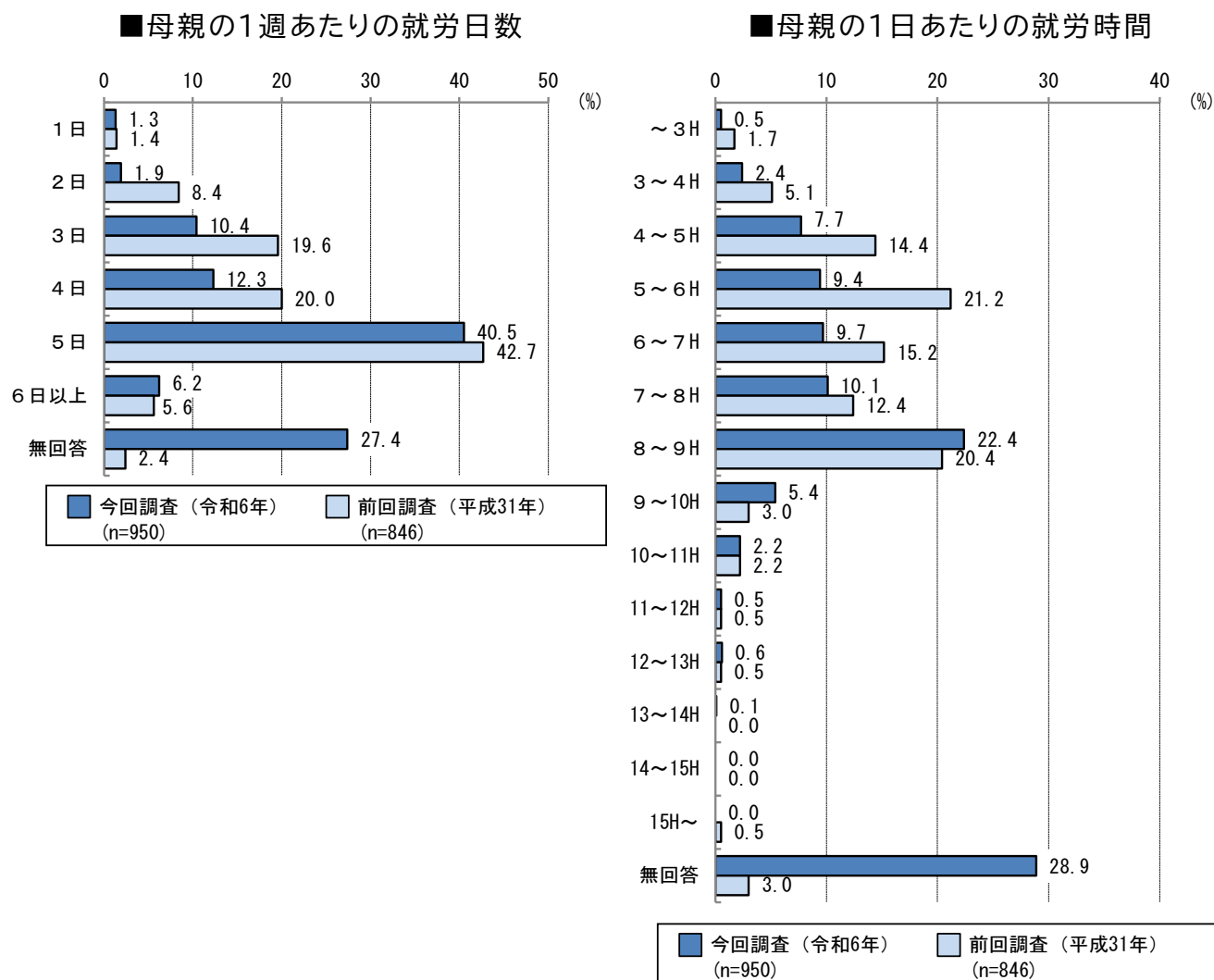
〔3〕母親の就労日数・就労時間、家を出る時間・帰宅時間

問9で「働いている」とお答えの方のみ

問9-2 1週間にどのくらいの日数働きますか。そして1日当たりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

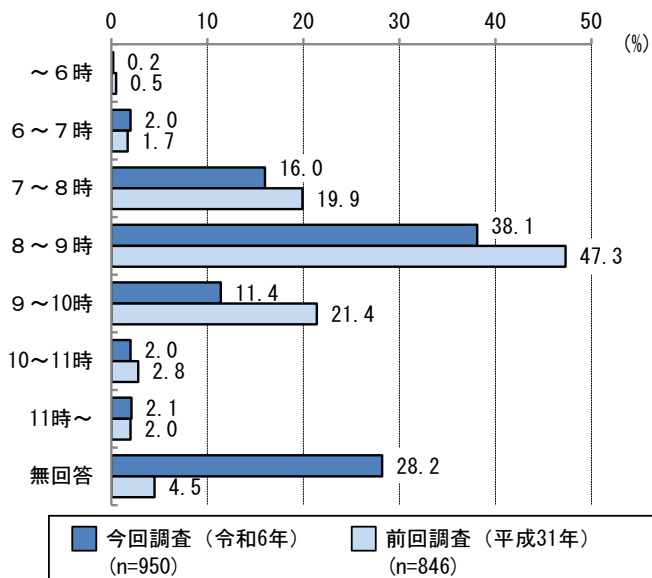
今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

(()内に数字を記入、24時間で表記)。

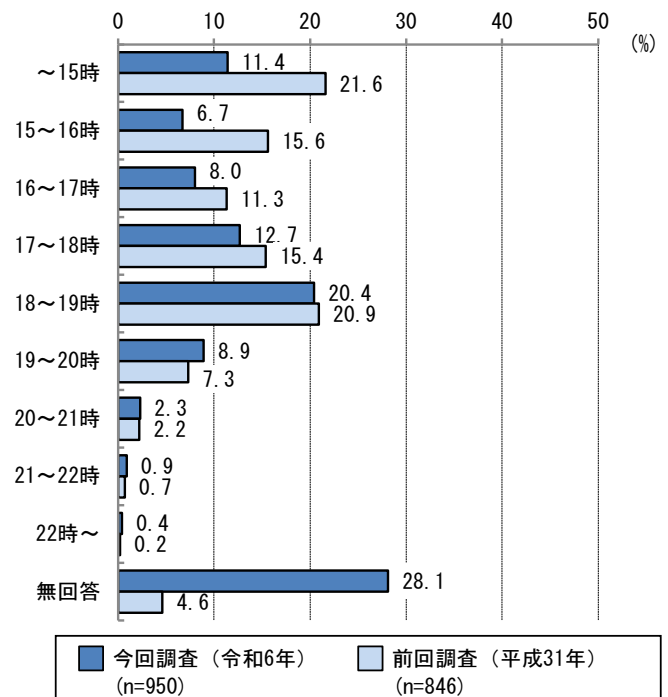


「働いている」母親の、1週あたりの就労日数は、「5日」が40.5%と最も多くなっています。1日あたりの就労時間は、「8～9時間」が22.4%と最も多くなっています。

■ 母親の家を出る時間



■ 母親の帰宅時間



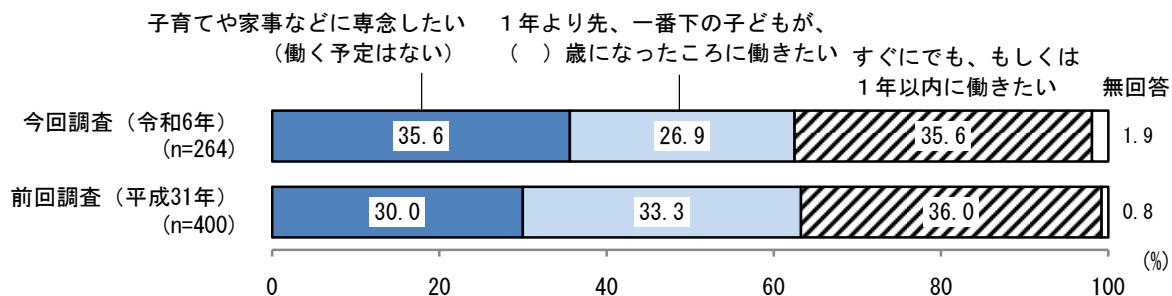
「働いている」母親の、家を出る時間は、「8～9時」が 38.1%と最も多くなっています。帰宅時間は、「18～19 時」が 20.4%と最も多く、次いで、「17～18 時」が 12.7%、「～15 時」が 11.4%となっています。

〔4〕母親の就労希望

問9で「働いていない」、「働いたことがない」とお答えの方のみ

問9-3 働きたいという希望はありますか(それぞれ1つに○、()内に数字を記入)。

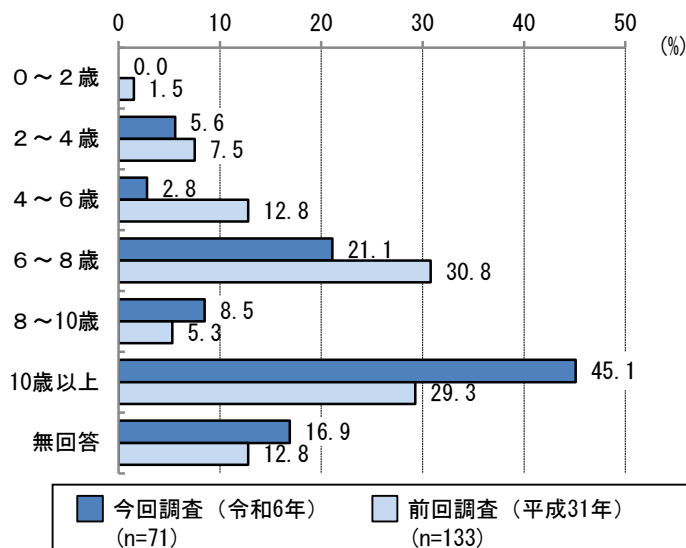
■就労の希望



「以前は働いていたが、今は働いていない」、「これまで働いたことがない」母親の就労の希望は、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」がそれぞれ 35.6%、「1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい」が 26.9%で、就労希望のある母親は合計 62.5%と、前回調査に比べて 6.8 ポイント減少しています。

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに働きたい」とお答えの方のみ

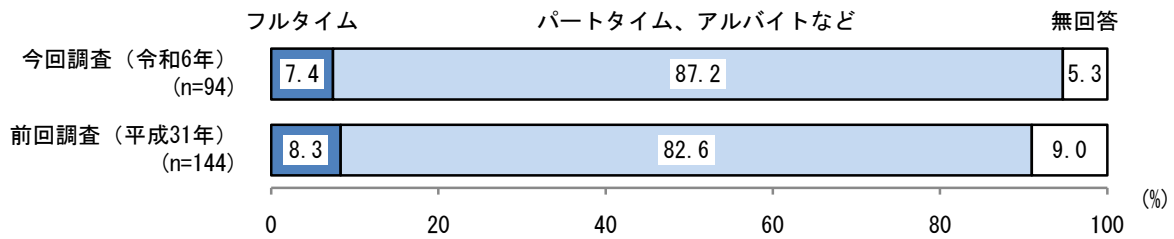
■就労を考える子どもの年齢



「1年より先に働きたい」母親が、就労を考える子どもの年齢は、「10歳以上」が 45.1%と最も多く、次いで、「6～8歳」が 21.1%となっています。

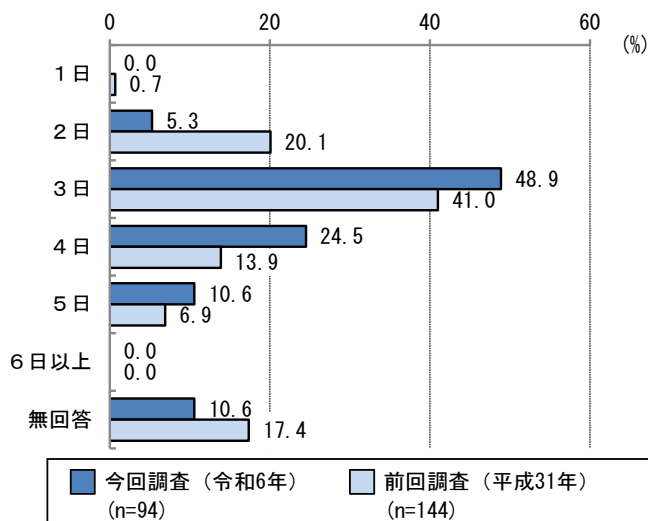
「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」とお答えの方のみ

■希望する就労形態

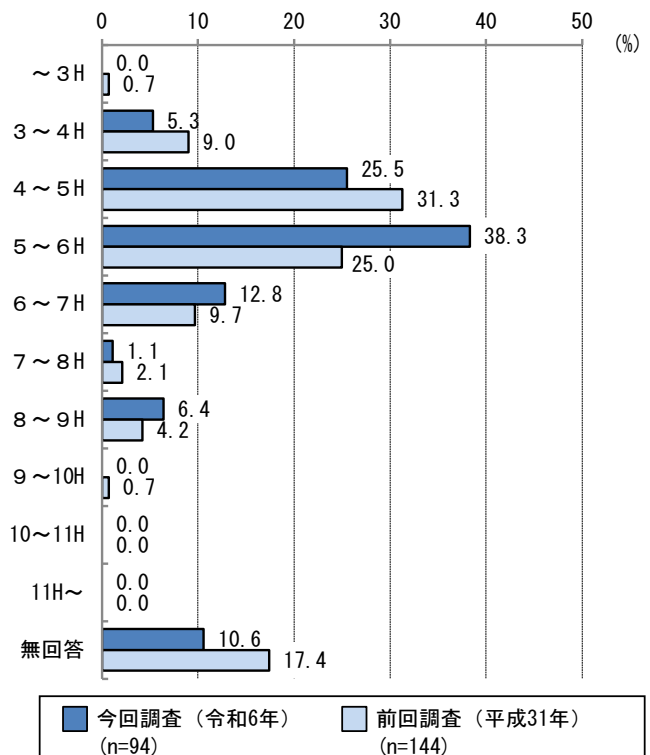


「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」母親の、希望の就労形態は、「パートタイム、アルバイトなど」が 87.2%となっています。

■1週あたりの希望就労日数



■1日あたりの希望就労時間

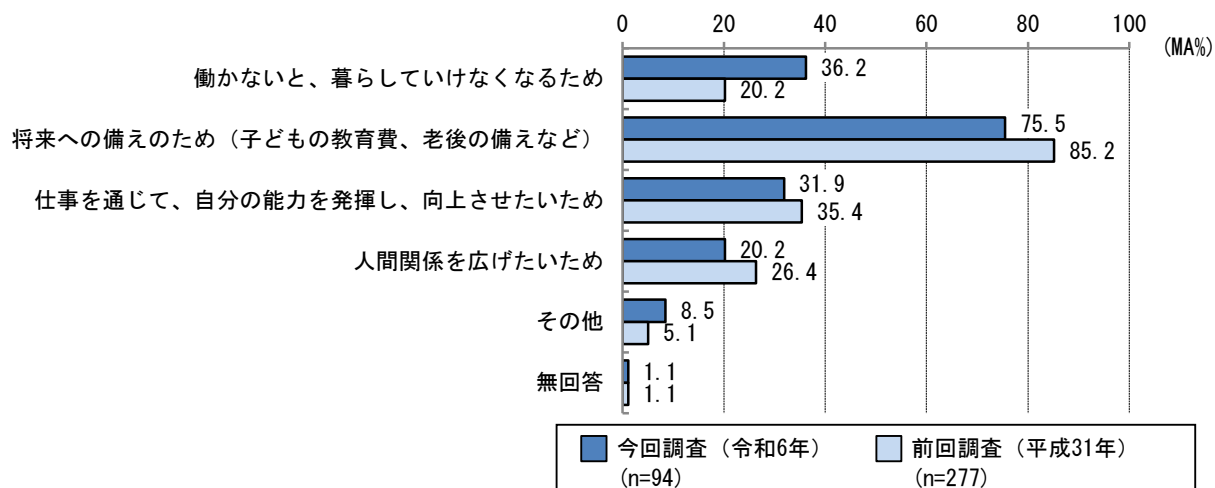


「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」母親の、1週あたりの希望就労日数は、「3日」が 48.9%と最も多く、次いで、「4日」が 24.5%となっています。1日あたりの希望就労時間は、「5～6時間」が 38.3%と最も多く、次いで、「4～5時間」が 25.5%となっています。

〔5〕母親の就労を希望する理由

問9-3で「働きたい」とお答えの方のみ

問9-4 働きたい理由は何ですか(当てはまるものすべてに○)。

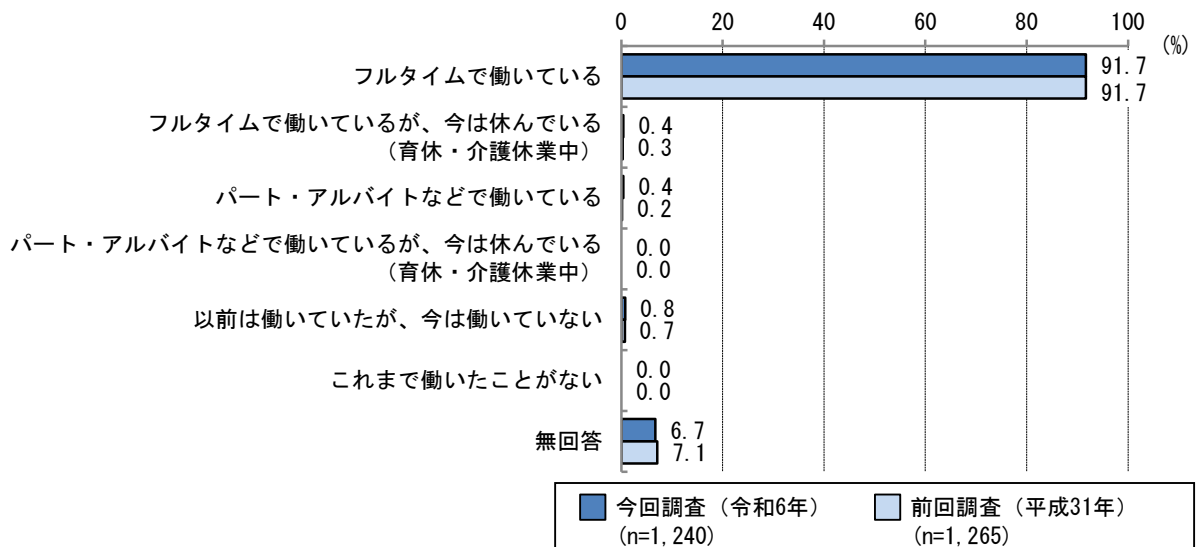


「働きたい」とお答えの母親の、働きたい理由は、「将来への備えのため(子どもの教育費、老後の備えなど)」が 75.5%と最も多くなっています。前回調査に比べて、「働かないと、暮らしていけなくなるため」が 16.0 ポイント増加しています。

〔6〕父親の就労状況

問10 お子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。
 自営業や自営業を手伝っている場合も含みます(1つに○)。
 【母子家庭の場合は記入不要です。】

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
 「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労



父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」が 91.7%と最も多くなっています。

〔7〕父親のフルタイムへの転換希望

問10で「パート・アルバイトなどで働いている」とお答えの方のみ
 問10-1 フルタイムへの希望はありますか(1つに○)。

→ 該当者は5名で、「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」が2件 (40.0%)、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が3件 (60.0%)となっています。

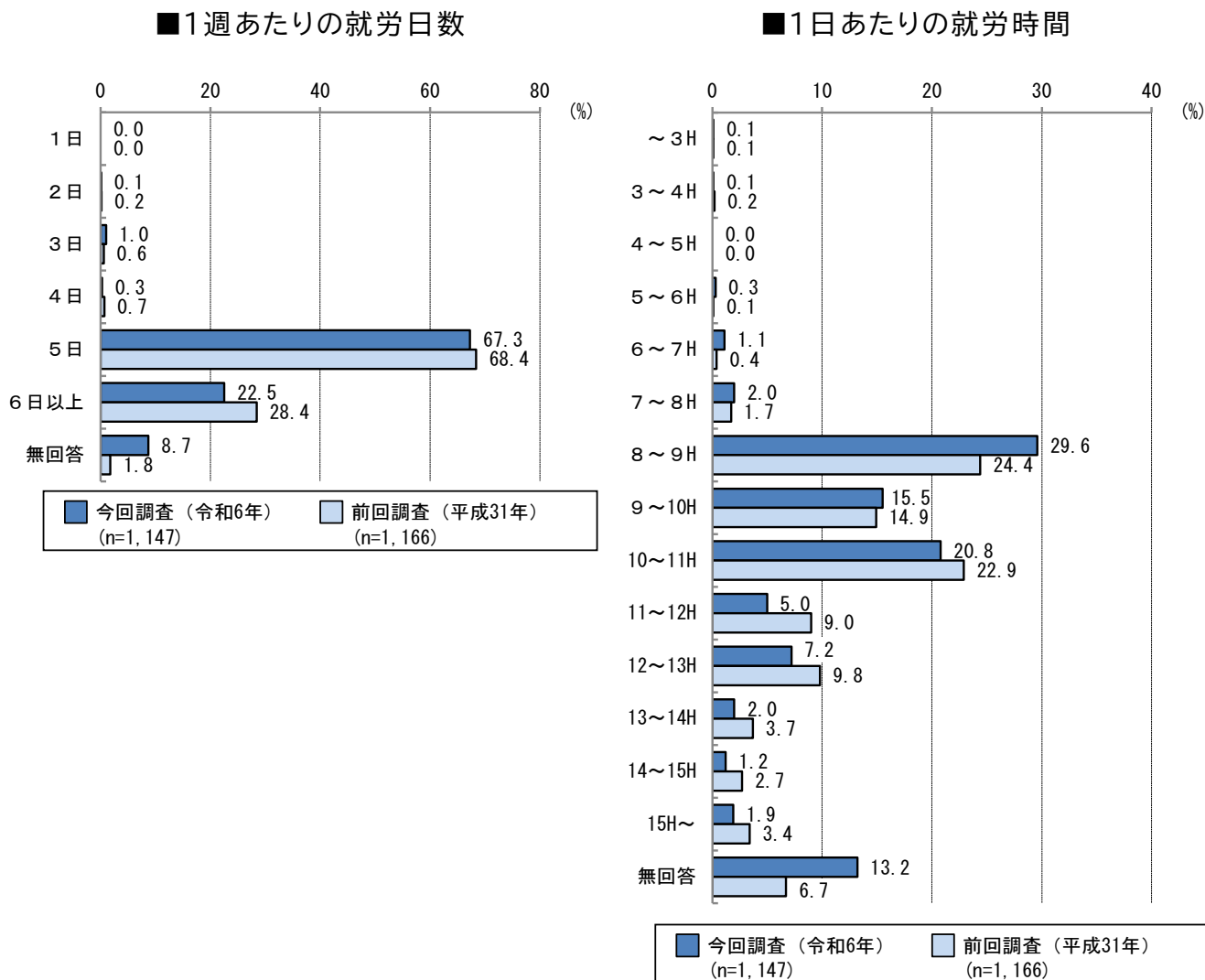
〔8〕父親の就労日数・就労時間、家を出る時間・帰宅時間

問10で「働いている」とお答えの方のみ

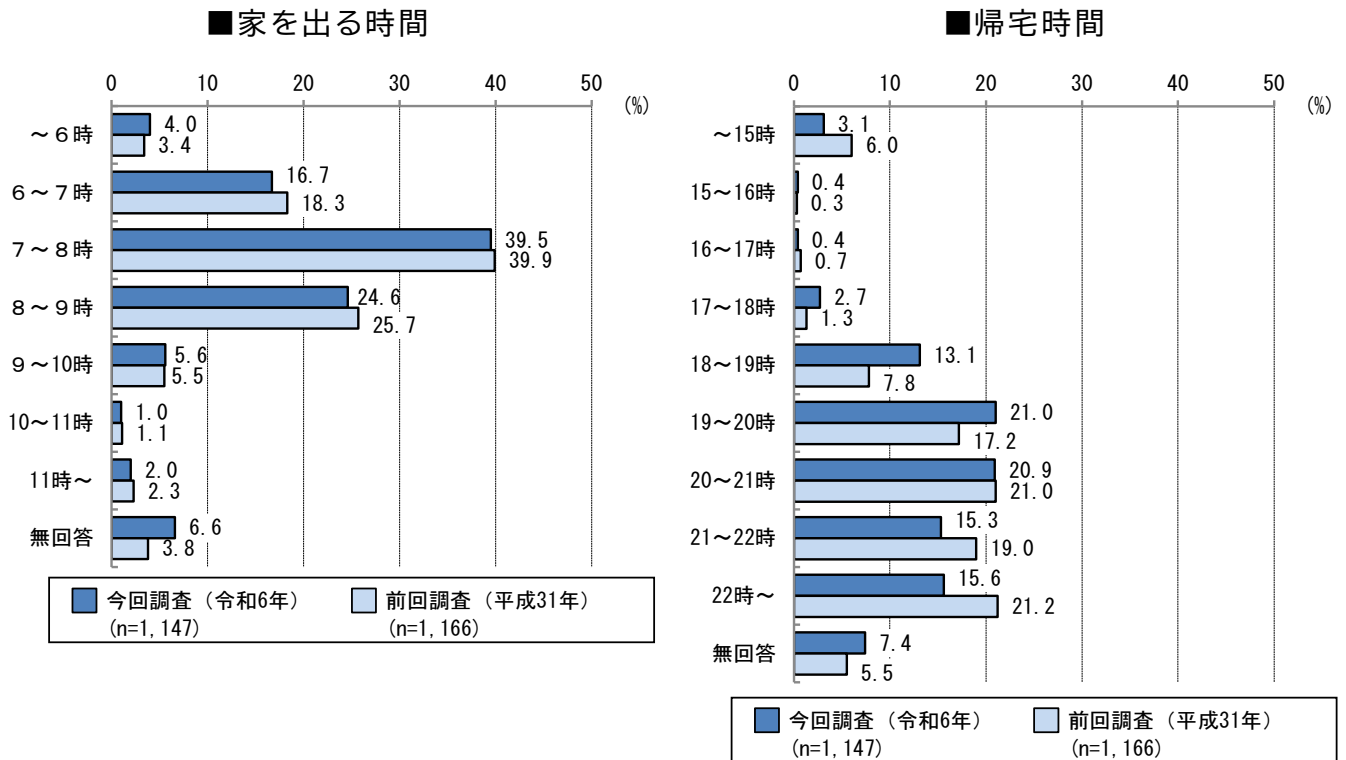
問10-2 1週間にどのくらいの日数働きますか。そして1日当たりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

(()内に数字を記入、24時間で表記)。



「働いている」父親の、1週あたりの就労日数は、「5日」が 67.3%と最も多く、次いで、「6日以上」が 22.5%となっています。1日当たりの就労時間は、「8～9時間」が 29.6%と最も多く、次いで、「10～11時間」が 20.8%となっています。



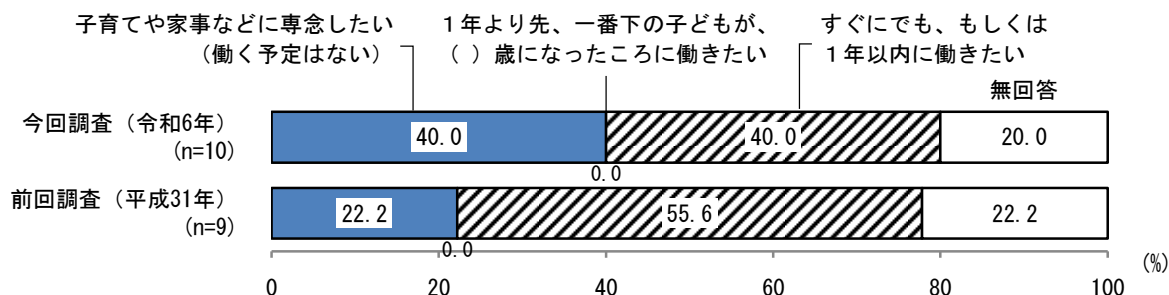
「働いている」父親の、家を出る時間は、「7～8時」が 39.5%と最も多く、次いで、「8～9時」が 24.6%となっています。帰宅時間は、「19～20時」が 21.0%と最も多く、次いで、「20～21時」が 20.9%、「22時～」が 15.6%、「21～22時」が 15.3%となっています。前回調査に比べて、父親の帰宅時間はやや早くなっている傾向がうかがえます。

〔9〕父親の就労希望

問10で「働いていない」、「働いたことがない」とお答えの方のみ

問10-3 働きたいという希望はありますか(1つに○、()内に数字を記入)

■就労の希望



「以前は働いていたが、今は働いていない」、「これまで働いたことがない」父親の就労の希望は、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」がそれぞれ 40.0%となっています。

「1年より先、一番下の子どもが() 歳になったころに働きたい」とお答えの方のみ

■就労を考える子どもの年齢

→ 該当者なし

「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」とお答えの方のみ

■希望する就労形態

→ 該当者は4名で、「フルタイム」が2件(50.0%)、「パートタイム、アルバイトなど」が1件(25.0%)、無回答1件(25.0%)となっています。

■1週あたりの希望就労日数

→ 該当者は4名で、「3日」「5日」「6日以上」がそれぞれ1件ずつ(25.0%)、無回答1件(25.0%)となっています。

■1日あたりの希望就労時間

→ 該当者は4名で、「6～7 時間」が1件(25.0%)、「8～9時間」が2件(50.0%)、無回答1件(25.0%)となっています。

〔10〕父親の就労を希望する理由

問10-3で「働きたい」とお答えの方のみ

問10-4 働きたい理由は何ですか(当てはまるものすべてに○)。

→ 該当者は4名で、「働かないと、暮らしていけなくなるため」が4件(100.0%)、「将来への備えのため(子どもの教育費、老後の備えなど)」が1件(25.0%)となっています。

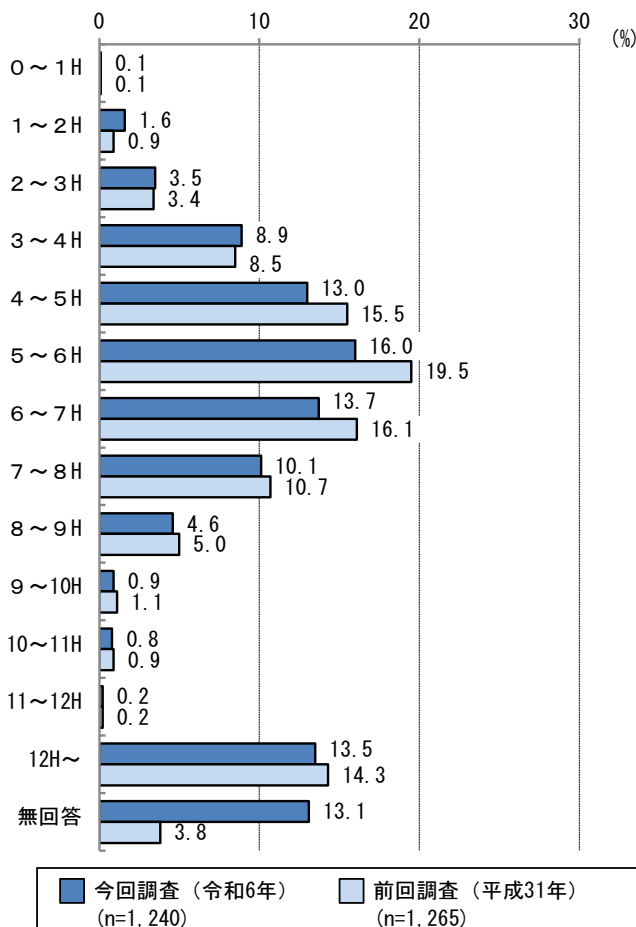
5 仕事と子育ての両立

〔1〕子どもと一緒に過ごす時間

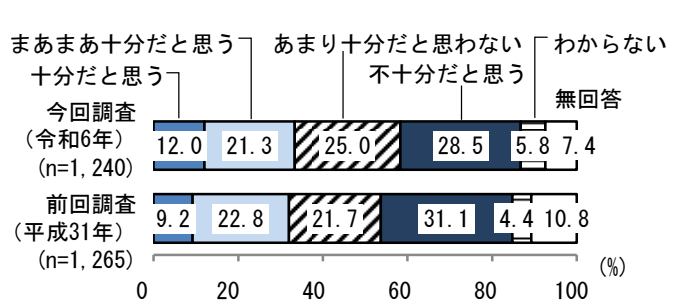
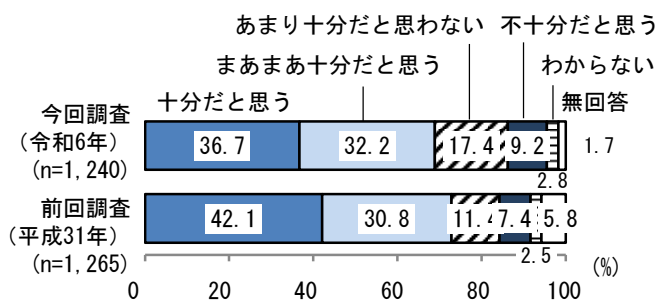
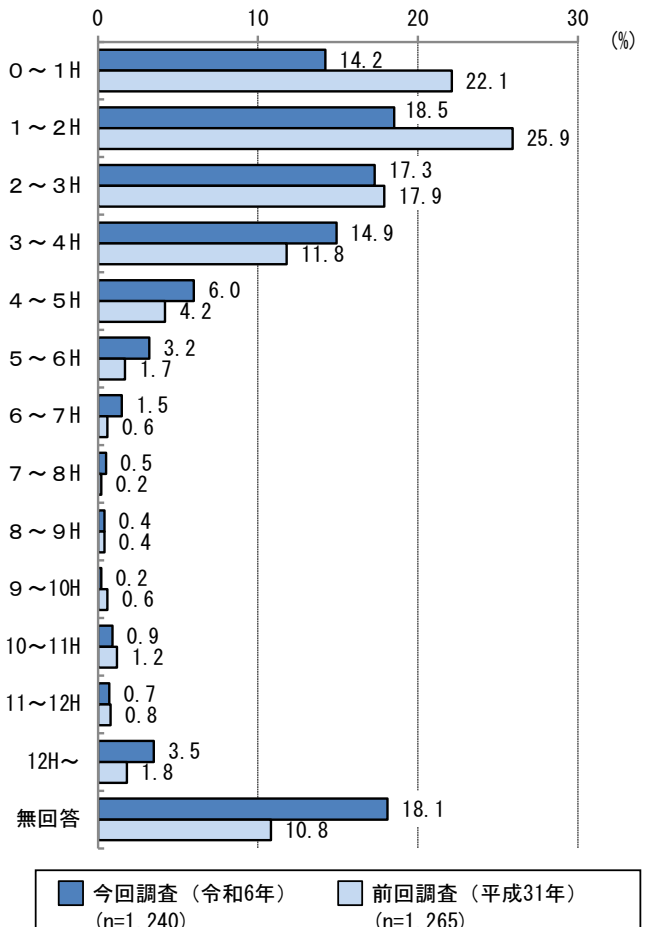
問11 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。
それぞれ1週間の平均的な時間をお答えください()内に数字を記入)。
また、その時間は十分だと思いますか。下記枠内の選択肢の中からお答えください(番号を1つ記入)。

■平日に子どもと一緒に過ごす時間

【母親】



【父親】

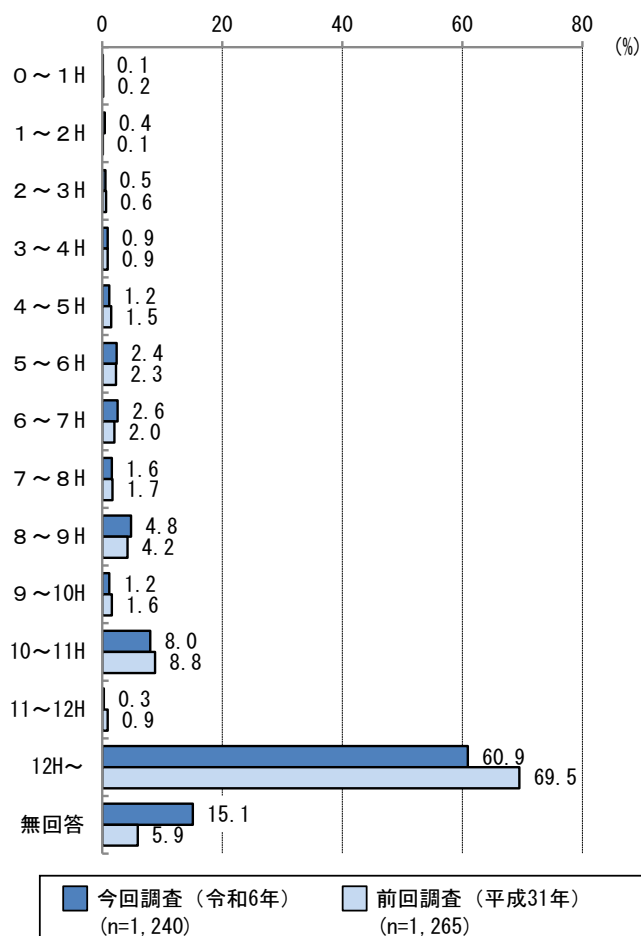


平日に子どもと一緒に過ごす時間について、母親は「5～6時間」が16.0%と最も多く、父親は「1～2時間」が18.5%、「2～3時間」が17.3%となっています。またその時間については、『十分』(「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計)が、母親68.9%、父親33.3%と多くなっています。

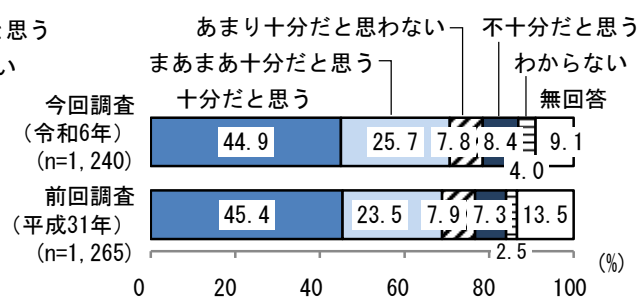
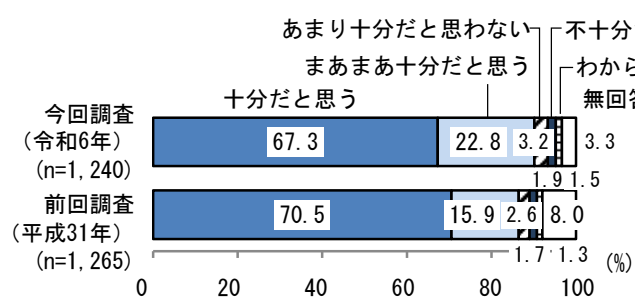
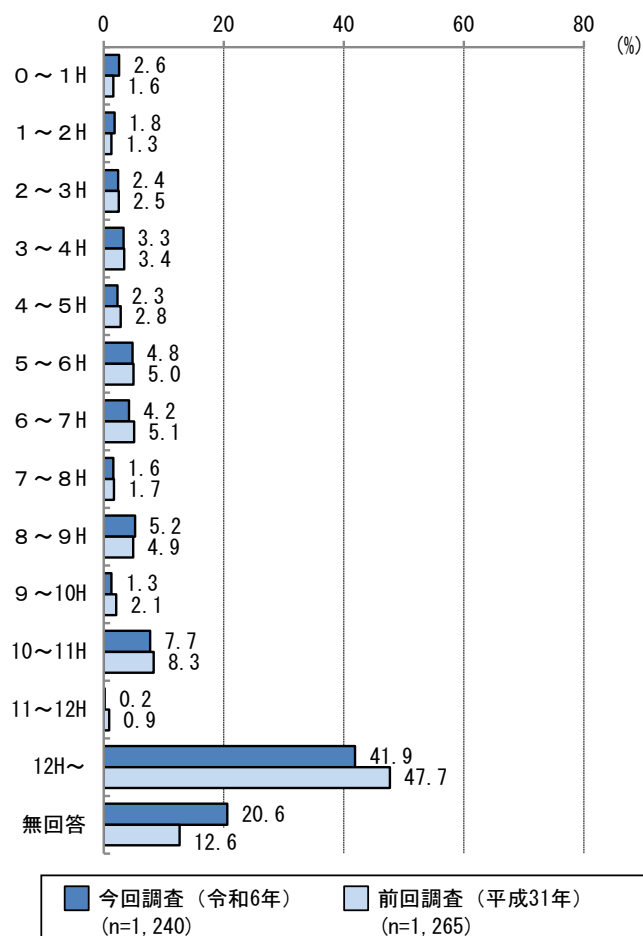
Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-2. 就学児童調査

■ 休日に子どもと一緒に過ごす時間

【母親】



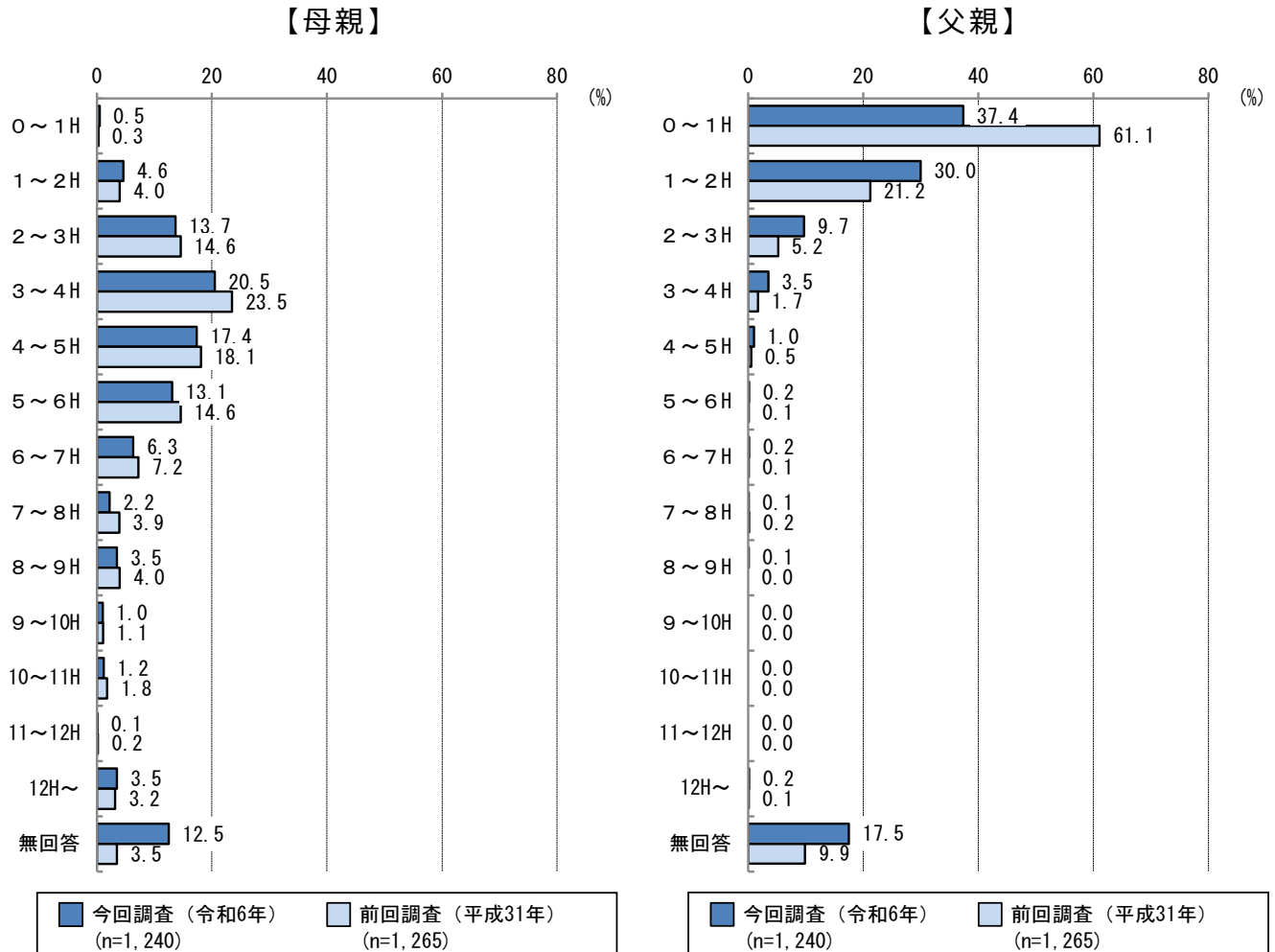
【父親】



休日に子どもと一緒に過ごす時間について、母親は「12 時間～」が 60.9%と最も多く、父親も「12 時間～」が 41.9%と最も多くなっています。またその時間については、『十分』（「十分だと思う」と「まあまあ十分だと思う」の合計）が、母親 90.1%、父親 70.6%と多くなっています。

〔2〕1日の家事時間

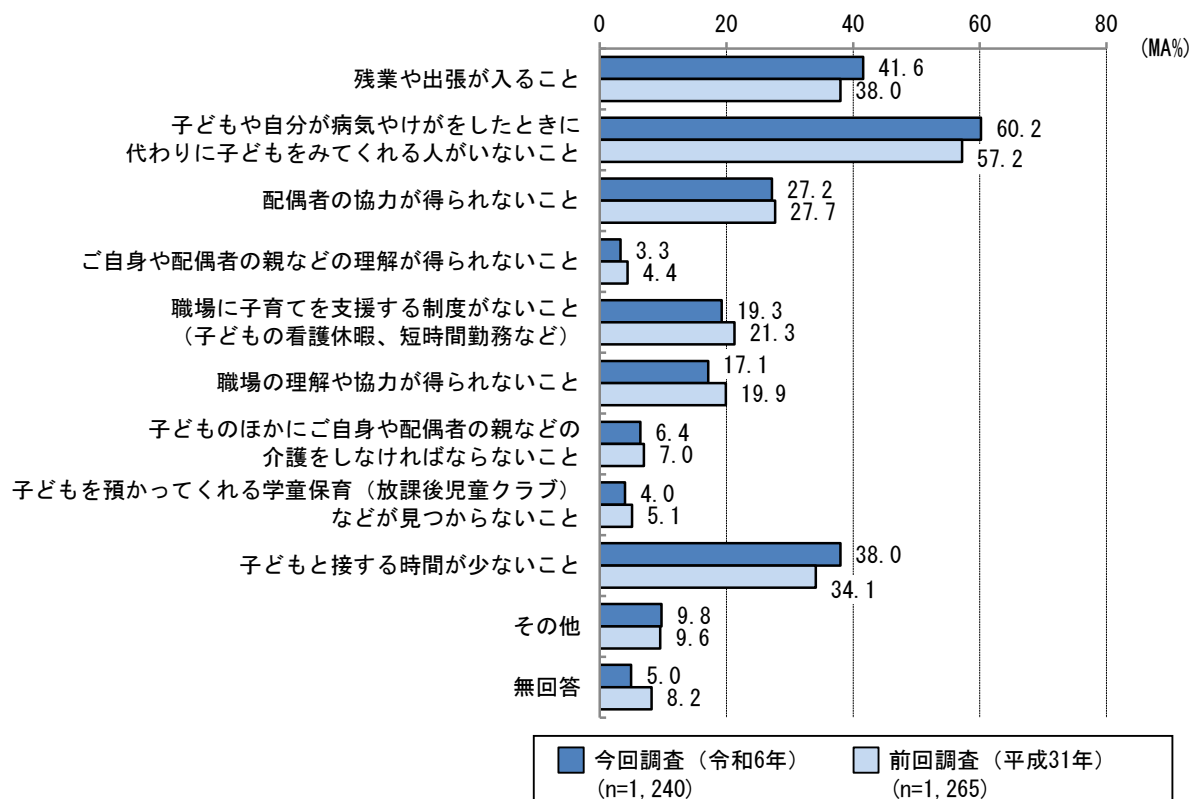
問12 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。
それぞれ1週間の平均的な時間を記入してください。



母親の1日あたりの家事時間は、「3～4時間」が 20.5%と最も多く、次いで、「4～5 時間」が 17.4%となっています。父親は、「0～1時間」が 37.4%と最も多く、次いで、「1～2時間」が 30.0%となっています。

〔3〕仕事と子育てを両立させる上での課題

問13 仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか
(当てはまるものすべてに○)。



◆「その他」内訳

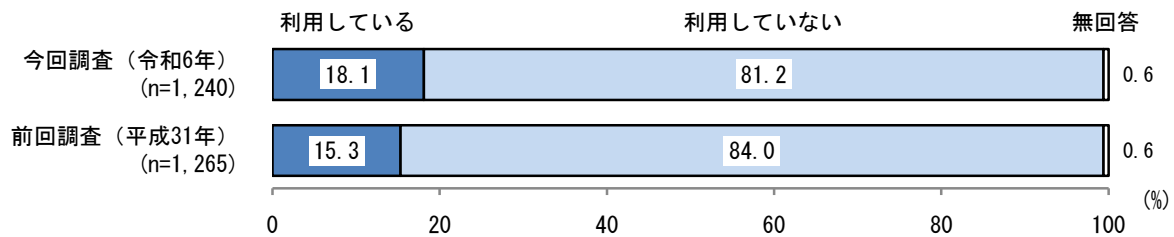
- ・仕事で疲れる、心の余裕がない、ストレス、体調不良 ・勤務時間が長い ・休めない
- ・塾や習い事の送迎ができない ・子どもの勉強をみたり、食事を作ったり、向き合う時間がない
- ・収入、金銭的余裕 ・条件にあう仕事がない ・保育や学童の利用条件、子どもが学童を嫌がる
- ・勤務時間の調整 ・家事、育児の時間が足りない ・自分のための時間がない
- ・PTA活動の負担 ・急な休校、学級閉鎖 ・預かり保育、長期休暇の預け先がない
- ・職場に子育て支援制度があっても実際には使いにくい ・子どものアレルギーや障害
- ・家事負担、配偶者の協力が得られない ・市や国の援助、公的サポートの少なさ
- ・社会の理解や価値観 ・子どもを預けるための費用 ・他の保護者との関わりが少ない
- ・宿題などを見てくれる場所 など

仕事と子育てを両立させる上で課題と思うことは、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が 60.2%と最も多く、次いで、「残業や出張が入ること」が 41.6%、「子どもと接する時間が少ないこと」が 38.0%となっています。

6 学童保育の利用

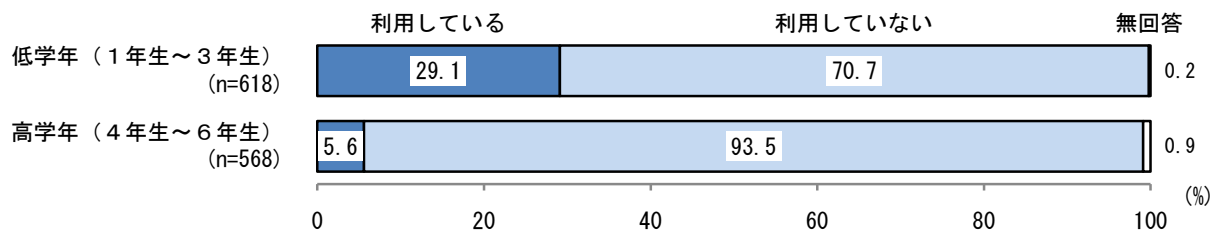
〔1〕平日の学童保育の利用有無

問14 現在、平日（月曜日から金曜日）に学童保育（放課後児童クラブ）を利用されていますか。



平日に学童保育（放課後児童クラブ）を「利用している」人は、18.1%となっています。

【平日の学童保育の利用有無 子どもの年齢別】



子どもの年齢別にみると、「利用している」は低学年（1年生～3年生）で29.1%と多く、高学年（4年生～6年生）では5.6%となっています。

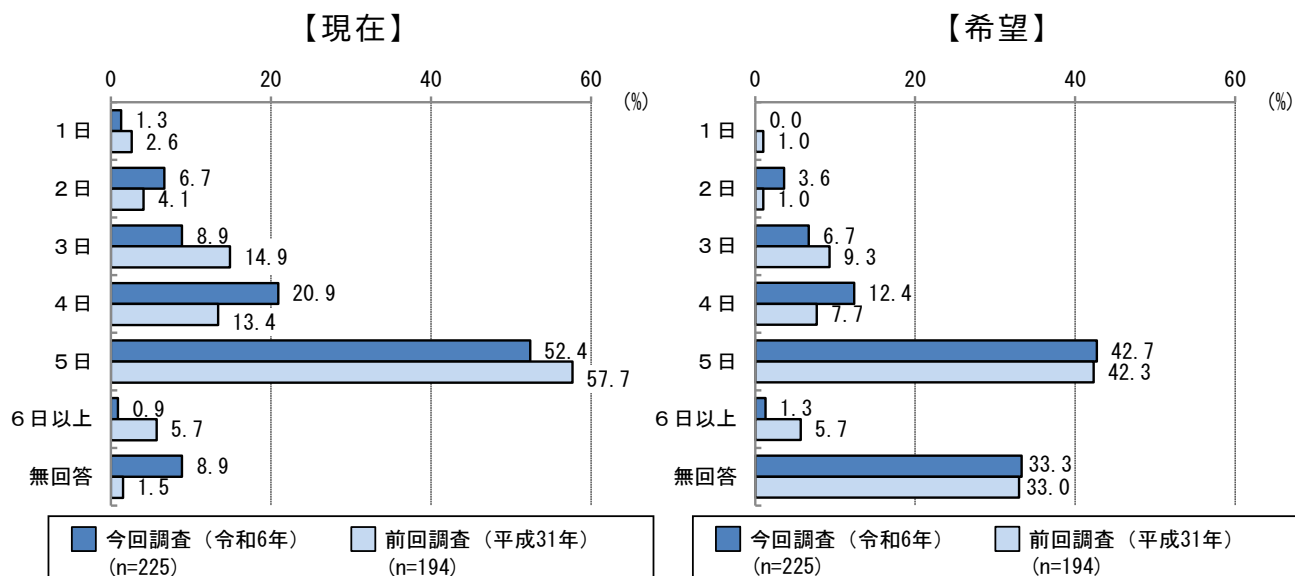
〔2〕学童保育の利用状況

問14で「利用している」とお答えの方のみ

問14-1 現在利用している学童保育（放課後児童クラブ）について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、1日当たり何時間（何時まで）利用していますか。

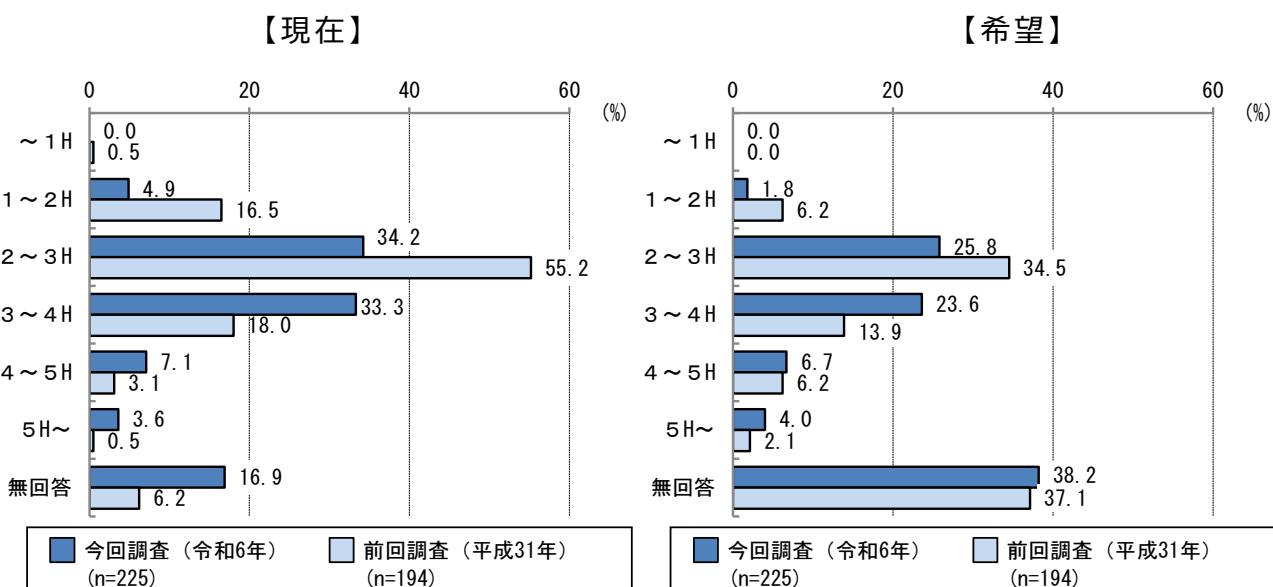
また、希望としてはどのくらい利用したいですか（（ ）内に数字を記入、24時間で表記）。

■1週あたりの利用日数



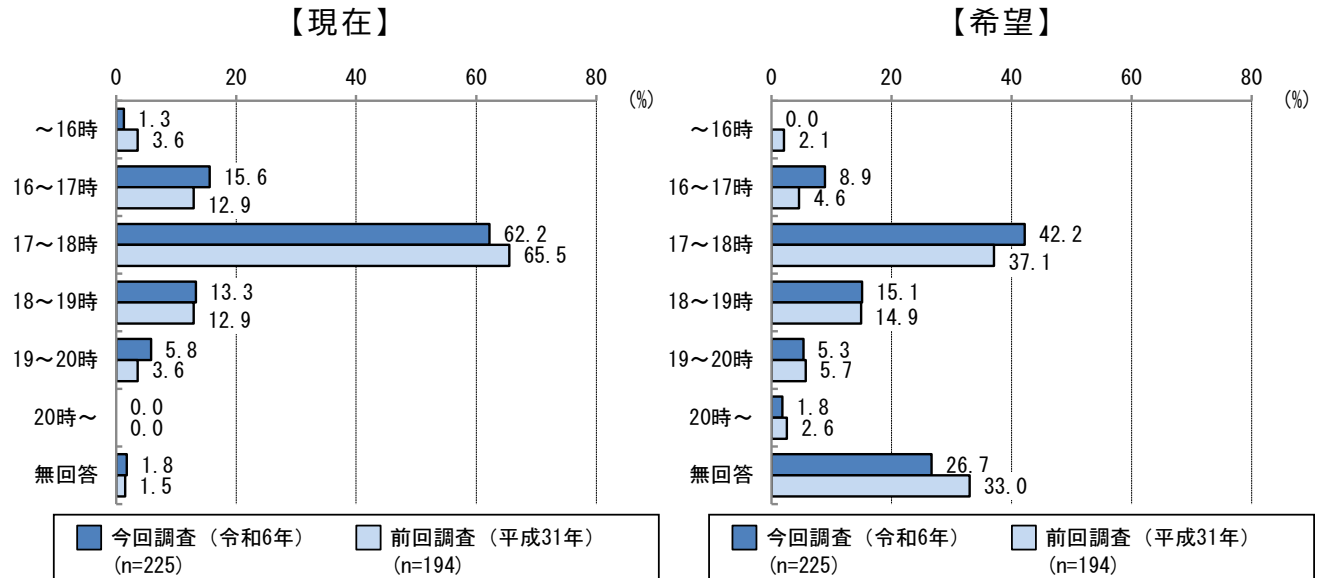
平日に学童保育（放課後児童クラブ）を「利用している」方の、1週あたりの利用日数は、現在では「5日」が52.4%と最も多く、希望も「5日」が42.7%と最も多くなっています。

■1日あたりの利用時間



1日あたりの利用時間は、現在では「2～3時間」が34.2%、「3～4時間」が33.3%、希望も「2～3時間」が25.8%、「3～4時間」が23.6%となっています。

■利用終了時間

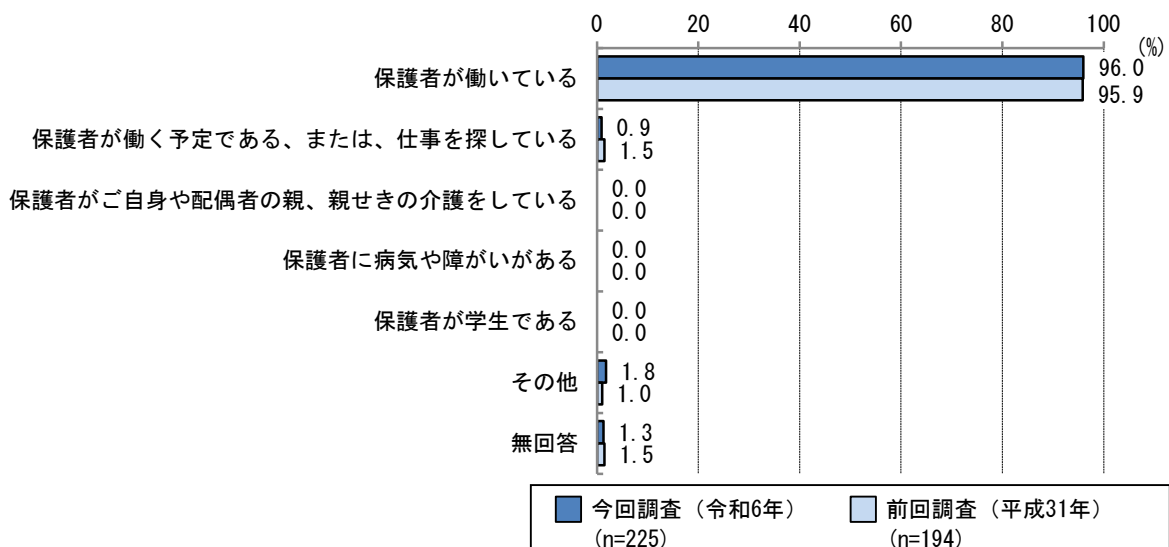


現在の利用終了時間は、「17～18 時」が 62.2%と最も多く、希望の終了時間も、「17～18 時」が 42.2%と最も多くなっています。

〔3〕学童保育を利用している理由

問14で「利用している」とお答えの方のみ

問14-2 学童保育（放課後児童クラブ）を利用されている理由は何ですか（1つに○）。



平日に学童保育（放課後児童クラブ）を「利用している」理由は、「保護者が働いている」が 96.0%と最も多くなっています。

〔4〕土曜日、日曜日・祝日の学童保育の利用希望

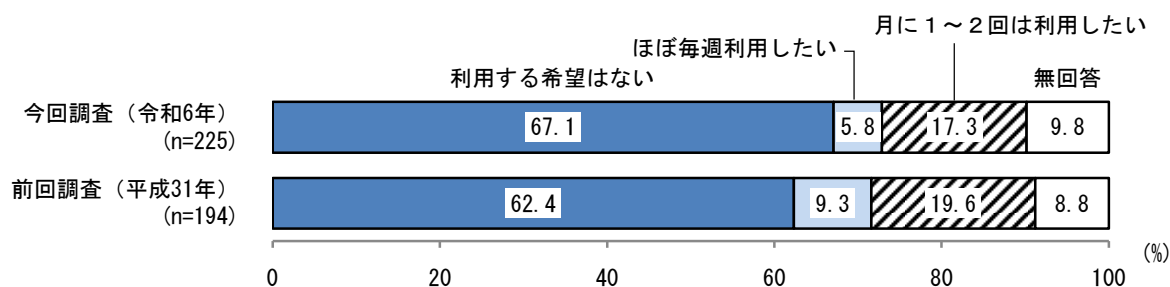
問14で「利用している」とお答えの方のみ

問14-3 土曜日、日曜日・祝日に、学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望がありますか。仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます（それぞれ1つに○）。

「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方は、利用したい時間帯もお答えください（ ）内に24時間で表記）。

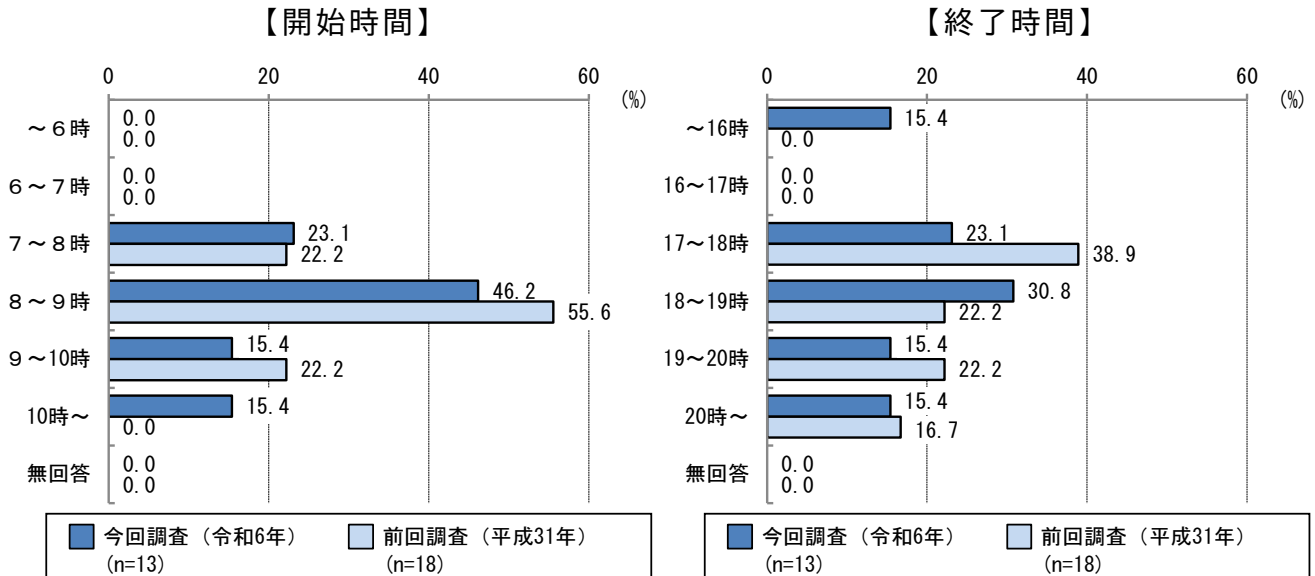
なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

■土曜日の利用希望



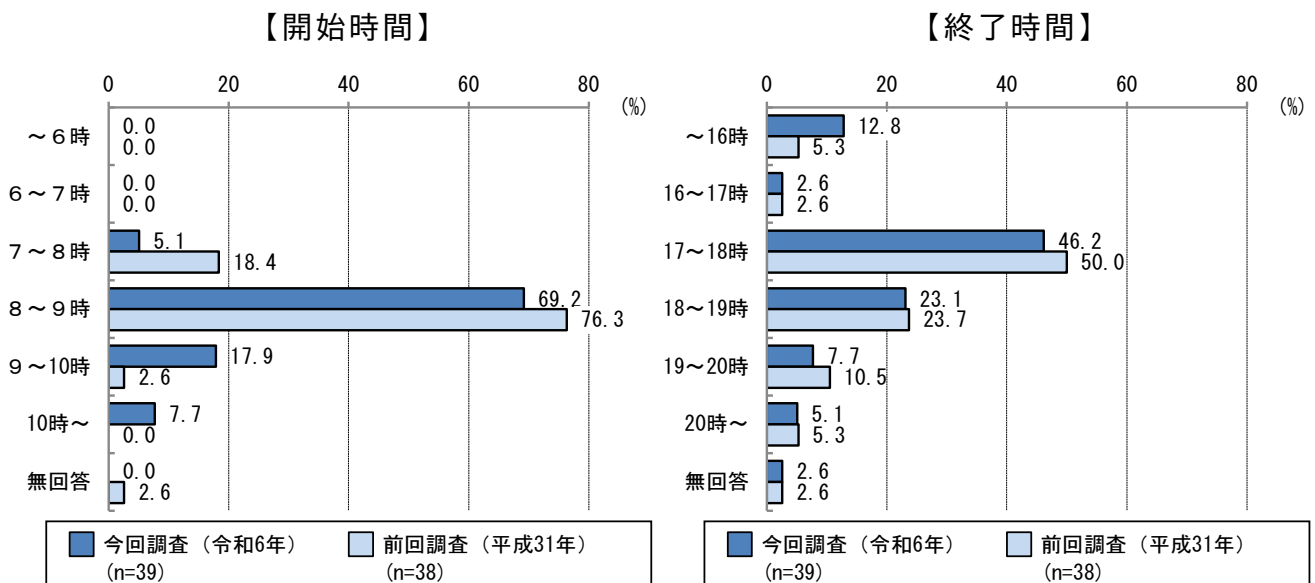
平日に学童保育を「利用している」方の、土曜日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が5.8%、「月に1～2回は利用したい」が17.3%で、利用希望者は合計23.1%となっています。前回調査に比べて、利用希望者は5.8ポイント減少しています。

■土曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望利用時間



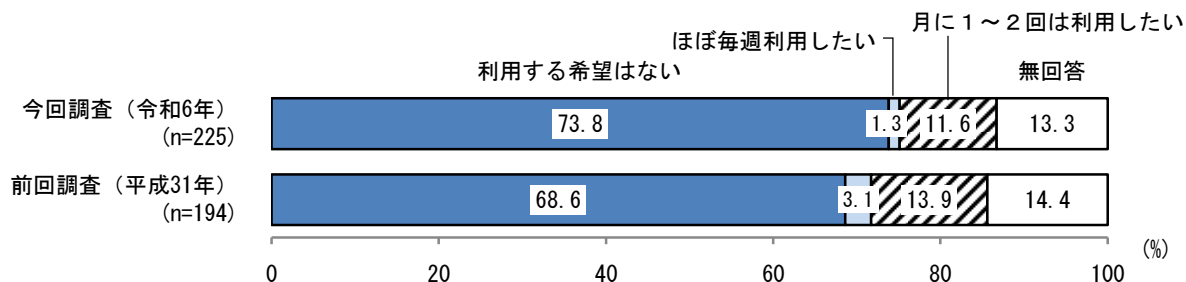
土曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望開始時間は、「8～9時」が 46.2%と最も多く、希望終了時間は、「18～19時」が 30.8%と最も多く、次いで、「17～18時」が 23.1%となっています。

■土曜日に「月に1～2回は利用したい」人の希望利用時間



土曜日に「月に1～2回は利用したい」人の希望開始時間は、「8～9時」が 69.2%と最も多く、希望終了時間は、「17～18時」が 46.2%と最も多くなっています。

■日曜日・祝日の利用希望



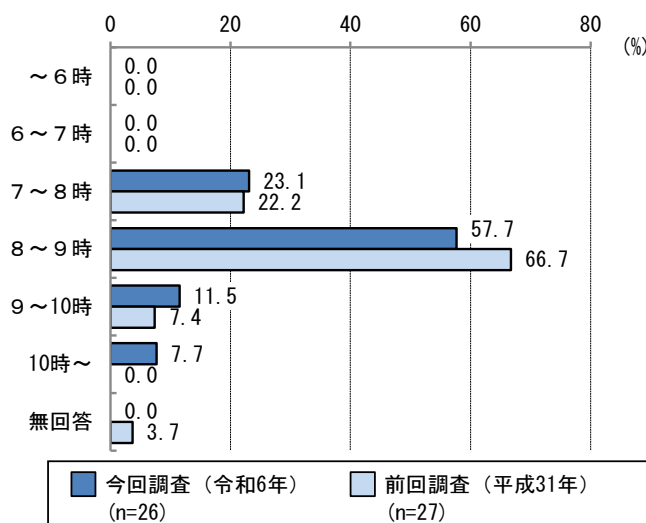
平日に学童保育を「利用している」方の、日曜日・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が1.3%、「月に1～2回は利用したい」が11.6%で、利用希望者は合計12.9%となっています。前回調査に比べて、利用希望者は4.1ポイント減少しています。

■日曜日・祝日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望利用時間

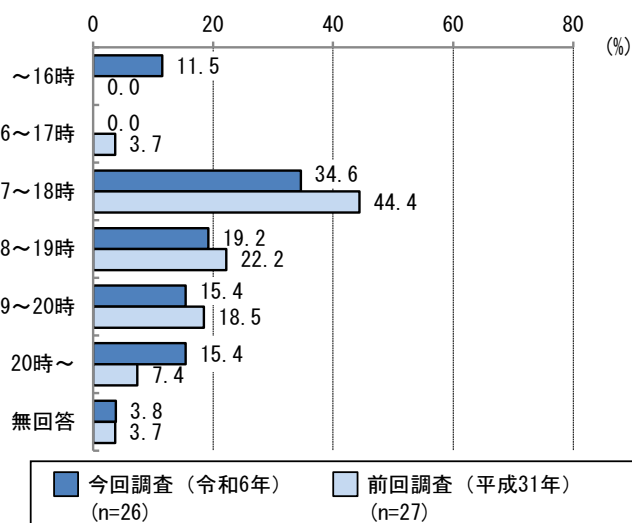
→ 該当者は3名で、開始時間は「8～9時」が2件（66.7%）、「9～10時」が1件（33.3%）となっています。終了時間は「17～18時」、「18～19時」、「19～20時」がそれぞれ1件ずつ（33.3%）となっています。

■日曜日・祝日に「月に1～2回は利用したい」人の希望利用時間

【開始時間】



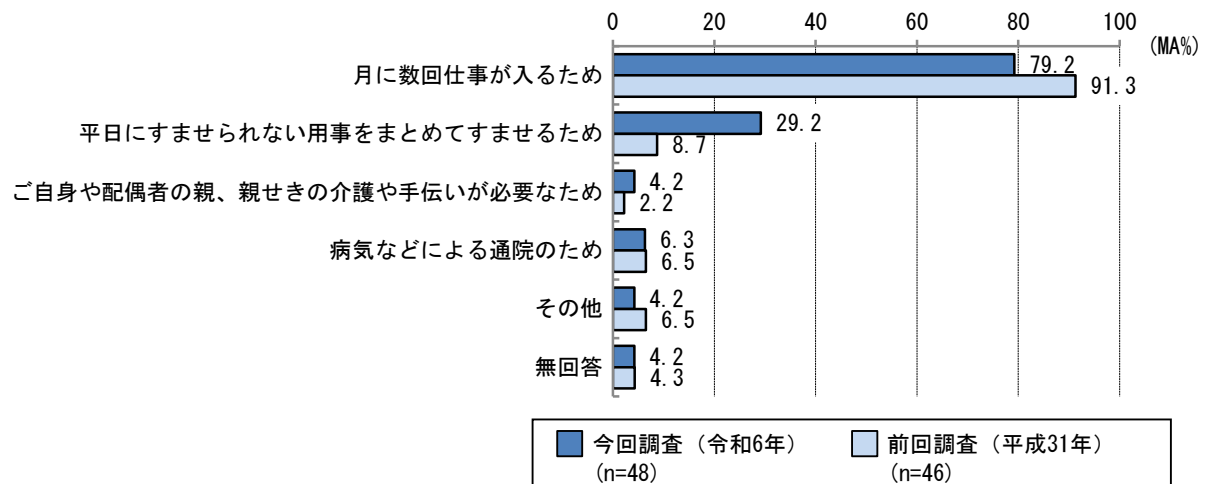
【終了時間】



日曜日・祝日に「月に1～2回は利用したい」人の希望開始時間は、「8～9時」が57.7%と最も多く、希望終了時間は、「17～18時」が34.6%と最も多くなっています。

〔5〕学童保育をたまに利用したい理由

問14-3で、「月に1～2回は利用したい」とお答えの方のみ
問14-4 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか
(当てはまるものすべてに○)。

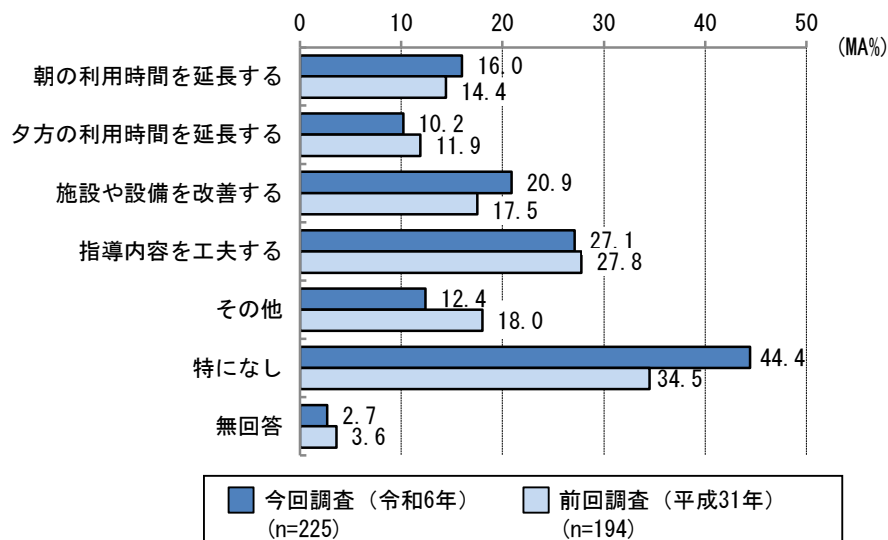


土曜日、日曜日・祝日に、学童保育を「月に1～2回は利用したい」とお答えの方の、毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が 79.2%と最も多く、次いで、「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が 29.2%となっています。前回調査に比べて、「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が 20.5 ポイント増加しています。

〔6〕現在通っている学童保育に希望すること

問14で「利用している」とお答えの方のみ

問14-5 現在通っている学童保育(放課後児童クラブ)にどのようなことを希望しますか(当てはまるものすべてに○)。



◆「その他」内訳

- ・指導員の増員、質の向上
- ・急な学級閉鎖、オンライン授業時の預かり
- ・土日の預かり
- ・宿題や勉強のサポート
- ・車での送迎、駐車許可
- ・図書充実、本の持ち込み許可
- ・子どもの見守り強化
- ・制約が多い、自由に遊ばせてほしい、楽しい学童にしてほしい
- ・スペース拡大
- ・習い事時の中抜け
- ・パソコン利用の制限
- ・子どもの様子を知りたい
- ・役員の仕事の軽減
- ・費用の軽減
- など

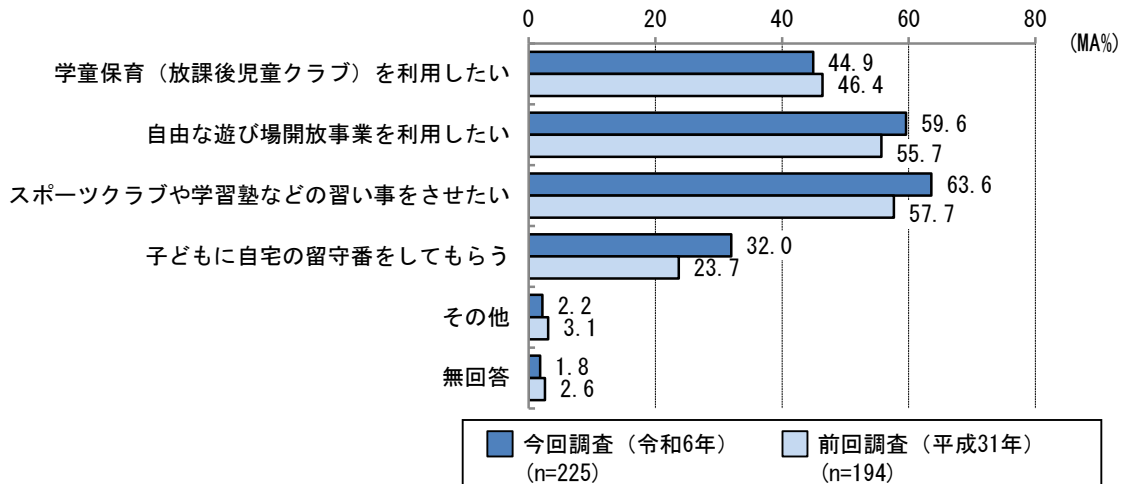
平日に学童保育を「利用している」方の、現在通っている学童保育に希望することは、「指導内容を工夫する」が27.1%と最も多く、次いで、「施設や設備を改善する」が20.9%、「朝の利用時間を延長する」が16.0%となっています。

〔7〕小学校4年生以降の放課後の過ごし方

問14で「利用している」とお答えの方のみ

問14-6 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか（当てはまるものすべてに○）。

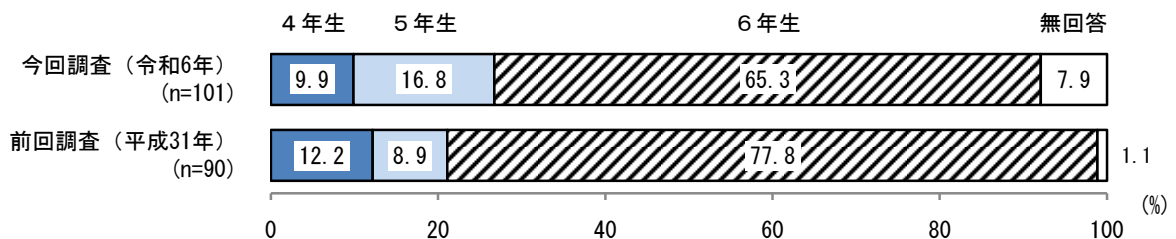
「学童保育を利用したい」を選択した場合は、（ ）内に学年を入れてください。



平日に学童保育を「利用している」方の、小学4年生以降の放課後の過ごし方の希望は、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」が 63.6%と最も多く、次いで、「自由な遊び場事業を利用したい」が 59.6%、「学童保育を利用したい」が 44.9%となっています。前回調査に比べて、「子どもに自宅の留守番をしてもらおう」が 8.3 ポイント増加しています。

「学童保育を利用したい」とお答えの方のみ

■何年生まで利用したいか

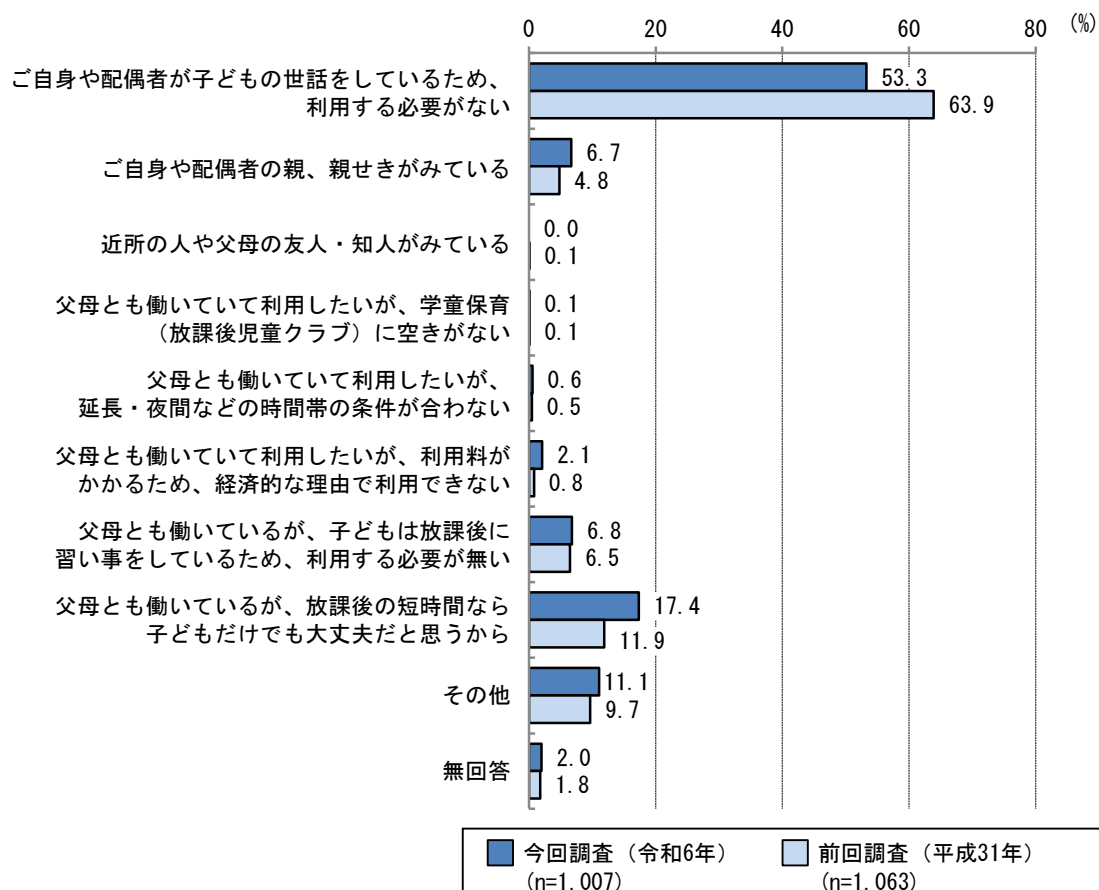


小学4年生以降も「学童保育を利用したい」とお答えの方が、何年生までの利用を希望しているかについては、「6年生」が 65.3%と最も多くなっています。

〔8〕学童保育を利用していない理由

問14で「利用していない」とお答えの方のみ

問14-7 学童保育(放課後児童クラブ)を利用していない理由は何ですか(1つに○)。



◆「その他」内訳

- ・子どもが嫌がる、行きたがらない(楽しくない、いじわるをされた、高学年になると友達がいらない)
- ・親やきょうだい在家にいる ・大きくなったので1人で留守番できる
- ・放課後等デイサービスや民間の学童を利用 ・塾や習い事に行っている ・友達と遊ぶ
- ・パート勤務、育休中で利用条件を満たさない ・定員オーバーで入れない
- ・障害やアレルギーへの理解が不十分 ・学童でトラブルがあった ・指導員の質が悪い
- ・役が面倒 ・帰りが遅くなる ・学校に学童がない など

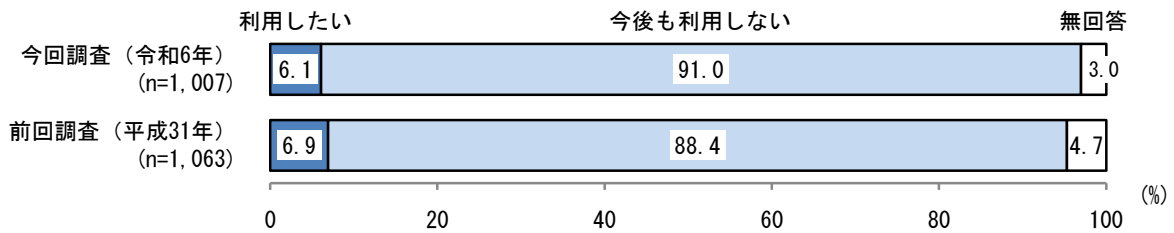
学童保育(放課後児童クラブ)を「利用していない」理由は、「ご自身や配偶者が子どもの世話をしているため、利用する必要がない」が 53.3%と最も多く、次いで、「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 17.4%となっています。前回調査に比べて、「父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 5.5 ポイント増加しています。

〔9〕学童保育の今後の利用希望

問14で「利用していない」とお答えの方のみ

問14-8 今後、学童保育（放課後児童クラブ）を利用したいとお考えですか（それぞれ1つに○）。希望がある場合は、日数・時間をお答えください（ ）内に数字を記入、24時間で表記）。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

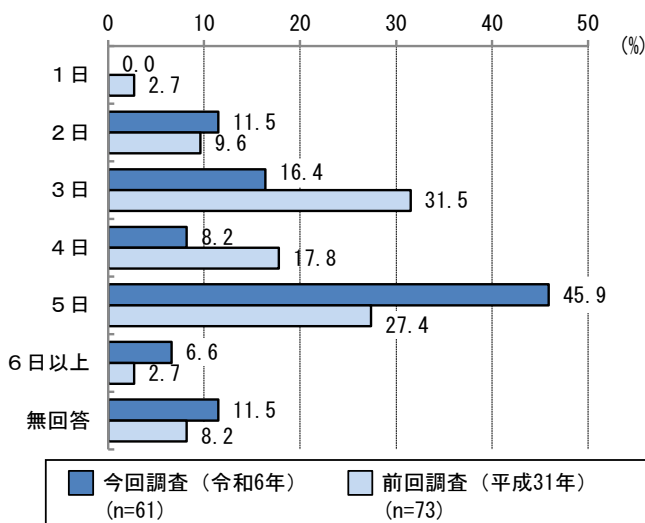
■今後の利用希望



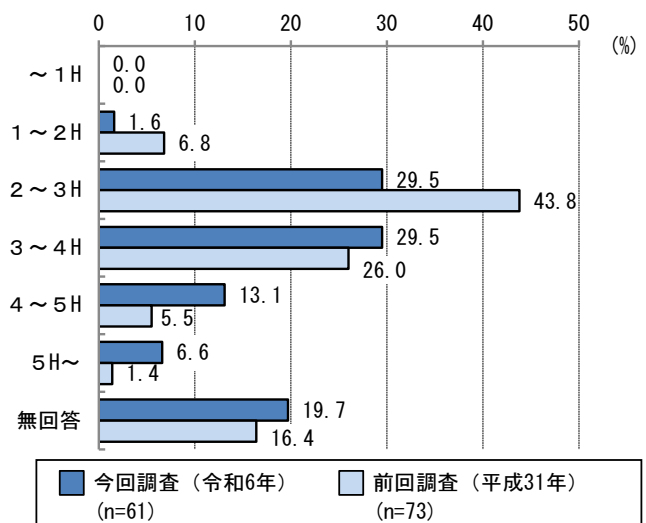
学童保育（放課後児童クラブ）非利用者の今後の利用希望については、「利用したい」が6.1%、「今後も利用しない」が91.0%となっています。

今後、学童保育（放課後児童クラブ）を「利用したい」とお答えの方のみ

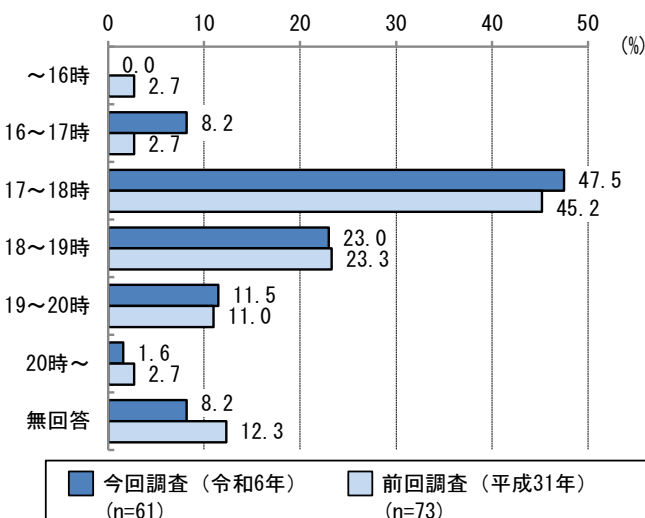
■1週あたりの希望利用日数



■1日当たりの希望利用時間



■希望終了時間



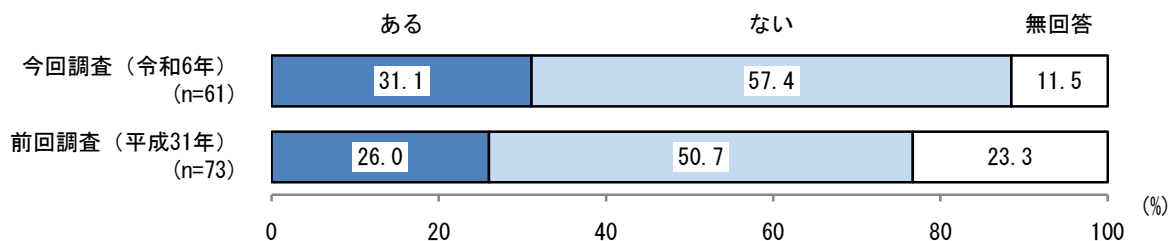
今後、学童保育（放課後児童クラブ）を「利用したい」方の、1週あたりの希望利用日数は、「5日」が45.9%と最も多くなっています。

1日当たりの希望利用時間は、「2～3時間」「3～4時間」がそれぞれ29.5%と多くなっています。

希望終了時間は、「17～18時」が47.5%と最も多く、次いで、「18～19時」が23.0%となっています。

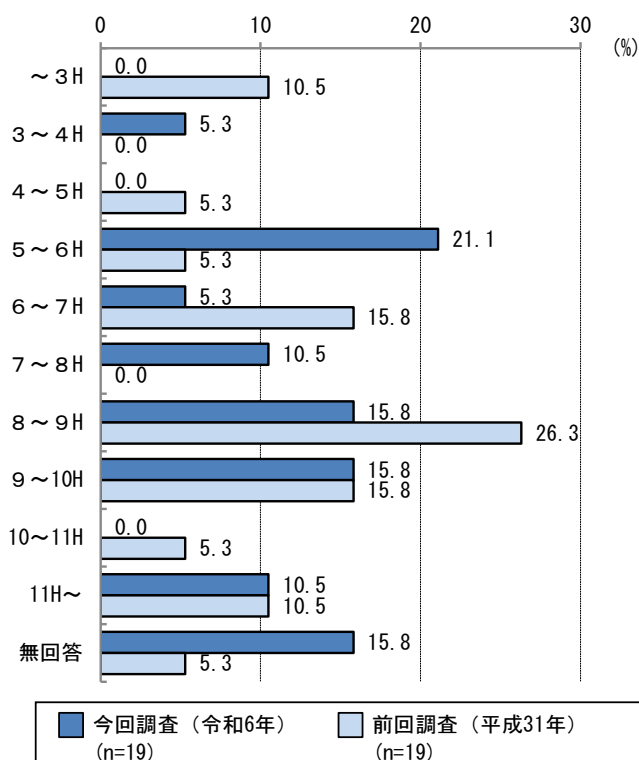
今後、学童保育（放課後児童クラブ）を「利用したい」とお答えの方のみ

■土曜日の利用希望

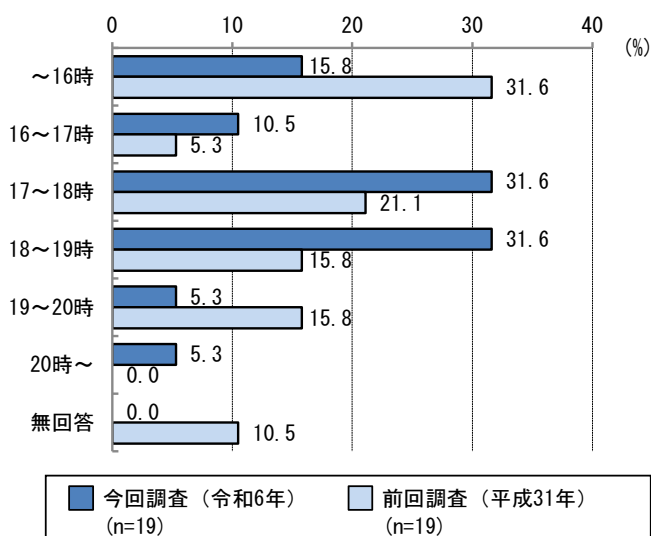


土曜日の利用希望が「ある」方のみ

■土曜日1日当たりの希望利用時間



■土曜日の希望終了時間

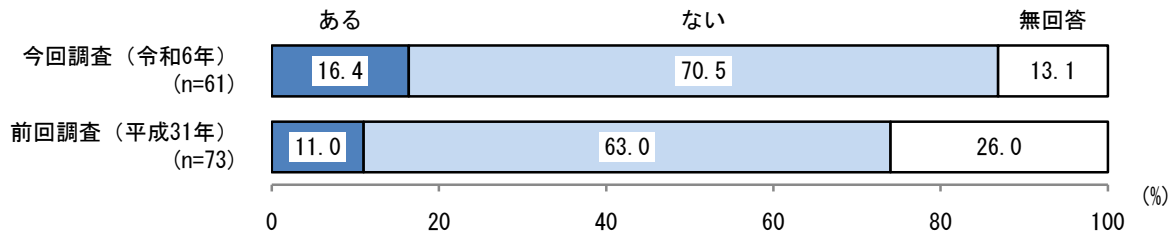


今後、学童保育（放課後児童クラブ）を「利用したい」方で、土曜日の利用希望が「ある」は31.1%となっています。

土曜日1日当たりの希望利用時間は、「5～6時間」が21.1%と最も多く、次いで、「8～9時間」、「9～10時間」がそれぞれ15.8%となっています。希望終了時間は、「17～18時」、「18～19時」がそれぞれ31.6%となっています。

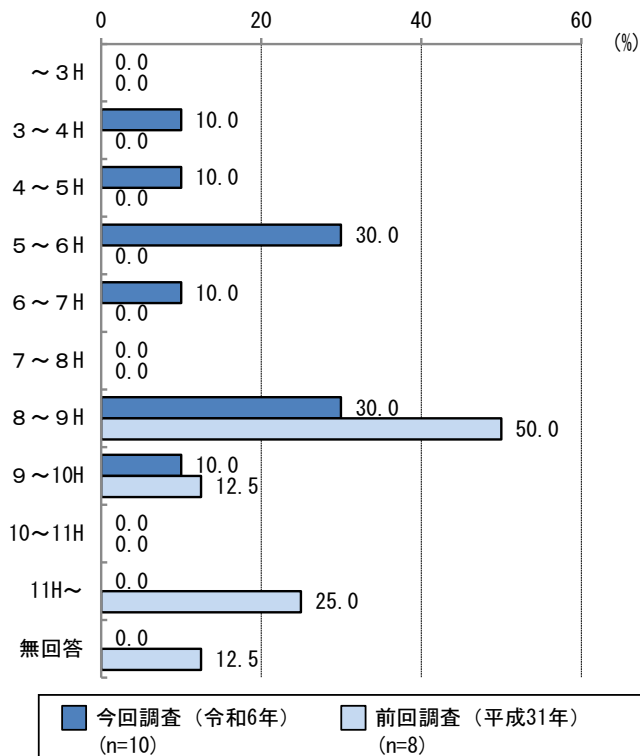
今後、学童保育(放課後児童クラブ)を「利用したい」とお答えの方のみ

■日曜日・祝日の利用希望

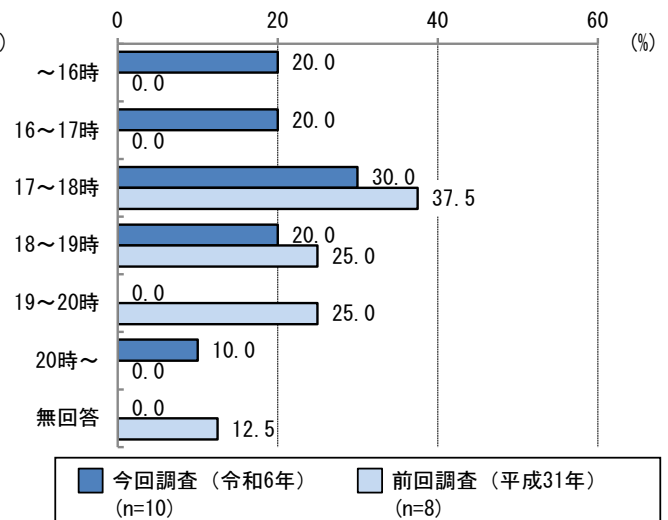


日曜日・祝日の利用希望が「ある」方のみ

■日曜日・祝日1日当たりの希望利用時間



■日曜日・祝日の希望終了時間



今後、学童保育(放課後児童クラブ)を「利用したい」方で、日曜日・祝日の利用希望が「ある」は 16.4%となっています。

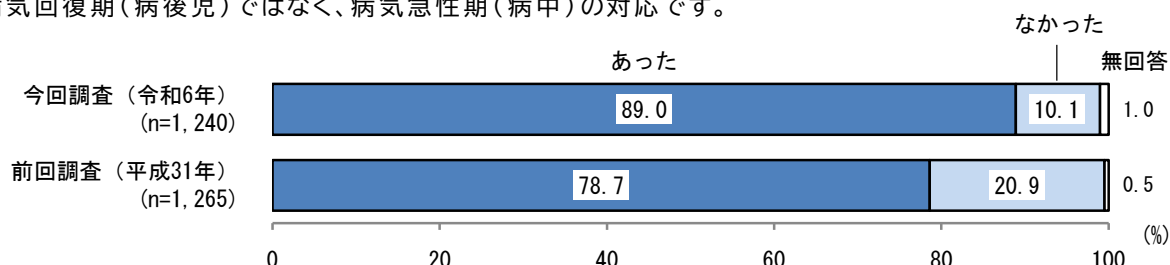
日曜日・祝日1日当たりの希望利用時間は、「5～6時間」、「8～9時間」がそれぞれ 30.0%となっています。希望終了時間は、「17～18時」が 30.0%と最も多くなっています。

7 病気の際の対応

〔1〕子どもが病気やけがで小学校を休まなければならなかったこと

問15 この1年間に、お子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。

※病気回復期（病後児）ではなく、病気急性期（病中）の対応です。



この1年間に子どもが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことが「あった」人は89.0%となっています。

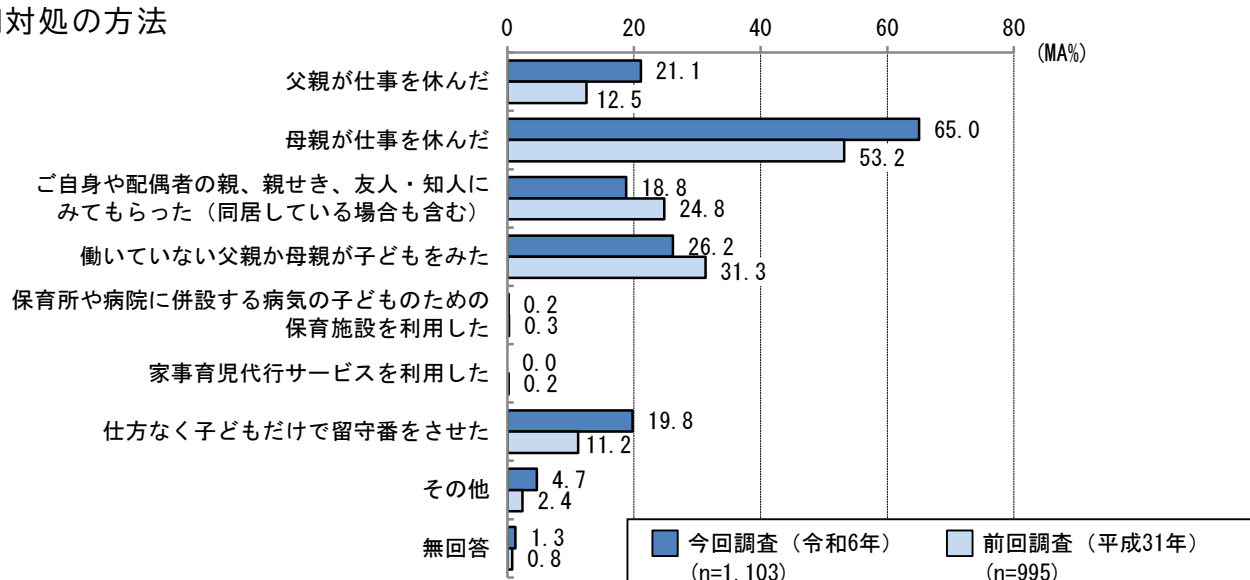
〔2〕病気やけがの際の対処の方法

問15で「あった」とお答えの方のみ

問15-1 この1年間に、お子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったときの対処方法（当てはまるものすべてに○）と、その日数をお答えください（（ ）内に数字を記入）。

※半日程度についても1日としてカウントしてください。

■ 対処の方法



子どもが病気やけがの際の対処の方法は、「母親が仕事を休んだ」が65.0%と最も多く、次いで、「働いていない父親か母親が子どもをみた」が26.2%、「父親が仕事を休んだ」が21.1%となっています。前回調査に比べて、「母親が仕事を休んだ」が11.8ポイント、「父親が仕事を休んだ」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が8.6ポイント増加しています。

■この1年間に対処した日数

													(%)	
	n	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 ～ 10 日	11 日 ～ 20 日	21 日 ～ 30 日	31 日 ～ 50 日	51 日 以上	無 回 答	平均 (日)	
1. 父親が仕事を休んだ日数	233 100	58 24.9	52 22.3	38 16.3	9 3.9	26 11.2	17 7.3	5 2.1	0 0	0 0	0 0	28 12.0	3.34	
2. 母親が仕事を休んだ日数	717 100	69 9.6	101 14.1	103 14.4	45 6.3	128 17.9	127 17.7	56 7.8	7 1.0	3 0.4	2 0.3	76 10.6	6.12	
3. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に みてもらった日数	207 100	32 15.5	37 17.9	31 15.0	9 4.3	36 17.4	31 15.0	9 4.3	0 0	0 0	1 0.5	21 10.1	5.01	
4. 働いていない父親か母親が子どもをみた日数	289 100	16 5.5	25 8.7	26 9.0	11 3.8	40 13.8	84 29.1	41 14.2	13 4.5	4 1.4	1 0.3	28 9.7	9.15	
5. 保育所や病院に併設する病気の子どもの ための保育施設を利用した日数	2 100	0 0	1 50.0	1 50.0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2.50	
6. 家事育児代行サービスを利用した日数	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0.00	
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 日数	218 100	49 22.5	56 25.7	33 15.1	3 1.4	21 9.6	25 11.5	4 1.8	0 0	0 0	0 0	27 12.4	3.56	
8. その他の日数	52 100	5 9.6	4 7.7	5 9.6	1 1.9	8 15.4	10 19.2	3 5.8	1 1.9	0 0	0 0	15 28.8	6.32	

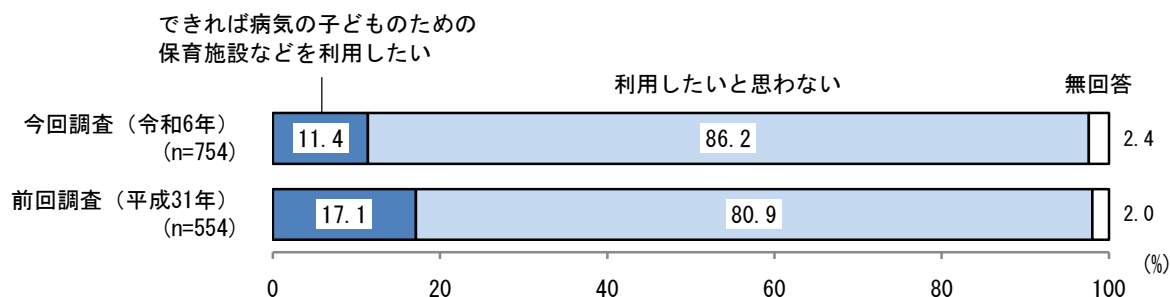
またその日数については、「働いていない父親か母親が子どもをみた」で「6～10 日」、「母親が仕事を休んだ」で「5 日」、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」で「2 日」、「父親が仕事を休んだ」で「1 日」が最も多く、「働いていない父親か母親が子どもをみた」は平均 9.15 日、「母親が仕事を休んだ」は平均 6.12 日となっています。

〔3〕病気の子どものための保育施設などの利用希望

問15-1で「父親または母親が仕事を休んだ」方のみ

問15-2 そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか(1つに○)。利用したい方は()内に日数もお答えください。
 なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

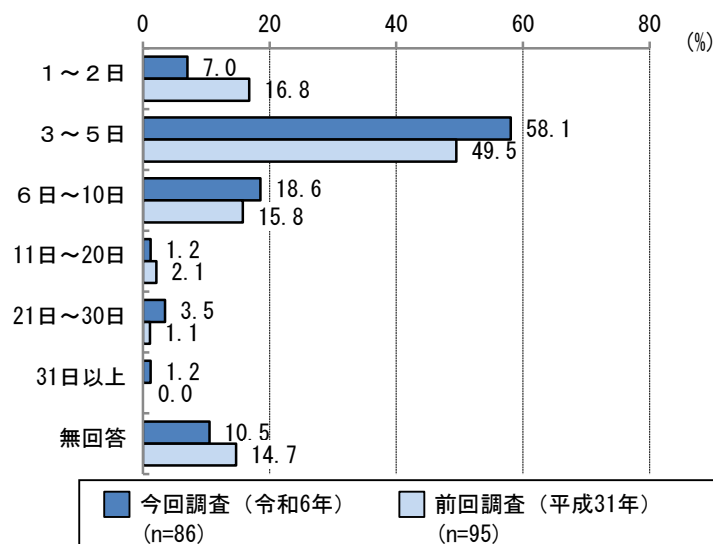
■利用希望



子どもが病気やけがの際に「父親が仕事を休んだ」または「母親が仕事を休んだ」方で、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は11.4%となっています。

「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」とお答えの方のみ

■希望利用日数



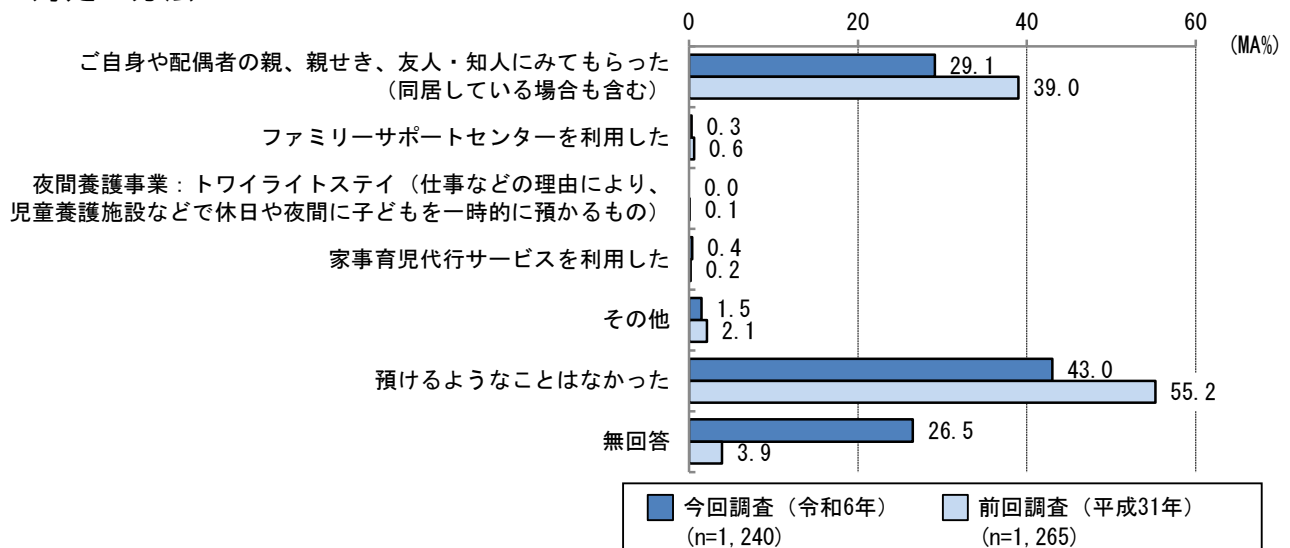
「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」方の希望利用日数は、「3～5日」が58.1%と最も多くなっています。

8 一時預かりなどの利用

〔1〕子どもを家族以外の誰かに一時的に預けた経験

問16 この1年間に、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます(当てはまるものすべてに○、()内に数字を記入)。

■対処の方法



私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由に子どもを家族以外の誰かに一時的に預けた場合の対処の方法は、「ご自身や配偶者の親、親戚、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)」で 29.1%みられますが、4割強 (43.0%) の方が「預けるようなことはなかった」と回答しています。

■1年間の利用日数

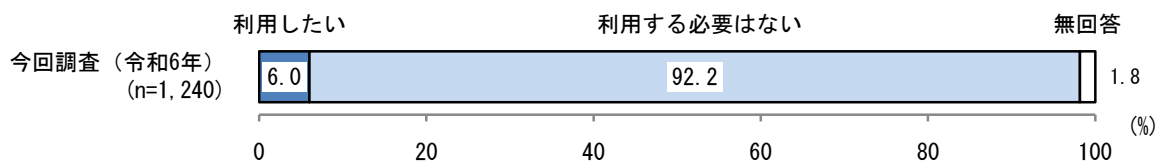
		(%)							
	n	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 10 日	11 ～ 20 日	21 ～ 30 日	31 日 以上	無 回 答	平 均
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	361 100	100 27.7	102 28.3	61 16.9	27 7.5	20 5.5	19 5.3	32 8.9	11.25
2. ファミリーサポートセンターを利用した	4 100	2 50.0	2 50.0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3.25
3. 夜間養護事業：トワイライトステイ	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0.00
4. 家事育児代行サービスを利用した	5 100	3 60.0	0 0	1 20.0	1 20.0	0 0	0 0	0 0	5.60
5. その他	18 100	4 22.2	4 22.2	3 16.7	0 0	1 5.6	3 16.7	3 16.7	37.87

また、その利用日数は、「ご自身や配偶者の親、親戚、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)」で「3～5日」が最も多くなっています。

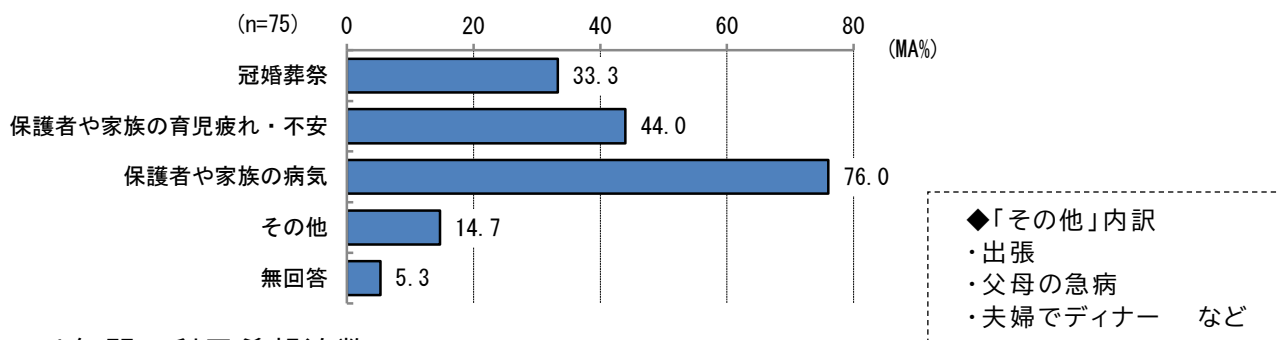
〔2〕短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望【新規設問】

問17 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけ」で、年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。
短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください)。
なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

■短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望



■短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用目的



■1年間の利用希望泊数

		(%)							
	n	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊	5 泊	6 泊	7 泊以上	平均 (泊)
合計	75	15	17	18	9	1	4	11	9.77
	100	20.0	22.7	24.0	12.0	1.3	5.3	14.7	
ア. 冠婚葬祭	25	15	6	2	0	0	0	2	2.39
	100	60.0	24.0	8.0	0	0	0	8.0	
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	33	7	10	7	2	2	0	5	7.07
	100	21.2	30.3	21.2	6.1	6.1	0	15.2	
ウ. 保護者や家族の病気	57	21	15	9	2	2	1	7	6.22
	100	36.8	26.3	15.8	3.5	3.5	1.8	12.3	
エ. その他	11	3	3	2	1	0	0	2	6.33
	100	27.3	27.3	18.2	9.1	0	0	18.2	

保護者の用事により、子どもを「泊りがけ」で、家族以外に預ける必要がある場合に、短期入所生活援助事業(ショートステイ)を「利用したい」は 6.0%となっています。

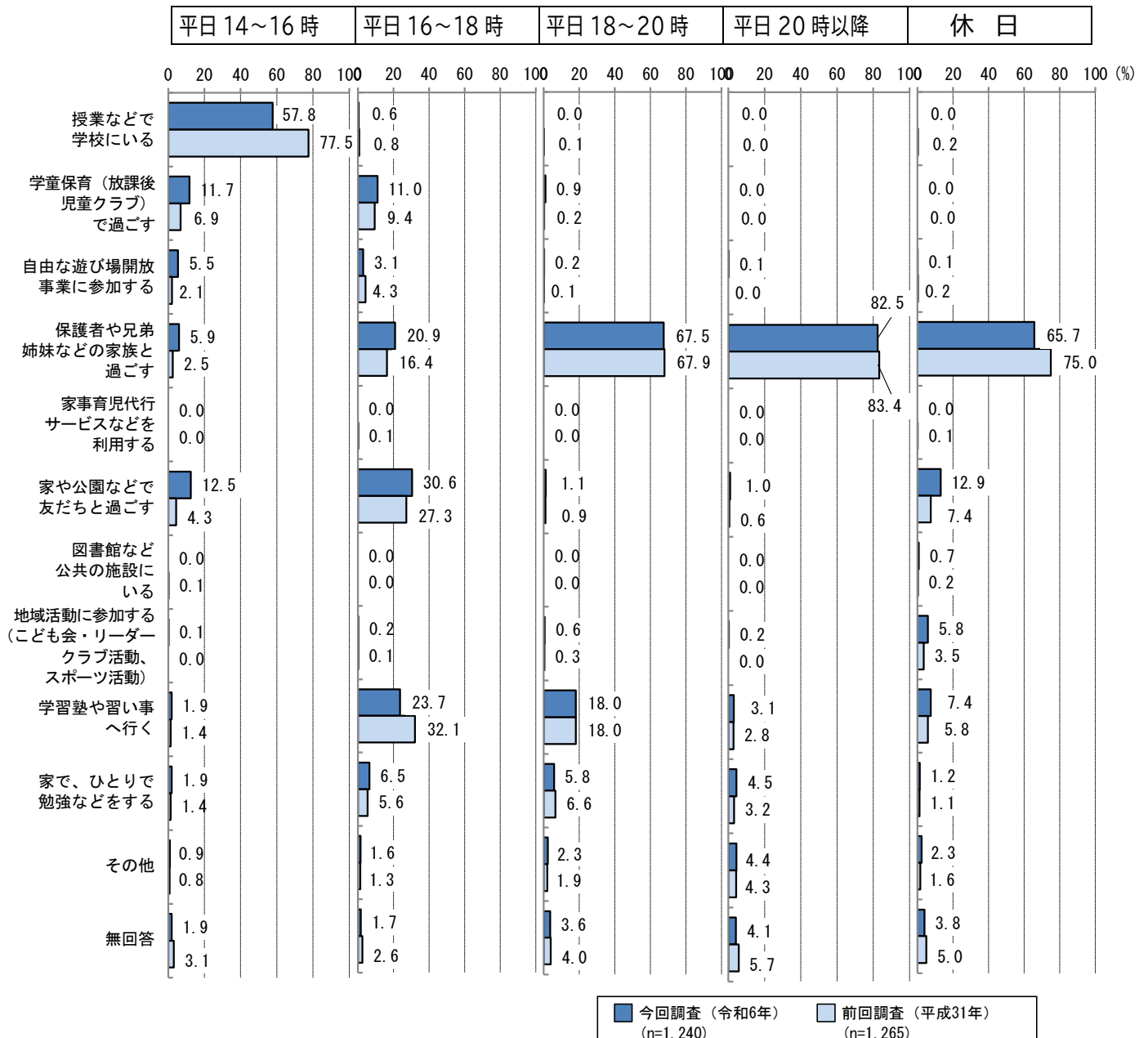
また、「利用したい」場合の利用目的は、「保護者や家族の病気」が 76.0%と最も多く、次いで、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 44.0%、「冠婚葬祭」が 33.3%となっており、1年間の利用希望泊数の合計は、平均 9.77 日となっています。

9 子どもの普段の過ごし方

〔1〕普段の過ごし方ともっとも望まれる過ごし方

問18 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いもの、また、もっとも望まれる過ごし方について、時間帯ごとに下記枠内(過ごし方)の選択肢の中からお答えください()内にそれぞれ下表1～11の番号を1つ記入)。

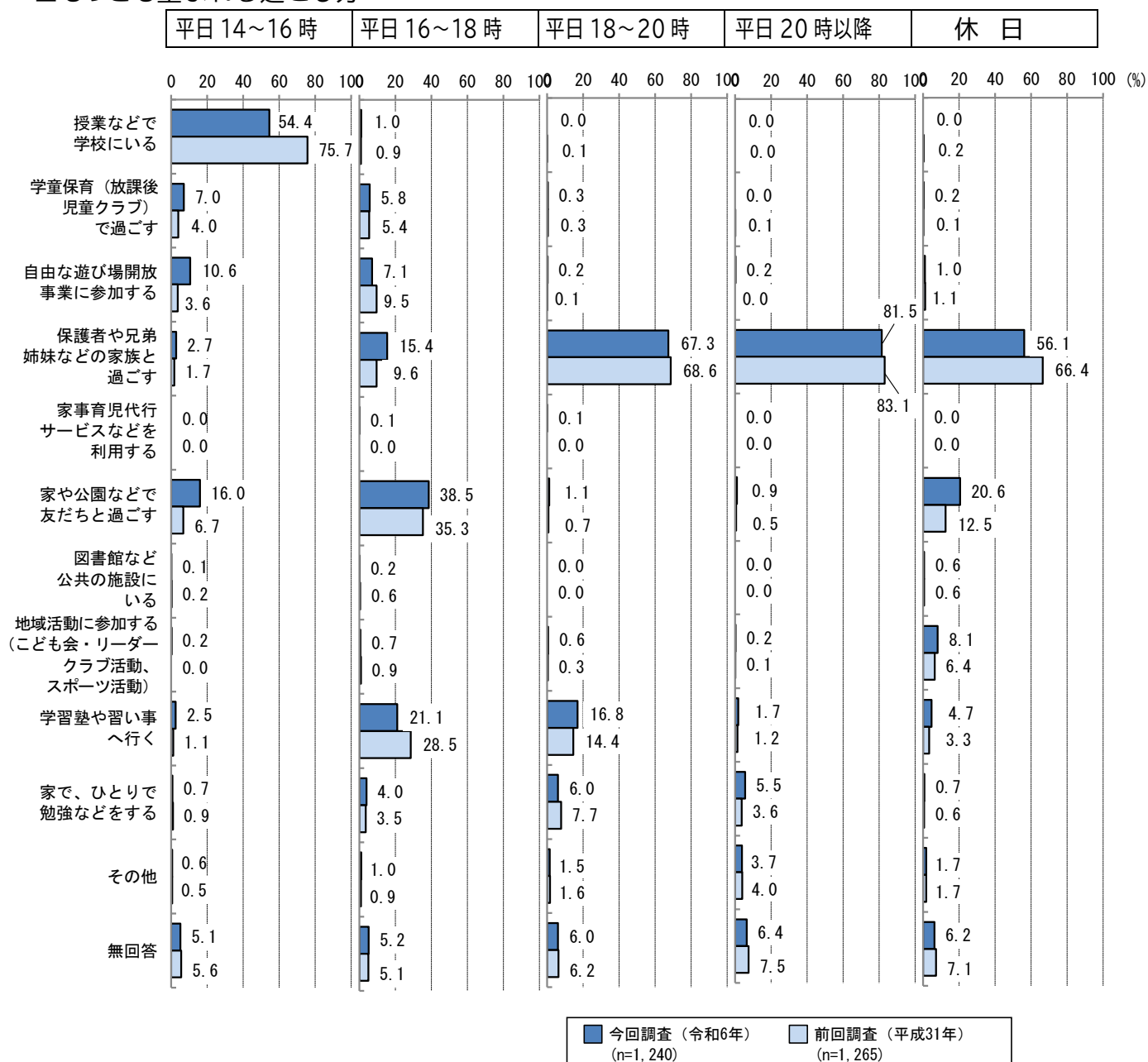
■ 普段の過ごし方で1番多いもの



平日の放課後および休日の普段の過ごし方で1番多いものについて時間帯ごとにみると、平日 14～16 時は「授業などで学校にいる」が 57.8%と最も多く、平日 16～18 時は「家や公園などで友だちと過ごす」、「学習塾や習い事へ行く」、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が 2 割～3 割、平日 18～20 時、平日 20 時以降、休日は「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が最も多くなっています。

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-2. 就学児童調査

■もっとも望まれる過ごし方



平日の放課後および休日の過ごし方でもっとも望まれる過ごし方について時間帯ごとにみると、平日 14～16 時は「授業などで学校にいる」が 54.4%と最も多く、平日 16～18 時は「家や公園などで友だちと過ごす」が 38.5%、「学習塾や習い事へ行く」が 21.1%、平日 18～20 時、平日 20 時以降、休日は「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が最も多くなっています。

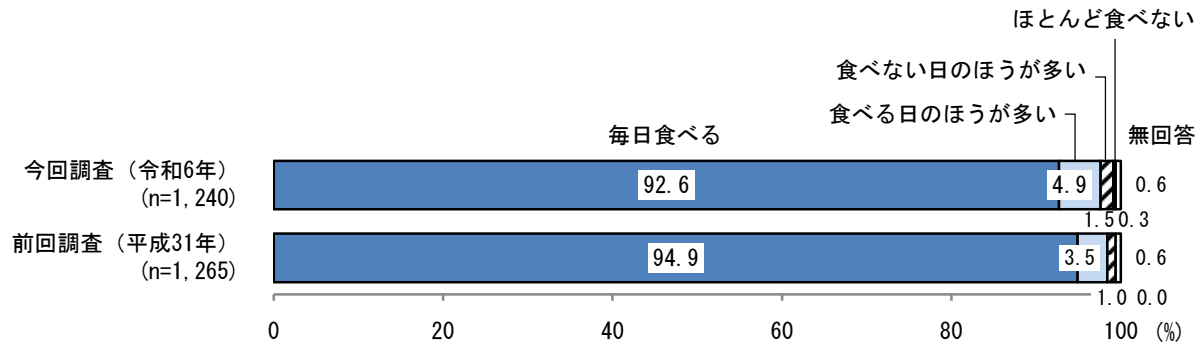
普段の過ごし方と望まれる過ごし方に大きな差はみられませんが、平日 14～16 時、平日 16～18 時、休日の望まれる過ごし方で、「家や公園などで友だちと過ごす」がやや多くなっています。

10 子どもの生活習慣

〔1〕子どもの生活習慣

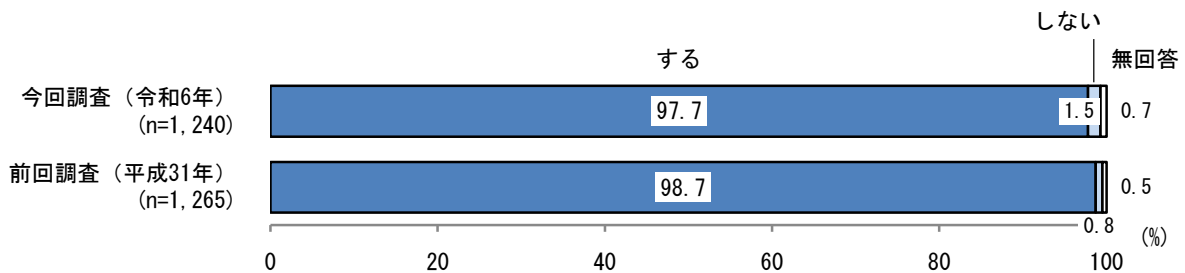
問19 お子さんの生活習慣について、お答えください(それぞれ1つに○)。

(1) 朝ごはんを食べますか。



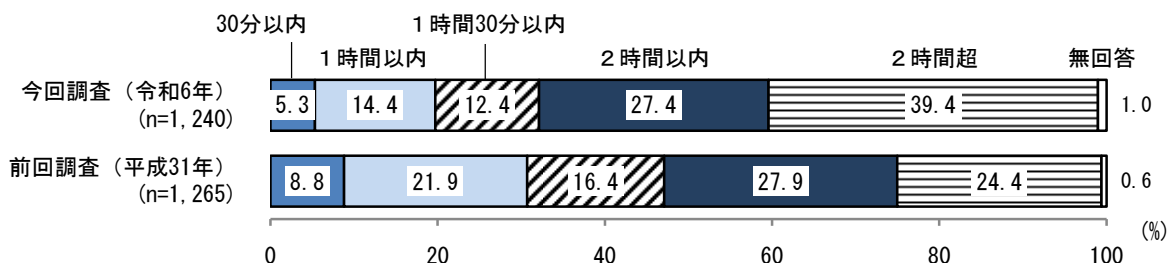
朝ごはんは、「毎日食べる」が92.6%となっています。

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。



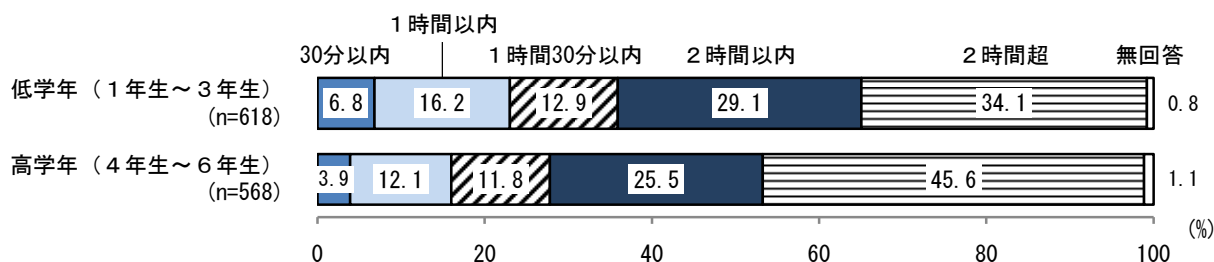
1日1回は家族と一緒に食事を「する」が97.7%となっています。

(3) 平日のテレビ・ビデオ(動画・ゲームも含む)の1日当たり平均視聴時間は何時間ぐらいですか。



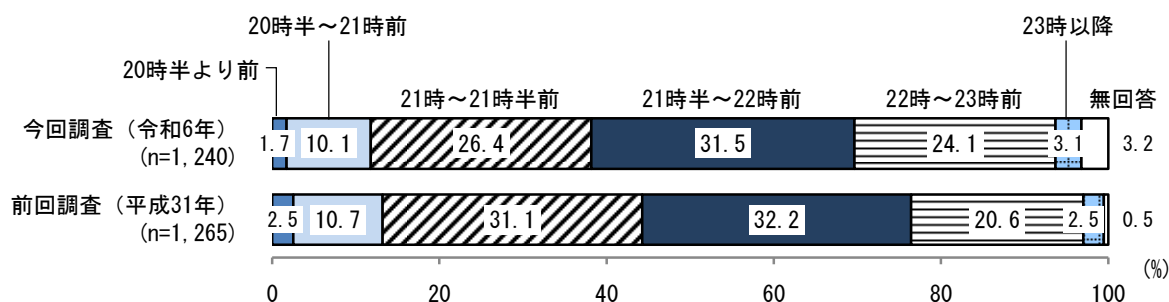
平日のテレビ・ビデオ(動画・ゲームを含む)の平均視聴時間は、「2時間超」が39.4%と最も多く、次いで、「2時間以内」が27.4%となっています。前回調査に比べて、「2時間超」が15.0ポイント増加しています。

【平日のテレビ・ビデオの平均視聴時間 子どもの年齢別】



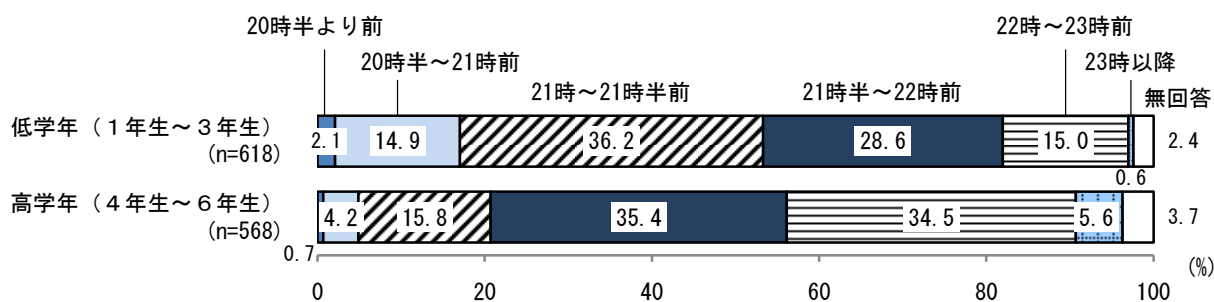
子どもの年齢別にみると、「2時間超」は低学年で 34.1%、高学年で 45.6%となっています。

(4) 就寝時刻は平均何時頃ですか。



就寝時刻は、「21 時半～22 時前」が 31.5%と最も多く、次いで、「21 時～21 時半前」が 26.4%、「22 時～23 時前」が 24.1%となっています。

【就寝時間 子どもの年齢別】



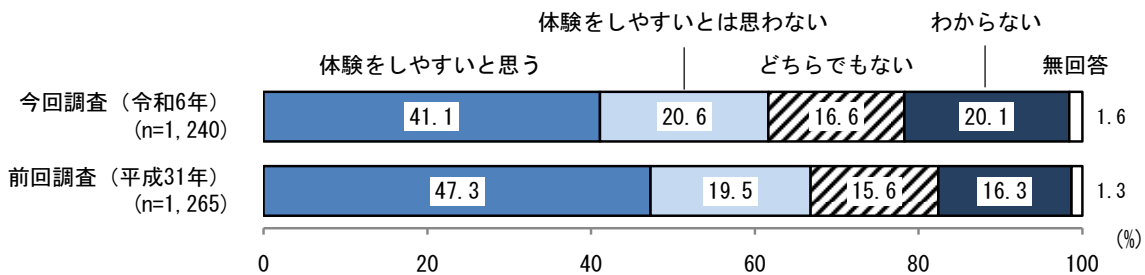
子どもの年齢別にみると、低学年では「21 時～21 時半前」が 36.2%と最も多く、高学年では「21 時半～22 時前」が 35.4%、「22 時～23 時前」が 34.5%と多くなっています。

11 地域での自然体験などへの参加

〔1〕子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であるか

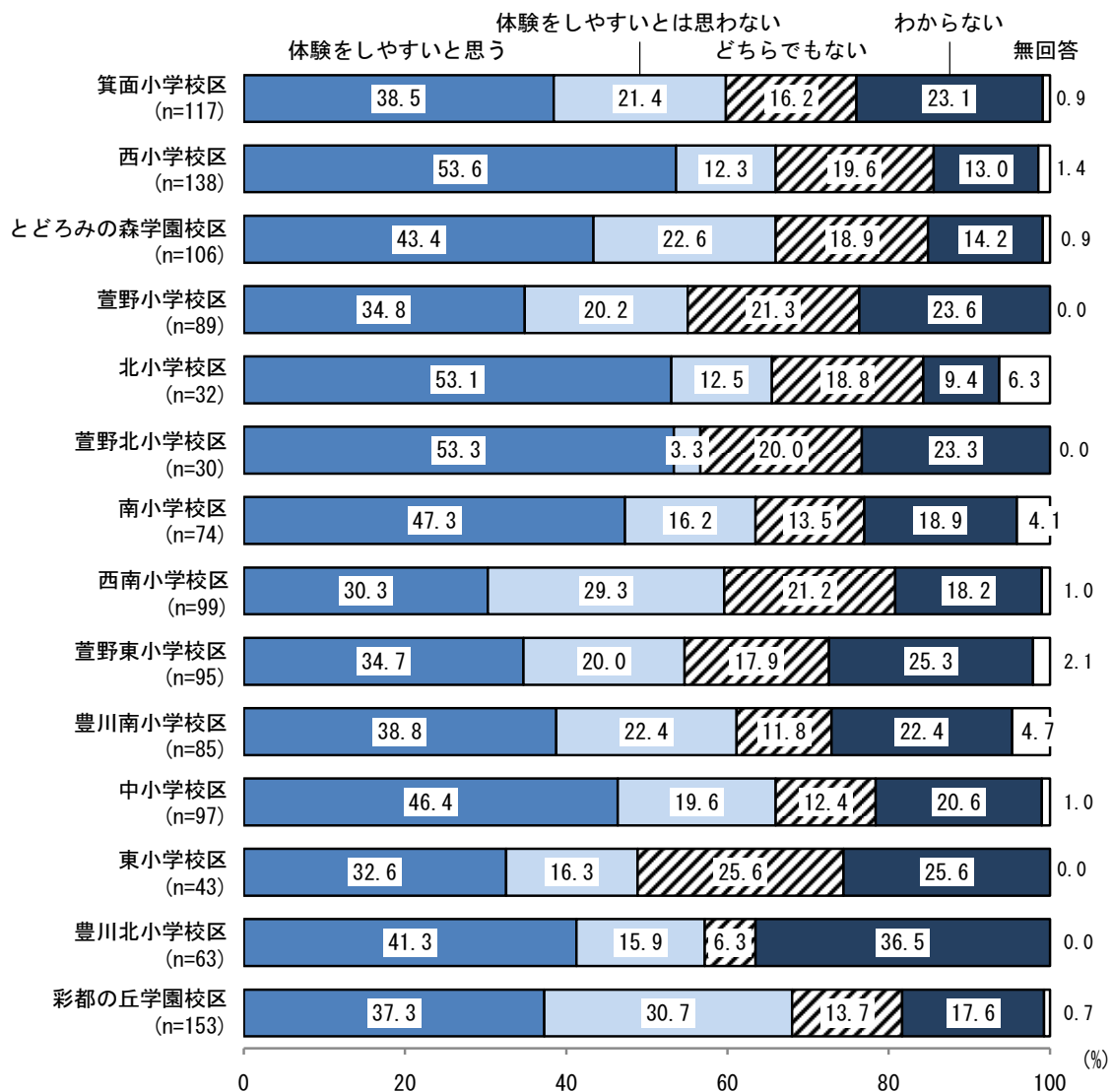
問20 お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか(1つに○)。

※箕面市の文化施設は、メイプルホール、郷土資料館、箕面文化・交流センター、らいとぴあ21、ヒューマンズプラザ、萱野三平記念館、多文化交流センター、文化芸能劇場など



お住まいの地域が、子どもにとって自然、社会、文化などの「体験をしやすいと思う」は41.1%、「体験をしやすいとは思わない」は20.6%となっています。

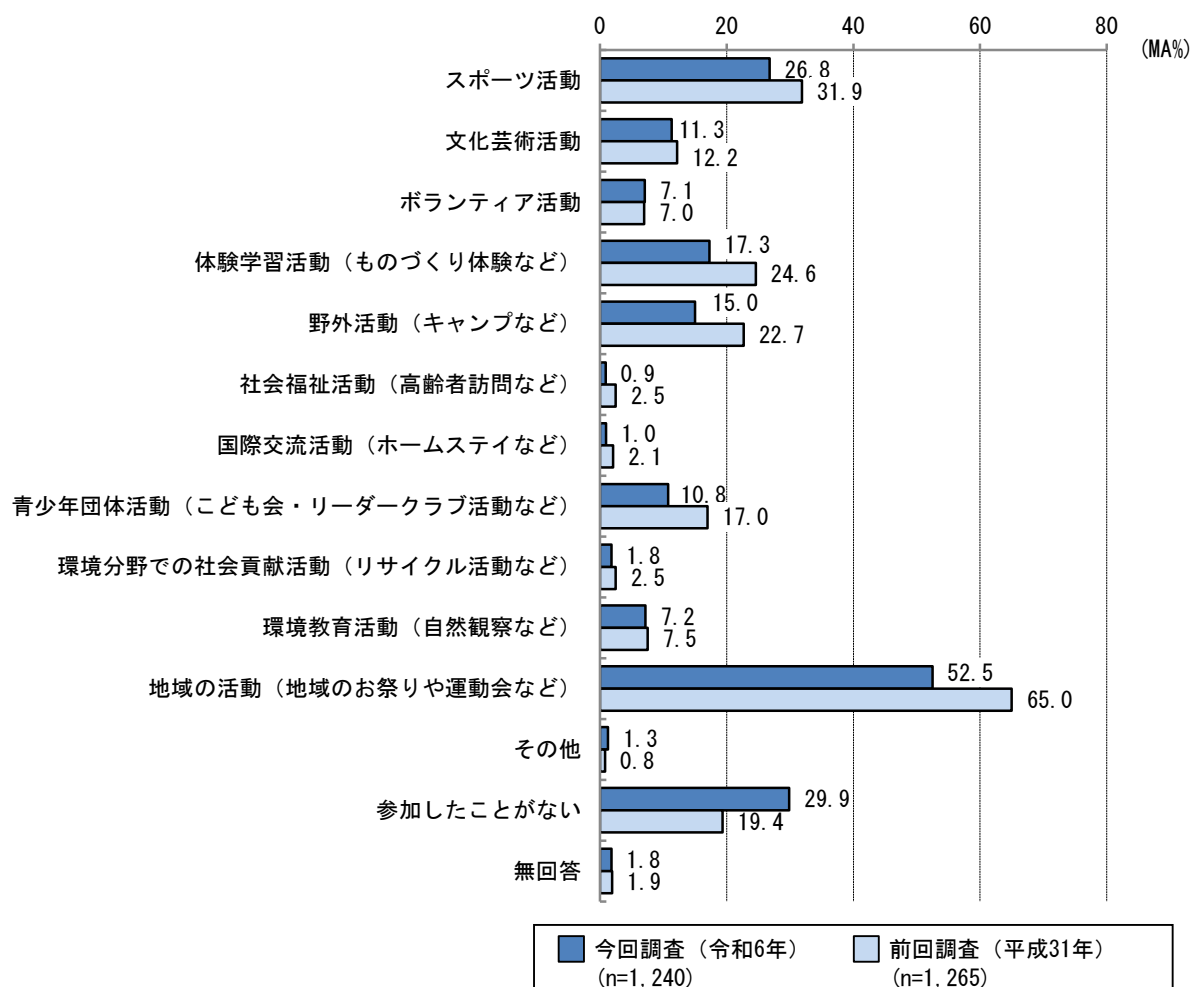
【体験をしやすい環境か 小学校区別】



小学校区別にみると、「体験をしやすいと思う」は西小学校区で 53.6%、萱野北小学校区で 53.3%、北小学校区で 53.1%と多く、「体験をしやすいとは思わない」は彩都の丘学園校区で 30.7%、西南小学校区で 29.3%と多くなっています。

〔2〕地域での自然体験などへの参加経験

問21 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか（当てはまるものすべてに○）。

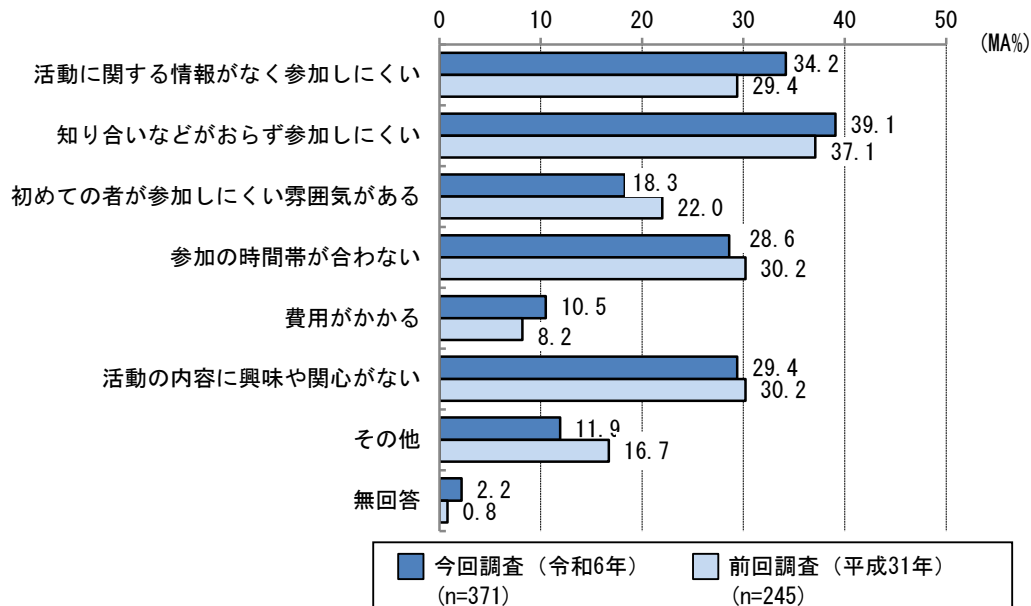


参加したことがある地域での自然体験などは、「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」が 52.5%と最も多く、次いで、「スポーツ活動」が 26.8%となっていますが、前回調査に比べて、「参加したことがない」が 10.5 ポイント増加しています。

〔3〕自然体験などに参加したことがない理由

問21で「参加したことがない」とお答えの方のみ

問21-1 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか
(当てはまるものすべてに○)。



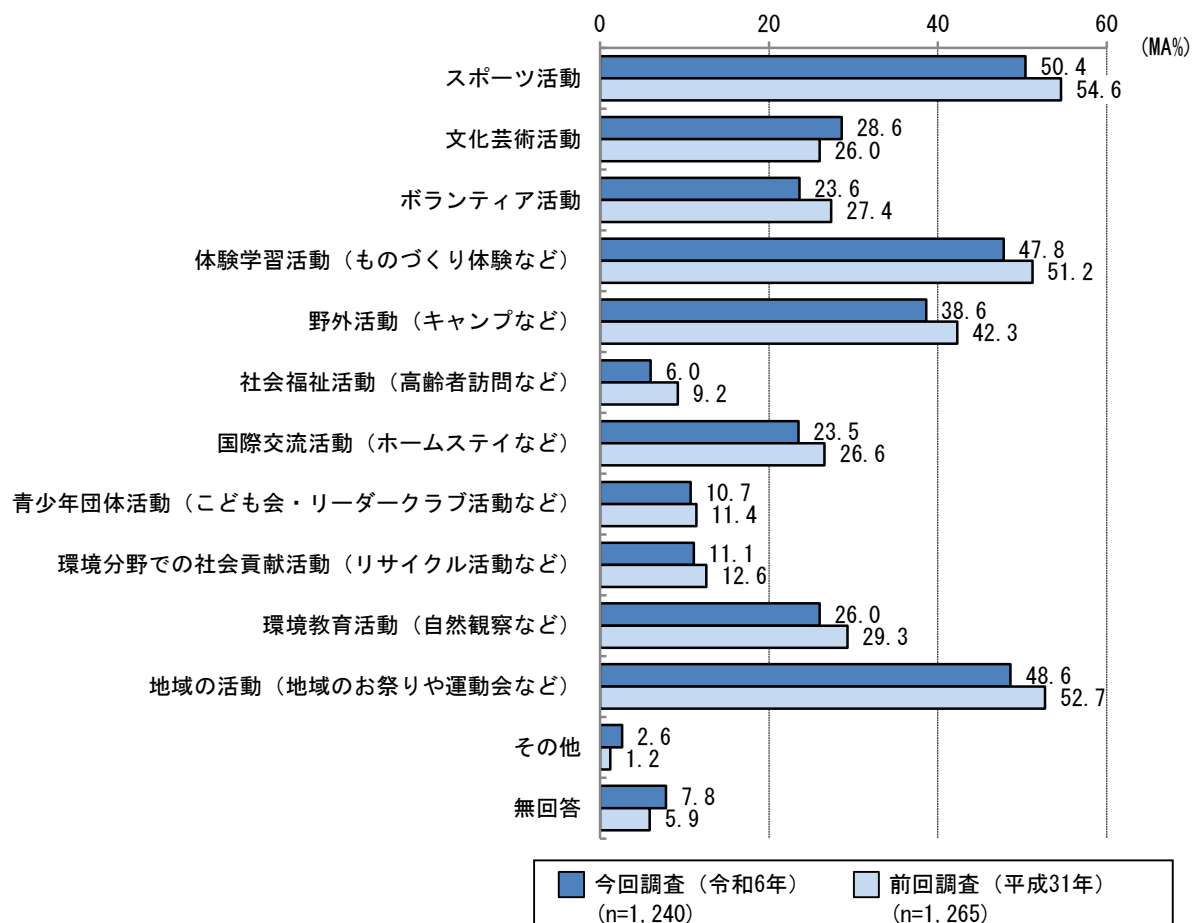
◆「その他」内訳

- ・子どもが嫌がる、興味がない、行きたがらない
- ・習い事で忙しい
- ・近くにない、場所が遠くて行きづらい
- ・交通の便が悪い、交通費がかかる
- ・仕事や体調不良で親が連れていけない、1人では参加できない
- ・障害があるので迷惑をかけてしまう、障害者が参加しやすいプログラムがない
- ・家族でする
- ・子どもと過ごす時間がなくなる
- ・予定が合わない
- ・必要と思わない
- ・予約が必要なのが手間
- ・見知らぬ人に子どもを預けることに抵抗がある
- など

子どもが地域での自然体験などに「参加したことがない」とお答えの方に、その理由をたずねたところ、「知り合いなどがおらず参加しにくい」が 39.1%と最も多く、次いで、「活動に関する情報がなく参加しにくい」が 34.2%、「活動の内容に興味や関心がない」が 29.4%、「参加の時間帯が合わない」が 28.6%となっています。

〔4〕今後参加させたい自然体験など

問22 今後、参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか(当てはまるものすべてに○)。

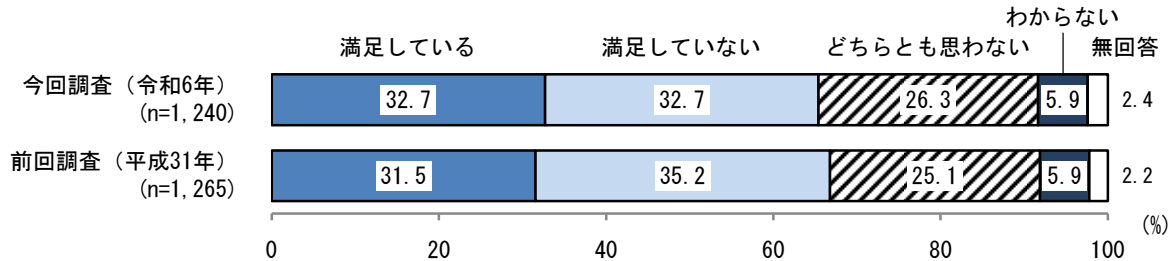


今後、参加させたいと思っている自然体験などは、「スポーツ活動」が 50.4%と最も多く、次いで、「地域の活動(地域のお祭りや運動会など)」が 48.6%、「体験学習活動(ものづくり体験など)」が 47.8%となっています。

12 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保

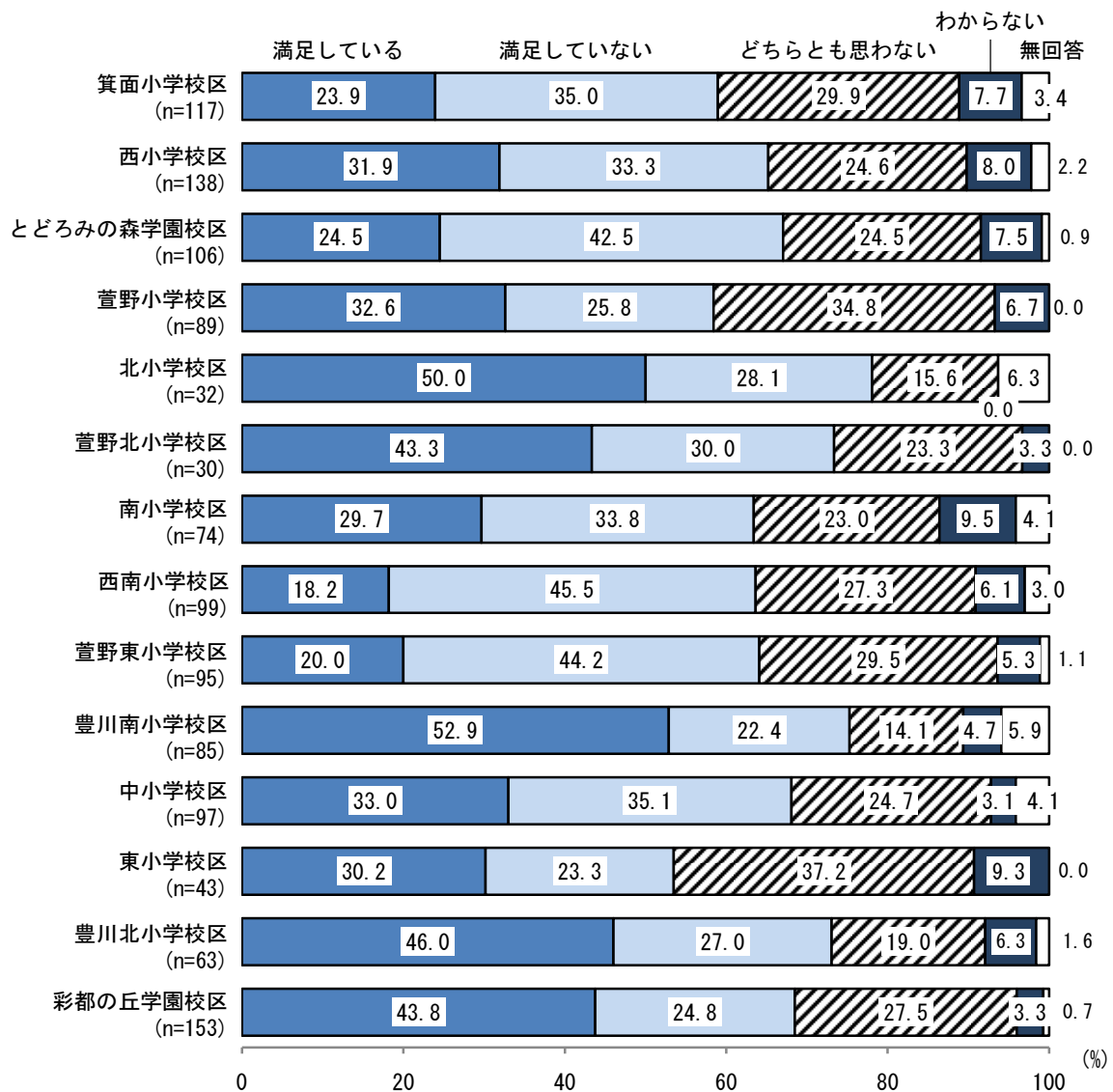
〔1〕遊び場の満足度

問23 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか(1つに○)。



地域における子どもの遊び場に、「満足している」、「満足していない」ともに 32.7%となっています。

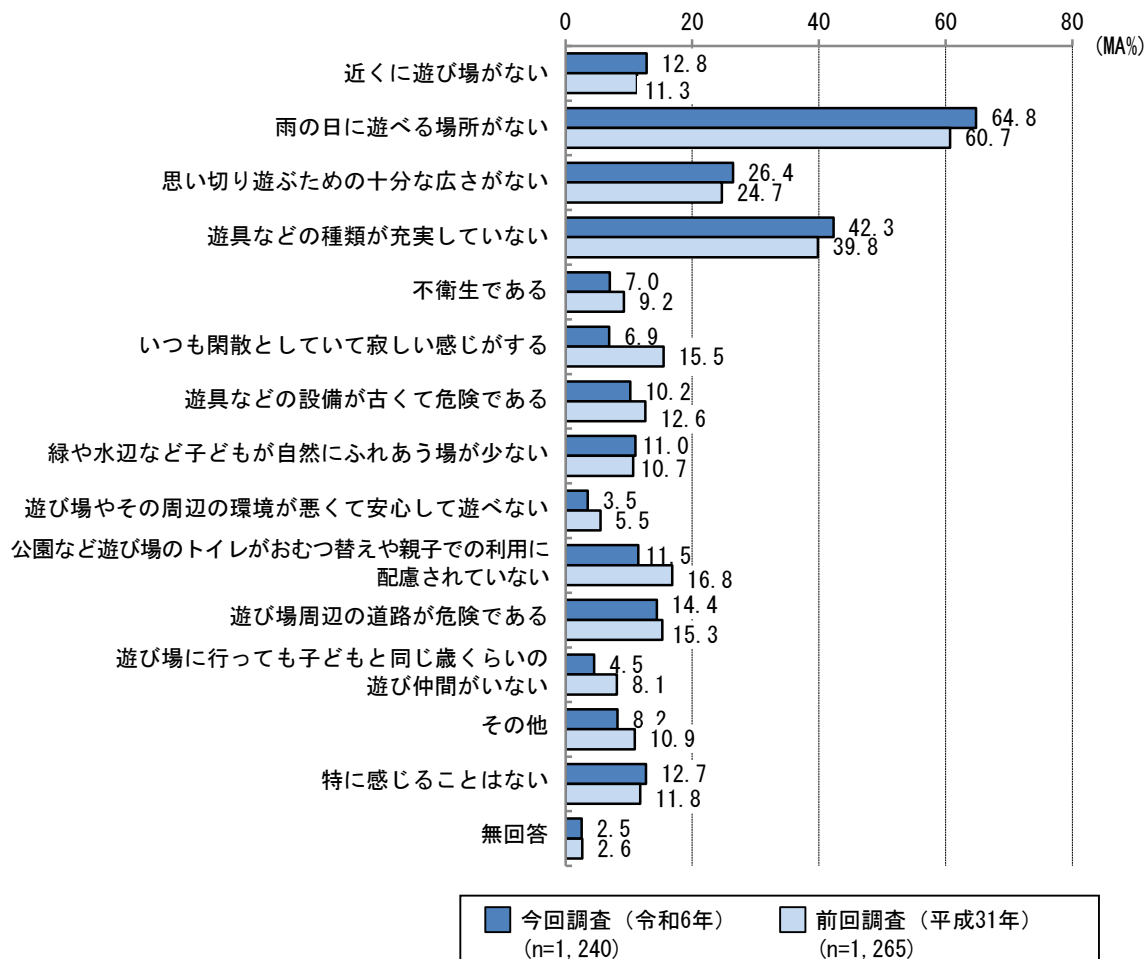
【遊び場の満足度 小学校区別】



小学校区別にみると、「満足している」は豊川南小学校区で 52.9%、北小学校区で 50.0%と多く、「満足していない」は西南小学校区で 45.5%、萱野東小学校区で 44.2%と多くなっています。

〔2〕遊び場に関して感じること

問24 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。
(当てはまるものすべてに○)。



◆「その他」内訳

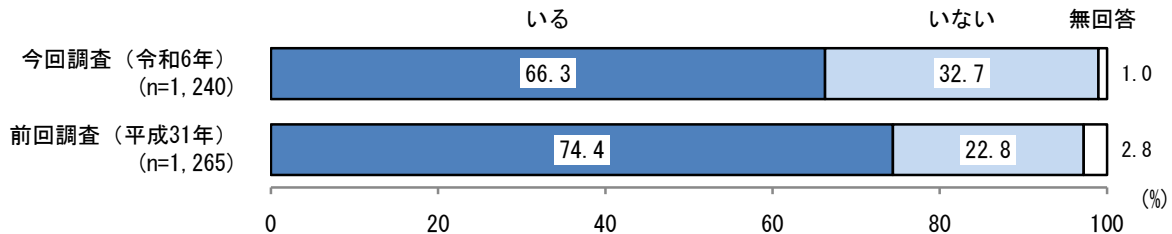
- ・ボール遊びができない、サッカーや野球などの球技ができる場所が少ない
- ・ボールの使える公園が練習場になっている ・野球やサッカーをしていて小さい子が危ない
- ・ボールが道路に出ないようにネットがあると安心 ・犬のリードを離す人がいてかまれないか不安
- ・バスケットゴールがほしい ・自転車やスケボーが安全にできる場所がない
- ・遊具が少ない、危険、どの公園も同じ、小さい子向けで小学生が遊べない
- ・環境が悪い(石がごろごろ、地面がでこぼこ、蚊が多い、見通しが悪い、熊の目撃情報がある、ゴミが多い、高校生がたむろしている) ・トイレが汚い、女子トイレがない ・駐車場がない
- ・禁止事項が多い、注意をされる ・公園が遠い、道中が危険 ・時計、カメラを設置してほしい
- ・雨の日の遊び場がない ・室内プールがほしい ・図書館、移動図書館がない など

地域の子どもの遊び場について日ごろ感じていることは、「雨の日に遊べる場所がない」が64.8%と最も多く、次いで、「遊具などの種類が充実していない」が42.3%、「思い切り遊ぶための十分な広さがない」が26.4%となっています。

13 子育てに対する意識

〔1〕日常的に子どもの話や世間話をする人の有無

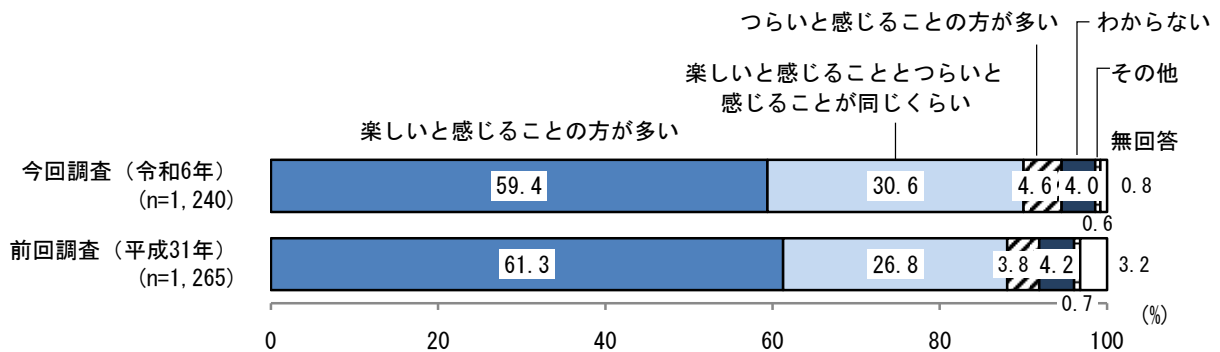
問25 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。



近所で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人が「いる」は 66.3%で、前回調査に比べて、8.1 ポイント減少しています。

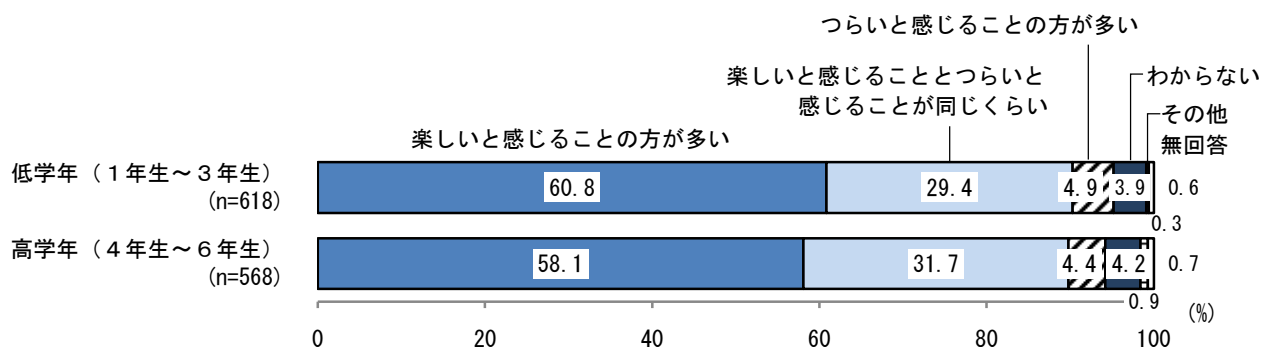
〔2〕子育てをどのように感じるか

問26 ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。（1つに○）。

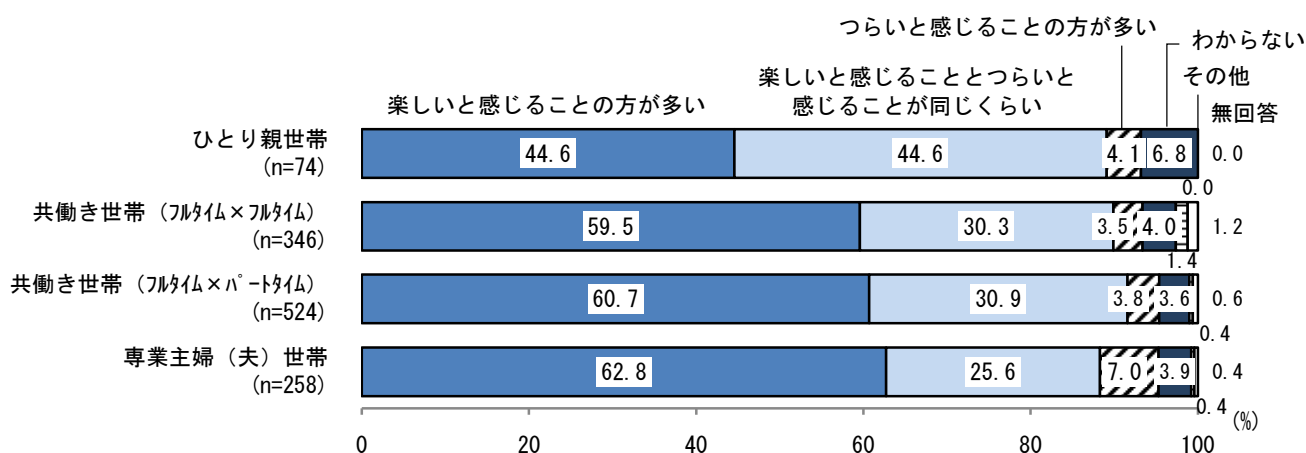


子育てをどのように感じるかについては、「楽しいと感じることが多い」が 59.4%と最も多く、次いで、「楽しいと感じることが多いと感じることが同じくらい」が 30.6%となっています。

【子育てをどのように感じるか 子どもの年齢別】



【子育てをどのように感じるか 家庭類型別】



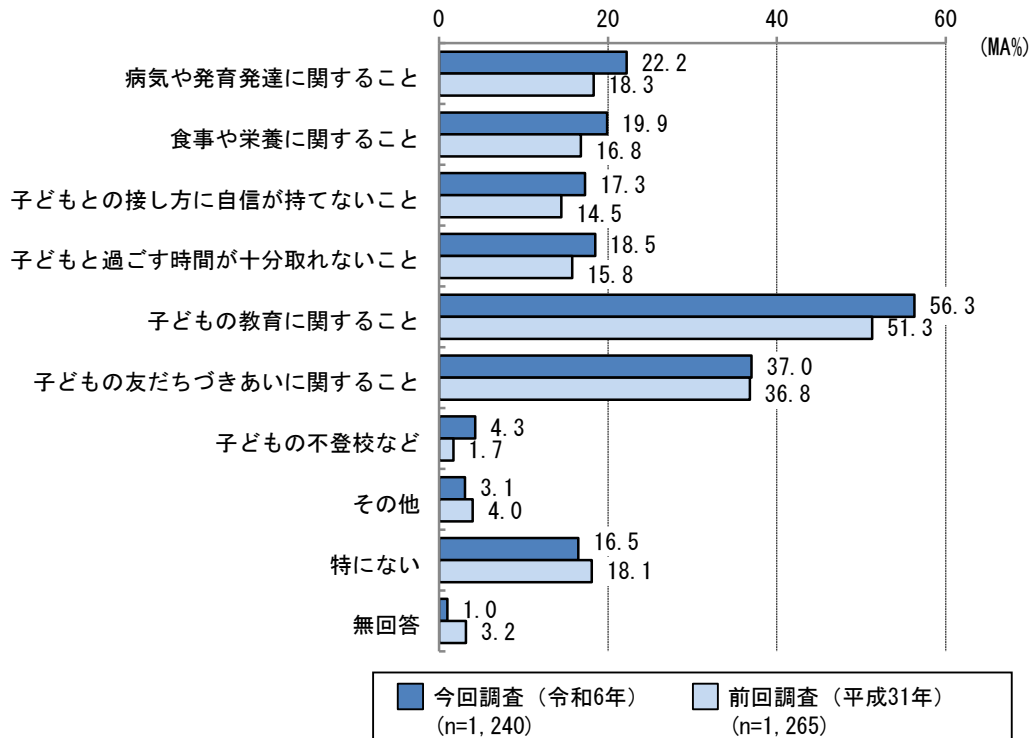
子どもの年齢別にみると、低学年と高学年では大きな差はみられません。

家庭類型別にみると、ひとり親家庭で、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が44.6%と、他の世帯より多くなっています。

〔3〕子育てに関して悩んでいること、気になること

問27 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。
(それぞれあてはまるものすべてに○)

■子どもに関すること

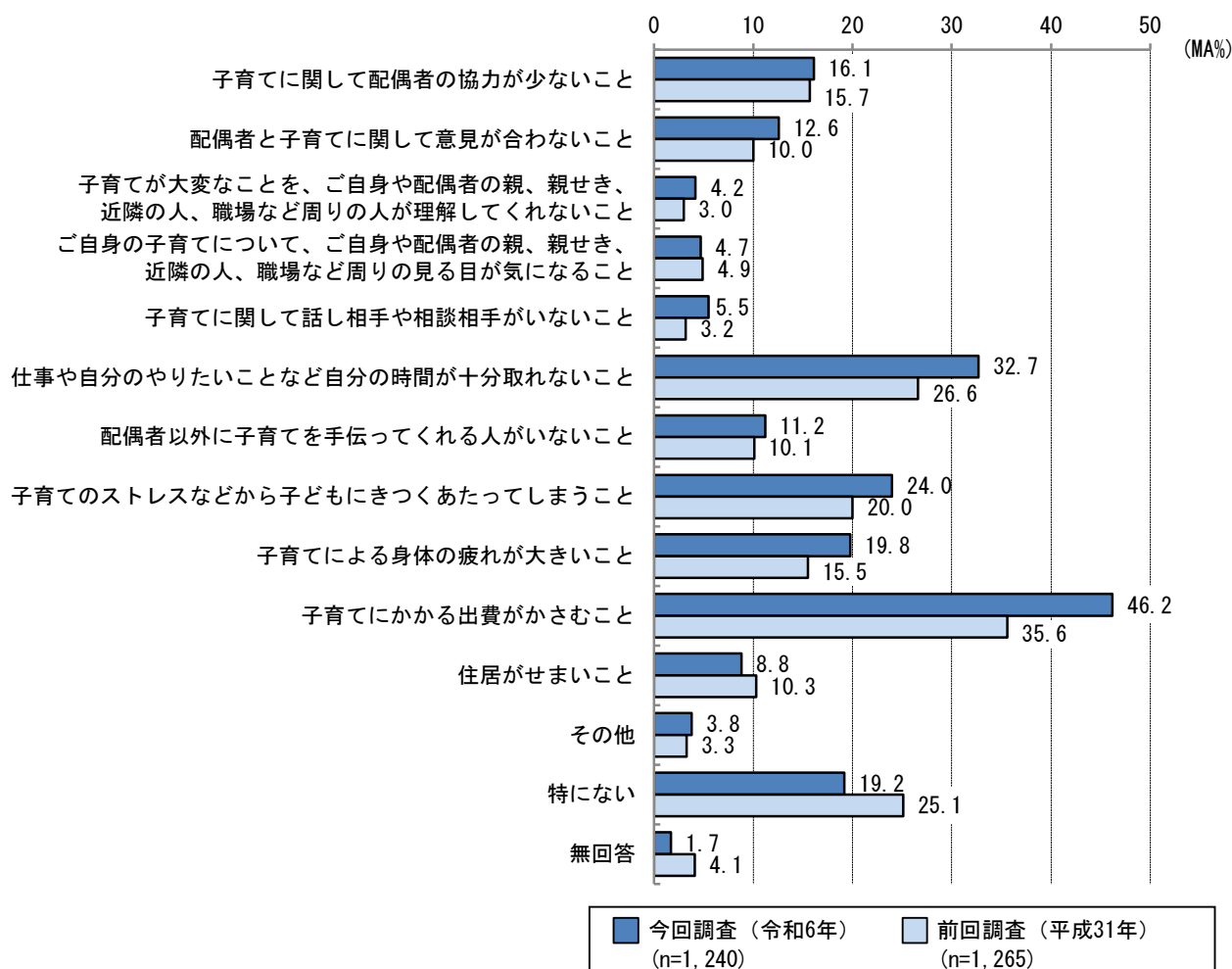


◆「その他」内訳

- ・教育費など子どもにかかるお金のこと
- ・子どもの将来や進路
- ・勉強や運動のこと
- ・成長に応じた子どもへの接し方
- ・怒ることでストレスを与えていないか
- ・健康のこと
- ・学校での様子、トラブル
- ・YouTube やゲームとの関わり方
- ・塾や習いごとのこと
- ・きょうだいゲンカ
- ・友達づきあい
- ・子どもだけの留守番
- など

子どもに関することで、日常悩んでいることや気になることは、「子どもの教育に関すること」が56.3%と最も多く、次いで、「子どもの友だちづきあいに関すること」が37.0%となっています。前回調査に比べて、「子どもの教育に関すること」が5.0ポイント、「病気や発育発達に関すること」が3.9ポイント増加しています。

■ご自身に関すること



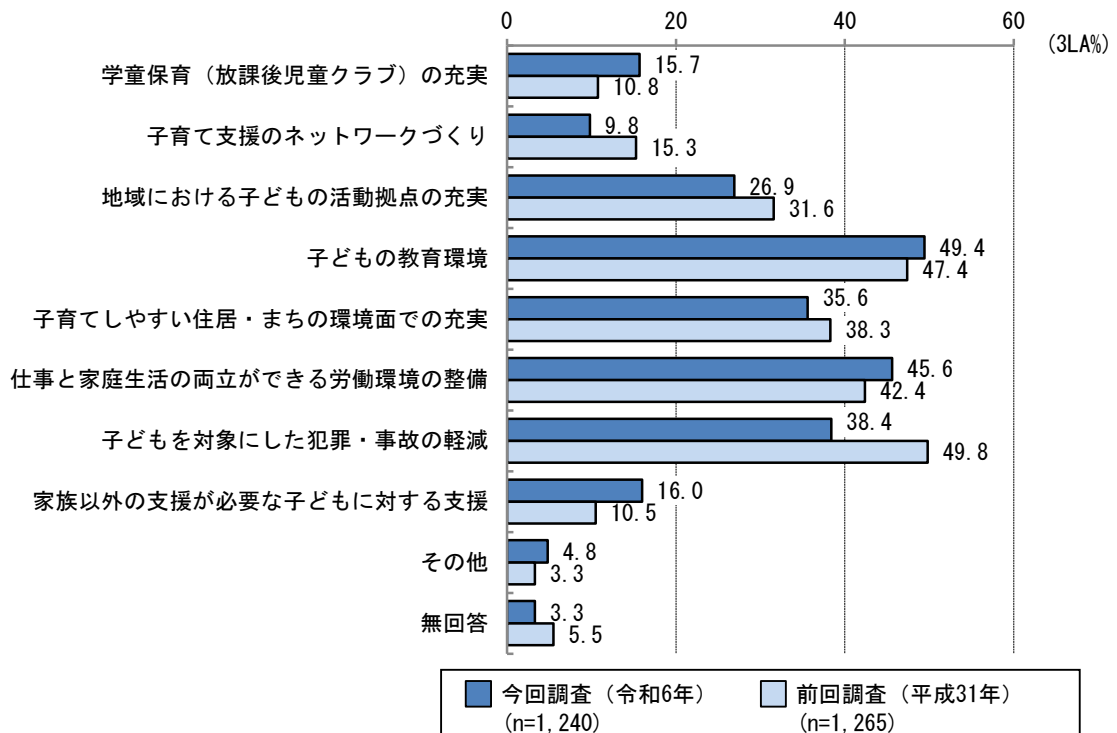
◆「その他」内訳

- ・仕事との両立、時間がない、余裕がない、休めない
- ・自身の体調、病気
- ・教育費やお金のこと
- ・ご近所トラブル
- ・発達障害などへの対応と周囲の無理解
- ・自分の代わりがない、頼れる人がいない
- ・子どもとの接し方、反抗期の対応
- ・自分の子育てへの不安、手本になれていない、学習のサポートができていない
- ・住んでいる地域の環境
- ・自身の母親との付き合い方 など

ご自身に関することで、日常悩んでいることや気になることは、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 46.2%と最も多く、次いで、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 32.7%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」が 24.0%となっています。前回調査に比べて、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 10.6 ポイント、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が 6.1 ポイント増加しています。

〔4〕子育てに有効だと思う支援・対策

問28 ご自身にとって、子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。
下記枠内の選択肢の中からお答えください(当てはまる番号を3つまで記入)。



◆「その他」内訳

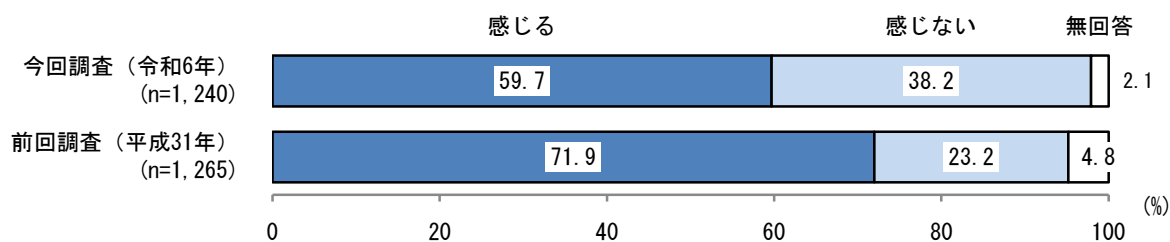
- ・金銭的な支援(医療費、教育費、給食費、習い事、学校用品への補助、児童手当の拡充、減税)
- ・学校がしっかり子どもに向き合う、授業が崩壊しない学級づくり
- ・保育所、幼稚園、子どもの預け先の充実 ・学習支援 ・豊北アフタースクール
- ・子ども食堂、学校に行きづらい子の居場所 ・障害への理解 ・子育てする親への温かいまなざし
- ・バスの増便など交通手段の充実 ・送迎サービス ・安全な遊び場 ・体づくりの取り組み
- ・相談窓口 など

子育てをする中で有効だと思う支援・対策については、「子どもの教育環境」が 49.4%と最も多く、次いで、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が 45.6%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が 38.4%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が 35.6%となっています。前回調査に比べて、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が 11.4ポイント減少しています。

〔5〕地域の人に支えられていると感じるか

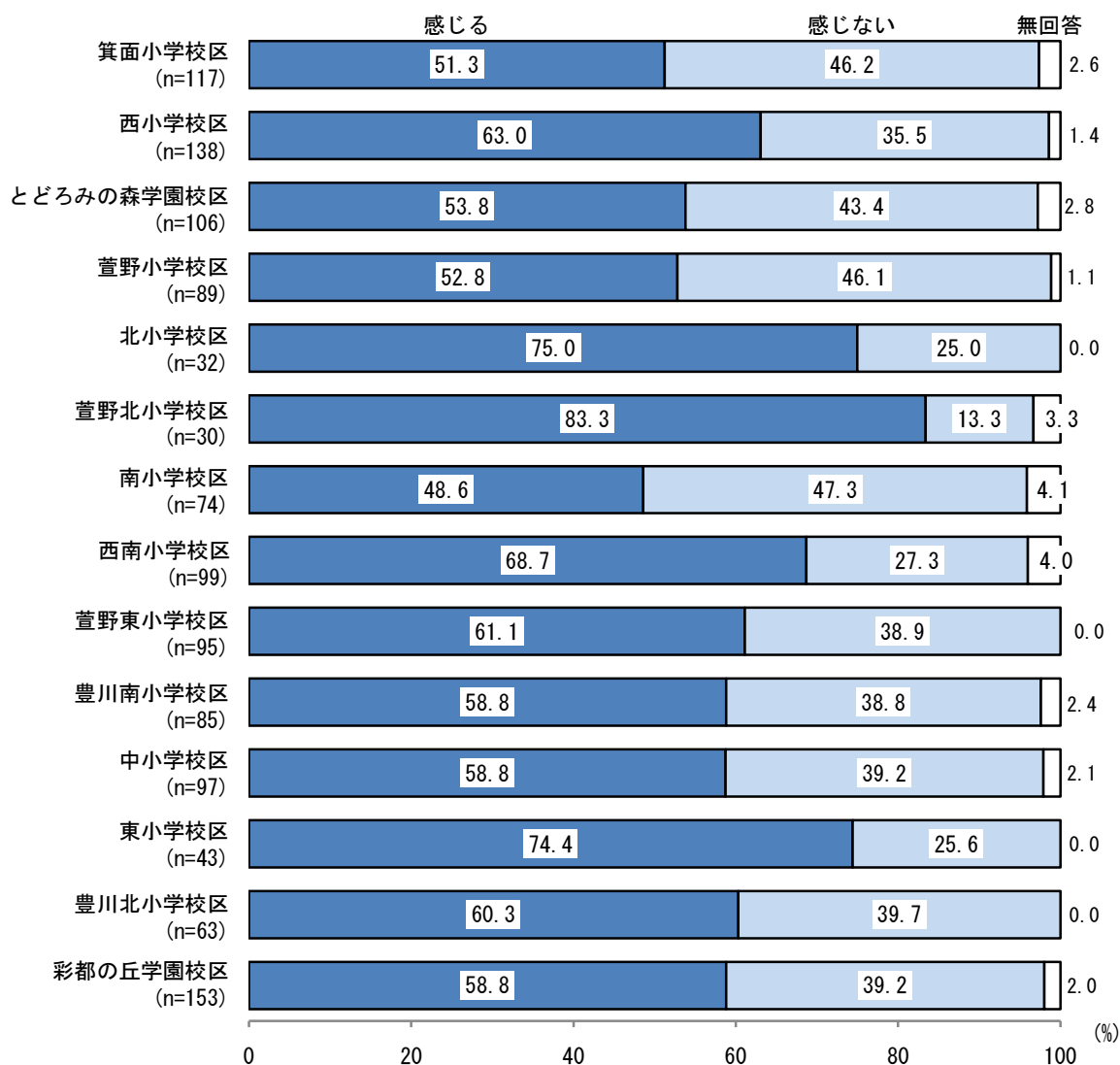
問29 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか(1つに○)。
また、感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。
感じない場合は、誰から支えてほしいと思いますか。
下記枠内の選択肢の中からお答えください(当てはまる番号すべてを記入)。

■支えられていると感じるか



自身の子育てが、地域の人に支えられていると「感じる」は59.7%、「感じない」は38.2%となっています。前回調査に比べて、「感じない」が15.0ポイント増加しています。

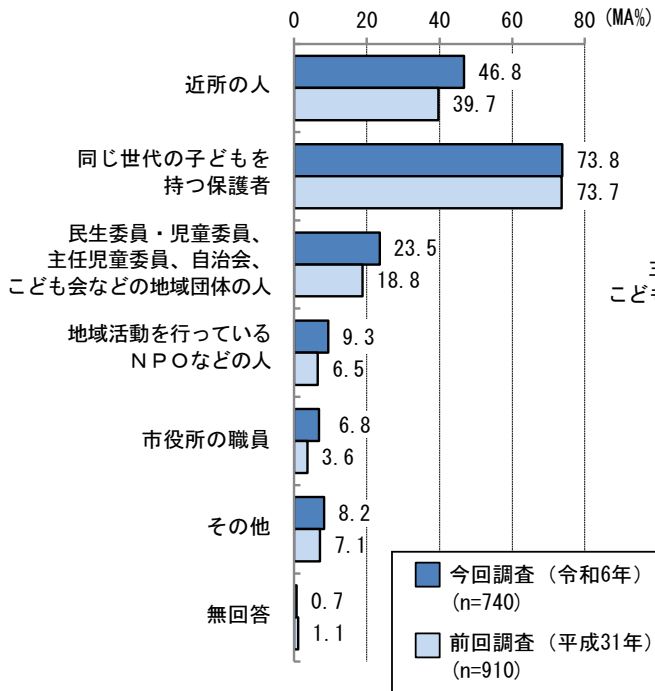
【地域の人に支えられていると感じるか 小学校区別】



小学校区別にみると、「感じる」は萱野北小学校区で 83.3%、北小学校区で 75.0%、東小学校区で 74.4%と多く、「感じない」は南小学校区で 47.3%、箕面小学校区で 46.2%、萱野小学校区で 46.1%と多くなっています。

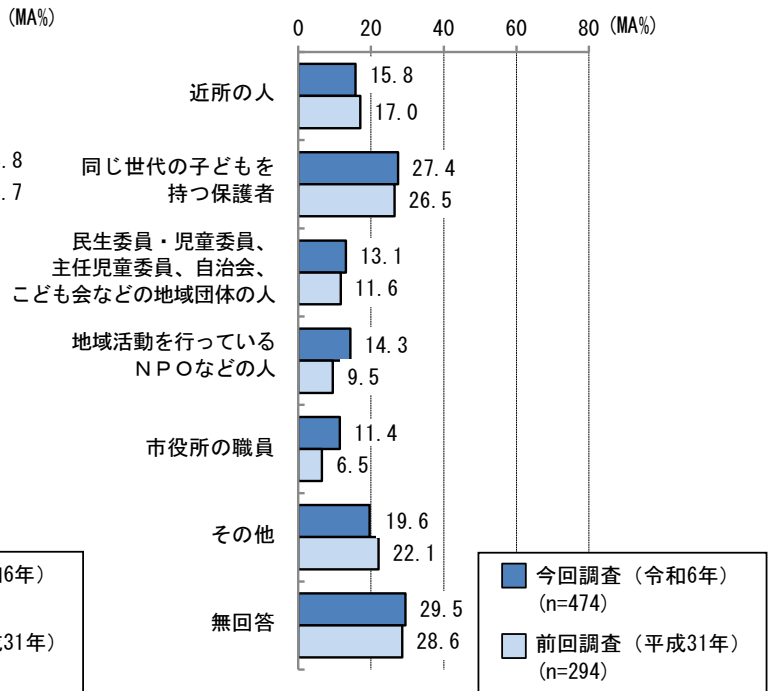
「感じる」とお答えの方のみ

■ 支えている人



「感じない」とお答えの方のみ

■ 支えてほしい人



◆「その他」内訳

- ・学校の先生、保育園の先生
- ・PTAや登下校見守りをしている地域の人、青少年を守る会
- ・近所の人
- ・塾や習い事の先生
- ・学校、学童、幼稚園
- ・クラスメイト、仲間
- ・祖父母
- ・友人、知人
- ・職場の人
- ・市役所、教育センター、教育相談室
- ・放課後等デイサービスや支援の先生
- ・病院、カウンセラー
- ・コンビニの店員や犬の散歩の方、マンションの管理人 など

◆「その他」内訳

- ・家族、祖父母
- ・病気や障害の専門家、有資格者
- ・職場の人
- ・地域の人、登下校の見守り
- ・国、市
- ・一時預かりの人
- ・学校の先生
- ・放課後等デイサービス
- ・家政婦
- ・スーパーの店員や病院の受付の人 など

自身の子育てが、地域の人に支えられていると「感じる」人が、支えられていると思う人は、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が 73.8%と最も多く、次いで、「近所の人」が 46.8%となっています。前回調査に比べて、「近所の人」が 7.1 ポイント増加しています。

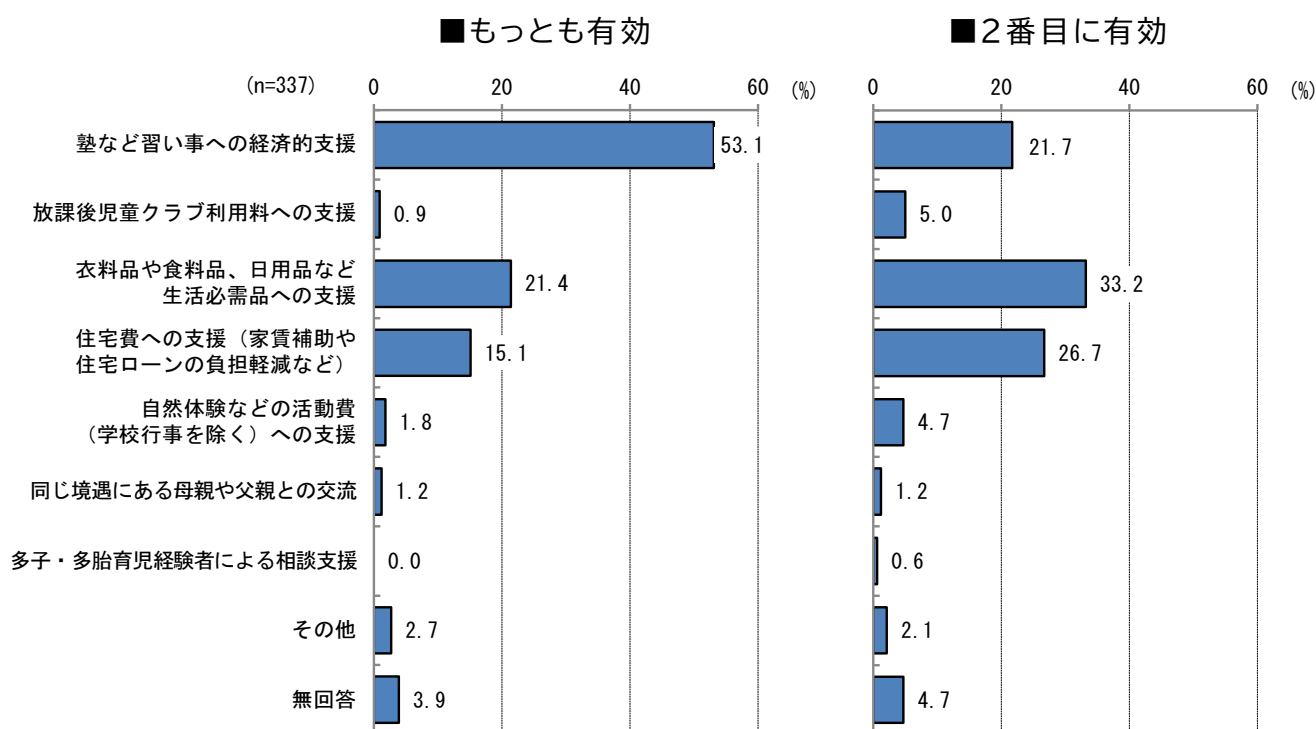
「感じない」人が支えてほしいと思う人は、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が 27.4%と最も多く、次いで、「近所の人」が 15.8%となっています。

14 多子・多胎世帯の希望する子育てサービス

〔1〕有効だと思う子育て支援サービス【新規設問】

問30 どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思いますか。もっとも有効だと思う番号に○をつけてください。

問30-1 2番目に有効だと思う番号に○をつけてください。



◆「その他」内訳

- ・経済的な支援（学費、給食費、光熱費） ・延長保育料の補助金増額 ・児童手当
- ・減税、N分N乗方式課税 ・学用品の補助、衣料品、食料品などへの支援
- ・乳児期の保育サポート、一時預かり、夜間や休日の保育、病児保育の簡便な手続き
- ・障害のある子や親のサポート、親同士の交流 ・塾や習い事の送迎 など

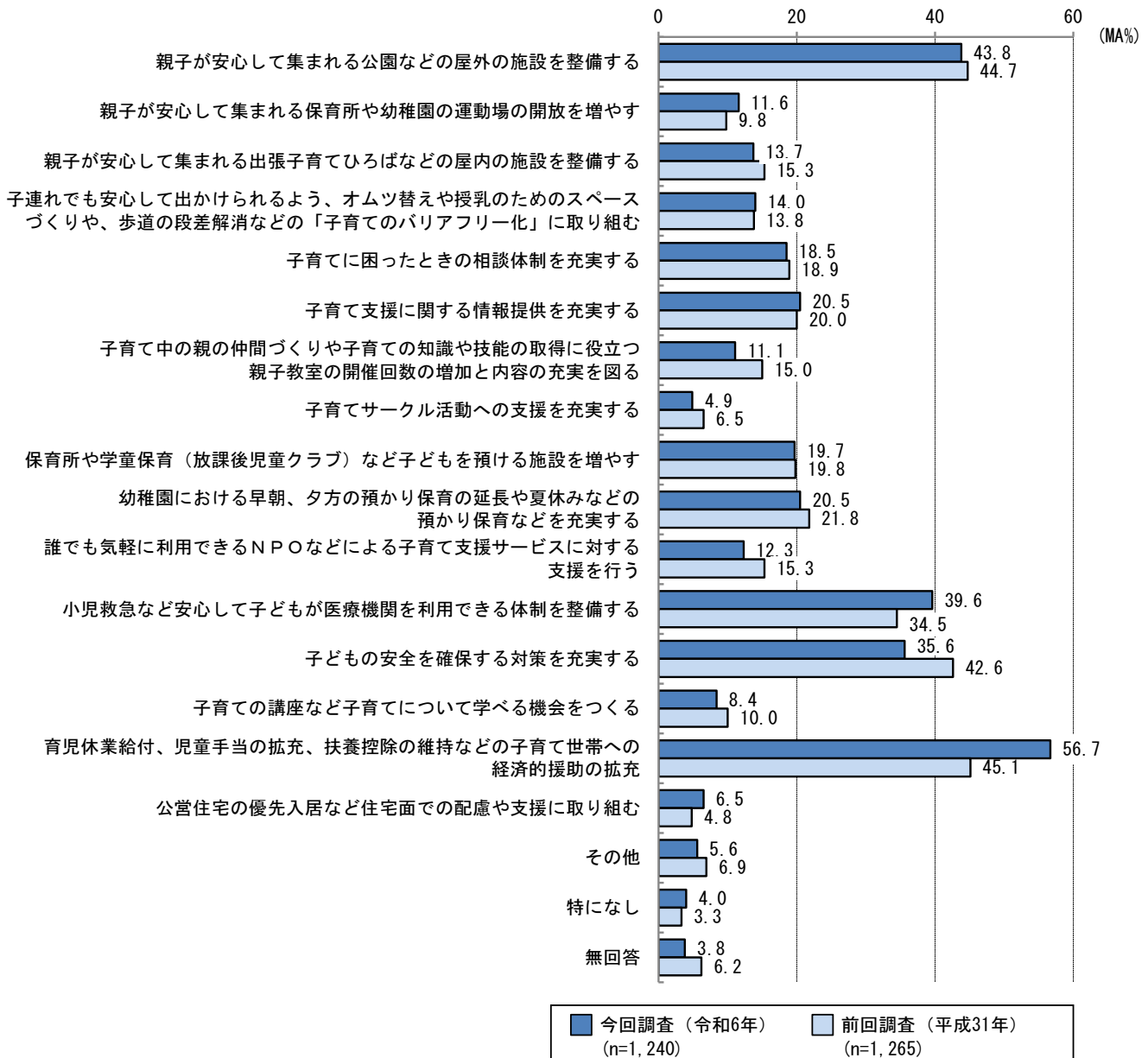
多子・多胎の世帯が、子育ての負担を軽減するのにもっとも有効だと思う支援やサービスは、「塾など習い事への経済的支援」が 53.1%と最も多く、次いで、「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援」が 21.4%、「住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）」が 15.1%となっています。

2番目に有効だと思う支援やサービスは、「衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援」が 33.2%と最も多く、次いで、「住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）」が 26.7%、「塾など習い事への経済的支援」が 21.7%となっています。

15 箕面市への要望

〔1〕充実してほしい子育て支援サービス

問31 箕面市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか(当てはまるものすべてに○)。



◆「その他」内訳

- ・学校教育の充実、先生のレベルアップ ・登下校、通学路の安全確保 ・開門時間前の預かり
- ・不登校児支援、学びの多様化学校 ・学習支援 ・イベント・体験学習・自然経験の充実
- ・学童保育の内容の充実 ・保育園に入りやすく、乳幼児の一時預かり
- ・放課後を有意義に過ごせる環境の整備（放課後NPOアフタースクールと連携、スポーツの練習など）
- ・経済的な支援の充実（給食費や医療費の無償化、保育料無料基準の見直し、塾などの学費補助、子ども手当や補助金の拡充、減税） ・習い事の送迎
- ・公園、児童館などの屋内施設、屋内プール、体育館、図書館などの充実 ・病院が少ない
- ・子育てと仕事の両立支援、子どもが病気のとき休める環境づくり ・緊急時のサポート体制
- ・ひとり親サポート ・子ども食堂支援 ・情報提供 ・地域差の解消 など

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-2. 就学児童調査

市に充実してほしい子育て支援サービスは、「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が 56.7%と最も多く、次いで、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が 43.8%、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が 39.6%、「子どもの安全を確保する対策を充実する」が 35.6%となっています。前回調査に比べて、「育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が 11.6 ポイント増加し、「子どもの安全を確保する対策を充実する」が 7.0 ポイント減少しています。

〔2〕自由意見

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

440 人の方から、のべ 734 件のご意見をいただきました。主な内容は下記のとおりです（主なご意見について抜粋・編集して掲載）。

ご意見内容	件数
教育・保育について	232 件
＜小・中学校に関すること＞	185 件
■教育・学習内容について （ICT 教育の取り組みについて） ・1 人 1 台のタブレットは有難いが、重すぎる。週に数回、小学一年生が持って帰るのは負担 ・タブレット端末の利用規制、ゲームはできないようにしてほしい ・ネットリテラシー教育の充実 ・タブレット学習の早期化には反対、外遊びや自由な発想で遊ぶことが全体的に少なくなっている ・tomoLinks を使用するようになり、子どもが連絡帳を書かなくなった。テスト範囲や翌日必要なものなどメモをとってなくて困るお子さんが増えているという話も聞く ・tomoLinks はもう少し入力の仕方がスムーズ、確認方法がまとめて一覧で見れると便利 ・オンライン授業は助かるが、学校で受けられなかった授業をカバーできる仕組みがあればよい ・低学年の子が一人で Zoom にログイン、繋がらない時の対応や、トラブルに対応するのは難しい （学習内容について） ・地域によって差がありすぎる ・宿題も少なく学習量が少なすぎる気がする ・学校の授業をきちんと受けていると高校受験もちゃんとできるように、教育のレベルをあげてほしい ・英語教育に力を入れてくれるのはありがたいが、昼休み時間を当てていることにビックリした ・水泳の授業を学校でちゃんとしてほしい、スイミングを習わせないと泳げるようにならないのはおかしい （少人数、習熟度別のクラス編成） ・小中学校ではクラス人数を 30 人以下にしてほしい、人数を減らして授業内容を充実させてほしい ・少人数数学級や習熟度別の指導など、子どもにゆとり関われる学校の仕組みを希望する （その他） ・もっと自由に考えられる教育を ・“わくわくするような教育”を期待 ・教室を出ていろんな体験をすることで授業も魅力的になると思う ・自転車の乗り方は学校でももっときちんと教えた方がいい ・いじめは犯罪、絶対にしてはいけないことを学校はしっかり伝えるべき	51 件
■教職員について ・公立小の教師の質を上げてほしい ・学校の先生たちの負担を軽くしてあげてほしい ・教育機関の人員不足は色んなところで子どもへの影響があると思う、十分なくらいの人員を配置して支援してほしい時に関わってくれる大人がたくさんいた方がよい ・クラスに担任以外にサポートの先生を ・難聴児が通う学校で手話のできる方がいてほしい	21 件
■学校活動や保護者の負担について ・PTA 活動を減らしてほしい ・小中学校の PTA の廃止または PTA の外部委託 ・PTA 活動は、学校行事だけに集中する保護者会のようなものであれば存続は可能かと思う ・地区委員の行事が日曜日であることが苦痛、仕事で参加できない ・登校時間の旗当番の外注をお願いして、地域で子どもを見守る体制を整えていくなどしてほしい	21 件

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-2. 就学児童調査

ご意見内容	件数
・学校でボランティアできることを知らない人も多い、地域の大人全体で子どもたちを育てる仕組みを ・小学校のトイレを掃除する活動に参加したが、日頃から学校をきれいにする活動として保護者がおこなっていてもよいと感じた	
■給食について ・中学まで給食があり大変助かっている ・息子(アレルギー)は初めて給食が食べられ喜んでい ・量が足りない ・パンの日を増やしてほしい、米粉パンにする等工夫してパン給食にもしてほしい	15 件
■学校の設備や環境について ・小学校の環境も悪い。掃除が行き届いてなく衛生面に難あり ・小学校のカーテンが汚い ・設備が古く雨もりは当然、雨の日の廊下もすべりやすく対策はなし ・施設が汚れていて、特にトイレを嫌がっている ・トイレが汚すぎて、トイレをガマンして帰ってくる ・トイレは子どもたちの掃除だけでは不十分、シルバーやボランティアなど大人の手で掃除してほしい	10 件
■学級閉鎖、学校閉鎖、授業短縮など ・休校、学校閉鎖が多い、学級閉鎖で急遽オンラインになって都合を合わせるのが大変 ・学年閉鎖のあり方について検討してほしい、授業が遅れるし、親も仕事に行けない ・早帰りが多すぎる、急に4時間授業になることが多すぎる	9 件
■学校施設の開放について ・学校のグラウンドの開放、放課後、外遊び（ボール遊び）ができればいい ・休日誰も使用していない日はグラウンドを開放していただくと自主練等に使用できる ・夏休みのプール開放をしてほしい ・長期休みも運動場を開放して自由に遊べると親も安心	9 件
■障害のある子ども、配慮の必要な子どもへの対応 ・箕面市の良い“インクルーシブ”、“ともに学びともに育つ”環境、学校生活を続けてほしい ・障害を持つ子とのかかわり方に悩む子どもたちに、かかわり方を教えたり、カウンセリング等してほしい ・様々な特性をもっている子がいるので、自信を失わないような体制、バリアフリーな授業をしてほしい ・抽出授業を増やしてほしい ・抽出時間で通常の義務教育が受けられないのが納得できない	8 件
■登下校について ・小学生の集団登校を再開してほしい、友達とのトラブルや、交通安全が守られなくなっている ・小学校の登校時間が遅い、家族より後に1人で朝出発するようになった	8 件
■早朝の開門について ・朝の校庭開放（7：45～8：20 など）を行い、保護者の朝勤務をしやすくしてほしい ・小学校の開門時間を早めるか、豊中市のような早朝の見守り事業を行ってほしい	7 件
■学校行事について ・コロナでなくなった行事を全て元に戻してほしい ・公立小学校内で、楽しいイベントが少ない ・学校行事(授業参観等)、入学式や卒業式を土曜もしくは日曜日に行ってほしい	6 件
■部活について ・先生方が本来の仕事に専念できるよう、部活の地域移行をすすめる ・学校の先生だけでなく地域の人をもっとスポーツを教えたり、一緒にできたりできればいいと思う ・小学校、中学校のクラブ活動の場の設備の整備	5 件
■学級崩壊などについて ・学級でちゃんと授業が受けられるようにしてほしい ・小学校の生徒の暴徒化の話を耳にする ・中学校の学習環境がよくない。問題児に手がかり真面目な生徒はほったらかし	5 件
■その他 ・香害への対応 ・小学校でもヘアカラー禁止にした方がよい ・制服の着用が自由になったが、体育や部活動以外はちゃんとした服にするようにしてほしい ・中学校の校区など家から近いところに行けるよう選ぶことができればいい	10 件

ご意見内容	件数
＜保育園・幼稚園に関すること＞	47 件
■ 保育園・保育所について ・0～2才児の保育料無償化 ・上の子が小学生になっても第2子扱いで無償化してほしい ・保育園に入るための労働条件が厳しすぎる、勤務条件の緩和は急務で考えてほしい ・リフレッシュや私用での保育を認めていないのなら、他で預ける場所の確保や保育料・給食費の日割りを行ってほしい ・保育園を増やしてほしい、1才児や2才児からでも入所できる保育所を増やす ・長期休暇の預かり保育は夏休みだけではなく春休みも実施してほしい ・保育園入園後の慣らし保育は働く親にとってはかなりきついシステムだと思った ・保育園入園及び更新の際に提出する書類をもっと簡単にしてほしい ・萱野中央駅、阪急箕面駅に送迎保育システムを取り入れてみては	28 件
■ 公立保育所・幼稚園の再編について ・公立保育所、幼稚園を無くさないでほしい ・箕面市の公立幼稚園は地域の方々の交流を大切にし、支援の必要あるなしに関わらず一緒に保育する教育体制があり、子どもの人間形成を築くことに大きな役割を果たしている。存続を願う ・多くの自治体で、公立でも3年保育、幼稚園バスの制度はある。なぜ箕面市でできないのか	6 件
■ 保育士や先生について ・保育所の先生の待遇改善（特に給与面）、子ども1人当たりの保育所の先生の数の改善 ・優秀な方々ができるだけ長く働ける環境を作ること安心、安全な園の運営につながる	6 件
■ 幼稚園について ・コロナ以降幼稚園のイベントが予約制になって利用しづらくなった ・幼稚園の補助金額をもう少し上げてほしい。入園後、色々値上げになり負担額が増えている	4 件
■ その他 ・保育園や幼稚園でも食物アレルギー対応の給食を提供してほしい	3 件
まちづくりや環境整備について	185 件
■ 公園に関すること （公園の充実） ・魅力的な公園を増やしてほしい ・大きな緑地公園 ・休日家族で行くような大きな公園 ・小学生が遊ぶ公園が少ない、小学生の子どもが安心して遊べる公園が必要 ・キャッチボールやボール遊びができる広い公園が近くにあったら嬉しい （整備、管理が行き届いていない） ・公園が古くて汚い ・鹿のフンなどがあり汚い ・トイレがなかったり、不潔で使用不可の状態 ・錆が目立つ。ブランコのクサリで服が汚れたり、鉄棒が雑草で使えなかったりする ・木の根がグラウンドにせり出しており危険 ・草が全面にわたり繁って遊びたくても利用できない ・木が多かったり、人目につかない場所だったり、行かせるのが不安 （遊具について） ・遊具の種類が充実するとよい ・子どもの運動能力を伸ばす鉄棒やうんてい等の遊具が少ない ・新しくなった公園の遊具がどれも一緒でおもしろみがない ・対象が幼児や低学年の子ども向け ・遊具が古いので、錆びていて危ない。今ある遊具の点検をして安全性を確認してほしい （設備その他） ・日陰になるところも少なく、夏場はしんどい ・時計がなく、子どもたちが自分で時計をみて行動することができない ・バスケットゴールを設置してほしい ・ブレードボードや自転車で遊べるコンクリートの道があるとよい	65 件

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-2. 就学児童調査

ご意見内容	件数
■その他の子どもの遊び場、お出かけ先について (屋内の遊び場) ・コミセンや自治会館を開放して、雨の日でも子どもが集まって遊べる場所を用意してほしい ・小学生でも使える自習スペースや児童館等があればいい (プール) ・年間通して利用できる屋内プールがほしい ・温水プール整備計画を再度検討してほしい (ボールが使える、体を動かして遊べる場所など) ・小中学生が遊んだり運動する施設が少ない ・野球やサッカーができる場所をつくってほしい ・ボール遊びや雨天でも体を動かせる施設があるとよい ・スカイアリーナなどで自由に遊べる日を作ってもらうなどがあるだけでもありがたい ・子どもの知的好奇心やスポーツへの興味がわくような施設、低額で利用できる環境 (図書館について) ・箕面森町には図書館がない。本を貸し出すバスもなくなり子ども達にとって大変な損失 ・彩都からは図書館や体育館が遠く、親の送迎が無ければ行くことができない (市の施設など) ・ライフプラザはきれいになったが、「幼児のみ」の場所ばかりで小学生はほとんど遊べない ・既存の建物等を活用しながら子どものためのスポーツや文化、自然、学びの場をふやしてほしい (その他) ・箕面市には公衆浴場がない ・ペットも一緒に行ける場所を増やしてほしい ・箕面は自然が豊かなので、勝尾寺川や箕面の山を楽しく遊べる場所に整備してほしい	57 件
■道路の整備、交通の安全確保 ・171号線の歩道が狭くて危険 ・歩道のコンクリートが補修された部分にぼこぼこ段差が多い ・交通量の多い道路に広い歩道、カーブミラーの設置、交通事故の危険がある場所に歩車別の信号 ・通学路で坂道にマンホールがある箇所はガードレールを設置してほしい ・通学路のうちキッズゾーン部分は時間指定して許可車両のみ通行許可にしてほしい ・彩都トンネルに道を作って箕面方面に安心して自転車で通えるよう整備にほしい ・交通マナーが悪い(車が横断歩道前で止まらない等)ので運転者の意識を改めさせてほしい	19 件
■防犯対策、治安への不安など ・山麓線にもう少し街灯を増やしてほしい ・人通りの少ないところに110番専用の電話を設置 ・個人で自宅に防犯カメラの設置する際に補助をいただけるとうれしい ・山麓線や171号線などで原付の騒音が酷く、治安の悪化に不安を感じる ・近所には空き家が多く、防犯の面や、地震などの災害時の面でも心配	15 件
■公共交通、移動手段の充実 ・スクールバス、もしくはゆずるバスを通学に利用できるようルート、運行時刻を工夫してほしい ・ゆずるバスを森町～千里中央に割り当ててほしい、呉羽の里東行きバス停にとまってほしい ・彩都から通学しやすいようにバスの本数を増やしてほしい ・彩都の人口も増え、モノレールの本数や車両をふやすなど他機関と調整を図ってほしい ・オルタナの森に公共交通機関で行けると助かる、車が出せずイベントや催しの参加を見送るのは残念	12 件
■医療機関の充実 ・小児の救急内科は充実しているが、外科が少ない ・市立病院を残してほしい ・市民病院の入院時、項目が老人向けしかない。幼児向けも作っておくべき	5 件
■環境の整備について ・ため池に近付けないようフェンスを高くしてほしい ・彩都のこもれび橋の手すりが低くて危険 ・稲南公園前の廃墟のような施設をどうにかしてほしい、通学路になっているが人通りも少なく危険	3 件

ご意見内容	件数
■その他地域ごとの課題など ・箕面彩都地域の住宅を増やしている状態に、学習環境や生活環境の整備が追いついていない ・とどろみの森校区に施設が充分にないため、何度も有料トンネルを使わなければならない ・箕面市森町住民は箕面の活動をするにもトンネルを越えなければならない、経済的負担が大きい ・箕面森町は同じ箕面市民、同じ税金を払っているのに街の格差が酷い ・箕面市西部は市の恩恵を受けてる気がしない、東のみならず、西エリアにも力を入れてほしい	9 件
地域子ども・子育て支援事業やその他の子育て支援について	133 件
■学童保育について ・子どもたちが遊べるものを充実させてほしい。マンガが多い、タブレットで動画ばかり見てる子も多い ・参加型の遊びを取り入れてほしい ・学校の宿題のわからない所を教えてもらえるようにしてほしい ・やっていけない事の制限が多すぎる、楽しめる環境にしてほしい ・利用した回数と時間などで料金を決めてほしい ・利用した分だけ請求にしてほしい ・開く時間が遅く閉まる時間が早く、不便。保育園と同じ時間にしてほしい ・一時預かり等検討してほしい ・夏休みなど最寄りの小学校の学童に期間限定で通えるといい ・土曜日や夏休み、春休みなど一回〇〇円でスポット利用できる仕組みを作してほしい ・学保連はいらない。役所の窓口で対応できるようにしてほしい ・長期休みは弁当注文があり嬉しいのですが、学校の給食施設で作っていただけたら大変嬉しい	30 件
■支援の必要な子どもへの対応について ・放課後デイの拡充 ・森町にも療育施設があったほうが助かる ・運動療育の施設が少ない ・発達の上で大切な時期に、早い段階で療育を受けられて、よりよく成長でき感謝している ・発達での困りごとがあり相談した際にはとても親身に聞いてくださりサービスにつながる事ができた ・箕面市に住んでいる障がいのある親子に対してつながりを作してほしい ・支援の必要な子を持つ兄弟児や保護者へのフォローをもう少し手厚くしていただけたら ・教育センターや放デイへの繋がり方も一人で調べることが多く大変だった ・障がい者は福祉サービスの枠内でしか条件が合わず、子育てサービスが利用できない場合も多い ・発達障害児を主に受け入れる歯科、耳鼻科を作してほしい ・車椅子の子どもや発達障害児も利用できるような障害児のための公園をつくってみては	16 件
■一時保育など不定期の保育について ・一時保育を働いていなくても利用できるようにしてほしい ・一時預かり保育で保育園に登録しても、一日も預かってもらえない事が多くて困る ・卒業式や入学式の日に低学年の兄弟を見られる場所があればいい ・未就学児と小学生が同じところに預けられたら助かる ・学級閉鎖、警報発令時の休校時に学童などでの預かりをしてほしい	12 件
■多子、多胎世帯への支援 ・多子世帯はとにかくお金がかかるので、いろんなところで補助があるとありがたい ・多胎家庭(兄弟+多胎)への支援を拡充していただけると大変助かる ・多子世帯、特に年が離れているので控除が受けられない、第2子、3子の計算を変えてほしい	11 件
■不登校児への支援 ・学校に行きたくても行けない子の支援や教育をもう少し手厚く。Zoom は出席にしてほしい ・不登校と登校の間を行き来する子どもが、気持ちや身体を休めることができるサポートルームの充実 ・子どもをケアする施設が少ない。学校でケアできるクラスの設置をしていただくと登校しやすくなる ・学校側から積極的に市の相談窓口につなげるなど不登校の子と親が孤立しないようにしてほしい ・不登校児や障害児など色々な特性がある子どもが通えるフリースクール(公設民営フリースクール)	9 件

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-2. 就学児童調査

ご意見内容	件数
■ 学習支援・宿題支援について ・経済的負担大きく塾に通えない子達をサポートする“地域の寺子屋”のようなものがあればいい ・らいとぴあ 21 での学習会（中高生向サポート）のような場を東部でも設けていただきたい ・宿題を見てくれる大学生とかが小学校にいと居場所にもなるし、先生の負担も減る	8 件
■ 地域での活動・交流について ・地域内で活動できるようなクラブを作してほしい ・夏休み、冬休みに地域の老人の方に料理や虫や歴史など子どもたちに教えてほしい ・地域の指導者や団体にも補助金をしっかりと出して、活動できるようにしていただきたい	6 件
■ 放課後の過ごし方について ・放課後に学校内で活動できるクラブのようなものを全小学校で取り入れてほしい ・スポーツや学習の機会など有料でもいいので、学童以外の選択肢も学校内にあれば ・自由な遊び場開放事業は低学年と高学年で日が分けられていて、実際はあまり利用できない	5 件
■ 自然体験について ・教学の森の子ども向けキャンプが減ってしまったのが残念、ぜひ子ども向け野外活動の充実を ・子どもたちに自然や、火をおこす体験などできるような場所があれば	5 件
■ 習い事について ・放課後、学校で習い事ができるようになったらよい ・習い事の送迎サービスなどあったらよい	4 件
■ 講座やイベントについて ・小学生（中～高学年）への講座やイベントなどが少ないので、多くあるとうれしい ・まーぶハローワークができるイベントを増やしてほしい ・児童期、思春期の子どもへの接し方を父母共に学べる機会があればよい	3 件
■ 子育て支援センター、集いの場について ・いつでも迎え入れてくれる職員さんがいてほっとできる居場所のような場所がもっと増えれば、初めての子育てのママには助かる	3 件
■ 病児保育について ・小学生でも利用できる病児保育の設立 ・病児保育の使い易さをアピールすべき	3 件
■ ひとり親支援 ・ひとり親支援が他の自治体より少なく感じるので充実させてほしい ・箕面市ではひとり親家庭や低所得者世帯に対する支援が不足していると感じる	3 件
■ 支援者の教育やバックアップ ・支援に関わる人達の研修や人材教育 ・保育者及び教育研修などが整っていて、保護者が信頼して預ける施設をつくってほしい ・子育て支援について、何かしたいという意欲のある方の活動の支援（金銭、広報面など）	3 件
■ 長期休暇の過ごし方 ・小学校に入って悩むのは長期休み。春休み、夏休み、冬休みがづらいなあと思っていた ・夏休みの預かりのハードルを下げてもらいたかった	2 件
■ いじめ、虐待について ・いじめ相談解決室のような取り組みが箕面でも始まったことはよかったが、ハガキ待ちではなく、何らかの形で定期的に学校内部に介入できないのかなと思う	2 件
■ その他 ・服、不要なおもちゃやクレヨンなどのリサイクルボックスを設置して保育園などで役立ててほしい ・病気の子どもを病院に連れていくとき気軽に呼べるタクシーがあれば助かる ・保育所、学童の継続更新書類の簡素化、病児保育など申込書やルールが複雑すぎる ・祖父母の介護と育児が重なり大変負担。育児を外注するよりは介護の負担を減らしてほしい	8 件

ご意見内容	件数
経済的支援について	102 件
■ 教育費、習い事の助成 ・教育にかかる費用の助成 ・教育費用の補助や軽減などあればすごくありがたい ・修学旅行費、行事費、ドリル、テストなどの副材料費などの無償化にする制度の検討 ・教育費がかかるため、塾の助成等があればありがたい ・塾代の負担が大きいので支援があれば	24 件
■ 給食費の無償化 ・給食費の減額や無償化 ・給食費無償化など子どもの成長に即決する対策に取り組んでほしい	14 件
■ 交通費の補助や割引 ・子育て世代へのトンネル代の割引もしくは無料にしてトンネル代への負担を軽減してほしい ・とどろみの森学園エリア住人にトンネル代の補助、せめて子どもの通学や通塾に対する補助の充実 ・生活道路として利用する場合に限って箕面有料道路を無料で通行できるようにしてほしい ・せめて森町に住む子どもたちは交通費無料にしてあげてほしい	13 件
■ 子育て世帯への金銭的支援を ・子どもを育てるにはお金がかかるので、子育て世帯への経済支援をもっとしてほしい ・子育て中の世帯への金銭的支援。給付の仕方は親が引き出せないシステムにしてほしい ・赤ちゃんや小学生よりお金のかかる高校生や大学生のいる世帯への子育て支援をお願いしたい ・病気などの理由で働けない人にも経済的支援(2号認定のような)があれば嬉しかった	11 件
■ 所得による不公平の是正 ・子ども手当の所得制限をなくしてほしい ・児童手当の所得制限を一日も早く撤廃してほしい ・高額所得者で補助金はほとんどもらえない。子育てに関わる補助は平等にしてほしい ・所得制限のため児童手当が貰えておらず、税金も多く引かれている。不公平さを感じる	9 件
■ 物品やサービスの提供 ・まごころ応援カードの店舗増加 ・入学時の経済的負担軽減、制服、ランドセルの支給など ・おむつ代、粉ミルクのクーポン配布 ・以前のようなお米クーポンがほしい ・ゴミ袋の支給が5人家族以上というくくりになっているが疑問、改善を求める	8 件
■ 医療費助成 ・医療費の無償化 ・子どものインフルエンザワクチン無償化 ・医療機関への支払いが高校卒業まで500円というのがとても助かっている	5 件
■ 児童手当や子育て給付金 ・児童手当を父母のうちの収入が高い方に振り込むという決まりをなくしてほしい ・児童手当以外にも箕面市独自の手当や補助の拡充を ・子育て世帯全体の経済的援助を箕面市独自で発信してほしい ・子どもを3人産んだ女性には65歳まで年間500万円、4人産んだ女性には800万支給などフルタイムで働いた人よりもメリットと、みんなから称賛される世の中にならないと永遠に子どもは増えない	5 件
■ その他 ・食費の支援もお願いしたい ・住宅補助、公営住宅の他にも補助支援の検討を ・船場にできた新しい図書館も駐車料金が高く頻繁には行けない。せっかくいい施設があり子どもと一緒にいきたいと思うので利用者に対しては割引があれば有難い	13 件
親のサポートについて	27 件
■ 子育てしながら安心して働ける環境づくり ・子どもを預ける手段が就労後にしか得られない保育の制度や、就労中の親へのPTAの参加等、現代のライフスタイルに合わない仕組みや制度を早く見直していただきたい ・急な休みに理解のある職場や臨機応変な働き方ができるともっと子育て中の人働きに出やすい	10 件

Ⅱ. 調査結果 Ⅱ-2. 就学児童調査

ご意見内容	件数
・働きたい日だけ働ける登録制の職場があったらよい、子どもが体調不良の時は自分で看病してあげたい ・子どもを預けやすいばかりでなく、親が子どもと一緒に過ごせる時間の確保も大事 ・働く親に優しい子育て支援ではなく、母親が働かなくても成り立つ社会にしてほしい	
■相談支援について ・辛い思いをかかえた親が気軽に相談できる窓口。親身に相談にのって、解決策を探してほしい ・子どものメンタル相談をできる窓口や同じような悩みを持つ親の交流会があればいいと思う ・思春期、反抗期を迎えた親の心のサポート ・成長するに伴い、対応する相談窓口がわからず、誰かに相談できるのか不安。年齢に対応した相談窓口の情報がほしい ・子育てで悩みをもったときに、夫婦で相談できるようなカウンセラーの先生があればよい	9 件
■情報の提供や発信について ・子育てに関する箕面市における情報をスムーズに確認できるようにしてほしい ・箕面市の公園や遊べるところのマップがあれば嬉しい ・イベントにしても教育相談にしても自発的に探しに行かなければ存在に気づくことができず活用されていない面もある。もみじだよりなどを読まない方にも案内が行くような工夫(SNSでの発信など) ・地区の中学への進学以外にどういう進路があるか、市からの情報があると安心して参考にできる	5 件
■子育てのつらさや不安 ・子育ては結局母親の方の負担が大きすぎる。父親への教育を第三者にしてほしい ・子どもが学童に行きたがらずに困る。子どもの性格にもよるがフルタイムで働くのは本当に難しい	3 件
その他	55 件
■市の環境や施策、市役所の対応について ・主任児童委員の登校見守りでは子どもたちを勇気づけてくださる声かけや笑顔で毎朝送り出しいただきいつも救われる思いです。いつも大変な活動を続けてくださりありがとうございます ・箕面に住むと公立なのにこんな教育が受けられる、安心して両親が働けるなど、子育て世代が集まる街にしてほしい ・家庭により親の仕事や助けてもらえる環境等はさまざま。色々な人が色々な選択ができるように、制度や支援があるといいと思う ・良かったと思えるのは中学校の給食くらい。もっと箕面市で子育てしていることを自慢できるようにしてほしい ・特定の人にしかメリットのない子育て事業は不要。市民にとって有益な施策を期待している ・福祉の窓口到人権研修してほしい。心理士など資格もない窓口に「療育を減らせ」「料金は税金」と言われて心が苦しくなった ・子育て相談の方に話を聞いてもらったことがあるが、失礼なことを聞かれてとても嫌な思いをした。市役所で子育ての相談を受けるなら、そういう方法を少しでもお勉強してもらったほうがいいと思う ・教育相談を受けて丁寧な話を聞いていただいた。サポート体制はとてもしっかりしていると思う	45 件
■アンケートについて ・質問が多すぎてスマホでの回答はつらい ・普段から希望や要望はあるもののどこにどのように伝えたいのか、また伝えたところで本当に伝わるのかという思いがあったため、このような意見を聞いてもらえる機会を作ってください感謝します	7 件
■その他 ・子どもが遊ぶときに出る音に対して、子どもがいない世帯の方の理解がもっとほしい	3 件

調 査 票

箕面市子ども・子育て支援に関する アンケート調査ご協力のお願い (就学前児童用)

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

箕面市では、「教育・子育て日本一」を掲げ、子ども・子育て支援法に基づく「第四次箕面市子どもプラン」を策定し、この計画に基づき、さまざまな子育て支援施策を進めています。

この計画が令和6年度で終了するため、この計画の目的を引き継ぐ、令和7年度以降5年間の子育て支援に関する計画「第五次箕面市子どもプラン」を策定します。

今回のアンケートは、子育て中のみなさまに子育て支援などに関する施策の利用希望やご意見等をおうかがいし、今後5年間、子育て支援施策をどう進めていくかを決めていくための大切な調査となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年3月 箕面市教育委員会

このアンケート調査は、市内にお住まいの小学校入学前（0～5歳児）のお子さんがいらっしゃるご家庭を対象とし、合計 2,000 人を無作為に選ばせていただきました。

この調査は無記名で、ご回答いただきました内容は統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

- このアンケート調査は、右に記載の二次元コードまたは、下に記載の URL より、オンラインで回答することも可能です。

<https://logoform.jp/form/5CLo/517341>



—— ご記入にあたってのお願い ——

このアンケートは子育てに関するものです。日本語が苦手な場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

This questionnaire is about raising children . In case you find difficulty with Japanese language , please contact the following inquiries.

- ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆をご使用ください。
- ことわり書きのある場合以外は、封筒に書かれている宛名のお子さんについて保護者の方がご記入ください。
- 回答は選択肢に○をつけて選ぶ場合と数字を記入する場合があります。
- 設問によって回答が「1つ」や「3つまで」と限定される場合がありますので、それぞれに従ってご記入ください。
- 「その他」に当てはまる場合は（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 時間（時刻）をお答えいただく際は、 内に必ず 18: 00 のように24時間でご記入ください。
- ご記入後は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、4月15日（月）までにご投函くださいますよう、お願いいたします。

【お問い合わせ先】
（Contact Us）

箕面市教育委員会 子ども未来創造局 子育て支援室
TEL：072-723-2121（代） 内線3236
FAX：072-721-9907

1. お住まいの地域についておうかがいします。

問1. お住まいの地域の小学校区に○をつけてください。※別紙の小学校区一覧表をご覧ください。

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 箕面小学校区 | 2. 西小学校区 | 3. とどろみの森学園校区 |
| 4. 萱野小学校区 | 5. 北小学校区 | 6. 萱野北小学校区 |
| 7. 南小学校区 | 8. 西南小学校区 | 9. 萱野東小学校区 |
| 10. 豊川南小学校区 | 11. 中小小学校区 | 12. 東小学校区 |
| 13. 豊川北小学校区 | 14. 彩都の丘学園校区 | |

2. ご家族の状況についておうかがいします。

問2. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係で、お答えください（1つに○）。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|-----------|

問3. お子さんの生年月はいつですか（「平成」か「令和」か「西暦」に○をつけ、（ ）内に数字を記入）。

平成・令和・西暦（ ）年（ ）月生まれ

問4. 封筒の宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年(2023年)4月1日現在の年齢）を記入してください。

（ ）人	末子の年齢（ ）歳
------	-----------

問5. 希望として、子どもが何人ほしいですか。

（ ）人

問6. もう1人以上の子どもがほしいと思いますか（1つに○）。

- | | | |
|-----------|-----------------|--------------|
| 1. ほしいと思う | 2. 環境が整えばほしいと思う | 3. ほしいとは思わない |
|-----------|-----------------|--------------|

↓
問7へ

↓
問6-1へ

↓
問7へ

問6-1. どのような環境が整えばもう1人以上の子どもがほしいと思いますか（1つに○）。

- | |
|------------------------------|
| 1. 保育所など子どもを預かってくれる環境が整えばほしい |
| 2. 収入が増えればほしい |
| 3. 働くところが見つかればほしい |
| 4. 子どもを教育してくれる施設が充実していればほしい |
| 5. 家族の理解が進めばほしい |
| 6. その他（ ） |

3. 子どもの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

問7. お子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。
選択肢はお子さんからみた関係です（当てはまるものすべてに○）。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 父と母と一緒に住んでいる | 2. 父と一緒に住んでいる（父子家庭） |
| 3. 母と一緒に住んでいる（母子家庭） | 4. 祖父と一緒に住んでいる |
| 5. 祖母と一緒に住んでいる | 6. 祖父が近所に住んでいる |
| 7. 祖母が近所に住んでいる | |
| 8. その他（ | ） |

※近所…30分以内程度で行き来できる範囲

※単身赴任や長期出張等で別居されている父母については「同居」としてください。

問8. お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。

選択肢はお子さんからみた関係です（1つに○）。

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 父母二人で | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他（ | ） |

問9. 日頃、お子さんの世話をしてくれる人はいますか（当てはまるものすべてに○）。

- | |
|---|
| 1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事のあるときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 4. 緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 5. いずれもない |

問10. お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や相談できる場所をお答えください
（当てはまるものすべてに○）。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー |
| 2. ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族 |
| 3. 友人や知人 |
| 4. 近所の人 |
| 5. 子育て支援センター（地域子育て支援拠点）やNPOなどの子育て支援団体 |
| 6. 子どもの健診などを行ってくれる保健師（子どもすこやか室） |
| 7. 幼稚園の先生 |
| 8. 保育所等（就学前保育施設）の先生 |
| 9. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 10. かかりつけの医師 |
| 11. 市役所の子ども総合窓口 |
| 12. 携帯電話やインターネットの交流サイト |
| 13. その他の人や場所（ |
| 14. 相談できる人はいないし、相談できる場所もない |

4. 保護者（父親・母親）の就労状況についておうかがいします。

問1 1. お子さんの「**母親**」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます（1つに○）。【父子家庭の場合は記入不要です。】→問1 2へ

1. フルタイムで働いている	}	問1 1-2へ
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる (産休・育休・介護休業中)		
3. パート・アルバイトなどで働いている	}	問1 1-1へ
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる (産休・育休・介護休業中)		
5. 以前は働いていたが、今は働いていない	}	問1 1-3へ
6. これまで働いたことがない		

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問1 1-1. フルタイムへの希望はありますか（1つに○）。

1. フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

→問1 1-2へ

問1 1-2. 1週間にどのくらいの日数働きますか。そして1日当たりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください（（ ）内に数字を記入、□□内に 1 8 : 0 0 のように24時間で表記）。

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間
家を出る時間 □□ : □□	帰宅時間 □□ : □□

→問1 2へ

問1 1-3. 働きたいという希望はありますか（1つに○、（ ）内に数字を記入）。

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	→問1 2へ
2. 1年より先、一番下の子どもが、（ ）歳になったところに働きたい	}
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	
→希望する働き方 ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイトなど	
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間	
問1 1-4へ	

問1 1-4. 働きたい理由は何ですか（当てはまるものすべてに○）。

1. 働かないと、暮らしていけなくなるため
2. 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3. 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4. 人間関係を広げたいため
5. その他（ ）

問1 2. お子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます（1つに○）。 【母子家庭の場合は記入不要です。】→問1 3へ

1. フルタイムで働いている	}	問1 2-2へ
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる (育休・介護休業中)		
3. パート・アルバイトなどで働いている	}	問1 2-1へ
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる (育休・介護休業中)		
5. 以前は働いていたが、今は働いていない	}	問1 2-3へ
6. これまで働いたことがない		

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問1 2-1. フルタイムへの希望はありますか（1つに○）。

1. フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

→問1 2-2へ

問1 2-2. 1週間にどのくらいの日数働きますか。そして1日当たりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください（() 内に数字を記入、□□内に 1 8 : 0 0 のように24時間で表記）。

1週当たり () 日	1日当たり () 時間
家を出る時間 □□ : □□	帰宅時間 □□ : □□

→問1 3へ

問1 2-3. 働きたいという希望はありますか（1つに○、() 内に数字を記入）。

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	→問1 3へ
2. 1年より先、一番下の子どもが、() 歳になったときに働きたい	}
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	
→希望する働き方 ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイトなど	
→1週当たり () 日 1日当たり () 時間	問1 2-4へ

問1 2-4. 働きたい理由は何ですか（当てはまるものすべてに○）。

1. 働かないと、暮らしていけなくなるため
2. 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3. 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4. 人間関係を広げたいため
5. その他 ()

5. 育児休業など、仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問13. お子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか（それぞれ1つに○）。
父親について、「育児休業を取った、あるいは今取っている」を選ばれた場合は、育児休業
を取得された、あるいは、取得予定の日数について（ ）内に数字を入れてください。
また、太枠を選ばれた方は、その理由を下記枠内（育児休業を取らなかった理由）の選択肢
の中からお答えください（当てはまる番号すべてを記入）。

	母親	父親	
1. 働いていなかった	1	1	→ <u>問14へ</u>
2. 育児休業を取った、あるいは今取っている	2	2 () 日	→ <u>問13-1へ</u>
3. 育児休業を取らずに働いた	3	3	} <u>問14へ</u>
4. 育児休業を取らずに退職した	4	4	

	↓ 母親	↓ 父親
育児休業を取らなかった理由 ※下記より当てはまる番号を すべて選んで記入		

【育児休業を取らなかった理由】

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 出産後すぐに仕事に復帰したかった
4. 育児休業をとった後に仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため
11. 職場に育児休業の制度がなかった
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取れることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らなかった
15. その他（

問13-1. 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか（それぞれ1つに○）。

	母親	父親	
1. 育児休業を取った後、職場に復帰した	1	1	→ <u>問13-2△</u>
2. 現在も育児休業中である	2	2	} <u>問14△</u>
3. 育児休業中に仕事をやめた	3	3	

問13-2. 育児休業を取った後、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。
また、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったですか
()内に数字を記入)。それはどのようなタイミングかも合わせてお答えください(1つに○)。

	母親	父親
実際の職場復帰の時期	() 歳 () か月	() 歳 () か月
希望の職場復帰の時期	() 歳 () か月	() 歳 () か月
希望の職場復帰のタイミング	1. 満1歳まで 2. 出生後最初の4月の保育所等一斉入所時 3. 出生後2度目の4月の保育所等一斉入所時 4. その他()	1. 満1歳まで 2. 出生後最初の4月の保育所等一斉入所時 3. 出生後2度目の4月の保育所等一斉入所時 4. その他()

→問13-3へ

問13-3. 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか () 内に数字を記入)。

母親	父親
() 歳 () か月	() 歳 () か月

問14. 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。それぞれ1週間の平均的な時間をお答えください () 内に数字を記入)。
また、その時間は十分だと思いますか。下記枠内の選択肢の中からお答えください(番号を1つ記入)。

	母親		父親	
平日	子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり () 時間	番号を記入 ()	子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり () 時間	番号を記入 ()
休日	子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり () 時間	番号を記入 ()	子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり () 時間	番号を記入 ()

↑

↑

1. 十分だと思う	2. まあまあ十分だと思う
3. あまり十分だと思わない	4. 不十分だと思う
5. わからない	

問15. 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。それぞれ1週間の平均的な時間を記入してください。

母親	父親
1日当たり () 時間	1日当たり () 時間

問16. 仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか(当てはまるものすべてに○)。

1. 残業や出張が入ること
2. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてる人がいないこと
3. 配偶者の協力が得られないこと
4. ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと
5. 職場に子育てを支援する制度がないこと
(育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など)
6. 職場の理解や協力が得られないこと
7. 子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと
8. 子どもを預かってくれる保育所などが見つからないこと
9. 子どもと接する時間が少ないこと
10. その他()

6. 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況についておうかがいします。

問17. 平日(月曜日から金曜日)に、幼稚園や保育所、認定こども園などの子どもを預かる施設(問17-1に記載の施設)やサービスを「定期的に」利用されていますか。

1. 利用している

2. 利用していない

↓
問17-1へ

↓
問17-5へ

問17-1. お子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日(月曜日から金曜日)に定期的に利用されているサービスについてお答えください(当てはまるものすべてに○)。また「7.」を選ばれた方は施設名もご記入ください。

【教育・保育】

1. **認定こども園**(施設の中に幼稚園と保育所がある施設)
※通っている幼稚園や保育所の正式名称に「認定こども園」と付いている場合はこちらに○をしてください。
2. **幼稚園**(通常の就園時間だけ利用している)
3. **幼稚園+幼稚園の預かり保育**(通常の就園時間に加え、いつも時間を延長して預けている)
4. **認可保育所**(公立保育所や民間保育園)
5. **小規模保育施設**(かいせいプチ保育園、のいちご保育園、ひじりとよかわ保育園、フェアリーキッズ桜井、れもんのこ彩都保育園、どんぐり保育園など主に3歳未満の子どもをおおむね6~19人預かる施設)
6. **事業所内保育施設**(企業が主に従業員の子どものみを預かる施設)
7. **その他の認可外の保育施設**(施設名:)
8. **ベビーシッター**などがご自宅を訪問して保育する事業

【子育て支援】

9. **子育て支援センター**や「出張子育てひろば」(地域子育て支援拠点)など子育て中の保護者が集まる場
10. **ファミリーサポートセンター**(市が設置したファミリーサポートセンターに登録している子育て経験者等が時間単位で子どもを預かるサービス)
11. **児童発達支援事業所**(就学前の子どもが療育のために通う施設)
12. その他()

→問17-2へ

問17-2. 現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日当たり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか（ 内に数字を記入、 内に24時間で表記）。

(1) 現在

1週当たり（ ）日

1日当たり（ ）時間

--	--

 :

--	--

 ~

--	--

 :

--	--

(2) 希望

1週当たり（ ）日

1日当たり（ ）時間

--	--

 :

--	--

 ~

--	--

 :

--	--

→問17-3へ

問17-3. 現在、利用されている施設などはどこにありますか。「2.」を選択された方は、その市区町村名についても（ ）内に記入してください。

1. 箕面市内（自宅を訪問するサービスも含む）

2. 他の市区町村（市区町村名： ）

→問17-4へ

問17-4. 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用されている理由は何ですか（当てはまるものすべてに○）。

1. 子どもの教育や発達のため

2. 保護者が働いている

3. 保護者が働く予定である、または、仕事を探している

4. 保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている

5. 保護者に病気や障がいがある

6. 保護者が学生である

7. その他（ ）

→問18へ

問17-5. 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか（当てはまるものすべてに○）。また、「8.」を選ばれた方は年齢もご記入ください。

1. ご自身や配偶者が子どもの世話をしているため、利用する必要がない

2. ご自身や配偶者の親、親せきがみている

3. 近所の人や友人・知人がみている

4. 利用したいが、希望する幼稚園や保育所、認定こども園などに空きがない

5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない

6. 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない

7. 利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所、認定こども園などがない

8. 子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている

9. その他（ ）

問18. 幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないに関わらず、平日（月曜日から金曜日）にお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスは何ですか（当てはまるものすべてに○）。

また、「8.」を選択された方は施設名もご記入ください。

なお、これらの施設やサービスを利用するには、一定の利用料が発生します。

【教育・保育】

1. **認定こども園**（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）

※通っている幼稚園や保育所の正式名称に「認定こども園」と付いている場合はこちらに○をしてください。

2. **幼稚園**（通常の就園時間だけ利用している）

3. **幼稚園＋幼稚園の預かり保育**（通常の就園時間に加え、いつも時間を延長して預けている）

4. **認可保育所**（公立保育所や民間保育園）

5. **小規模保育施設**（かいせいプチ保育園、のいちご保育園、ひじりとよかわ保育園、フェアリーキッズ桜井、れもんのこ彩都保育園、どんぐり保育園など主に3歳未満の子どもをおおむね6～19人預かる施設）

6. **家庭的保育**（保育者の自宅やマンションなどの一室で子どもを預かるサービス）

7. **事業所内保育施設**（企業が主に従業員の子どものみを預かる施設）

8. **その他の認可外の保育施設**（施設名： ）

9. **ベビーシッター**などがご自宅を訪問して保育する事業

【子育て支援】

10. **子育て支援センター**や「出張子育てひろば」（**地域子育て支援拠点**）など子育て中の保護者が集まる場

11. **ファミリーサポートセンター**（市が設置したファミリーサポートセンターに登録している子育て経験者等が時間単位で子どもを預かるサービス）

12. **児童発達支援事業所**（就学前の子どもが療育のために通う施設）

13. その他（ ）

→「2. 幼稚園」または「3. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「1.」及び「4.」～「13.」にも○をつけた方は**問18-1へ**、それ以外の方は**問19へ**

問18-1. 問18で、幼稚園（「2. 幼稚園」または「3. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育」（通常の就園時間に加え、いつも時間を延長して預けている））に○をつけ、かつ幼稚園以外（1及び4～13）にも○をつけた方にうかがいます。

どちらでも入れるとしたら、どちらを優先して希望しますか（どちらかに○）。

1. 幼稚園（問18の2及び3）

2. 幼稚園以外の施設（問18の1及び4～13）

7. 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望についておうかがいします。

問19. お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所、認定こども園などの利用希望がありますか。仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます（それぞれ1つに○）。

太枠内に○をつけた方は、利用したい時間帯もお答えください（内）に24時間で表記）。
なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

	土曜日	日曜・祝日
1. 利用する希望はない	1	1
2. ほぼ毎週利用したい	2	2
3. 月に1～2回は利用したい	3	3

	土曜日	日曜・祝日
利用したい時間帯	: ～ :	: ～ :

→お子さんが、幼稚園を利用している方は問20へ、
利用していない方は問21へ

問20. 夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか（1つに○）。

希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください（内）に24時間で表記）。
なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

1. 利用する希望はない	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日使いたい	利用したい時間帯 : ～ :
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	

8. お子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。 （平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用している方のみ）

※病気回復期（病後児）ではなく、病気急性期（病中）の対応です。

問21. この1年間に、お子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。

1. あった	2. なかった
↓	↓
問21-1へ	問22へ

問21-1. この1年間に、お子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などの施設やサービスを利用できなかったときの対処方法（当てはまるものすべてに○）と、その日数をお答えください（（ ）内に数字を記入）。

※半日程度についても1日としてカウントしてください。

対処方法	日数（年間）	
1. 父親が仕事を休んだ	（ ）日	問21-2へ
2. 母親が仕事を休んだ	（ ）日	
3. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）	（ ）日	問22へ
4. 働いていない父親か母親が子どもをみた	（ ）日	
5. 保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	（ ）日	
6. ベビーシッターを利用した	（ ）日	
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）日	
8. その他（ ）	（ ）日	

問21-2. そのときに、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われたか（1つに○）。利用したい方は（ ）内に日数もお答えください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

1. できれば病気の子どものための 保育施設などを利用したい →（ ）日／年間	2. 利用したいと思わない
---	---------------

↓
問21-3へ

↓
問21-4へ

問21-3. 利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか（当てはまるものすべてに○）。

1. 幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてるサービス
2. 医療機関に併設した施設で子どもをみてるサービス
3. ファミリーサポートセンター（市が設置したファミリーサポートセンターに登録している子育て経験者等が時間単位で子どもを預かるサービス）
4. 民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてるサービス
5. その他（ ）

→問22へ

問21-4. 「病気の子どものための保育施設などを利用したい」とは思わない理由は何ですか（当てはまるものすべてに○）。

1. 病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である
2. 病気の子どもは家族がみるべきである
3. サービスの質に不安がある
4. 施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
5. 利用料が高い
6. 利用料がわからない
7. 父母が仕事を休んで対応できるため
8. その他（ ）
9. 特に理由はない

9. 不定期な幼稚園や保育所などの利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についておうかがいします。

問22. この1年間に、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用や、子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます（当てはまるものすべてに○、（ ）に数字を記入）。

利用したサービス	日数（年間）
1. 一時保育 （私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス）	（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育 （幼稚園に通う子どもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合）	（ ）日
3. ファミリーサポートセンター	（ ）日
4. 夜間養護事業：トワイライトステイ （仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの）	（ ）日
5. ベビーシッター	（ ）日
6. その他（ ）	（ ）日
7. 利用していない	

問23. 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、保育所などで実施されている「一時預かり」を、1年間に何日くらい利用したいと思いますか（1つに○）。
また、利用したい場合、利用したい目的ごとの日数と合計の日数もお答えください（（ ）内に数字を記入）。

なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

	日数（年間）	問23-1へ
1. 利用したい	合計（ ）日	
ア. 買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	（ ）日	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	（ ）日	
ウ. 不定期な仕事	（ ）日	
エ. その他（		

問23-1. 問23の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか（当てはまるものすべてに○）。

なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1. 幼稚園・保育所などの施設で子どもをみってくれるサービス
2. 子育て支援センターなどの小規模な施設で子どもをみってくれるサービス
3. ファミリーサポートセンター（市が設置したファミリーサポートセンターに登録している子育て経験者等が時間単位で子どもを預かるサービス）
4. 民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみってくれるサービス
5. 夜間養護事業：トワイライトステイ（児童養護施設などで子どもをみってくれるサービス）
6. その他（ ）

→問23-2へ

問23-2. この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけ」で、年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください）。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

対処方法	泊数（年間）
1. 利用したい	計（ ）泊
ア. 冠婚葬祭	（ ）泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	（ ）泊
ウ. 保護者や家族の病気	（ ）泊
エ. その他（ ）	（ ）泊
2. 利用する必要はない	

10. 箕面市の子育て支援サービスの利用状況についておうかがいします。

問24. 現在、子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）を利用していますか（当てはまるものすべてに○）。おおよその利用回数もお答えください（（ ）内に数字を記入）。

また、「3.」を選ばれた方は、利用していない理由もご記入ください。

※子育て支援センター：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「出張子育てひろば」も含まれます。

1. 子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業） 1週間当たり（ ）回 または 1か月当たり（ ）回程度
2. その他、市が実施している類似の事業 （具体名： ） 1週間当たり（ ）回 または 1か月当たり（ ）回程度
3. 利用していない （理由： ）

問25. 子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いますか（1つに○）。

また、おおよその利用回数もお答えください（（ ）内に数字を記入）。

なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい 1週間当たり（ ）回 または 1か月当たり（ ）回程度	} 問25-1へ
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい 1週間当たり、さらに（ ）回 または 1か月当たり、さらに（ ）回程度	
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたりしたいとは思わない	→問26へ

問25-1. 子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。下記枠内の選択肢の中からお答えください（当てはまる番号を3つまで記入）。

なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

利用したいサービス ⇒ () () ()



【選択肢：利用したいサービス】

1. 常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供
2. 子育てに関する相談・援助
3. 地域の子育て関連情報の提供
4. 子育てに関する講習
5. 地域に出向いての交流の場の提供（出張子育てひろば）
6. 保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談
7. さまざまな世代との交流の場の提供
8. 一時保育（私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス）
9. その他（ ）

問26. 箕面市の子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。

下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。

また、今後、利用したいと思うものはありますか

(サービスごとに「はい」、「いいえ」のどちらかそれぞれに○)。

	知っている	利用したことがある	今後利用したい
①赤ちゃんの駅 (授乳とおむつ替えができるスペース)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②子育て支援センター(おひさまルーム)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③出張子育てひろば	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④子育てサロン	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤子育て支援情報誌 「箕面子育て応援ガイドブック」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥箕面子育て応援ブック「SMILE」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦子育てサークル情報誌 「子育てMAPみのお」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧箕面市おひさまメール	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨みのおファミリーサポートセンター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩子育て短期支援事業 (ショートステイ・トワイライトステイ)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪保育所の一時保育(一日単位)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫保育所の病児・病後児保育	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬保育所の休日保育	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭保育所の延長保育	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮保育所・幼稚園の園庭開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯図書館の「おはなし会」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑰子どもの家庭養育に関する相談 (市役所別館2階 児童相談支援センター)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑱子どもの発達に関する専門相談 「発達相談ゆう」(総合保健福祉センター分室)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑲時間単位で預けられる一時保育 「あそびー」「まみーず」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑳幼児向け遊具のある公園	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
㉑産後ケア事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
㉒3歳6か月児健康診査時の屈折検査	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
㉓児童発達支援事業所「あいあい園」 親子で通園できる療育の場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

→お子さんが、令和5年(2023年)4月1日現在、5歳以上の方は問27へ、

5歳未満の方は問30へ

1 1. 小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

※現在お持ちのイメージでお答えください。

問27. お子さんが小学校になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3年）、高学年（4～6年）の、それぞれ希望する1週間の利用日数についてお答えください（当てはまる項目の（ ）内に数字を記入）。

「学童保育」を選択された場合には、利用を希望する時間についてもお答えください（内
に24時間で表記）。

※「学童保育」…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

※「自由な遊び場開放事業」…放課後に市立小学校施設の一部（プレイルーム、運動場、体育館）を自由な遊び場として開放するものです。

	小学校低学年 1～3年生	小学校高学年 4～6年生
1. 自宅	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
2. ご自身や配偶者の親・親せきの 家、友人・知人の家	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
3. 学童保育 → 下校時から	週（ ）日くらい : まで	週（ ）日くらい : まで
4. 自由な遊び場開放事業	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
5. 習い事（ピアノ教室、スポーツ クラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
6. ファミリーサポートセンター	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい
7. その他（図書館、公園など）	週（ ）日くらい	週（ ）日くらい

→「3.」を選んだ方は問28へ

それ以外の方は問30へ

問28. 土曜日、日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか（それぞれ1つに○）。また、太枠内に○をつけた方は、利用したい時間帯もお答えください（内に24時間で表記）。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

	土曜日	日曜・祝日
1. 利用する希望はない	1	1
2. 低学年（1～3年生） の間は利用したい	2	2
3. 高学年（4～6年生） になっても利用したい	3	3

	土曜日	日曜・祝日
利用したい時間帯	: ~ :	: ~ :

問29. お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望はありますか（1つに○）。希望がある場合は、利用したい時間帯もお答えください（□□内に24時間で表記）。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

1. 利用する希望はない 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 3. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	} 利用したい時間帯 □□:□□~□□:□□
--	---------------------------

12. お子さんの生活習慣についておうかがいします。

問30. お子さんの生活習慣について、お答えください。（それぞれ1つに○）

（1）朝ごはんを食べますか。

1. 毎日食べる	2. 食べる日のほうが多い
3. 食べない日のほうが多い	4. ほとんど食べない
5. 離乳食前	

（2）1日1回は家族と一緒に食事をしますか。

1. する	2. しない	3. 離乳食前
-------	--------	---------

（3）平日のテレビ・ビデオ（動画・ゲーム含む）の1日当たり平均視聴時間は何時間ぐらいですか。

1. 30分以内	2. 1時間以内
3. 1時間30分以内	4. 2時間以内
5. 2時間超	6. その他（ ）

（4）就寝時刻は平均何時頃ですか。

1. 20時半より前	2. 20時半～21時前
3. 21時～21時半前	4. 21時半～22時前
5. 22時～23時前	6. 23時以降
7. その他（ ）	



13. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問31. お住まいの地域をお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか（当てはまるものすべてに○）。

- | |
|--|
| 1. 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配 |
| 2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている |
| 3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない |
| 4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない |
| 5. 授乳する場所や必要な設備がない |
| 6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない |
| 7. 買い物や用事などの合間に子どもを遊ばせる場所がない |
| 8. 緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりとuringおいがない |
| 9. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る |
| 10. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない |
| 11. その他（ ） |
| 12. 特にない |

問32. お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか（1つに○）。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 2. 満足していない |
| 3. どちらとも思わない | 4. わからない |

問33. お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか（当てはまるものすべてに○）。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 近くに遊び場がない |
| 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶための十分な広さがない |
| 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 不衛生である |
| 6. いつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である |
| 8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない |
| 10. 公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない |
| 11. 遊び場周辺の道路が危険である |
| 12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない |
| 13. その他（ ） |
| 14. 特に感じることはない |

14. 子育てに対する意識についておうかがいします。

問34. 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

1. いる 2. いない

問35. ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか（1つに○）。

1. 楽しいと感じることのほうが多い
2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3. つらいと感じることのほうが多い
4. わからない
5. その他 ()

問36. 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか（それぞれ当てはまるものすべてに○）。

(1) 子どもに関すること

1. 病気や発育発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
4. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
5. 子どもの教育に関すること
6. 子どもの友だちづきあいに関すること
7. 子どもの登所・登園拒否や不登校など
8. その他（
9. 特にない

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子育てにかかる出費がかさむこと
11. 住居がせまいこと
12. その他（ ）
13. 特にない

問37. ご自身にとって、子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。
下記枠内の選択肢の中からお答えください（当てはまる番号を3つまで記入）。

有効と感じる支援・対策 ⇒ () () ()

【選択肢：有効と感じる支援・対策】

1. 地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）
2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワークづくり
4. 子育て支援センターの充実
5. 訪問型の支援サービスの充実
6. 健やかな妊娠・出産に対する支援
7. 子どもの教育環境
8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11. 家族以外の支援が必要な子どもに対する支援
12. その他（ ）

問38. ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか（1つに○）。
また、感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。
感じない場合は、誰から支えてほしいと思いますか。
下記枠内の選択肢の中からお答えください（当てはまる番号すべてを記入）。

1. 感じる	⇒	支えている人 ()
2. 感じない	⇒	支えてほしい人 ()

↑

【選択肢：支えている人・支えてほしい人】

1. 近所の人
2. 同じ世代の子どもを持つ保護者
3. 民生委員・児童委員、主任児童委員、自治会、こども会などの地域団体の人
4. 地域活動を行っているNPOなどの人
5. 幼稚園、保育所、子育て支援センターなどの職員
6. 市役所の職員
7. その他（ ）

15. 封筒の宛名のお子さんを含め、お子さんが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子など）のお子さんがいる方におうかがいします。

問39. どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思いますか。
もっとも有効と思われる番号に○をつけてください。

1. 育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援
2. 外出時のタクシー利用への支援
3. 家事・育児等への訪問サービス支援
4. 同じ境遇にある母親や父親との交流
5. 多子・多胎育児経験者による相談支援
6. 幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援
7. 理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス
8. 電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み
9. その他（ ）

問39-1. 2番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。

1. 育児用品（紙おむつ、2人乗せベビーカーなど）への経済的支援
2. 外出時のタクシー利用への支援
3. 家事・育児等への訪問サービス支援
4. 同じ境遇にある母親や父親との交流
5. 多子・多胎育児経験者による相談支援
6. 幼稚園や保育所、認定こども園などに通園するのに必要な食材料、日用品、その他諸費用など無償化の対象とならない経費への支援
7. 理由を問わず子どもを一時的に預かってくれるサービス
8. 電車やバスなどの乗車時、エレベーター乗降時などの優先利用の仕組み
9. その他（ ）



16. 箕面市への要望についておうかがいします。

問40. 箕面市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか（当てはまるものすべてに○）。

1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす
3. 親子が安心して集まれる出張子育てひろばなどの屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや、子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育所や学童保育など子どもを預ける施設を増やす
10. 幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
11. 誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
12. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充
16. 公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
17. その他（ ）
18. 特になし

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、
ご自由に記入してください。

[illegible]

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

記入後のアンケート用紙は、4月15日（月）までに
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、投函してください。

箕面市子ども・子育て支援に関する アンケート調査ご協力をお願い (就学児童用)

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

箕面市では、「教育・子育て日本一」を掲げ、子ども・子育て支援法に基づく「第四次箕面市子どもプラン」を策定し、この計画に基づき、さまざまな子育て支援施策を進めています。

この計画が令和6年度で終了するため、この計画の目的を引き継ぐ、令和7年度以降5年間の子育て支援に関する計画「第五次箕面市子どもプラン」を策定します。

今回のアンケートは、子育て中のみなさまに子育て支援などに関する施策の利用希望やご意見等をおうかがいし、今後5年間、子育て支援施策をどう進めていくかを決めていくための大切な調査となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年3月 箕面市教育委員会

このアンケート調査は、市内にお住まいの小学校 1 年生～6 年生のお子さんがいらっしゃるご家庭を対象とし、合計 2,000 人を無作為に選ばせていただきました。

この調査は無記名で、ご回答いただきました内容は統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

- このアンケート調査は、右に記載の二次元コードまたは、下に記載の URL より、オンラインで回答することも可能です。

<https://logoform.jp/form/5CLo/526738>



===== ご記入にあたってのお願い =====

このアンケートは子育てに関するものです。日本語が苦手な場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

This questionnaire is about raising children . In case you find difficulty with Japanese language , please contact the following inquiries.

- ご記入は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆をご使用ください。
- ことわり書きのある場合以外は、封筒に書かれている宛名のお子さんについて保護者の方がご記入ください。
- 回答は選択肢に○をつけて選ぶ場合と数字を記入する場合があります。
- 設問によって回答が「1つ」や「3つまで」と限定される場合がありますので、それぞれに従ってご記入ください。
- 「その他」に当てはまる場合は（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 時間（時刻）をお答えいただく際は、

--	--

 内に必ず

1	8
---	---

 :

0	0
---	---

 のように24時間でご記入ください。
- ご記入後は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、4月15日（月）までにご投函くださいますよう、お願いいたします。

【お問い合わせ先】

（Contact Us）

箕面市教育委員会 子ども未来創造局 子育て支援室

TEL：072-723-2121（代） 内線3236

FAX：072-721-9907

1. お住まいの地域についておうかがいします。

問1. お住まいの地域の小学校区に○をつけてください。※別紙の小学校区一覧表をご覧ください。

1. 箕面小学校区	2. 西小学校区	3. とどろみの森学園校区
4. 萱野小学校区	5. 北小学校区	6. 萱野北小学校区
7. 南小学校区	8. 西南小学校区	9. 萱野東小学校区
10. 豊川南小学校区	11. 中小小学校区	12. 東小学校区
13. 豊川北小学校区	14. 彩都の丘学園校区	

2. ご家族の状況についておうかがいします。

問2. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係で、お答えください（1つに○）。

1. 母親	2. 父親	3. その他（ ）
-------	-------	-----------

問3. お子さんの生年月はいつですか（「平成」か「西暦」に○をつけ（ ）に数字を記入）。

平成・西暦（ ）年（ ）月生まれ

問4. 封筒の宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年(2023年)4月1日現在の年齢）を記入してください。

（ ）人	末子の年齢（ ）歳
------	-----------

3. 子どもの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

問5. お子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。

選択肢はお子さんからみた関係です（当てはまるものすべてに○）。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 父と母と一緒に住んでいる | 2. 父と一緒に住んでいる（父子家庭） |
| 3. 母と一緒に住んでいる（母子家庭） | 4. 祖父と一緒に住んでいる |
| 5. 祖母と一緒に住んでいる | 6. 祖父が近所に住んでいる |
| 7. 祖母が近所に住んでいる | |
| 8. その他（ | ） |

※近所…30分以内程度で行き来できる範囲

※単身赴任や長期出張等で別居されている父母については「同居」としてください。

問6. お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。

選択肢はお子さんからみた関係です（1つに○）。

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1. 父母二人で | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他（ | ） |

問7. 日頃、お子さんの世話をしてくれる人はいますか（当てはまるものすべてに○）。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事ときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 4. 緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 5. いずれもない |

問8. お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や相談できる場所をお答えください（当てはまるものすべてに○）。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー |
| 2. ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族 |
| 3. 友人や知人 |
| 4. 近所の人 |
| 5. 小学校の先生 |
| 6. 学童保育（放課後児童クラブ）の指導員 |
| 7. ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの習い事の先生 |
| 8. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 |
| 10. 市役所の教育相談窓口 |
| 11. 携帯電話やインターネットの交流サイト |
| 12. その他の人や場所（ |
| 13. 相談できる人はいないし、相談できる場所もない |

4. 保護者（父親・母親）の就労状況についておうかがいします。

問9. お子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます（1つに○）。【父子家庭の場合は記入不要です。】→問10へ

- | | | |
|--|---|-------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問9-2へ |
| 2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる
（産休・育休・介護休業中） | | |
| 3. パート・アルバイトなどで働いている | } | 問9-1へ |
| 4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる
（産休・育休・介護休業中） | | |
| 5. 以前は働いていたが、今は働いていない | } | 問9-3へ |
| 6. これまで働いたことがない | | |

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問9-1. フルタイムへの希望はありますか（1つに○）。

- フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
- パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

→問9-2へ

問9-2. 1週間にどのくらいの日数働きますか。そして1日当たりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください（（ ）内に数字を記入、□□内に18:00のように24時間で表記）。

1週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間
家を出る時間 □□:□□	帰宅時間 □□:□□

→問10へ

問9-3. 働きたいという希望はありますか（それぞれ1つに○、（ ）内に数字を記入）。

- | | | | |
|--|-----------------|---|-------|
| 1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない） | →問10へ | } | 問9-4へ |
| 2. 1年より先、一番下の子どもが、（ ）歳になったころに働きたい | | | |
| 3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい | | | |
| →希望する働き方 | | | |
| ア. フルタイム | | | |
| イ. パートタイム、アルバイトなど | | | |
| →1週当たり（ ）日 | 1日当たり（ ）時間 | | |

問9-4. 働きたい理由は何ですか（当てはまるものすべてに○）。

- 働かないと、暮らしていけなくなるため
- 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
- 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
- 人間関係を広げたいため
- その他（ ）

問10. お子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます（1つに○）。 【母子家庭の場合は記入不要です。】→問11へ

1. フルタイムで働いている
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる
（育休・介護休業中） } 問10-2へ
3. パート・アルバイトなどで働いている
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる
（育休・介護休業中） } 問10-1へ
5. 以前は働いていたが、今は働いていない
6. これまで働いたことがない } 問10-3へ

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問10-1. フルタイムへの希望はありますか（1つに○）。

1. フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

→問10-2^

問10-2. 1週間にどのくらいの日数働きますか。そして1日当たりどのくらいの時間働きますか。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください（（ ）内に数字を記入、□□内に18:00のように24時間で表記）。

1週当たり () 日 家を出る時間 :	1日当たり () 時間 帰宅時間 :
--	---

→問11^

問10-3. 働きたいという希望はありますか（1つに〇、（ ）内に数字を記入）。

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない） →問11へ
2. 1年より先、一番下の子どもが、()歳になったころに働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年内に働きたい
→希望する働き方
〔 ア.フルタイム
イ.パートタイム、アルバイトなど〕
→1週当たり()日 1日当たり()時間
- } 問10-4へ

問10-4^

問10-4. 働きたい理由は何ですか（当てはまるものすべてに○）。

1. 働かないと、暮らしていけなくなるため
2. 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3. 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4. 人間関係を広げたいため
5. その他（

5. 仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問11. 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。それぞれ1週間の平均的な時間をお答えください（()内に数字を記入）。

また、その時間は十分だと思いますか。下記枠内の選択肢の中からお答えください（番号を1つ記入）。

	母親		父親	
平日	子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり（ ）時間	番号を記入 ()	子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり（ ）時間	番号を記入 ()
休日	子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり（ ）時間	番号を記入 ()	子どもと一緒に過ごす時間 1日当たり（ ）時間	番号を記入 ()

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 十分だと思う | 2. まあまあ十分だと思う |
| 3. あまり十分だと思わない | 4. 不十分だと思う |
| 5. わからない | |

問12. 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。それぞれ1週間の平均的な時間を記入してください。

母親	父親
1日当たり（ ）時間	1日当たり（ ）時間

問13. 仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか（当てはまるものすべてに○）。

1. 残業や出張が入ること
2. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみってくれる人がいないこと
3. 配偶者の協力が得られないこと
4. ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと
5. 職場に子育てを支援する制度がないこと（子どもの看護休暇、短時間勤務など）
6. 職場の理解や協力が得られないこと
7. 子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと
8. 子どもを預かってくれる学童保育（放課後児童クラブ）などが見つからないこと
9. 子どもと接する時間が少ないこと
10. その他（ ）

6. お子さんの学童保育(放課後児童クラブ)の利用についておうかがいします。

問14. 現在、平日（月曜日から金曜日）に学童保育（放課後児童クラブ）を利用されていますか。

1. 利用している	2. 利用していない
↓	↓
問14-1へ	問14-7へ

問1 4-1. 現在利用している学童保育(放課後児童クラブ)について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、1日当たり何時間(何時まで)利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか(内に数字を記入、

--

 内に24時間で表記)。

(1) 現在	1 週当たり () 日	
	1 日当たり () 時間	: まで利用
(2) 希望	1 週当たり () 日	
	1 日当たり () 時間	: まで利用希望

問14-2. 学童保育（放課後児童クラブ）を利用されている理由は何ですか（1つに○）。

1. 保護者が働いている
2. 保護者が働く予定である、または、仕事を探している
3. 保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
4. 保護者に病気や障がいがある
5. 保護者が学生である
6. その他（ ）

→問14-3△

問14-3. 土曜日、日曜日・祝日に、学童保育（放課後児童クラブ）の利用希望がありますか。
 仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます（それぞれ1つに○）。
 太枠内に○をつけた方は、利用したい時間帯もお答えください（ 内に24時間で表記）。
 なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

	土曜日	日曜・祝日
1. 利用する希望はない	1	1
2. ほぼ毎週利用したい	2	2
3. 月に1～2回は利用したい	3	3

↓

↓

	土曜日	日曜・祝日
利用したい時間帯	: ~	: ~
	:	:

→どちらかで「月に1～2回は利用したい」を選ばれた方は問14-4へ、
それ以外の方は問14-5へ

問1 4・8. 今後、学童保育（放課後児童クラブ）を利用したいとお考えですか（それぞれ1つに○）。
 希望がある場合は、日数・時間をお答えください（（ ）内に数字を記入、 内に24時間で表記）。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1. 利用したい 1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間 : まで	
「1.」を選 ばれた方→	【土曜日の利用希望】 1. ある ⇒ 1日当たり（ ）時間 : まで 2. ない 【日曜日・祝日の利用希望】 1. ある ⇒ 1日当たり（ ）時間 : まで 2. ない
2. 今後も利用しない	

7. お子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。

※病気回復期（病後児）ではなく、病気急性期（病中）の対応です。

問15. この1年間に、お子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった	2. なかった
↓	↓
問15-1へ	問16へ

問15-1. この1年間に、お子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったときの対処方法（当てはまるものすべてに○）と、その日数をお答えください（（ ）内に数字を記入）。※半日程度についても1日としてカウントしてください。

対処方法	日数（年間）
１．父親が仕事を休んだ	() 日
２．母親が仕事を休んだ	() 日
３．ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に みてもらった（同居している場合も含む）	() 日
４．働いていない父親か母親が子どもをみた	() 日
５．保育所や病院に併設する病気の子どものための 保育施設を利用した	() 日
６．家事育児代行サービスを利用した	() 日
７．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
８．その他（ ）	() 日

問15-2へ

問16へ

問15-2. そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか（1つに○）。利用したい方は（ ）内に日数もお答えください。

なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

1. できれば病気の子どものための 保育施設などを利用したい → () 日／年間	2. 利用したいと思わない
--	---------------

8. 一時預かりなどの利用についておうかがいします。

問16. この1年間に、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます（当てはまるものすべてに○、（ ）内に数字を記入）。

対処方法	日数（年間）
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった （同居している場合も含む）	（ ）日
2. ファミリーサポートセンターを利用した	（ ）日
3. 夜間養護事業：トワイライトステイ（仕事などの理由により、 児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの）	（ ）日
4. 家事育児代行サービスを利用した	（ ）日
5. その他（ ）	（ ）日
6. 預けるようなことはなかった	

問17. この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけ」で、年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳泊数を枠内に具体的な数字を入れてください）。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

対処方法	泊数（年間）
1. 利用したい	計（ ）泊
ア. 冠婚葬祭	（ ）泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	（ ）泊
ウ. 保護者や家族の病気	（ ）泊
エ. その他（ ）	（ ）泊
2. 利用する必要はない	

9. お子さんの普段の過ごし方についておうかがいします。

問18. 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いもの、また、もっとも望まれる過ごし方について、時間帯ごとに下記枠内（過ごし方）の選択肢の中からお答えください（（ ）内にそれぞれ下表1～11の番号を1つ記入）。

普段の過ごし方	もっとも望まれる過ごし方
1. 平日14～16時（ ）	1. 平日14～16時（ ）
2. 平日16～18時（ ）	2. 平日16～18時（ ）
3. 平日18～20時（ ）	3. 平日18～20時（ ）
4. 平日20時以降（ ）	4. 平日20時以降（ ）
5. 休日（ ）	5. 休日（ ）

【過ごし方】

1. 授業などで学校にいる
2. 学童保育（放課後児童クラブ）で過ごす
3. 自由な遊び場開放事業に参加する
4. 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす
5. 家事育児代行サービスなどを利用する
6. 家や公園などで友だちと過ごす
7. 図書館など公共の施設にいる
8. 地域活動に参加する（こども会・リーダークラブ活動、スポーツ活動）
9. 学習塾や習い事へ行く
10. 家で、ひとりで勉強などをする
11. その他（ ）

10. お子さんの生活習慣についておうかがいします。

問19. お子さんの生活習慣について、お答えください（それぞれ1つに○）。

（1）朝ごはんを食べますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 食べる日のほうが多い |
| 3. 食べない日のほうが多い | 4. ほとんど食べない |

（2）1日1回は家族と一緒に食事をしますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

（3）平日のテレビ・ビデオ（動画・ゲーム含む）の1日当たり平均視聴時間は何時間ぐらいですか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 30分以内 | 2. 1時間以内 |
| 3. 1時間30分以内 | 4. 2時間以内 |
| 5. 2時間超 | |

（4）就寝時刻は平均何時頃ですか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 20時半より前 | 2. 20時半～21時前 |
| 3. 21時～21時半前 | 4. 21時半～22時前 |
| 5. 22時～23時前 | 6. 23時以降 |

1 1. お子さんの地域での自然体験などへの参加についておうかがいします。

問20. お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか（1つに○）。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 体験をしやすいと思う | 2. 体験をしやすいとは思わない |
| 3. どちらでもない | 4. わからない |

※箕面市の文化施設は、メイプルホール、郷土資料館、箕面文化・交流センター、らいとぴあ21、ヒューマンズプラザ、萱野三平記念館、多文化交流センター、文化芸能劇場など

問21. 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか（当てはまるものすべてに○）。

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1. スポーツ活動 | } 問22へ |
| 2. 文化芸術活動 | |
| 3. ボランティア活動 | |
| 4. 体験学習活動（ものづくり体験など） | |
| 5. 野外活動（キャンプなど） | |
| 6. 社会福祉活動（高齢者訪問など） | |
| 7. 国際交流活動（ホームステイなど） | |
| 8. 青少年団体活動（こども会・リーダークラブ活動など） | |
| 9. 環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など） | |
| 10. 環境教育活動（自然観察など） | |
| 11. 地域の活動（地域のお祭りや運動会など） | |
| 12. その他（ | |
| 13. 参加したことがない → 問21-1へ | |

問21-1. お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか（当てはまるものすべてに○）。

- | |
|-----------------------|
| 1. 活動に関する情報がなく参加しにくい |
| 2. 知り合いなどがおらず参加しにくい |
| 3. 初めての者が参加しにくい雰囲気がある |
| 4. 参加の時間帯が合わない |
| 5. 費用がかかる |
| 6. 活動の内容に興味や関心がない |
| 7. その他（ |



13. 子育てに対する意識についておうかがいします。

問25. 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

1. いる 2. いない

問26. ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか（1つに○）。

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3. つらいと感じることの方が多い
4. わからない
5. その他（ ）

問27. 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか（それぞれ当てはまるものすべてに○）。

(1) 子どもに関すること

1. 病気や発育発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
4. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと
5. 子どもの教育に関すること
6. 子どもの友だちづきあいに関すること
7. 子どもの不登校など
8. その他（ ）
9. 特になし

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子育てにかかる出費がかさむこと
11. 住居がせまいこと
12. その他（ ）
13. 特にない

問28. ご自身にとって、子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。
下記枠内の選択肢の中からお答えください（当てはまる番号を3つまで記入）。

有効と感じる支援・対策 ⇒ () () ()



【選択肢：有効と感じる支援・対策】

1. 学童保育（放課後児童クラブ）の充実
2. 子育て支援のネットワークづくり
3. 地域における子どもの活動拠点の充実
4. 子どもの教育環境
5. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
6. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備
7. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
8. 家族以外の支援が必要な子どもに対する支援
9. その他（ ）

問29. ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか（1つに○）。
また、感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。
感じない場合は、誰から支えてほしいと思いますか。
下記枠内の選択肢の中からお答えください（当てはまる番号すべてを記入）。

1. 感じる ⇒ 支えている人 ()
2. 感じない ⇒ 支えてほしい人 ()



【選択肢：支えている人・支えてほしい人】

1. 近所の人
2. 同じ世代の子どもを持つ保護者
3. 民生委員・児童委員、主任児童委員、自治会、こども会などの地域団体の人
4. 地域活動を行っているNPOなどの人
5. 市役所の職員
6. その他（ ）

14. 封筒の宛名のお子さんを含め、お子さんが3人以上いる、もしくは多胎（双子や三つ子など）のお子さんの方がいる方におうかがいします。

問30. どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効だと思いますか。
もっとも有効と思われる番号に○をつけてください。

1. 塾など習い事への経済的支援
2. 放課後児童クラブ利用料への支援
3. 衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援
4. 住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）
5. 自然体験などの活動費（学校行事を除く）への支援
6. 同じ境遇にある母親や父親との交流
7. 多子・多胎育児経験者による相談支援
8. その他（ ）

問30-1. 2番目に有効だと思われる番号に○をつけてください。

1. 塾など習い事への経済的支援
2. 放課後児童クラブ利用料への支援
3. 衣料品や食料品、日用品など生活必需品への支援
4. 住宅費への支援（家賃補助や住宅ローンの負担軽減など）
5. 自然体験などの活動費（学校行事を除く）への支援
6. 同じ境遇にある母親や父親との交流
7. 多子・多胎育児経験者による相談支援
8. その他（ ）



15. 箕面市への要望についておうかがいします。

問31. 箕面市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか（当てはまるものすべてに○）。

1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす
3. 親子が安心して集まれる出張子育てひろばなどの屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育所や学童保育（放課後児童クラブ）など子どもを預ける施設を増やす
10. 幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
11. 誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
12. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持などの子育て世帯への経済的援助の拡充
16. 公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
17. その他（ ）
18. 特になし

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、
ご自由に記入してください。

[illegible]

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

記入後のアンケート用紙は、4月15日（月）までに
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、投函してください。

箕面市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

印刷物番号

6-8

令和6年(2024 年)9月

発行 箕面市教育委員会事務局 子ども未来創造局 子育て支援室

〒562-0003 箕面市西小路 4 丁目 6 番 1 号

TEL 072-724-6738

FAX 072-721-9907